BINDING LIST. FEB 22 1971

DS
845
A45
1878
v.2

East
Asiatic
Studies

Japan. Dajokan
Tokumei zenken taishi

PLEASE DO NOT REMOVE
CARDS OR SLIPS FROM THIS POCKET

UNIVERSITY OF TORONTO LIBRARY

Digitized by the Internet Archive
in 2011 with funding from
University of Toronto

http://www.archive.org/details/tokumeizenkentai02japa

特命全權大使
米歐回覽實記

LIBRARY
FEB 22 1971
UNIVERSITY OF TORONTO

DS
845
A45
1878
v. 2

太政官
記録掛
刊行

米歐回覽實記二編

目録

第二編　英吉利國ノ部

第二十一巻　英吉利國ノ總說

英國聯邦ノ概略　一丁
山河道路及ヒ氣候　三丁
農牧産物　七丁
礦業　一一丁
製作　一四丁
貿易　一六丁
人種　二三丁
風俗　二四丁
學教　二七丁
宗門　二九丁

度量衡貨幣　三〇丁

第二十二巻　倫敦府總説　自明治五年七月十三日至十四日

「クインスタウン」ヨリ里味陂ヘ着船　三三丁

倫敦府ノ概形並ニ貿易ノ統計　三五丁

倫敦橋ノ圖　倫敦隧道ノ圖

達迷斯河十三橋並ニ市街ノ略説　三九丁

「レーゼント街ノ圖　「チャーリンコロス滊車驛

倫敦「シチー」　四三丁

倫敦「シチー」廓門圖　新市場ノ圖

倫敦運上所ノ圖　英倫銀行及ヒ商人集會所ノ圖

「ウェストミニストル」　四五丁

「ツースウォーク」及ヒ倫敦繁華ノ始末　四七丁

第三十三巻　倫敦府ノ記上　自七月十五日至三十日

「ケンシントン」ノ常博覽會　同圖　五一丁

英國勸工ノ説　五三丁
「ブライトン府回覽幷ニ水族室　五八丁
「ホールツモーツ府附「サウサンフトン府　六一丁
同所造船廠回覽幷ニ新發明轉射臺甲鐵艦　六三丁
英國海軍ノ略説　六五丁
倫敦禽獸園　六八丁
第二十四卷　倫敦府ノ記中　自八月朔日至十日
「ボッキンハム宮　七一丁
同圖　「セントギェームス苑ノ圖
巴力門(パーレメント)
同圖　「ブラッキプレヤス橋ノ圖
英國政體ノ説　七三丁
上院　下院　政論公黨　行政官
甲比丹「フランクリン氏未亡人ノ別莊　八四丁

「ウィンザカッスル」　八五丁
同圖
「ウ丶ルウィッチ」ノ武器製作場　八六丁
「ウ丶ルウィッチ」ノ圖　「リチモント」苑ノ圖
「ペーコンヒル」ノ大操練　八八丁
英國陸軍ノ略説　八九丁
第二十五卷　倫敦府ノ記下　自八月十一日至二十六日
倫敦市中ノ少學校　九五丁
倫敦古城　同圖　九七丁
電信總館並ニ英國電信ノ事　九九丁
郵便總館並ニ英國郵便ノ事　一〇一丁
水晶宮　同圖　一〇五丁
大英博物館　一〇九丁
第二十六卷　里味披府ノ記　自八月廿七日至二十九日

里味陂府ヘノ途上　一一五丁
里味陂府ノ總説　一一六丁
同圖　里味陂河岸ノ圖
商人集會所（ロヤルエキスチヱンヂ）　一一九丁
消防丁調練　同
里味陂船廠回覽　一二一丁
水門ノ機關幷ニ穀物倉　一二四丁
同圖　船廠内ノ景圖
穀物蓄積ノ説　一二九丁
「ダライドック」　一三一丁
水揚ケ廨舍及ヒ石炭積下シ　一三二丁
烟草倉　一三三丁
水夫旅館　一三四丁
第二十七巻　里味陂府ノ記下

美爾索（ミルシール）河口浮波止ノ圖　同南岸船廠ノ圖
博物館　一三七丁
美爾索河南岸ノ造船廠　一三八丁
鶴項秤起重器ノ説　一三九丁
造船分科ノ説　一四四丁
美爾索河船學校　一四六丁
「セントギョーギ」禮拜堂　一四八丁
北「エストロン」滊車驛ノ圖　「セントギョーギ」禮拜堂ノ圖
「ソルーウ」邑ノ鐵道器大製造場回覽
鐵軌ヲ展ヘ幷ニ熟鐵ノ熔煉　一四九丁
車輪鍛成場　一五二丁
滊車裝成場　一五三丁
英國鐵冶利益ノ説　一五五丁
第二十八卷　漫識特府（マンチェストル）ノ記　自九月二日至三日

「セントヘーレンン村ノ玻瓈製造場　一五七丁
玻瓈製造ノ説
玻瓈鑑ヲ製スル事
漫識特府ノ總説　一六六丁
棉花紡絲場　一六八丁
「フイツトヘウオール社砲材鑄成場　一六九丁
巡回裁判所　一七五丁
牢獄並ニ水車苦役場　一七六丁
漫識特通街ノ圖　牢獄ノ內景圖

第二十九卷　漫識特府ノ記下　自九月四日至六日

禁酒烟會社　一八一丁
花布印紋場　一八二丁
紡棉場　一八五丁
棉布織場及ヒ染絲ノ説　一八七丁

「インヂヤラパコム製作場　一九三丁
布帛細貨卸賣場　一九五丁
警察裁判所　一九六丁
「オウン學校　一九八丁
商人集會所（ロヤルエキステンヂ）　一九九丁
「ムエチロ社布帛卸賣場
漫議特府新廳ノ圖　商人集會所ノ圖
第三十卷　哥羅斯哥府（カラスゴー）ノ記　自九月七日至十日
哥羅斯哥府ヘノ途上　二〇三丁
哥羅斯哥府ノ總説　二〇六丁
紡織器械及ヒ滊車製造及ヒ生鉄熔煉　二〇八丁
「コルポレーション」「ガルリー」　二〇九丁
商人集會所同會議所及ヒ「コルポレーション」ノ説
府中回覽　二一四丁

「グリノツク」府ノ造舩場　二一六丁
「ウォーカス」社ノ白糖製造場　二一八丁
貴族「ブランタイル」氏ノ田園　二二一丁

第三十一巻　壹丁堡府ノ記　自九月十一日至十四日

壹丁堡府ノ總說　同圖　二二七丁
上等裁判所　二二九丁
器械博物館　同
　壹丁堡古城ノ圖　「アルサスシート」山眺望ノ圖
「アルサスシート」山上ノ眺望　二三〇丁
蘇格王ノ古宮　二三一丁
　「ホリイル」宮ノ圖　女王馬利寢牀ノ圖
土路瀝車製作場並ニ圖　二三二丁
「イシヂヤラバコム」ノ履雨衣製造場　二三四丁
同橡紐釦製造場　二三五丁

「エコーワン社ノ抄紙場　二三八丁
「ベルロック」及ヒ「メイル島ノ兩燈臺　二四四丁
第三十二巻　高閣（ハイランド）山水ノ記　自九月十五日至十八日
高閣ヘノ途上　二四九丁
「アッソン村丟克（デューク）ノ莊園　二五〇丁
「キリカムケル」ノ谿山　二五二丁
「パーナム村及ヒ「ロンプリン」ノ瀑布　二五三丁
「カルムエル村亞爾（アール）ノ莊園　附古敎壇ノ遺石　二五八丁
「テイ湖山ノ景及ヒ「キリム」ノ古城　二六一丁
「ガァランドル邑及ヒ「ポコレイト湖山　二六五丁
「トロサキッ湖山及ヒ「キャッツル湖山ノ景勝　二六七丁
同圖　同森林奇峰ノ蹊路圖
「キャッツル湖峰ノ圖　同湖島ノ景ノ圖
哥羅斯哥ノ上水樋　二六九丁

英人守法ノ精神ヲ論ス
「ストロ子チェレチャレ山路 二七〇丁
同圖 「インウェルスナイドル瀑布ノ圖
「ロモンド湖 二七二丁
「インウェルスナイドル瀑布ノ圖 「ロモンド湖島ノ圖
第三十三卷 新城（ニューカッソル）府ノ記上 自九月十九日至二十日
「ガラシールス邑羅紗織場 二七五丁
「アボーッツ村ノ圖 「アベイカッソル」ノ古寺圖
英人棉毛麻ノ紡織ニ注意スル説 二七七丁
「アベイカッソル村ノ古寺 二八三丁
新城府ノ總説 二八四丁
「アルムストロング氏ノ製鐵場 附鐵礦ヲ熔スル法 二八五丁
石炭礦並ニ英國石炭利益ノ説 二九〇丁
第三十四卷 新城府ノ記下 九月二十一日

商人集會所　二九五丁
「タイル」河新橋ノ基礎建築　二九六丁
煉銅場並ニ說　二九八丁
浚泥船　三〇〇丁
製鉛場　三〇二丁
煉鉛並ニ說　白粉ノ製法　丹鉛ノ製法
曹達製造場　三〇九丁
海角波止建築並ニ造石ノ法　三一二丁
難破船救助法　三一四丁
天文臺　三一五丁

第三十五卷　「プラットホールト」府ノ記　自九月二十二日至二十五日

「プラットホールト」府ノ總說　三一七丁
「ソルテヤ」村「タイトル」氏「アルパカ」紡織場　三一九丁
同圖

「ミットランド村ノ織絹場　三二三丁
屑絲紡績ノ説　三二六丁
「パリファッキス府ノ毛織場　三二九丁
「ボールトン河ノ名勝古跡　三三一丁
第三十六巻　舌非力府（ヒッフィルド）ノ記　自九月二十六日至二十九日
舌非力府ノ總説　三三七丁
「カメロ會社ノ鋼鉄材製造場　三三八丁
「ベシマ法熟鉄煉法並ニ圖　三四二丁
生鐵熟鉄鋼鉄ノ辯
同輪軸冶成場　三四八丁
「ダヘンシャ丟克ノ莊園　三五一丁
「ロッチャース社ノ刀刃製造場　三五八丁
「ウィツカールス社ノ鋼鉄材製造場　三五九丁
銀銅器細工場　三六二丁

「コットラス」社ノ享宴　三六三丁
第三十七卷　「スタッホルト」及ヒ「ウォリッキ」州ノ記自十月朔日至二日
「オヽルソップ」社ノ麥酒釀造場並ニ説　三六五丁
「コヴェントリー」府「ガセス」社ノ線縧紡織場　三七三丁
「スチーヴン」社ノ織絹場　三七五丁
「ロヅレム」社ノ袂時計製作場　三七七丁
「コヴェントリー」府廳及ヒ古寺　三七八丁
「ウォリッキ」古城　三七九丁
同圖　「ケーニルウォーチュ」古城ノ圖
第三十八卷　北明翰（バーミンハム）府ノ記自十月三日至六日
北明翰府ノ總説　三八三丁
「チャンセ」社燈臺玻瓈製作場　三八四丁
化學產物ノ説　三八七丁
針製作場　三八八丁

「ヒンク」及ヒ「ウェルス」社ノ鋼筆製作場 三八九丁
「アストン」社ノ紐釦製作場 三九〇丁
「コンフォル」社ノ釘製作場 三九二丁
「オヽストラ」社ノ玻璃器製作場 三九三丁
「エルキントン」社ノ金銀器製作場 三九四丁
貨幣製造會社 三九八丁
兵卒銃製作場 同
「ウスター」村ノ狐狩 附陶器製造場 四〇〇丁
第三十九巻 「チェスター」州ノ記 自十月七日至九日
「ローストンカッソル」村「トルマセ」氏ノ居館 同圖 四〇三丁
「ミントン」社ノ陶器製造場 四〇四丁
「ノースウィキ」村ノ鹽礦幷ニ鹽利用ノ説 四一五丁
「チェスター」府近在ノ井鹽製造場 四一七丁
「トルマセ」氏ノ田園 四二〇丁

「チェスター」府ノ回覽 古街及ヒ裁判所 四二一丁

第四十卷 倫敦府後記 自十月十日至十一月十五日

「ウレッチン」邑ノ「ビスコイト」製造場 同圖 四二五丁
農業展覽會並ニ說 四二九丁
「ウィクトン」村ノ瓦斯會社 四三一丁
下水閘 四三二丁
綠威海軍病院 四三三丁
同圖 達迷斯下流「ウォクト」村邊ノ景
勸農察並ニ英國勸農ノ說 四三五丁
倫敦商業ノ大略 四三九丁

第二篇　英吉利國ノ部

第二十一巻　英吉利國總説

○英吉利國ハ、歐羅巴洲ノ西北隅ニアル、兩箇ノ大島ト、五千五百箇ノ小嶼トヲ合セテ成タル國ニテ、佛朗西國「カレイ」ノ岬ナル、英吉利峡ニヨリテ、大洲ト分斷セラル、其狹キ處ハ、水路廿二「マイル」ニスギス、北洋ト歴瀾洋トニ控ヘ、北緯四十九度十三分ヨリ、六十度四十九分ニ至リ、經線ハ、同國緑威ヲ中心トシ、東ヘ一度四十五分、西ヘ十度三十分、合セテ十二度十分ノ間ニ、斜ニ點綴セリ、○東ナル大島ヲ不列顛ノ大島ト云、幅員八萬三千八百廿六方英里、諸小島ヲ合セテ、九萬〇〇三十八方英里、南方ハ豁廣ニテ、北方ハヤヽ殺狹セリ、中ニ三部ヲ分ツ、南ヲ英倫ト云、西南ヲ威爾斯ト云、北ヲ蘇格蘭ト云、三部共ニ人種ミナ異ニ、言語風俗モ各殊ナリ、中ニモ蘇格蘭ハ、自古嚴然タル王國ニテ、今

ロリ二百七十年前マテ、連續シタルニ、惹迷斯第六ノ代ニ至リ、英倫ノ王位ヲ嗣キ、惹迷斯第一ト名乘リ、此時ヨリ兩王國合併シテ、一政府トナル、是ヲ「グレートブリタニヤ國ト稱ス大不列顛或ハ大貌利大泥亞ト譯ス是ナリ○西ナル大島ヲ愛蘭ト云、幅員三萬千三百二十四方英里アリ、早キ世ヨリ英倫ニ征伏セラレシヿモアレト、亦獨立ノ議事院ヲ設ケタリシニ、一千八百○二年ヨリ、亦合併ノ政治ヲナセリ、因テ是ヲ總稱シテ「グレートブリタニヤ、エンド、アイランド、ユーナイテット、キングストン」ト云、(大不列顛及ヒ愛蘭聯邦王國ノ義ナリ、英吉利ト云ハ、南方一部ノ名ニテ、全國ノ稱ニハアラス)○此聯邦王國ノ總幅員ハ、十二萬千三百六十二方英里ニテ、一千八百七十一年ノ統計ニヨルニ、人口スベテ三千百八十一萬七千百○八人アリ、其形勢、位置、廣狹、及ヒ人口ハ、殆ト我邦ト相比較ス、故ニ此國ノ人ハ、毎ニ日本ヲ東洋ノ英國ト謂フ、然ドモ營業力ヲ以テ論スレハ、其懸殊モ亦甚シ、近年精密ナル統計書ニヨルニ、全英地ノ民勞力ヲ用フル數ハ、八百九十一萬九千八ニテ、動物舟車ノ力ハ、四千四百萬人ニ敵シ、蒸氣器械ノ馬力ハ、民口十一人ニツキ、一馬力ノ平均ナリ、佛國ノ大ナル營業力ノ盛

ナルモ、器械力ヲ幷セテ比較スレハ、大ニ劣ルト謂フ。○之ニ加フルニ、此國附屬ノ地ハ、五大洲中ニ普ク、亞細亞ニ於テハ、五印度國、大概其所屬ニ入レ、南洋ニ於テハ、濠斯多拉利洲及ヒ「ニューゼーランド」ヲ所屬シ、北亞墨利加ニ於テハ、合衆國ノ北ナル廣土、南亞墨利加ニ於テハ「パナマ」「グイナ」「アンチルレン」ノ群島、多ク此國ノ所轄ナリ、其外地中海ニ於テ、西班牙ノ角ナル「ギブラルタル」、以太利ノ南ニ於テ、「モルタ」島ヲ領シ、紅海ノ口ニハ亞丁ノ地ヲ借リ、滿剌加ノ角ニハ、新嘉坡島ヲ借リ、支那ノ南ニテハ香港島、亞弗利加ニモ、七ケ所ノ洲岬ヲ領シ、凡ソ環海要衝ノ地ハ、多ク其所轄トナシ、全世界ノ航路、殆トミナ自國ノ支配下ニ歸シ、海路ニ郵驛ヲ置タリ、其總地ヲ計算スレハ、八百七十二萬七千六百五十一方英里、露西亞領ノ廣キモ、猶四十萬餘方英里ノ地積ヲ讓リ、我邦ニ比スレハ七十五六倍ス、其人口ヲ總計スレハ、二億四千三百三十二萬七千○六十五人、唯支那ノ人口、是ニ過タルノミ、國人誇リテ英國ニ日沒ヲミスト言フ、此ハ古時西班牙ノ盛ナル時ニ自稱セル語

○大不列顛ハ、島嶼ナレ𪜈、大陸地ノ地形ニ似タリ、我邦ノ山嶺紛錯シテ、高峯峻

嶽ノ多キカ如クナラス、中ニモ英倫ノ一部ハ、大概平地多ク、倫敦ヨリ南ハミナ平野ナリ、北方約克（ヨルク）州（シヤ）ヨリ蘇部ニ接シ、岡巒重層ヲナス、西方威爾斯（ウヱールス）ノ地ハ、山嶺險峻ナリト稱スレヒ、其最高ノ山ハ、三千七百「フィート」ニスキス、蘇部ノ地ニ至レハ、山脈紛錯シ、往往ニ七八千尺ニ及フ峯アリ、湖水星布シ、河道環繞シ、岬角參差トシテ、處處ニ海灣ヲ開ク、地氣北ニ偏セルヲ以テ、地味多クハ荒瘠ニテ、人口庶ナラス、其民ノ勤勉ニヨリ、漸ニ開鋤ニツク、然レヒ此地風景ノ美ニ至テハ、英人以テ歐陸ノ瑞士（スツイス）國ニ比ス、愛蘭（アイランド）ハ、唯「クインスタウン」ヲ、舩中ヨリ一望セシノミナレハ、耳食ノ談ヲ以テ、此ニ眉目ヲ粧ハス○英國ノ土地ハ、平衍ノ野多シ、河道穩ニ流レテ、運漕ニ便ナリ、全國河流ノ運送スヘキモノヲ通算スレハ、千二百英里ニ及フ、之ニ運河ヲ開キテ、舟漕ヲ利シタル長サハ、二千八百英里（マイル）ニ及フ、故ニ全國ノ地積ニ割合ヘハ、方六英里毎ニ、一英里ノ水路ヲ與ヘタルナリ、道路ヲ開ケル總數ハ、長サ三萬五千英里、漸漸ニ石ヲ甃固シテ、車馬蹇難ノ患ヒヲ除ク、小路ハ、即里道邑道殆ト十五萬英里ニ及フ、皆馬車ヲ往來スヘキ坦豁ノ道ニ非サルハナシ、此國ハ人民ノ營業力餘リアリ、尤モ能ク

國益ヲ協興スルヲ務メ其積成ハ野ノ道路ニ著レ到ル處平滑修美ノ路ヲ往來シ山僻ニ至レリ○鐵路ハ最初此國ノ發明ナリ蘇格蘭哥羅斯哥(グラスゴー)ノ近地ニハ其發明以前ニ滊力ニテ礦物ヲ運送セル鐵鎖(クサリ)ノ道モアリト云一千八百七十年マテニ鐵路ヲ修築セル總計ハ一萬二千五百四十四英里ニ及ヘリ此經費ハ四億二千五百萬磅二十一億餘弗ニテ一英里ニ付テ平均三萬三千二百萬磅十六萬六千弗ニ當ル傭直ノ貴キニヨリテ然ルナリ同年一歳ノ乘客ハ總數一億人ニコエ乘客及ヒ荷物ノ運賃ヲ幷セテ約金三千萬磅一億五千萬弗ニ下ラス土地人口ノ割ニ鐵路ノ多キ事世界第一ナリ○海港ハ東南西ノ三面ニ數ケ所アル內最要ナルヲ擧レハ東岸ニ於テ北海ノ貿易ニ倫敦(ロンドン)及ヒ新城(ニューカッソル)等アリ西岸米洲ノ貿易ニ里味陂(リヴァプール)英哥羅斯哥(グラスゴー)蘇アリ南岸ニ「サウザンプトン」及ヒ愛倫ノ都伯林(トップリン)等ニテ水路貿易ノ盛モ亦世界第一ナリ○此國ノ氣候ハ緯度ノ割ニ比スレハ甚タ温和ナリ其地位ハ東洋ニ於テ樺太州ノ緯線ト同ケレモ英國ノ周圍ハ大洋ノ潮ニ浸サレ「ギュルフストリーム」トテ洋潮ノ流レ亞墨利加ノ熱帶ヨリ温潮ヲ送リ來リテ西南ノ海岸ニソヒ氷海ニ打出シ又北海ノ潮モミナ

氷洋ニ向ヒ流ル丶ユヘ、其蒸温ニヨリテ、温度常ニ高シ、北海道及ヒ樺太ニ、北洋ヨリ寒潮流レ來リテ氷ヲ送ルト、全ク相反セリ〇天氣ノ變化ハ甚タ常ナラス、秋冬ヨリ歳首ノ比マテハ、陰雲濛濛トシテ、日光ヲミルヿ至テ少ク、倫敦ニ於テモ、一月ニ只三日ノ日光ヲミルヲ異事トセス、蘇部(スコツト)ニ於テハ、雨雪霏霏トシテ、陰雲常ニ暝シ、一月ヲ燈光ノ下ニ消スルヿアリ、夏日ニ至レハ、頗ル清朗ニテ、暑氣モ亦烈ナラス、融和ノ境トナル、此國ハ濕氣多キ國ト稱スレ𪜈、我日本ニ比スレハ、空氣ノ乾燥ナルヿ、米國ニ異ナラス、寒中陰雨ノ日ニモ、濡タル布巾ノ室中ニテ乾クト、鐵製器具ノ錆(サビ)化セサルトニテ知ラレタリ、雨水ノ量ハ、平均一尺八寸、又常ニ大霧ヲ起ス、清朗ノ日ニモ、暗霧頓ニ來レハ、咫尺暗黒トナリ、燭ヲ點シテ室ヲ照スヿ毎毎アリ、雨ハ暴霖急雨ナシ、温熱ヤ丶退ケハ、陰雲日ニ連リテ、霏霏ノ雨ヲシダツ、殊ニ怪ムヘキハ、此國ノ霧露ニハ、炭質ヲ含メルニヤ、倫敦其他ノ諸都府ニ於テ、白石ノ屋柱、久シキヲ經タルハ、ミナ薫黒ヲナス、英國中ニ製作甚タ盛ンニ、全國ニ一億噸ノ石炭ヲ燒ニ及ヒタレハ、豈其烟煤ノ霧中ニ混スル所歟、僅カニ一帶ノ海峡(チヤンネル)ヲ隔テ、佛國ニ入レハ、天

氣清朗ニ屋壁皎然トシテ晴ニ映ス寄ト謂ヘシ、
○土壤ハ概シテ肥沃ナラス耕種ニ適セス然レヒ近年國民ノ農業ヲ勸奬スルヿ甚タ厚ク現今歐洲ニテ一區ノ地ヨリ收穫スル量最モ多分ナルハ英國第一等ナリト云ニ一千八百六十八年全國田園ノ種類表ヲミルニ、

田畠全地七千七百五十一萬三千五百八十五「エーカー」ノ内

穀田　千百六十五萬九千八百五十五「エーカー」

果田　四百八十六萬五千〇五十七「エーカー」

諸畠　九十八萬四千二百四十六「エーカー」

牧艸牧場　五百六十九萬〇三百四十八「エーカー」

灌木自然牧　二千二百十六萬四千五百八十四「エーカー」

合テ　四千五百三十六萬四千〇九十「エーカー」

爾後益種種ノ發明ヲ以テ近十年間ニ地質ヲ變化シ開墾ニ就タル田地ハ百○八萬町ニ及フ殊ニ暗溝ノ法最モ利益ヲ著セリトナリ○全國ノ人民ハ重ニ職工傭夫トナリ農民ノ數ハ一千八百六十一年ノ品種區別表ヲミルニ英

倫ニ四百八十二萬八千四百八蘇部ニ三十七萬八千六百八愛蘭ニ九十六萬九千六百八ナリ土地ハ貴族ノ占有トナリ愛倫ハ地主ノ總數二萬戸ニミタス英蘇モ亦之ニ比スルト然ルニ近年其農業ニ進歩ヲ著シタルハ亦貴族勸奬ノ力ニヨル是製作貿易ノ途隆盛ノ極度ニ達シ生理ノ利孔塞リテ農ニ溢レタル所ナリト云〇英國ハ地主ニ多量ノ田野ヲ占有スレ𪜈分田ノ模様ハ、米國ニ懸殊セリ大ナルハ一「エーカー」小ハ之ヲ四分乃至八分スルニ至ル畔園ニハ榛栗櫟械ノ樹ヲウヱ溝坑ヲ掘テ樹根ノ縁ヲタチ往往我關東田野ノ光景ニ似タリ肥培ニハ骨粉堆糞及ヒ種種製糞ノ場アリ又秘露(ペリユー)國ヨリ雀糞(グアノ)ヲ輸入スルヿ夥多シ其價一千五百萬弗ニモ及ヘルヿアリシニ近二年間ニハ大ニ其量ヲ減シタリ未タ人矢(シモゴエ)ヲ肥培スルヿハ行ハレス〇英國農産ノ統計ハ未タ精密ナルモノヲ得サレ𪜈一年ニ收ムル穀物ハ五千百四十八萬「クワール」ニ及フト又曰英國ニ一歳消費ノ穀物高ハ六千四百「ヘクトリットル」ニテ自國ノ産ハ此高ノ三分二ニ及フヿ難シ故ニ露米加拿佗(カナダ)及ヒ歐洲諸國ヨリ小麥麥粉玉蜀黍等ヲ夥多シク輸入ス近年又印度及南洋ヨリ米ヲ輸入

シ貧民ノ食ニ充ツ一千八百七十一年ニ穀物ノ輸入總價ハ二億餘萬弗ニ上リ内露國ヨリスルモノ六千萬弗黒海峡ヨリス六分ノ五ハ南部米國ヨリスルモノモ殆ト同量ナリ印度瓜哇（ジヤワ）ヨリ稻米ノ輸入モ價二千萬弗ニ下ラス歐洲ニ於テ農業ノ進歩セルト外國輸入ノ穀ヲ仰クト其ニ高等ニオルハ此國ヲ第一トシ佛國之ニ次ク白耳義（ベルギー）瑞士（スイス）ノ二國モ亦其部分ニオル〇穀類ノ外南方ノ諸郡ニ於テハ葎穗（ホツプ）ニ適シ收量七十二萬坦（ホンドルトウエー）ニ及フ其他果樹モ熟スレドモ到底土宜ニアラス麥酒（ビール）ノ釀造ハ歐洲第一タリ一歳ノ總高三千五百六十八「ヘクトリットル」ヲ製シ内國ニ消費ノ高ハ八分ノ一ニスキスト云山林ノ利ハ最モ希少ナルヲ覺ヘタリ

牧畜ノ業ハ農業ニ先タツテ早ク開ケ北部蘇部（スコツト）ニハ牧業ヲ以テ農家ノ主務トセリ牧地ハ畔園ノ樹ニヨリテ樊籬トナシ或ハ木柵石垣ヲ匝シタルヲミル然ドモ米國ノ野ニ到ル處ミナ木柵ヲ設ケタルカ如クナラス蘇部ノ山中ニテハ山嶺ノ半腹マテ石垣ヲ造リタル處ヲ往往ニ見タリ亦山樹ノ間ニ羊ノ牟鳴スルヲ聞ケル處モアリ凡ソ高地ハ牧羊ニヨロシ濕地ハ牧牛ニ宜シキ

モノナリ〇牧畜ハ、獨佛ト同等ノ國ニテ、一千八百七十一年、馬騾欠牛九百〇八萬三千頭、羊三千四百二十五萬頭、豚三百十八萬九千頭、羊毛一億四千五百萬斤ヲ得タリ、牧畜ノ利ハ、總テ價七億五千萬弗ニ及フト云、〇英國ニ肉食ノ盛ナル亅、歐洲第一ニテ、荷蘭(ホルランド)ヨリ生畜牝牛羊ヲ輸入スル分モ、五百五十萬弗ニテ、米國及ヒ「オ、スタラリヤ」ヨリ、鹽藏肉ノ輸入ハ、二千萬弗ニ上ル、下等ノ民ハ、醃魚ヲ以テ肉ニ代ユ、一般生活ノ費高度ニアリ、佛國ノ職人三分ノ二ハ、玉蜀黍馬鈴薯ヲ常食トスレヒ、英國ニテハ、麪包獸肉ヲ常食トス、近年下等ノ民、醃魚ヲ米ニ和シテ食ス、是其給料ノ高下ヲ異ニシテ、物價ノ貴キ所以ナリ〇英人又乳酪(ボートル)、乾酪(チーズ)ヲ嗜ム、自國ノ産ヲ除キ、米國蘭國ヨリ、乳酪價八百五十萬弗乾酪價千四百五十萬弗ノ輸入ヲナス、兩國牧業ノ餘利ハ、大半英國ノ求需ニ供スルナリ〇英國ハ鍊冶ノ盛ナルニヨリ、耕牧ニ用フル器械ノ製作モ、亦盛ンニ、且其田野ハ、米國人カ廣キ田地ヲ貪リ耕スカ如クナラサルニヨリ、其器械モ亦小區域ヲ精耕スル用ニ適ス、農夫ノ野ニ耕鋤スルヲ見ルニ、一耜ヲ兩馬ニ服ス、一馬ニ服スルハ甚タ希ナリ、蒸氣器械ノ盛ンニ行ハルヽ國ナレヒ、農

家。ハ。重。ニ。風。車。水。車。ヲ。用。フ。、麥粉ヲ挽カ如キハ、多ク風水ノ力ヲ賴ム、又天空常ニ陰リ、日光恃ムニ足ラサレヒ、曾テ收穀ノ濕雲ヲ憂ヘサルモ、風。力。乾。燥。ノ。利。ヲ。用。フ。レハナリ、日本ノ穀ハ日光ヲ恃ムニヨリ乾燥足ラスシテ市價ナシ全國農事ニ用フル動物力ハ二千二百八ニ敵シ、水車ノ力ハ百二十萬八、風車ノ力ハ二十四萬八ニ敵スルトナリ、

○英國ノ富ハ、元來礦利ニ基セリ、國中ニ鐵ト石炭ト産出高ノ莫大ナル丁、世界第一ナリ、國民此兩利ニヨリ、滊器、滊船、鐵道ヲ發明シ、火熱ニヨリ蒸氣ヲ驅リ、以。テ。營。業。力。ヲ。倍。蓰。シ。紡。織。ト。航。海。ト。ノ。利。權。ヲ。專。有。シ。テ。、世界ニ雄視横行スル國トハナリタリ、故ニ全國内ニ鐵冶ノ業ノ盛ナル丁、我一行ノ目ヲ驚カセシ所タリ○一千八百七十一年ノ統計ニ、全國ニ鑛鐵ヲ堀出セル高ハ、六百六十二萬七千餘萬噸ニテ、蘇格蘭及ヒ「グレーベラント」州ヨリ、其三分ノ一ヲ出セリ、輸出セル鐵ノ高ハ、三百十六萬九千餘噸ニテ、其價二千六百十二萬四千餘磅、一億三千六十八萬弗○同器械ノ高ハ、價五百九十六萬六千餘磅、二千九百八十三萬弗重ニ輸送セル國ハ、露西亞、埃及（エヂープト）、印度ノ三國ナリ、米國ノ鐵ニ富ムモ、猶此國ノ半製鐵材

ヲ輸入ス、歐洲各國ニ、鑛礦ヲ興セトモ、其總產出ハ、此一國ノ產ニ半ハスルニスキス、如此ニ多量ノ鑛材ヲ、年年ニ消費スルモノハ、第一ニハ巨大造船ニ供スルト、鑛道ニ架渡スルトニアリ、英國ノ鐵道會社ヨリ、世界ニ架セル、鐵道甚タ多シ、印度、豪斯多拉利洲（オ、スタラリヤ）ハ無論ナリ、以、墺、埃及（エジプト）ノ如キモ、英人ノ力ニヨル、鑛路成レハ滊車ハ之ニ從フ、其消費ノ莫大ナルニヨリ、鐵ニ不足ヲ告ケテ、市價益騰ルニ至レリ、英國市場ノ鐵價ハ、世界鐵ノ市價ニ關ス、頻年ノ沸騰ニテ、七十一年ニハ、噸ニ付七十三「シルリング」、約三十四弗四分一、本年ハ百二十「シルリング」六十弗ニ上リタリ、是ニ因テ鑛ヲ資用スル高、自然ニ減衰ノ景況ナレトモ、英國輸出ノ價ハ、反テ前年ニ超過スル額ニ上ルベシト云、故ニ現今ハ歐洲ニ於テ、鑛ヲ用フル數ヲ減省スルヿヲ謀ル、英國ノ如キハ、殊ニ鑛價ノ高低ニヨリ、人民生活ノ管係甚タ大ナリ、其價ノ暴貴ニシテ金額ノ增シヨリ、寧ロ常度ニ下リ、出產ノ多キヲ望ム情實ナリ◯鐵ノ利用ハ、石炭ヲ得テ著ル、炭鐵ノ兩利ハ、互ニ相因ルモノニテ、墺、匈、瑞典ノ如キハ、鑛礦アリテ石炭ニ乏シク、利益因テ屈セリ、英國ニ石炭ノ多キハ、國利第一ノ巨價ヲシメタルモノニテ、炭礦ノ數、英ニ千

四百〇二、蘇ニ四百二十、愛ニ三十アリ、千八百七十一年ノ統計ニ、一年中產出ノ高ハ、二億千七百三十八萬噸ニテ、其一億餘ハ、皆內國ニ費用シ、外國ヘ輸出ノ高ハ、千百七十四萬八千噸ニスギサレド、此輸出高ノミヲ、歐洲諸國ニ比較スレハ、佛國、白國ノ產出ト雖モ、之ニ匹敵スルニスギス、英ノ國內ニ費用スル高ヲ平均スレハ、日ニ二十九萬噸ヲ燒クニ至ル、盛ナリト謂フヘシ、石炭ノ價ハ、其質ト運送ノ遠近トニ管係ス、大抵北部ニ於テハ、最上ノ石炭、一噸ニ付一磅、尋常ハ三四「シルリング」ナリト云、外國輸出ノ分ハ、其價三千百三十三萬五千弗ヲ收メタリ、內國消費ノ分ハ、一噸一弗ノ平均ニシテモ、二億弗以上ノ價ナリ、全國ノ坑夫三十九萬三千三百餘人ハ、此業ニ生活ス、其重ナル產出地ハ「ノルギュムベルランド」州ナリ、故ニ英國ノ諺ニ「ノルギュムベルランド」州ノ民ハ、石炭ヲ衣食シ、威爾斯（ウエールス）ノ民ハ、鑛ヲ衣食スルト謂フ、外國ヨリ之ヲ評スレハ、英國ノ民、盡ク炭鑛ヲ衣食セルナリ、○銅礦ノ利ハ、迥ニ炭鑛ニ及ハサレド、亦世界第一ナリ「ランカシヤ」州、其他ノ諸州ヨリ出ル、全額三百五十萬坦ニ及フ、智利（チリー）國ノ銅モ、此數ニ及フ能ハス、其外「コロンウヱル」州ニ錫、鉛、亞鉛ヲ出ス、全國

二錫二十八萬坦鉛二百萬坦亞鉛二十五萬坦ヲ出ス「チ、スター」州ニ石鹽ヲ出シ「トルセット」州ハ大理石ノ名産ナリ然𪜈銅錫鉛等ハミナ内國ノ用ニ不足ナルニヨリ兩米西班牙希臘等ヨリ輸入スル高大ナリ全國ノ礦利ハ炭鑛ヲ除キテ其價六百萬磅三千萬弗全利ハ四千五百萬磅ニ及フ二億二千五百萬弗トナリ、

○英國ノ製作ニ於テ其基本トナリタルハ炭鑛ニアリ一歲鑛器ノ利ハ已ニ前ニ記セルカ如シ○其製作ノ利ハ紡織ニアリ第一ヲ棉花ノ紡織トス棉花ハ英國ニ生スルニハ非ス常ニ米合衆國其他ノ國國ヨリ買入レ又印度濠洲等ヨリモ仕入ル其高十二億萬磅其價二億八千萬弗ノ多ニ及フ漫識特及ヒ哥羅斯哥府ハ重ニ此利ニヨリテ五十萬口ノ繁昌ヲナセリ之ニ次クハ羊毛ノ紡織トス英國牧羊ノ利盛ナレ𪜈其毛質ハ最上トセス一千七百年代ノ季ニ「ジョン」「マカール」氏カ「オ、スタラリヤ」洲ニ牧羊ヲ始メシヨリ八十年來大ニ繁殖シ其後「ケープコロニー」及ヒ「ハタビヤ」米洲南部等モ牧羊ノ利開ケ此等ノ諸土ヨリ輸入ノ羊毛ハ五百六十萬包四百磅入其價九千萬弗ニ及フ之ニ次テ麻ノ紡織モ亦盛ナリ印度ニ於テ大麻亞麻及ヒ苘麻ヲ耕植シ幷セテ露國ヨリモ

夥多シク輸入ス、印度ノ麻二百五十萬坦、ホンドル他ノ諸國ヨリスル亞麻百
萬坦、トウー近年絹織ノ業モ亦興レリ、一千八百七十年ノ統計ニヨルニ、
棉花製場二千四百八十三社　紡錘三千八百二十一萬八千七百五十八
織機四十四萬千二百七十六　職人男女四十五萬〇〇八十七人
蒸氣水車三十萬八千八百七十〇馬力
羊毛紡織場二千四百五十九社　紡錘四百八十二萬四千百〇三
織機十一萬二千六百九十九　職人男女二十三萬四千六百八十七
蒸氣水車一萬二千二百〇九馬力
麻紡織場四百〇五社　職人約二萬二千餘人
絹織場五百八十餘社　職人約四萬人
此他猶「メリヤス」從縁ノ工場ニ從事スルモノ數萬アリ、〇棉花、羊毛、麻ノ紡織ト、石炭、鐵材、器械トヲ、英國ノ六大利ト稱ス、一千八百七十一年棉花製造ノ價ハ、一億二千二百萬磅ニテ、自國ニ消費セルハ、其八分ノ一ニスギス、其他ハ外國ニ輸出ス、英國貿易第一ノ利ナリ、羊毛ハ之ニ次ク、鐵ハ其次ニアリ、

金銀銅ノ細工、皮革「ゴム」ノ製作、ミナ歐洲ニ名高シ、陶器ノ美モ、近年大ニ進ミ、佛國ニ抗スル勢アリ、然𪜈此等ノ製作ハ、國用ヲ足ラス目的ニ止リ、貿易上ニハ、大ナル輕重ヲ有スルニ至ラス、全國ノ製作場ニ於テ、作業ノ職人、男三十二萬二千八百人、女五十二萬五千二百人ナリト謂フ、是紡織ノ業ヲ除ケハ、十萬ノ數ニモ充タサルナリ、但シ各工自家ニ在テ作業スルモノヲ舉レハ、五百萬人ニモ及フヘシト云、西洋ニ自家ノ工業ハ未タ統計ニ上ラス

○貿易ノ盛大ナルハ、世界ノ大市場ト稱セラル、元來國ノ位置歐、米、弗ノ間ニテ、四濱海ナレハ、貿易ヲナスニ天然ノ障害ナク、要港良津甚タ多シ、貿易ノ昌ヘシ原由ハ、種種ノ來歷モ多ケレ𪜈、畢竟國土疲瘠ニシテ、生活ニ艱ナレハ、外國貿易ヲ仰キテ、後ニ僅ニ足ルヘキヲ以テ、國民ノ心日ニ早ク海商ニ注キ、加フルニ北狄ノ性タル、操舟ニ習フニヨリ、内地ノ牧利礦利ヲ興シ、之ヲ採テ、他國ノ必需物品ニ交換シタル積成ニテ、此ニ至レリト謂フヘシ、故ニ此國ノ貿易品ニ於テ、重ナルモノハ只鑛石炭ニテ、牧畜モ其餵秣ハ他ノ輸入ヲ仰キタルモノナリ、其鑛石炭ヲ化シ、器械蒸氣ノ力トナシ、幷セテ水力風力ヲ役シテ、製作

ナナシ、米ノ棉花、東印度ノ麻、西印度ノ砂糖、此國ニ入リ布疋（タンモノ）白糖トナリテ、世界ニ被ル、是其貿易中ニ於テ、眼目タルモノニテ、其他ノ利益、ミナ鑛石炭ノ變化ニアラサルハナシ○外國ヨリ此國へ輸入スル物品ハ二類アリ、甲ハ國民ノ食用品ナリ、乙ハ國民ノ製作元品ナリ、英國ノ港岸ニ、船舶ノ出入、一日絕レハ、人民爲メニ菜色ヲナシ、飢餓スルモノアリト、棉花、羊毛、麻類、及ヒ鐵ノ類ハ、世界ノ貿易、ミナ英國市場ノ景況ニ管係ス、棉花ノ如キハ、英ノ市場ヲ站トシテ、再ヒ歐洲ニ輸入ス、天產物ニ此市儈ノ利ヲ專ラニスルハ、只此國アルノミ、○一千八百五十年來國內昇平無事ニテ、年年ニ製作貿易ヲ增進シ、從テ農牧ノ利モ興レド、甲ノ食用品ハ、輸入漸漸ニ增加ス、露、米、印度、南洋ノ穀物輸出ハ、重ニ英國貿易ヲ主トス、之ニ次クハ佛國ナリ、是人民及ヒ牧畜ニ食セシムルニ止ラス、製作シ加ヘテ、再ヒ輸出ノ額ヲ增加スレハナリ、澱粉ヲ紡織ニ費シ或ハ酒ヲ釀ス等故ニ海外屬地ニ、天產ノ利ヲ興シ、本國ニ輸送スル物產ハ、甲乙品輸入ノ全額三分ノ一ニオル、印度ヨリ來ルハ、棉、毛（ウルキイト）、絹、麻、蔗糖、藍、茶、米、香料、材木等ナリ、西印度ヨリ來ルモノハ、蔗糖、烟草、加非（カッフエー）、棉花、皮革、樹膠（ゴム）等ナリ、「オ、スタラリヤ」ヨリ

第二十一號

ハ、金、銅、羊毛ヲ輸シ、北亞米利加ヨリハ、穀物、木材、皮革、魚類ヲ輸ス、中ニ於テ印度ノ利益、其最ニオル、米人或ハ之ヲ評シテ曰ク、英人ハ褊小ノ島面ニ蝟生シテ、一區ノ田ヲ印度ニ所有シ、年年ニ其民膏ヲ搾リテ自ラ肥ユ、猶檸檬(レモン)ヲ搾ルカ如シ、力ヲ極メ滲瀝ナキニ至テ止ムト、英國人屬地ノ利ヲシボル、其狀寔ニ之ニ類スルモノアラン

一千八百七十一年ニ、英國ヘ輸入ノ總高價三億三千百〇一萬五千四百八十磅十六億五千五百〇七萬七千四百弗前年ヨリ増スコ七千萬磅ニチカシ、輸入品ノ最タルモノ六アリ、棉花、穀物、蔗糖、羊毛、絹、茶ニテ、其價ハ總高ノ半ニオル、輸出ノ總高、二億二千三百〇六萬六千百六十二磅、十一億千五百三十三萬〇八百十弗前年ヨリ増スコ二千三百萬磅ニチカシ、輸出ノ最タルモノモ亦六アリ、棉布、毛布、生熟鐵、麻布、石炭、器械ニテ、其價ハ總高三分ノ二ニオル、〇其貿易ノ國國ニ於テ重ナルハ、六ケ國トス、合衆國、佛國、日耳曼、露西亞、荷蘭、埃及(エヂープト)ナリ、屬國ニ於テハ、印度「オヽスタラリヤ」ノ兩部ニアリ、英國ノ貿易ノ主要品ニテ、重ナルハ穀物、棉花ニテ、合衆國トノ交易ハ、之ヲ綱トナス、里味破(リヴアプール)ト新約克(ニューヨーク)トノ間、船舶ノ往來ハ絕ル日ナ

ク、里味陂六里ノ船廠（ドック）ハ、此交易ニヨリテ起レリ、佛蘭西トノ交易ハ、歐洲全地ノ交易ニ管係スルモノニテ、元品ヲ英國ノ市場ニトリ、製作シテ、再ヒ佛ノ市場ニ出ス、佛國ハ歐洲ノ中華タルヲ以テ、英國人ノ强項ナルモ、流風都美ノ物品ハ、歐洲一般ト同ク、佛國ノ製作ヲ仰キ、中等以上ノ民ニ重ンセラル、故ニ製作品ノ交易盛ナリ、日耳曼、露西亞ハ、歐洲ノ農野ニテ、蘭ハ牧畜ノ國タリ、英國不足ノ穀肉ハ、此數國ヲ仰ク、荷人謂フ、荷國港ヲ塞テ牛羊ヲ出サスンハ、英人ハ木棉ノ中ニ餓死セン、英人之ニ答テイフ、英國ヨリ牛ヲ買ハスンハ、蘭人ハ塗泥ノ中ニ生葬セント、以テ兩國貿易ノ關係ヲ知ルヘシ、

合衆國ト貿易ノ總高ハ、九千五百三十六萬磅ニテ、內輸入ハ六千百十三萬磅ナリ、重ナル物品ハ、棉花、穀物、醃肉、生乾酪、烟草、皮革ヲ輸。入。シ、鐵材、棉布絲、陶器、毛布、麻布、絹布、曹達、其他ノ細貨ヲ輸。送。セリ、

佛蘭西トノ總高ハ、四千八百萬磅ニテ、內輸入ハ二千九百八十萬磅ナリ、重ナル物品ハ、絹布、葡萄酒、砂糖、生酪、革細工、其他ノ工藝品ヲ輸。入。シ、棉布絲、石炭、銅鐵ヲ輸。送。ス、毛布ハ互ニ交易ノ高多シ、

日耳曼トノ總高ハ、四千六百六十八萬磅ニテ、内輸入ハ千九百二十六萬磅ナリ、重ナル物品ハ穀類ヲ輸入シ、毛棉ノ布絲鐵材ヲ輸送ス、

露西亞トノ總高ハ、三千〇三十萬磅ニテ、内輸入ハ二千三百七十萬磅ナリ、重ナル物品ハ、穀物、麻、亞麻、獸脂、毛、皮、韋革、羊毛等ヲ輸入シ、毛棉ノ布絲、及ヒ鐵材ヲ輸送ス、

荷蘭佗トノ貿易ハ、二千八百萬磅ニテ、内輸入ハ千三百八十萬磅ナリ、重ナル物品ハ、畜獸、乳乾酪、砂糖ニテ、輸出ハ露ニ同シ、

埃及トノ總高ハ、二千三百四十萬磅ニ及ヘド、重ニ印度ノ物產、此地ヲ經テ出ルニヨリ、輸入ノ高ハ其千三百四十萬磅ヲシム、重ナルハ生絲、棉花ノ兩品ナリ、輸出品ハ棉布、鐵材、器械等ナリ、

屬地東印度トノ貿易ハ、佛蘭西ニスク、總高四千四百七十九萬磅ニテ、内三千餘萬磅ハ輸入ナリ、重ナル物品ハ棉、麻、米、藍、絹、茶、ノ六品ニシテ棉布鐵類ヲ送ル、○「オ、スタラリヤ」ノ貿易モ、二千二百五十萬磅ニスキ、内千四百四十萬磅ハ輸入ニテ、重ナル物品ハ羊毛ニアリ、其他皮革、銅、鉛、蔗糖等ニテ棉毛

布及ヒ銕類ヲ送ル、

白耳義及ヒ清國トノ交易ハ殆ト二千萬磅一億弗ニ上ルモノニテ白國ヨリ輸入ノ高ハ三分ノ二ニスキ重ナル品ハ絹布毛絲ニテ輸出ノ品ハ毛布棉布ナリ清國ヨリ輸入ノ高モ三分ノ二ニスク重ナル物品ハ茶ニテ其價殆ト四千九百萬弗其佗ハ生絲ナリ輸出品ハ毛布棉布ノ二品ナリ、

英清兩國ノ貿易ハ茶ノ一項ニアルニツキ此ニ茶ノ貿易ニツキタル一二ノ要事ヲ述ヘシ茶ノ西洋ニ行ハルヽハ米英露最モ盛ナリ米ニハ日本茶行ハレ英ニハ支那茶ヲ専用ス露國ハ陸路交易ニテ支那茶ヲ輸入シ高價ノ品ヲ用フレモ英國ノ一般ニ行ハルカ如クナラス英國ニ消費スル茶ハ下等ノ品多ケレモ人口一人ニ四磅ノ平均ニ至ル其茶ハ紅茶黒茶及ヒ綠茶ナリ日本製ノ茶ヲ無色茶トイフ○抑茶ハ東印度ヒマラヤノ東ナルアッサム山脈ヨリ以北ノ地宜ニ應スルモノニテ支那日本其他暹羅安南ヨリモ少量ノ産アリ印度アッサム地方ニモ發見シ千八百六十年ノ頃マテハ百萬磅ノ茶ヲ産スルホドナリシニ印度ノ地方官甚タ注意シ八十餘萬町ノ荒地ヲ植茶會社ニ付シ今己

ニ其十分一ニ植付ケ、去年「カルカタ」ノ市場ニ出セル高ハ、一千五百萬磅ニテ、價六百五十萬磅ニ及ヘリ、遠カラス世界製茶ノ景況ヲ一變スルニ至ルヘシ、其他ノ諸國ハ、重ニ呵啡(カツフエー)ヲ用フレトモ、茶ヲ消費スル高モ、年年ニ駸駸トシテ盛旺ニ赴ケハ、佛國、墺國ノ如キハ、必ス精良ノ品ヲ好ムモノ多カルヘシ、英國及ヒ露國ハ、之ニ反シテ呵啡(カツフエー)ヲ用フル量ハ、甚タ僅少ナリ、

此外貿易ノ總高、四百萬磅（千萬弗ツ、）輸出入ノ平均ニ上ル國國ハ、第一ニハ細歐兩土耳其ト、千四百萬磅、伯爾西(ブラヂル)ハ、千三百萬磅、西班牙、以太利ト、各千百萬磅、瑞典那威(ノルウエー)トハ、千萬磅ニ上ラス、秘魯(ペリユー)ハ六百萬磅、智利(チリー)ハ五百五十萬磅、「キユヴア」其他西印度ノ西班牙屬地、及ヒ葡萄牙ハ、各五百萬磅、嗹馬ハ四百萬磅ナリ、歐羅巴ニ於テハ、墺地利トノ交易最モ微ニ、三百磅ニ及ハス、日本トノ貿易ハ、僅ニ百二三十萬磅ノ數ニスキサルナリ、〇一千八百七十一年ニ、英國ノ商船、總計二萬五千八百九十二艘、五百四十七萬二千〇十九噸ノ內、蒸氣船三千三百七十六艘、百三十萬〇五百三十八噸、水夫ノ數スヘテ十九萬九千七百三十八人アリ、諸屬地ノ數ハミナ此外ニアリ、

○英國ノ人民ハ「セルチック」俄特ノ兩種ニ源シテ、四種ニ分ル、即チ「インギリス」「ウェールス」「スコッチ」「アイルランド」、各其言語ヲ異ニシ、風俗ヲ異ニス「セルテック」人種ハ、此國固有ノ土民ナリシニ、紀元四百五十年代ヨリ、日耳曼地方ヨリ、次第ニ遷徙セル「アングロ人」（「シレース、ウィック」邊ノ土民ナリ）薩撒人、（薩撒普魯士ノ土民）英倫ノ平野ニ蔓衍シ、固有ノ土民ハ蘇威ノ山、愛蘭ノ島ニ入リタリ、日耳曼ノ遷民ハ、即チ俄特ノ種ニテ、之ヲ「アングロサキソン」人種ト云、其後瑞典大尼ノ（今ノ嗹馬國）人侵入シ、尋テ佛ノ諸曼的人侵入シ、合テ英倫ノ地ニ住ム、是ヲ「インギリス」人種ノ來由トス、ミナ俄特ノ種ナリ、其言語ノ相異ナルハ、實ニ別境ニテ、我奥羽ノ西海ニ於ル、原同クシテ聲音ノ訛セルカ如キニ非サルナリ、今各國ニ行ハル、英語ハ、日耳曼ニモトツキタル「インギリス」ノ語ニテ、米國ノ語モ亦然リ、而テ聲音ハ各異ナリ、又內國ニテモ、聲音ノ訛ハ各地ニ同シカラス、之ヲ概スルニ、米英ノ兩國ハ、眞ニ子母ノ國ニテ、言語風俗モト大同小異ナレドモ、米人ハ活氣ニテ操事ミナ麁大ナリ、英人ハ周密ニテ精美ヲ務ム、スベテ英國ノ物品ハ、其造搆堅牢ニテ、久シキニ堪ヘ、精巧ナルヲ以テ、世ニ重セラル、或人之ヲ評ス、英國ノ品

ト佛國ノ品トヲ併セテ之ヲ觀レハ佛人ノ造レルモノ人ヲシテ羨美ニ堪ヘサラシメ其價モ亦賤ク殆ト英ニ半減ス然ヒ之ヲ用ヒテ其刓弊セルニ及ンテ之ヲ算スレハ英人ノ造ル所其利用ヲ盡スニ永キ年月ヲ亘ルヿ更ニ其價ヲ増シテ之ヲ買フモ可ナリト是英ノ所長ナリ唯都雅精緻ノ工ニ至リテハ、勉勵スルモ竟ニ佛ニ及フ能ハス其勇氣モ沈重ニテ輕鋭ナラサルハ常ニ其勝ヲトル所ナリ故ニ守ルニ固ク進取ニ鈍シ之ヲ碁ニ比スレハ英ハ定石ヲ守リ計算ヲ密ニシ常ニ二三石ノ贏ヲ取テ止ム佛人ハ往往ニ天外ノ落想ヲ下シ滿面ノ勝ヲ圖リテ人ノ耳目ニ快キ壯擧ヲナス英國近年久シク太平ニテ其兵力ノ強ヲ實際ニ用ヒシヿ少シ往年佛ト合從シテ露ヲ「カラミヤ」ニ挫キシトニハ其戰鋒ハ意外ニ鈍カリシト云、

○英國內ニ於テ富庶ノ大概ハ如此シ此記述ヲミレハ人ミナ想ハン英ノ全國ハ黃金花ヲ結ヒ百貨林ヲナシテ貴賤上下悉ク皆昇平鼓腹セント夫然リ豈夫然ランヤ抑安樂ハ艱苦ノ結ヒシ果ニテ富貴ハ勉強ノ開シ花ナリ英國ノ富庶世界ニ冠タルハ其人民ノ營業力他ニ超過スルニヨル是ヲ以テ之ヲ謂

へハ「英國ニ住スルモノ「頃刻モ懶惰スルヲ得ス「嘗テ聞ク西班牙人ハ「終日睡ルヲ業トス「又日ク英人ノ足跡ハ地ニ著止セスト「故ニ西班牙ニアリテハ「午睡ヲ少クスレハ「勤勉ノ人ト稱スルニ足ル「倫敦ノ市ニスキ「常歩シテ行クモ「己ニ惰容ヲ覺フ故ニ衆ノ精力續カスシテ「窮民ノ多キヿ亦他國ニ比スレハ「殆ト高等ナラン「英倫ノ生口二千三百萬ニテ「救濟ヲ受ル貧民百萬ニスク「都鄙ノ人「ミナ生理ニ刻苦ス「家業ノ計算甚タ周密ナリ「土曜日ノ夕ニハ「夫婦帳簿ヲ合セテ一周ノ計算ヲナス「錙銖ヲ論シテ遺スナク「日用帳簿ハ「蠅頭ノ字ヲ以テ「全紙ニ充塞シ「酤價ノ賤ヲ價主ニ呈スレハ「價主眼鏡ヲ拭ヒ「條ヲ逐テ點撿シ「己ノ帳簿ト比較シ「些ノ妥當ナラサル所アレハ「價ヲ論シテ肯テ假借セス「其刻苦營生ノ風ヲナセル殆ト我邦人ニ比スレハ鄙客ノ貧民ニ似タリ、街頭ニハ行人蟻ノ如ク集リ「蜂ノ如ク散シ「奔走經營スルモノ「少シク技藝ニ乏シキハ「一日ニ獲ル所ノ價ヲ問ヘハ「只一二「シルリンク」「賃錢ニ役セラル、モノナリ「十字ノ街ニハ「丐兒徙跣シテ集リ「帚ヲ取テ遊客ノ前ヲ導キ「履刷ヲ提ケテ其足ヲ守ル「賣溺ノ婦人ハ「倫敦中ニ十萬人ニスク「少シク人行少キ街

ニ至レハ、偸兒徘徊シ、前ヨリ帽ヲ壓シ、背ヨリ懷ヲ探リテ逃レサル、殷劇ノ市ニハ、拐兒輩（イタツラモノ）ヲナシ、數歩ノ間ニ、金鎖玉鈎、烏有トナル、少シク寥落ノ郷ニハ、短銃ヲ携ヘ、毒藥ヲ懷ニシテ、行旅ヲ惱スノ賊アリ、鐵道滊車ノ上ニハ、博徒拐兒（カタリ）、各車ヲ回リテ田舎漢（イナカモノ）ヲ誆誑ス、之ヲ聞ク倫敦ノ内ニ、入水ノ河アリ、窮困ノ男女、此ニ投身スルモノ、常ニ絶ヘス、惡黨ノ房アリ、百種ノ無賴ミナ集リ、賭博ヲ張リ、鴉片ヲ吸ヒ、惡狀ミナ備ルト、蓋年年收ムル所ノ、巨萬ノ利益ハ、ミナ豪家ノ包括スル所トナリ、保護ノ法周備ニシテ、産ヲ傾ルモノ少ク、俄然ニ業ヲ起シ、俄然ニ倒産スルモノ少シ、英倫ノ全土ニ土地ヲ所有セルモノハ、年年ニ其數ヲ減シ、今ハ唯二萬人アルノミナリト、又愛蘭ニ於テモ貴族一千餘家ノ外ニ、地主ハ只八千四百十二人アルノミト云、此一事ニテモ、以テ知ルヘシ、富ムモノハ日ニ富ミ、貧ナルモノハ終身乾乾トシテ、僅ニ自ラ食スルノミ、國中ノ民貧富ノ均シカラサル如此シ、故ニ險ヲ越ヘ遠キヲ渡リテ、利ヲ他方ニ營ム、英人ノ米ニ移ルモノ、年年十二萬人ニ及ヒ、其他加拿佗「オヽスタラリヤ」ニ移ルモノヲ幷セ計（カソ）フレハ、殆ト三十萬口ニ及フトナリ、米國ノ植民ハ、英國ト獨逸

トノ移住民ヲ仰ク移住民ノ多キハ其國生計ノ難キ徴ナリ
○英國ノ學校ハ「カンブリッチ」ト「オキシホール」兩所ニ建タル大學校尤モ盛大ニテ英國ノ鄒魯トモ云ヘキ所ナリ此ニ地學校ヲ設ケルヿ英國ノ歴史ニ於テ最モ久シク在昔諾曼的(ノルマンヂー)ヨリ侵領セラレシキヨリ已ニ此ニ學校アリキ此時代ヨリ猶後ノ代ニ至ルマテモ國中ニ文學ノ行ハルヽハ僧ト貴族トノミニテ佛文ト羅甸語ニテ政律歴史經文ナトヲ著述シテ讀ミ且抄紙印刻ノ發明モナキ世ニテ書籍ハ寫本ヲ用ヒ別テ貴重ノ品ナレハ王侯寺院ニ僅ノ小文庫ヲ存スルノミ千二百年ノ比ニ寺院ニテ建タル學校五百五十餘所ニ及ヒ文學ノ運ハ僧侶ノ手ニアリ唯貴人ニ行ハレタリ間ニ地主豪家等或ハ之ニ志スモノモアレ𪜈概シテ下民ニ及ハス賤者ハ之ヲ習フヲ欲セサルノミナラス國法モ亦許サス恰モ我邦ノ輓近マテノ風俗ニ符契セリ○一千二百年ノ代ニ抄紙ノ發明アリ此頃ヨリ文學ヲ重スルノ風微ニ其端ヲ啓キ一千四百年代ニ至リ銅板活字ノ發明アリ此等ノ便利ヨリ千五百年ノ頃ヨリ文學稍歩ヲスヽメ各宗ノ寺ヨリ附屬ノ學校ヲ建テヽ童兒ヲ教導スルヲ始メ

タリシヿ是ヲ小學ノ起リトス又上等ノ人ニ文學ハ久シク行ハレタレ𪜈民間ニ用フル語ハ諾曼(ノルマンヂー)ヨリ化セシ薩遜(サキソン)語ナレハ貴人ノ學ビシ佛語ハ高尚ナレ𪜈通セス而テ上下ノ交際ハ自然ニナカルヘカラサレハ貴人狂テモ英語ヲ學ハサルヲ得サル勢ヲナシ是ヨリ漸ク諸書ヲ英語ニ譯シ人民始テ文學ニ入ル捷徑ヲ開ケリ此史ヲキケハ現今我邦ニテ上等ノ民ハ漢洋ノ語ヲ習ヘ𪜈民間ノ俚耳ニ入リ難ク賤者ハ書籍ヲ高尚ノヿトシ就學ノ意ヲ興サヽルト其景況ヲ同クセリ〇一千六百年ノ比マテ僧侶ノ輩ハ文學ノ人民ニ及フヿ己(オノ)ニ利アラザルヲ悟リテ寺院附屬ノ小學ヲ毀チ教育ノ途ヲ荒セシヲ以テ文明一頓シタリ然𪜈銅版ノ功業廣マリ文籍廣布シタレハ抑遏スヘカラサル勢トナリテ一千六百八十年ニハ英倫ノ人民其子弟ヲ學校ニ送リ私ニ教師ヲ延クモノ五十萬戸ニ及ヒ夫ヨリ千七百年ヨリ八百年マテ「チャリティースクール」「ソンテースクール」ナドノ建設アリテ下等教育ニ進歩ノ階ヲアタヘ一千八百十一年ニ始テ「ナショナルスクール」ヲ建ツ國立學校ハ是ヨリ始レリ一千八百七十年ノ記載ニヨレハ吟味ヲ經タル學校一萬〇九百四十

九ク所ニテ、就學ノ生徒百九十四萬九千八トナリ、頻年ノ文學ハ頗ル其步ヲ進メタリト云、

○英國ノ人、宗門ヲ信スルニ厚キハ、米ト伯仲ナリ、國中ニ重ニ行ハルヽハ「プロテスタント」敎ニテ、以テ國敎トナス、羅馬カドレーキ敎モ行ルヽト雖モ、九分ノ二ニスキス、又猶太敎ヲ信スル徒モアリ、每敎ノ流派ニ至リテハ、其類甚タ多シ、英倫ニテハ「エピスコハシー」宗ヲ主トス、所謂英吉利宗ナルモノニテ、其禮拜ノ式等、大ニ天主敎ニ類セリ、蘇部ニテハ「プレススペテリヤンス」宗ヲ主トス、所謂蘇格的宗ナリ、愛倫ニテハ羅馬カドレーキ敎專ラ行ハル、其流派ノ數ヲ擧レハ、四十派ニ下ラス、○敎門ハ西洋ニテ風化ヲ維持シ、生業ヲ勸スニ緊要ノモノニテ、人民ノ信否ハ、其風俗ニ關スルヿ輕カラス、英國ノ政治家、特ニ之ヲ重ンシ、禮拜ノ敬ハ、上下ニ通シテ敢テ闕クヿナシ、市中一般、土曜日ノ夕ヨリ店ヲ鎖シ、安息日ニハ、商賈殆ト行ハレス、行人旅客モ、必ス其ニ禮拜堂ニ至ル、蘇部ノ如キハ、其習ハセ殊ニ甚シ、旅寓ノモノニテモ、禮拜ニ怠ルモノハ齒セサルニ至ルトナリ、○宗門ノ一種、米歐ノ耶蘇敎ニ於ル、亞細亞西部

ノ「マコメツト」教ニ於ル、東部ノ佛教ニ於ル、其源ヲ同クシテ、其流ヲ異ニセルニ似タリ、其民教ヲシクヤ、得アリ失アリ、僧尼ノ徒、國ニ利ヲアタヘルト、弊ヲ生スルト、常ニ相半ハシ、人智ノ開ケルニ從ヒ、殆ト失笑スヘキモノモ多シ、然レトモ人ノ意識ヲ誘キテ、其品行ヲ善ニ赴カシメ、生命利欲ヲ後ニシテ、守ル所アリ、犯サヽル所アラシメルハ、之ヲ教門ノ維持ニヨラサルヲ得ス、天ヲ誣ユヘク神ヲ欺クヘク、法規ノ存スル所、全ク之ヲ政府ノ維持ニ附セハ、朝廷ノ上ニハ、誣罔百出シ、閨閤家庭ノ間ニハ、穢行萬殊ニテ、自ラ欺キ自ラ誣ヒ、其偏勝テ言ヒ難キモノアラン、教門ノ弊タル、少シク學知アルモノハ之ヲ論ス、近年歐洲ニ於テ「ナチュラルヒロソフィー」「モラルヒルソフィー」ナドノ學行ハレ、以テ教門ノ弊ヲ去テ、其益ノミヲ存セントス、然トモ其大約ヲイヘハ、耶蘇經文ノ抄錄ノミ、佛人ハ教門ヲ忽ニシ、英米ハ之ヲ重ンス、憶フニ教門ハ、今ニ當リ猶ナカルヘカラス、已ニ之アルハ、之ヲ忽ニスルハ、之ヲ重ンスルニ如カサルナリ、

○英國ノ貨幣ハ、一「ホント、ステレリンク」（卽磅）ヲ、二十シルリンク」ニ分チ、一「シルリンク」ヲ十二「ヘンス」ニ分ツ、四「シルリンク」ヲ以テ、米ノ一弗、佛ノ五「フランク」

ニカユ、即チ我一圓ト同比較ナリ、米英佛互ニ銀行ヲ組ミテ、融通ニ障リナキヲ以テ、互ニ其價ニ大差ヲ生セサレヒ、我日本ニテハ、常ニ十分ノ九ヲ以テ交換セリ、紙幣ハ、倫敦ノ英倫銀行ニテ印刷シ出ス、最小ナルハ五「ポンド」ニ止ル、規則甚タ嚴正ナルヲ以テ、流通甚タ宜シ、此頃ハ佛國國債ヲ起シ、紙幣ヲ増製スルノ際ニテ、英ノ紙幣ヲ佛ニテ交換スレハ、一「ポンド」ヲ二十五「フランク」四十「サンチーム」ニカエ、金貨ノ價ハ十「サンチーム」ヲ減セリ、各國ヲ回リテ、紙幣ノ相場、原價ヨリ高價ニテ交換ヲナスハ、唯英國アルノミ、

七月十三日陰雨○此日西暦一千八百七十二年八月十六日
午後一時ニ愛蘭ノ「パスチツト」ノ燈臺前ヲ駛シ、二時ニ「クインス、タウン」港ニ著ス、二十年前ニ今ノ皇帝、愛蘭(アイラント)島ヲ巡行ノ時、此ヨリ上陸ス、因テ此名ヲアタヘタリ、港ハ左右ニ岡巒斗出シテ、一小灣ヲ抱ク、此日雨フリ波强ク、灣口ニテ船ヲトヽメ、客ヲ上陸セシメテ發シ、夜ニ入テ英倫、及ヒ愛蘭(アイランド)ノ間ナル「セントヂョーロヂ峪(チャンチル)ヲ駛ス、

十四日晴風恬ナリ
朝威爾斯(ウエールス)地方ニソフテ駛行ス、威爾斯ハ、英倫ニ於テ山多キ地方ト稱ス、山巒重疊トシテ海ニ蘸(ヒタ)シ、中ニ高峯ヲミル、此日風死シテ、海水盆ノ如シ、里味陂(リヴアプール)ニ達スルマテ海面渺渺トシテ、向面ニ一點ノ山巒ナシ、唯背後ニ、威爾斯地方ノ山山ヲ、螺黛ノ如クミル、殆ト再ヒ大洋ニ出ルカト疑ヘリ○此海口マテ英國政府ヨリ迎ヘトシテ、接伴掛リ「ゼ子ラール、アレキサントル氏」譯官「アスト

トソ氏及ヒ我邦派出ノ諸官員ト、共ニ小蒸船ヲ碇シテ待タリ、因テ共船ニ乘移リ、木港ヲサシテ駛行ス、航路ニ浮キ燈明臺ナトアリ、一體遠淺(トオアサ)ノ處トミエ、礁標ナト多ク、港口ニ近ツクナルヲ覺フレト、倚地方ヲミス、二三英里行ニテ、始テ里味陂(リヴアルプール)ノ海岸ヲ認ム、左右ハ淺洲ニテ、海水ハ渾レリ、港口ヨリ美索爾(ミイルシール)河ヲ上ル、三英里許ニテ、浮波戸(ウキハト)ニ達ス、○此港ハ亞米利加諸國ト交易ノ要津ニテ、波戸(ハト)ノ設ケ精工ヲ盡シ、北岸ニ大船廠(ドック)アリ、六方英里ノ地域ニ石垣ヲ匝シ、帆檣林立ス、浮波戸(ウキハト)ノ前ニ、當府ノ知事(メヨー)ヨリ享應ニテ、馬車ヲ裝フテ待ツ、岸上ノ群集蟻ノ如シ、邏卒(ポリス)ニテ路ヲ囲メ、僅ニ混雜ヲ免レ、一條ノ路ヲ開キテ走リ、府中ノ蒸氣車驛傍ナル「ノースウェストロン、ホテル」ニテ晝食ヲ辨シテ、蒸氣車ニ上ル、○此ハ倫敦(ロンドン)往來ノ驛ニテ、驛舍ノ大ナル、蒸氣車ノ多キ、般般轔轔トシテ旅客往來ノ絶ヘルヿナク、其混雜謂ン方ナシ、○驛口ヨリ隧道(トンネル)ヲ刳拔(グリヌキ)テ、市中ノ屋廛鱗比ノ底ヲ走リテ、府ノ北部ニ透リ出ツ、程二英里ニ及フヘシ、洞中ハ暗黑ニテ、燈ヲ點シテ纔ニ車ヲ照ス、夫ヨリ美索爾(ミールシール)河ノ上流ニ架セル橋ヲ過エテ走ル、沿路ノ地ハ、ミナ平坡平原ニテ、遠キヲキハメテ山巒ヲミス、鐵路

上ハ沙ヲシキ塵ヲ拂ヒ兩側ノ塢ハ草ヲ削ル毛ノ如ク修掃拭フカ如シ土民ノ田野ヲ分チテ農耕ヲ勉ムルミナ周密ニテ翌到ナルコ米國鐵路ノ簡麤ニテ到ル處曠原ヲ耕鋤スル景況ニ比スレハ頓ニ面目ヲ改ム此時正ニ立秋後ナルニ滿野ミナ麥ヲ收ムルノ時候ニテ刈タル稈ヲ田ニシキタルアリ或ハ車ニ載テ去ルアリ總テ西洋ノ地ハ緯度高シ野ニ水田ナシ牧地ニアラサレハ乾田ニテ十月ヨリ麥ヲ種ヘ七八月陰暦ニ至テ收獲スルト云然則立夏ヲ以ヲ麥秋トスルハ只東洋ノ月令ナリ○是ヨリ進行スレハ大邑ニハ驛舎アリ、小邑ハ地ヲ剗シテ去ル中途ニテ日瞑シ夜十一時二十分ニ倫敦ノ「ユーストン」驛ニ著ス車ヨリ下リ馬車ニテ「ポツキハム、パレイス、ホテル」ニ宿ヲ定ム、

○此ニ倫敦府ノ大形ヲ記シテ此府回覽ノ引起トナスヘシ、

倫敦府ハ大不列顛聯邦ノ首都ニテ「ミツトルセキス」及ヒ「エツセキス」兩州ノ地ニアリ遶迷斯（テームス）河ノ南岸「シュルリー」及ヒ「ケント」兩州ノ地ニ跨リ北岸ノ地勢ハ一英里ニ付三十六尺ノ斜高ヲナスト云倫敦府ニ属スル地積ノ總數ハ、六百九十方英里人口四百〇二萬五千六百五十九八アリ北緯五十一度三十

分四十八秒「西經零度五分三十八秒ノ地ニ「王宮ヲ建テ「是ヲ中心トシ「中幅ナル地積七萬七千九百九十七「エーカー」（即チ百二十三方英里我四里餘四方ナリ）ノ地ヲ以テ府中トナス「府中ノ人口ハ「一千七百七十二年ニ「三百二十五萬千八百

○四八ヲ數ヘタリ「街路ノ長サヲ連ヌレハ「六百十二英里「其傍ニ建タル市店屋宅ヲ總レハ「五十二萬八千七百九十四軒アリ「高サ四層ヨリ八層ニ至ル「其地ハ達迷斯河ヲ抱キ「海口ヨリ廻ル六十英里ノ上流ニアリ「一般平地ニテ「道路ニ高低ノ雜ナシ「市街密接ノ地ハ「南北四英里半「東西七英里「達迷斯河ハ「西ヨリ東ニ流レテ「其中腹ヲ貫ク「三分ノ二ハ河北ニアリ「三分ノ一ハ河南ニアリ「總テ倫敦ニテ殷劇ノ區ハ「ミナ河北ノ地ニアリ「河南ノ地ニハ「製作所多シ、綠威「ウヽルウィッチ」ノ如キハ「倫敦府ノ所轄ナレ𪜈「河ノ下流ニテ「亦一區ノ都邑ヲナセリ「達迷斯河ハ「倫敦貿易ノ水路ニテ「河幅一千尺ニスク「最下流ニ架シ渡セル橋ヲ倫敦橋ト云「諸商船ノ上リ來ルハ「此ニ至テ止ル「凡ソ橋ヲ架スル片ハ船舶夫ヲ過キテ上ルヿヲ得ス故ニ河流ニ橋ヲ架スルハ「舶船ノ航スヘキヤ否ヤヲ測量シテ終古船運ノ限リ此ニ盡クルヲ定メテ架スヿ西洋架橋ノ達法ナリ否スレハ國ノ鴻益ヲ妨害ス此ヨリ上流ニハ「唯小船ノ往來スルノミ「倫敦橋ノ下流ハ「倫敦

倫敦橋 右ニ銅標ヲ望ミ 左ニ聖ポール寺ミユ

倫敦隧道ノ内景

貿易ノ港ニテ、橋ノ北岸ニ運上所ヲ建ツ、宏壯ナル白石ノ大舘ニテ、白、蘭、獨逸、嗹、瑞ノ蒸氣商船ハ、常ニ此マテ上リ來ル、風帆船ハ河流曲折スルヲ以テ、進行ニ難ク、猶數十英里ノ下マテ入ルノミ、運上所ノ下流ニ、連接シテ船廠アリ、倫(ロン)敦(ドン)船廠(ドツク)ト云、此内ニ烟草倉、陶器倉、酒倉等アリ、桶ヲ積ミ箱ヲ推シ、常ニ處處ニ山ヲナシテ、全府ニ配布シ、餘波ハ各都邑ニ及フ、倫敦中ニ一歳ニ食スル肉ハ、一千八百七十一年ノ記載ニヨルニ、總居畜ノ數、大小百八十五萬頭、牛ヲ屠ル二十四萬頭、犢牛三萬頭、羊ヲ屠ル百五十二萬五千頭、豚ヲ屠ル八萬五千頭ナリ、西部ヨリ入ル肉ノ斤數、八萬七千七百七十噸、外國ヨリ輸入ノ肉ハ、六萬七千八百七十五噸ナリト云、○又倫敦ニテ、一歳ノ貿易ハ、一千八百七十一年ノ記載ニヨルニ、輸出ノ貨物ハ、其價二千七百五十萬磅、其内ニ刀刃ノ類、價二百萬磅、棉布棉絲ノ價、五百萬磅、麻絲ノ價一千五百萬磅、絹帛ノ類價百五十萬磅、鑌器及ヒ諸礦物ノ價四百萬磅ナリ、此ニ漏ルヽ雜件ノ貿易ハ、此外ニ猶多シ、其輸入ノ貨物ハ、其價一千六百磅、大抵製作ノ原品ト食用品トニテ、羊毛ノ斤數ハ三億萬磅、珈琲(カツフエー)豆一億二千萬磅、酒一千萬「ガルロン」、火酒九百萬「ガルロ

ソ」、果類百「ウェー」食料物品品二百萬「ウェー」、黍千二百萬「ウェー」、香料千二百磅ナリ○倫敦船廠ノ下流ニ於テ、河南北ノ往來ヲ便ニセンカ為メニ「ブルネール」ト云人ノ發明ニテ、一千八百四十三年ニ刳リ拔ケル、河底ノ隧道ハ、世ニ高名ナル築造ニテ、高サ二丈五尺、廣サ一丈二尺、洞穴ヲ磚瓦ニテ築固メ、河ノ底ヲクヽリテ、人ヲ往來セシム、船舶ハ上ニ駛行シ、行客ハ下ニ通行ス、倫敦ノ奇中ノ一タリ、洞口ハ石礎(イシダン)ニテ上下スルユヘニ、馬車ヲ通セス、河ノ幅ハ百數十間ニ及フ、洞中ニハ瓦斯燈ヲ點ス、風氣通暢ヲカキ、近來ニテハ餘リ通行モ繁昌セスト、然ルニ水底ニ道ヲ通スルノ偉業ヲ創メタルハ、此隧道ヲ創始トス、近頃鐵道會社ヨリ引受ケテ、府街ヲ回ル地底鐵道ノ線ニ接セントスルト云、

○倫敦橋ヨリ上流ニ向ヒ、十三橋ヲ架ス、其四ハ鐵道ヲ通ス、人馬ヲ往カシメス、其九ヲ車馬行人ノ橋トス、其建築ミナ其精巧ヲ極メ、經費甚タ巨大ナルコ、左ニ表列スルカ如シ、

第一「ロンドン」橋(ブリッヂ)　長サ九百二十八尺、廣サ五十三尺、石橋ナリ、一千八百三十一年ニ、二百萬磅ニテ架成ス、府中第一ノ美橋ナリ、

第二「ソーツウォーク」橋　長サ七百〇八尺、廣サ四十尺、鐵橋ナリ、一千八百十九年ニ八十萬磅ニテ架成ス、
第三「ブラックブレヤス」橋　長サ九百九十五尺、廣サ四十二尺、石橋ナリ、一千七百七十九年ニ二十六萬磅ニテ架成セルヲ、三年前ニ改築シ、其精ヲ極ム、經費ハ未詳、
第四「ウオートルロー」橋　長サ千二百四十二尺、廣サ四十二尺、石橋ナリ、一千八百十七年ニ百十五萬「ポント」ニテ架成ス、其美倫敦橋ニツク、
第五「ウヱストミニストル」橋　長サ千二百二十三尺、廣サ四十四尺、石橋ナリ、一千七百五十一年ニ八十九萬磅ニテ架成セルヲ、一千八百六十二年ニ石橋ニ改築ス、其工甚タ美ナリ「ウォートルロー」ト相角スヘシ、
第六「ランベス」橋　長サ九百九十〇尺、廣サ四十尺、懸橋ナリ、一千八百十四年ニ二十八萬磅ニテ架成ス、
第七「ヴォシボール」橋　長サ九百九十尺、廣サ四十尺、鐵橋ナリ、一千八百十四年二十八萬磅ニテ架成ス、

第八「セルシー」橋　長サ九百七十尺、廣サ五十三尺、一千七百七十二年、二萬磅ニテ架成セル木橋ナリシニ、近年石橋ニ改築シ、精工ヲ盡シ、又評判ノ美橋ナリ

第九「パッテルシー」橋　此橋ハ最上流ニテ、記載未詳ナラス

「ウェストミニストル」橋ヨリ、倫敦橋ニ至ルマテハ、府中ニテ繁華ノ街地ナレドモ、河岸一帶ハ石ヲ密甃シテ岸ヲ固メ、岸上ニ大路ヲ開ク甚タ濶ニ、河岸ニ沿ヒテ人家ナシ、唯瓦斯燈ヲ植ヘテ夜ヲ照ス、星光點點トシテ河ニソフテ連ル、月夕雪夜ミナ勝致ヲ極ム、○橋間ニ又鐵道ノ橋アリ、屋甍ノ上ヨリ飛亘リ來テ、河傍ノ驛ニ達ス、鐵路ノ下ハ、鐵ノ巨柱ヲ以テ支持シ、大路ノ上ハ、石ヲ疊ミテ彎弧ヲナス、「アルチ」ト云我眼鏡形ノ築石法是ナリ、車輪ハ雷ノ如ク驟轟シテ、人ノ頭上ヲ奔走シ、驛ヲ出テ驛ニ入ル、車ニ搭スル客ハ、蜂ノ如ク屯シ、車ヲ下ル客ハ蟻ノ如ク散ス、○又河岸ヲ回リテ、地底ニモ鐵道ヲシク、「シチー」ノ「メンション」館邊ヨリ首ヲ起シ、河ニソヒテ遶リ、「ウオシポール」橋ヨリ、府ノ東ヲ回リテ、府ニ至ル、府ノ三分一ヲ匝回ス、大半ハ人家ノ下ヲ洞シテ、地道ノ上ヲ走ル、洞穴ハ磚瓦、或ハ

「レーゼント、ストレート」倫敦第一ノ美街

チャーリンコロス汽車驛

石ヲ彎弧ニ築キ疊ミタレハ牢固ナルヿ混全ノ石ヲ埋メタルニ同シ鐵路ノ過ル街上ノ屋ニ坐臥スレハ終日殷殷トシテ雷聲ノ地下ニ震フヲキク倫敦ノ市中ハ天ヲ走ル車アリ地ヲ駛ル輪アリ製作ノ奇工ヲ極メタリ、

府中ノ道路ハスヘテ磚瓦形ノ石ヲ密甃ス一千五百年代此府ノ僅ニ十五萬人ノ數ヲナセシ比ハ街路ノ設ケモ甚タ狹隘ニテ下水ヲ漏ス法モ付カサリケレハ人口ノ增スニ從ヒテ疫癘ナト流行シテ難義ノヿモナリキ今ニモ倫(ロン)敦(ドン)城(タワル)ヨリ「シチー」一帶ノ地ヲ經テ「ウォートルロー」橋首邊マテ四方英里許ノ地ハ尤モ街區密接シテ街頭ニ廣區小苑ノ設ケモナシ近百年來力ヲ盡シテ、路ヲ開ケリト雖ヒ寸金ノ地ナレハ唯一二ノ街道ヲ擴開セルノミ故ニ車馬行人ノ往來殊ニ混雜ニテ更ニ繁華ノ景況ヲ增ス晩年ニ開ケシ區ハ道路法アリテ廣濶ナリスヘテ湫隘ノ巷モ石ヲ敷キ車ヲ通スヘキモノ多ケレヒ小徑ニ至テハ僅ニ八行ヲ容ルヽニ止ル○通街廣衢ニ於テハ街車ヲ設ク英國ノ街車ハ米國ト頗ル式ヲ異ニス米國ノ街車ハ鐵規ヲ駛ル故ニ小輪ヲ以テ車廂ヲ受ク滊車ノ式ノ如シ英ノ街車ハ石路ヲ轉スル故ニ大輪ヲ以テ車廂

ヲ受ケ、輪ハ車外ニアリ、廂上ノ屋根ニ鐵欄ヲ匝シ、車廂ノ側面ヨリ鐵梯ヲ下シ、行客ヲシテ廂内廂上共ニ座スルヲ得セシム、一車ノ乘ル所、六十八ニ及フコアリ、馬ハ大抵猛力ノ騾二匹ヲ服セシム、乘客ノ賃錢ハ、路ノ遠近ニヨリテ差等アリ、上車ノ後ニ切手ノ手合セニテ收ム、亦切手ヲ用ヒサルコ多シ、巷衢ニハ又馬車アリテ立ツ、二馬ノモノアリ、一馬ノモノアリ、往來ノ途次ニハ、至ル處ミナアリ、其行クヘキ地ノ遠近ニヨリ、時間ノ計リ價ヲ定ム、備ニ規則アリ、凡府中ノ車數ハ、一千八百七十二年ノ記載ニヨルニ、六馬車一千四百輛、二馬車八千百〇八輛、一馬ノ小車「カップ」ハ其數ヲ詳カニセサレト、沿途ニテ車ノ番數ヲ賭ルニ、番號一萬以上ニ登ルモノモアリ、必ス府廳ニテ街車「カップ」ニハ、幾隻ノ定限アルコナルヘシ、スヘテ服車ノ馬ハ、二萬五千匹アリト云、近來議院ニ於テ、米國ノ如ク、鐵規ヲ施スコヲ許サントスト、已ニ一二ノ街ニ於テ、鐵路ヲシキタル處ヲミタリ、○馬車ハ、六「ペンス」ニテ一「マイル」ヲ走ル、其規則ヲ牋面ニ印刷シテ、車中ニ張ル、若シ程長ク時促スレハ、地下ノ滊車ニ上ル、上等ハ六「ペンス」、中等ハ四「ペンス」下等ハ三「ペンス」ニテ、全府ヲ周匝シ、數分時ニ

倫敦「シチー」之廓門

新市場ノ廐舎

ヲ達ス迂路ヲ走リテ捷路トナル、ス、ヘテ府中ノ人ハ、其往來常ニ匆忙トシテ、足跗地ニ著スシテ走ル、

英人ノ氣象ヲ自評シテ、足跗シハラクモ地ニ留メスト云、英人ノ通語ニ、時刻ハ金ト云、此等ニテ一般ノ人民、職業ニ勉强シ、粹勵風ヲナシタルヲ知ルヘシ、歐洲ニテ英、佛、獨逸、米利堅ノ人ヲ歷評セル語ニ、此四國ノ人ニ、一日六時ノ時ヲ與ヘテ、事業ヲ課スレハ、米人ハ四時ニテ終リ、其餘ハ逍遙遊衍ス、佛人ハ四時ニテ了リ、酒ヲ飮ミ歌舞ス、英人ハ五時ニテ終リ、一時間ハ別業ヲ勉ム、獨逸人ハ勉强スル六時ニテ未タ終ラス、夜間ニ補ヒテ、猶其餘刻ニ勉强スルト、此喩ヘ四國人ヲ善ク評セリト云ヘシ、

○府中ヲ六部ニ分ツ、東部ヲ「シチー、オフ、ロンドン」トス、倫敦ノ舊部ニテ、地積僅ニ六百「エーカー」我二百四十町ニスキス、當府ノ最モ繁華ナル貿易ノ地ナリ、人口十六萬ニ越エ、特殊ノ權利ヲ有シ、他部ノ界ニハ街頭ニ關門ヲ作リ、府ノ知事、其鍵ヲ預ル、英國王モ其承諾ヲ得テ開門セサレハ、敢テ入ルヲ得ス、之ヲ別段ナル「コルポレーション」ノ地トシテ、自然ニ不羈獨立ノ體ヲナセリ、貿易都府ハ、其生

理總テ工商ノ業ニ屬シ、會社ヲ協結スルノ極ハ、全府一體ヲナシテ、自然ニ共和政治ノ體アリ、蓋シ共和政治ナルモノハ、元會社ノ流行甚タ盛ナルヨリ、遂ニ治體ヲ創メタルモノ歟、英國ノ各都府ニ、種種「コルポレーション」ノ會社行ハルレヒ、倫敦「シチー」ハ殊ニ格別ノ免許アル處トス〇此一部ハ、古代ヨリノ舊都府ナレハ、街路モ狹隘ニテ不規則ナリ、其繁昌ニ從ヒ、往來稠ク、肆店盛ンニ常ニ鬧熱ノ場ヲナス、達迷斯河ノ下流、倫敦船廠ノ上流ニ、倫敦ノ古城アリ、「シチー」ノ地域ハ、其西岸ニオコリ、運上所及ヒ倫敦橋ヲ越エテ、「ブラッキ、フレヤス」橋ノ上流マテ、達迷斯ノ北岸ニソフタル、一帶ノ區域中ニ於テ、六大街衢ノ衝頭ヲシメ、「メンシヨン」館、府廳、銀行、及ヒ相場會所ヲ建ツ、銀行ハ即「バンク、オフ、エンケランド」ナリ、此他「シチー」内ニ至大ノ銀行ハ、猶多シ、相場會所ハ、所謂ル「ロヤル、エキステンチ」ニテ、商人此ニ集會シ、入札シテ相場ヲ定メ、商事ノ取組フ定ムル所ナリ、ミナ白石造ノ大廈ニテ、建築ノ壯麗堅固ナル、府中ノ眼目トスヘキ美觀ナリ、其他「マーケット」市場ノ長廊、電信總局、郵便總局新舊相對ス等モ、ミナ此地ニアリ〇倫敦橋ノ北岸ニ、高サ二百尺ノ銅標ヲ建ツ、是ハ千六百六十七年ニ、

倫敦運上所（コストンハウス）

英倫銀行（バンクオフイングランド）向ヒノ方商人集會所（ロヤルエキステンヂ）前ニアル方

此所ヨリ火災起リ、大火トナリ「シチー」多分ニ燒失シタリ、其後追吊ノタメ此塔ヲ建タルモノナリ（東京ノ回向院ノ如シ）倫敦橋上ヲ毎日往來スル馬車ハ平均二萬二千アリ橋ヲ越テ府廳ニ向フ一條ノ通街ハ車馬中央ヲ塞キ馬首ト車輪ト相銜ミ陸續トシテ絕ル間ナシ、兩側ノ人道ニハ男女ノ往來奔走スル常ニ雜沓シ、十字街ニ於テ人道ヨリ車道ヲ横截シ向街ニ移ル所ニハ「ポリス」老幼ヲ扶ケテ車馬ノ患ヒヲ救フ車ノ運續シ來ルニヨリ數分時ヲ俟テ、初テ向フヘ移ルヲ得ルヿ多シ古ヘ齊國臨淄ノ繁華ヲ評シ車轂轚チ人肩摩ストイヒシモ其語ヲ移シテ此地ニ加フレハ誇言トセサルベシ○「ルュトカット」坂ニアル「セントポール」寺ハ倫敦第一ノ大刹ニテ中堂ノ高サ三百七十尺圓徑百四十四尺羅馬府「セントフィートル」寺（「カトレイキ」教ノ本山ナリ）ノ寫シナリ塔上ニ上レハ府中大半ヲ流覽スヘシ東方ノ地ハ羅馬ノ世ニ「ロンシニュム」ト謂ヒシ舊府ニテ古跡今ニ存ス、

○西部ヲ「ウェストミニストル」ト云亦自由ノ權利ヲ有セル「シチー」ニテ其廣サハ倫敦「シチー」ニ四倍ス人口ハ五十萬ニスク此部ハ街路規正ニテ廣濶ナリ中

ニ苑囿ヲ修メ、清楚ノ區多シ、達迷斯（テームス）河「ウェストミニストル」橋首ニ議政堂（パーレメント）アリ、
後ニ「ウェストミニストルアベイ」ハ其側ニアリ、英王ノ菩提寺ニテ、代代國王ノ
記ス
靈屋アリ、亦壯麗ヲ窮メタリ、國王即位加冠ノ大禮、王族ノ冠婚ハ、ミナ此ニテ
式ヲ行フ、○河ニ沿フテ海軍省アリ其他大藏省、陸軍省等、ミナ宏大ナル白
石ノ大廈ヲ連子、其氣象ノ宏壯ナル、米ノ華盛頓、新約克ハ己ニ陋巷ノ思ヒヲ
ナサシム「チャーリンコロス」「レーゼント」街等繁華ナル衙街アリ、「子ショナル、ガル
リー」ノ衙頭ニ廣域ヲ修鋪シ、「子ルソン」氏ヲ記念セル石標アリ、○「ウェストミニス
トル」橋ヨリ東ニ向ヒ、直衙一路アリ、其衙當ニ「ホキンハムパンイス」ノ王宮ア
リ、王宮ノ前ニハ「セントゼームス」苑アリ、中央ニ池ヲ回シ、林丘ノ設ケ、頗ル美
ヲ盡セリ、此邊ニハ官衙ヲ建陳子、殿閣魏峨トシテ、林園鬱葱ナリ、今度使節ノ
旅館ハ、其王宮ノ側ナル「ホテル」ニ寓セリ、總石造リ六層ノ大廈ニテ、倫敦中ニ
於テ指ヲ屈スル大舘ナリ、其他府中ノ大旅館（ホテル）ハ「ウェストミニストルホテル」、「ラ
ンガン」「ホテル」等ヲ首トシ、此他處處ニ多シ○王宮ノ背後ニハ「パイドパーク」
ト云公苑ヲ修メ、府中最美ノ游樂園ナリ、入口ノ大門ニハ「ウェーリントン」氏ノ

像ヲ安ンシ苑内ニハ美塔ヲ建テ今ノ皇帝ノ賚「アルバルト君ノ像ヲ安ンス夏時ニハ府中ノ豪家ミナ馬車ヲ連子テ游フ環苑ニハ貴族名家ノ邸宅多シ、

○西方「ケンシクトン」ニハ「常博覽會及ヒ墓地アリ北方ニハ「レーゼントパーク」ト云公苑アリ府中最廣ノ遊苑ニテ林樹欝茂シ中ニ禽獸苑及ヒ草木苑ヲ設ク其他「ブリッチ」「ミシヤム」印度ミシヤム」學校病院等此部中ニ集リ「ウィクトーリヤ「チヤーリンコロス」ノ滊車驛ハ常ニ往來ノ混雜ヲキハム、

○南部ヲ「ソースウォーク」ト云達迷斯(テームス)河南岸ノ地ニテ此部ニハ製造場ヲ充テ石炭ノ烟ハ天ヲ燕ス家屋ノ壯美肆店ノ華麗ハ他ノ二部ニ比セス下流ニハ「ウールウィッチ」綠威(グリンウイチ)等ノ名邑アリ此一線ノ鐵路ヲ架シ此ヨリ部ノ屋上ヲスキ、「ソースウォーク」及ヒ「ウアートルロー」ノ橋驛ニ達ス此他「ランベスト部「タワルハミリー部「メリーンボン部ハ區域廣ク人口猶稀疎ナルニ屬ス、

○抑倫敦ノ都府タル羅馬ノ世ニ於テ「ロンシニユム」トテ小都ヲナシ「アングロサキソニー」ノ朝ニハ己ニ都城トナリ賢王「アルフレット」之ヲ修營セリ今ニ存スル倫敦ノ古城ハ諾曼的(ノルマンヂー)ノ鼻祖維廉(ウイルヤム)王ノ創築ヨリ其後世世此ニ居城セリ然

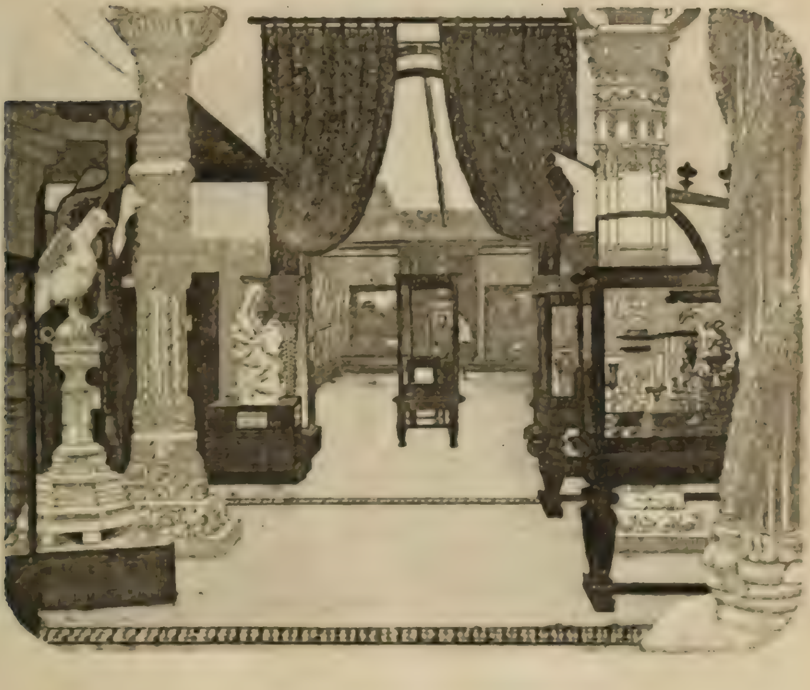
ヒ一千四百五十年ノ比マテハ、人口五六萬ニスキサル都府ニテ、市街ノ域ハ、今ノ十分一ニモ及ハス、達迷斯河濱ニハ、白鷗飛ヒ遊ヒ、一望皎然トシテ雪ノ如クナリキ、カヽル光景ナリシニ、追追ニ荷蘭人、白耳義人ナト遷リ來リテ、歐陸地トノ貿易漸ク盛ンニナリ、一千五百〇七年ニハ、已ニ十五萬人ノ都ヲナシタリ、是ヨリ繁昌年年マシ、殊ニ一千八百年代ヨリ、遂ニ其繁庶ヲスヽメ、九十六萬口ニ及ヒ、一千八百五十一年ニハ、二百三十六萬口ニ上リ、今ハ殆ント三百五十萬口ヲイルル、盛大ノ都トナシタリ、當時現存ノ古老往往ニ其幼時ノ景況ヲ記憶シテ說ク、五十年前ノ倫敦ハ、「シチー」ヨリ達迷斯河巴力門ノ邊マテ、人家ノ連リシノミニテ、西部ノ地ハ概子田圃林岡ニテ、落落ノ村家アリシテ「ホッキンハム宮」「ハイト苑」及ヒ「レーセント苑」ミナ西部ノ廣地ナリシニ、年年ニ市街ヲ開キ、今ハ紅塵燥熱ノ中心トナリヌ、車乘郵便ノ利モ甚タ疎ニ、生理モ淡泊ナリシニ、電信鐵路起リ、工藝精靡ヲ競ヒ、竟ニ此華奢ヲ極メ、從テ風俗壞レ、生計益艱ナルニ至レリト、是古老ノ常言ナリ〇倫敦ノ最繁華ナル所ニ於テハ、地價ノ貴キヿ異常ナリ、大抵其全面ニ「シルリング」ノ銀貨ヲ敷キ滿ル

價ニ及フ、如此キ地ハ甚タ多シ、是ヲ我邦ノ坪ニ積ルニ、一坪五百圓以上ノ價ナリ。故ニ府中ノ市屋ハ、地ヲ占ル甚タ儉ニ、下ニハ窖ヲ堀入ルル、一丈以下ノ處ニ及ヒ、上ニハ層樓ヲ起シ、八九層ニ及フ、最上七八九層ニハ小民住ス、猶我東京ノ路次ノ如シ、中間ニ僑居スルモノハ、較之ヨリ上等ノ民ニテ、職工、或ハ半工半商、或ハ商家ノ社員ナリ、下層ハ市廛ヲ開キ、百貨ヲ賣ル、是西洋都府ノ常ニテ、倫敦ノ如キハ、其最等ニオルモノナリ、夫レ府中ノ繁庶ハ如此ク、且府中常ニ濕霧ヲ起シ、清朗ノ日少ク、公苑ノ設ケモ、巴黎府ノ如ク多カラサレモ、一體ノ空氣ハ、人ノ健康ニ宜シク、平均毎年四十六人ニ一人ノ死人ナリト云

○府中ニテ觀ルヘキ場所ハ、枚擧ニ遑アラス、其大略ヲ擧レハ、九百箇ノ寺、二百箇ノ公學校、一千五百箇ノ私學校、百五十箇ノ病院、四百箇ノ濟貧館、五百五十箇ノ諸官府アリ、牢獄十五箇所、劇場二十二箇所、「マーケット」ナリ市場廿四箇所、商人職人ノ會館十萬箇所、其他會館、「ホテル」、料理屋、酒店等ハ、算スルニ遑アラス、府中ニ行ハル、新聞ハ、日刊ノモノ十二社アリ、一周ニ二回ト定メテ出スモノ五百社アリ、一月隔月ニ出スモノ百三十社アリ、スベテ六百四十社ニテ日

刊ノ新報、其售レ數ハ、米國高名ナル新報ヨリハ三四倍ニ及フトナリ、府中ニテ製作スル諸貨ハ、甚タ多シ、中ニモ「ソーッウオーク」、及ヒ「ランヘッス」ニ、製鐵、製革、酒造家、玻璃細工、銃彈、及ヒ蒸氣機械ノ製作場等、甚タ夥シ、紡織ノ業ハ「スピクルヒールツ」ニテナス、職人ノ總數一萬四千人アリ、此外ニ帽ヲ製スルモノ四萬人、衣服ヲ仕立ルモノ二萬八千人、書冊版刷ニ從事スルモノ一萬六千人、金銀寶石ノ細工人一萬四千人、家什器具ノ職人一萬人、砂糖ヲ製シ、車輪ヲ製シ、刀刃ヲ製スルモノ、其數ヲ記セス、「クレルケンウエル」ノ時辰儀（オキトケイ）細工、「ワッピンジ」「ブラックトル」等ニテ造船ノ業盛ナリ、

「ケンシントン」之常博覽會



同上列品館ノ内景

七月十五日晴

十六日晴

午後一時ニ外務宰相勞德[ロート]「グランウェル」氏ノ宅ヲ訪ヒ使命ノ旨ヲ告ケ皇帝ニ謁見ヲ乞フ當時皇帝ハ蘇格蘭[スコットランド]ノ離宮ヘ遊幸中ニテ從來ノ國例ニ外國使節ヲ見ル爲メ遊幸ヨリ故ニ歸宮アリシ例ナキヲ以テ還幸マテヲ待ツコトニ決セリ○午後七時ニ「グランウェル」氏ヨリ夕饌ノ享アリ因テ南「ケンシントン」ノ博覽館ヲ一見ス

○此博覽館ハ一千八百五十六年ヨリ剏立セル常博覽會ナリ最初千八百五十一年「ハイドパーク」ニテ萬國博覽會ノ時國人ニ感動ヲ生シ英國ノ製作物ハ技巧ノ練熟ハ外國ニ相競フヘシト雖トモ形貌ノ拙劣ナルコトヲ發明シ因テ其誘導鼓舞ノタメ此場ヲ興サント謀リ當時博覽會事務局ノ積金ヲ本トシ議院ヨリ其半額ヲ補助シ此造營ニ取カヽレリ地面ノ廣サ十二「エーカー」我四町八

段許價六萬磅ニテ政府ニ買上ケ、假ニ鐵道ニテ宏大ノ館ヲ建テ、其費一萬五千磅ヲ以テ擬メ、其後モ耐久ヲ圖リ、追追ト改築セルモアリ、今年ニ至ルマテ、列品物ヲ買入タル價ハ二十八萬磅ニ及ヘリ、其他寄納、及ヒ死後ノ遺納等夥多シ○第房ヲ藝術用細工物ノ區トス、此ニ印度ノ產物ヲ示ス、皆手工ニ成タル精巧緻膩ノモノニテ、金銀ヲ鏤刻シ、珠玉ヲ彫嵌シタル、衣服珍玩ナリ、印度貴人ノ偶像ヲ刻シ、之ニ衣被粧飾セシメテ、其著用ノ何狀何用タルヿヲ知シメタリ、其偶像ヲミルニ、婦人ハ耳、腰、胸、指ニ環アリ、鼻ニモ亦環アリ、全身ニ珠玉錦繡ヲ纏フ、燦然トシテ目ヲ輝カス、印度地方ニテハ、服飾器什ノ類、全ク人工ニテ製シ出ス、精巧纖膩ヲキハメ、其價不貲ナルノミナラス、如此キ物品ハ、西洋ニナキ絶品ニテ、其地貴人ノ豪奢ヲ極メタルヲ知ルニ足ル、西洋ノ巧技ハ器械ヲ恃ミ、且價直貴キ故ニ、手工ノ品ハ賞美スレドモ、製造シ出スモノ少ナシト云、夫ヨリ左右ニ回廊アリテ、各國ノ陶器、玉器、金銀器、紡織ノ品、繪畫ノ工、其精麁ヲ幷セテ、皆房ヲ分ツテ陳シ、一廊ニハ服飾、器什、書籍、文房、學科、理科ノ百物ヲ聚メ、器械ノ運轉シテ、其利用ヲ語ルヘキモノハ、皆土ヨリ入ヲ派シ運動

ラナシテ示サシムルモアリ、書庫ニハ三萬三千冊ノ製作藝術書ヲ蓄ヘ、畫圖ノ見本一萬、彫刻ノ見本二萬、寫眞三萬五千ニ越ユ、〇美術ニカヽル畫圖ノ類ハ上層ノ樓上ニアリ、「シープサンク」氏ノ寄納物ハ其根基ニテ、價五萬三千磅ニ越ユ、其他油畫ノ數ハ五百八十號ニ及ヒ、水彩色畫ハ千號ニ及フ、英國ニテ畫ヲ學フモノ、力ヲ盡シ畫キテ此場ニ送リ、劇賞ヲ獲ルヲ競フトナン、〇別一廊ニハ鐵ノ諸器械ヲ陳セル區アリ、廊下ニハ石像ヲ陳セル所アリ、或ハ書籍敎育ノ具ヲ陳セル區アリ、食用品ヲ陳セルアリ、建築用ノ物ヲ陳セル區アリ、樓閣綿亘シ、中ニ廣苑ヲ包ミ、草綠ニ沙白シ、花畦花窖ノ設ケモアリテ、觀覽ニ疲ルトキハ逍遙スヘシ、附屬ノ學校ヲオキテ、藝術製作ヲ敎ユ、目擊ノ效ハ耳ニ聞ヨリ、其益實ニ大ナリ、〇此館ノ設ケハ、年淺ケレトモ、其流行ノ盛ナルコト、府中大觀ノ內ニテ、屈指ノ一タリ、七十二年中ニ、看客ノ數ハ百十五萬ヲ數ヘタリ、

當今歐羅巴各國、ミナ文明ヲ輝カシ、富強ヲ極メ、貿易盛ニ、工藝秀テ、人民快美ノ生理ニ、悅樂ヲ極ム、其情況ヲ目擊スレハ、是歐洲商利ヲ重ンスル風俗ノ、此ヲ漸致セル所ニテ、原來此洲ノ固有ノ如クニ思ハルレトモ、其實ハ然ラ

ス、歐洲今日ノ富庶ヲミルハ、一千八百年以後ノヿニテ、著シク此景象ヲ生セシハ、僅ニ四十年ニスギサルナリ、佛帝拿破侖一世ノ亂ニ、歐洲列國、其鋒揚ヲウケシ𪜈、英國獨リ晏然トシテ禍ニ離レ、海外屬地ヲ收拾シ、國ノ生業ヲ隆ニセシモ、一千八百年ニアタリ、倫敦ノ人口ハ九十六萬ニミタス、里昧（リイアン）陂（ル）ハ八萬五千、哥羅斯哥（グラスコー）ハ七萬八千ノ都會ニスギス、國内ニ石炭ヲ燒ソヿ千萬噸、今ノ十分一、鐵ヲ治成スル五十萬噸ナリキ、今ノ六分一、千八百三十年間ニ、滊船鐵道ノ便始メテ起リシハ、歐洲ノ貿易、一變ノ運ニテ、英國ノ人民、首ニ此ニ注意ヲ生シ、政府ハ衆ノ渴望ニ迫ラレ、製作ノ藝術ヲ開クヘキ、教育ヲ興サントシ議ヲ起セシハ、今ヲ距ル僅ニ三十四年前ヨリセリ、此時歐洲諸國ハ、佛國ヲ除クノ外ハ、未タ此等ノ用意モナカリキ、英國人民カ工業ヲ振起スルノ志向ヲ積ミ、竟ニ皇帝ノ贅「アルベルト」侯ノ盡力ニヨリ、千八百五十一年ニ「ハイトパーク」ニ於テ萬國博覽會ヲ興行シタリ、此ハ的（マサ）ニ我嘉永四年ノヿニスキス、此時歐洲各國ヨリ、此場ニ持出セシ工產ノ諸品ハ、獨リ佛國ノ聲價、他ヲ壓倒スル光燄ヲ有シ、英國ノ物品ハ、只器械力ニテ製出セル、麁

大ノ物品ノミ多ク、其風韻意致ノ優美ナルニ於テハ、反テ小國ト見侮リタル、白耳義瑞士ニアリテ、英品モ爲メニ名譽ヲ失フニ至レリ、之ニ次テ普國米國、ヤ、見ルヘキモアレト、墺國ハ內國ノ騷亂ニテ、未タ工事ヲ興スニ及ハス、露國ハ野鄙ノ品ヲ列セルノミナリキ、英人是ヲ觀テ、初メテ自國工產ノ拙ナル所以ヲ悟リ、種種ニ考量ヲ加ヘ、佛國ヲ摸擬スル惡弊ヲサリ、自國固有ノ風致ヲ研出シ、再度五十五年佛國ノ博覽會ニ於テハ、大ニ觀ヲ改メ、是ヨリ佛國ヨリ工產輸入ノ數モ減スルニハ至レリ、是全ク博覽會ノ功ナルニヨリ、此「ケンシントン」ノ博覽會ハ、國中ノ人心ニ於テ、甚タ心ヲ用フル設ケニシテ、今ニ益盛大ヲ致ス所以ナリ、佛國モ英國ノ進步ニヨリ、益奮發ヲ生シ、驕心ヲ斥ケ、亦工產ノ展覽、藝術ノ觀場ヲ設ケテ、自己ノ工藝ヲ進メ、爾來他ノ諸國ニモ、種種此目的ニ於テ、建設スル所アリ、當時全歐地ニ工藝煥然ノ美ヲミル時運トナリタルハ、僅僅十餘年間ノ事ニスキサルナリ、是啻ニ工藝ノ一事ノミ然リトスルニ非ス、農業ノ如キハ今ニ歐洲ニ於テ、最モ不充分ナル開化ナリト謂フ、古來此業ハ賤民ノ事トセシヲ、士君子ニ注

意ヲ生セシハ、百年來ニスキス、歐洲各國ニ農學勸農社ノ行ハル、遲トナリシハ、千八百三十年以來ノコニテ、其效驗ヲ生セシハ、二十年來ニスキス、佛國ト獨逸トノ農業ハ、歐洲諸大國ニ稱セラレシニ、近十年來ハ、英國モ甚タ進歩ヲナシ、今ハ精農第一等ノ評トハナリヌ、又商業トテモ同樣ニ近年ニ興レリ、已ニ米國新約克ノ「シ。ワルト」氏カ、億弗ノ財産ノ蓄フニ至リシ記事ニテモ知レルカ如ク、汽船滊車ノ流行ヨリ、商業ノ目的一變シ、舊商ハ斃レ新商ト代リシモ、近四十年間ノコニスキス、爾後諸商工場ヲ回リテ、其創起ノ記事ヲミレハ、自ラ明白ナルヘシ、蘇部哥羅斯哥（グラスコー）ノ一都、八萬口ニ、タラサル都會ヨリ、五十萬口ノ大都會トナリシモ、四五十年來ノコニテ、其時ヨリ經過セル古老ノ話ヲキクニ、其開化ノ始メニアタリ、府中ノ人心ハ殆ト狂スルカ如ク、方向種種ニ變化シ、商賈ノ目的總テ迷霧ノ中ニ陷リ、乍チ起ルアレハ、又遽ニ倒産シ、其能ク舊來ノ財産ヲ全クシテ、今ニ富ヲ保有セル商家ハ、指ヲ再ヒ屈スル數ニ過キスト云、歐洲農工商ノ三業ミナ、今日ノ繁昌ヲ致セルハ、如此ク僅僅ノ年數ニスキサルヲ知レリ、今ノ歐洲ト四十年

前ノ歐洲トハ其觀ノ大ニ異ナルヿモ亦想像スヘシ陸ニ走ル滊車モナク、海ヲ駛スル滊船モナク電線ノ信ヲ傳フルヿモナク小舟ヲ運河ニ曳キ風帆ヲ海上ニ操リ馬車ヲ路ニ驅リ飛騎ヲ驛ニ走ラセ兵ハ銅砲燧銃ヲトリテ數十歩ノ間ニ戰ヒ羅紗ハ富家ノ美服ニテ棉布ハ海外ノ珍品タリ印度以東ハ其地アルヲ知タレト其物ヲ求ムルニ由ナク日本ノ物産ノ如キハ、爪哇在住ノ蘭商ヨリ輸送セルノミ故ニ當時マテノ歐洲ハ猶洲內相互ニ貿易スルノ時態ニスキザリシ此時ヨリ早ク海商ノ業ヲ務メ鑛冶ヲ興シ、器械ヲ利シ航海ノ術ニ達シタルハ惟英國及ヒ荷蘭ノ兩國ノミ其目的ハ元品ヲ遠國ニ得テ返テ歐洲ニ交易スルニアリ製作工藝ノ技ハ佛國路易十四世ノ富耀ニヨリテ其巧美ヲ專ラニシ各國靡然トシテ模範トナシ佛語佛服佛品ヲ用ヒサレハ貴族紳士ノ間ニ交ハルヿヲ得サルニヨリ歐地ノ貴人公子ハ爭フテ巴黎ニ遊學シ歐洲文明ノ中心ト稱セラル因テ一千七百年ノ初メ始メテ工藝ノ展覽會ヲ巴黎ニ興行セシハ實ニ此會ノ濫觴ニテ佛ノ巧技ニハ英國ノ強傲不屈ナルモ亦其流行ニ風靡セラレテ四十

年前ニ至レリ此時代ニ於テ歐地貿易ノ情態モ因テ察スルニ足レリ其道風ハ今ニ至リ猶存シ佛國ノ風ハ全歐地ニ光耀アルモ此原因ニヨレリ英國首ニ自國固有ノ工藝風致ヲ研發シ佛國ト異工ノ價ヲ發セシヨリ漸漸各國人ノ感觸ヲ生シ今ニ至リテハ歐洲ノ工藝各共國ノ美ヲ競ヒ種種ノ花木カ爛漫トシテ芬芳ヲ發スルカ如キニ至リシハ此「ケンシントン」展覽會ヲ嚆矢トハスルナリ此等ノ記事ヲ見テ之ヲ我日本ニ顧慮スヘシ四民ノ外國ニ交通セルヨリ爾來ノ進路ニ於テ大ニ感觸ヲ與フヘキモノアラン日本ノ民カ始メテ鎖國ノ禁ヲ解カレ歐洲ノ文物ニ於ルハ殆ト歐洲諸國カ佛王路易ノ光華ニ心醉セシトノ如クニ自己固有ノ價ヲ荒怠シ爭フテ歐洲ニ摸擬スルハ此博覽會以前ノ迷霧ヲ蒙ルト謂フモ不可ナルナカラン、

十七日晴

日本公使「サー」爵名ハルリパークス氏ノ誘引ニテ「ヴィクトーリヤ驛ヨリ滊車ニテ南方「シュルレー」及ヒ「ソスセキス」州ヲ走ル五十英里ニテ「ブライトン」府ニ至

ル沿途ミナ平岡ニテ田圃頗ル腴ナリ、

○「ブライトン」府ハ「シュルレー」州海岸ノ繁華場ニテ北緯五十零度五十分西經零度九分ノ地ニ位シ人口九萬零十三人英倫ノ峽海ニ臨ミ背ニ平岡ヲ負ヒ暑寒共ニ温和ニテ空氣清爽ナリ海岸ニテ清氣ヲ呼吸シ海水ヲ浴シテ皮膚ヲ收歛スルハ健全ヲ保ツノ良藥タルヿヲ或醫師ノ發明ニヨリ此地ノ繁昌トナレリ此地近代マテハ寂寞タル漁蝦ノ小村ナリシニ二三ノ病人ノ醫師ノ勸メニヨリ此地ニ往キ療養ヲナシ其效驗アリシニヨリ漸ク倫敦ニ傳稱シ、我モ我モト此海岸ニ遊衍シ其繁昌年逐テ盛ンニ竟ニ皇帝モ臨幸避暑アルニ至リ俄然ニ一大都會ヲナシ家屋ヲ海岸ニ簇ラスルニ至レリ故ニ今ハ反テ其鬧ヲ嫌ヒ療養ニ志スモノハ此府ノ近在ナル海岸ニユクトナン當時倫敦ノ名卿紳士ハ多ク此地ニアリテ避暑ヲナスモノ多キヲ以テ接伴掛ノ勸メニ因リ此府ニ來レリ○滊車「ブライトン」ノ驛ニ至レハ「メヨ」來リ迎ヘテ其傍ナル博物觀ヲミル夫ヨリ學校ニ至ル此時學校ニ於テ地理學ヲ講スル際ニテ我東京ノヿヲ講シ畢リ夫ヨリ學士ハ席ヲ起チ「パークス」氏ヲシテ日本

今日ノ形勢ヲ演セシム「パークス」氏即チ講壇ニ上リテ支那日本ノ比較ヲ説ケリ此席ニ香港（ホンコン）ノ總督トナリテ高名ナル「シールシボーリング」氏モ来會セリ、

○學校ヲ出テ、海岸ノ風景ヲ囘覽シ水族室ニ至ル此ハ魚類ヲ生活セルニ養ヒオク室ナリ毎室ニ淡水海水ヲ盛リ管ヲ以テ新陳遞ニ交代セシメテ、水ノ敗腐ヲ防キ底ニハ沙ヲ撒シテ種種ノ浮石海藻介蟲ナトヲ蓄ヘ側面ニ玻瓈ヲ囲繞シ人ヲシテ廊ヲ過キテ覽觀セシム其趣キ海中若クハ潭中ヲ横截シテ側面ヲ窺見セシムルニ同シ此室ハ近年ニ擬議シテ設ケタルモノナリト云、

○夫ヨリ「メヨ」ノ宅ニ延キテ晝食ノ饗應アリ畢リテ滊車ニ上リ倫敦ニ歸ル時ニ猶薄暮ナリ、

十八日　晴

午後三時ニ倫敦府ノ知事（メヨ）来リ訪フ、

十九日　晴

二十日晴

二十一日晴

二十二日晴

二十三日晴

三時ヨリ「パークス氏「アレキサンドル氏ノ接伴ニテ「ヴィクトリヤ驛ヨリ滊車ニテ「フランドホルト」ニ赴ク、此行ニハ伏見宮兩親王モ同行アリ、此日「フランドホルト」ニ宿ス、

二十四日晴

「フランドホルト」ニ於テ大調練ヲミル　此記事闕ク

○夫ヨリ薄暮ニ「ポールツモーツ」府ニ着ス、此ハ「ハンツ」州ノ良港ニテ、英國ノ海軍本省ヲ備ヘタル、高名ノ地ニテ、砲臺ノ設ケ、船廠ノ築キ、皆其嚴固ヲ極メ、海ヲ隔テ、佛國ニ對峙ス、府中ノ人口十一萬二千九百十五人アリ、英國ニテ第十七ノ都會ナリ、兩岸ハ地岬斗出シテ、大灣ヲ抱キ、海面穩ニシテ船艦ヲ繋クニ便アリ、一千八百六十九年ノ查撿ニヨルニ、一歳ニ船舶二千三百九十一艘

二十二萬二千六百四十七噸、此港ヲ出入セリ、

「ポー・ルッモーツ」岬ヨリ「西南ノ海灣ヲ廻ルヿ十六英里ニテ「サウザンプトン港アリ、此ハ英國南岸ノ大埠頭ニテ、凡ソ喜望峯ヲ回リ、或ハ地中海ヲ經テ來ル船舶ハ、ミナ此港ニ輻輳ス、歐洲ノ南岸及ヒ印度亞細亞ヘノ郵船ヲ、此港ヨリ差立ル、府中ノ人口ハ五萬六千アリト云、

二十五日　晴

午後一時ヨリ「アドミラール、モンテイ氏ノ官邸ヲ訪フ、此ニテ晝食ヲ享ス、夫ヨリ案內シテ兵克（チヒーク）名爵オフ、ウェーリントン號ノ船ニ上ル、是ハ古キ船形ニテ、今ハ唯海上ニ繫キテ、海軍ノ操練ニ備フルモノナリ、此船內ニテ、水卒ニ大小砲ノ演習、鞕劍ノ法、運動術等ヲ肄ハシ、畢リテ後ニ、海沙ニ標的ヲ立テ、是ヲ彈射ス、此時機關ヲ設ケテ、故（コトサラ）ニ船ヲ蕩搖シテ、大風浪ノ內ニテ彈砲ノ視準ヲ定ムルヿヲ煆練セシム、

夫ヨリ船廠ヲ築ク石材ヲ製スルヲミル、蓋シ石灰ト水ト砂石トヲ和シテ製スルモノニテ、刑徒八百人ヲ役シテ、其業ヲトラシム、

○次ニ造船場ニ至ル、當時船廠造築中ニテ、四箇ノ廠ハ未タ成就セス、此ニ石材ヲ搬運スルカ爲メニ、岸上ニ鐵道ヲ敷クヿ長サ二十四英里（マイル）、船廠（ドック）中ニ新發明ノ甲鐵艦ヲ浮フ、即チ砲臺船ニシテ、艦上ニ兩箇ノ圓形砲臺アリテ旋轉スヘシ、甲鐵ノ厚サ八「インチー」ヨリ十「インチー」ナルヲ以テ全船之ヲ裹ム、即轉射砲臺ナリ、四門ノ大砲ヲ其內ニ裝載スヘシ、機關ヲ設ケテ其圓臺ヲ運回スルニ便ニス、若一面ニ敵ヲ抗スレハ、四面ノ砲眼ミナ其面ニ移リ、轉輾彈射ス、砲身ニ挿蕪ノ憂ヒナク、敵船ハ之ヲ避ルノ時ナシ、百勝ノ算ヲ熟慮セリ、全船ニモ甲鐵ヲ裝ヒ、殆ト水面ニ沒ス、敵火ニ向フモノハ唯圓臺ノミ、且船底ハ水ニ入ルヿ甚タ深カラス、淺海ト雖𪜈駛走スルニ阻ラス、○此轉射砲臺艦ハ、米人ノ新發明ナリ、英人其便ヲ識リ、更ニ其遺工ヲ補ヒ、其精密ヲ究メ、竟ニ此式ノ艦ヲ創搆シ、近月ニ至テ方ニ落成セリ、然𪜈未タ戰爭ノ實驗ヲ經サルヲ以テ、唯憾ル所ハ圓臺ノ裝搆ニ些（スコシ）ノ堅實ヲ闕ク𪜈ハ、敵ノ火線ヲ犯シテ破裂スルアランソト、頃日ニ其試ミヲナシタリ、其試驗ノ𪜈、此艦ヲ海濱ニ碇舶セシメ、他ノ軍艦ヲ海上ニ出シ、此艦ニ向ヒ來リ、距離二百尺ニ及フ𪜈、六百磅ノ施條砲、

其射殺ノ力、四英里ニ達スヘキモノヲ以テ、此圓臺ヲ二度的射セシニ、圓臺ハ鋼鐵ヲシテ故ノ如ク、毫モ損傷ナシ、此時國人見物ノ爲メ此ニ麕集シ、舟ニ乘モノ亦移多シ、其内ニ此圓臺ノ内ニ居テ、其勢ヲ試ミント云モノアリケレド、職員許サス、唯羊ト犬トヲ此臺中ニ藏ヒオキシニ、砲彈ノ中ル後ニ往テ驗スレハ、羊犬共ニ昏倒シテ死シタリキ、此砲臺甲鐵船ハ、英國軍艦中ノ王ニシテ一世界強國ノ甲鐵艦、一モ之カ敵手トナルアラハス、英國ハ海軍ニ力ヲ用ヒ、精益精ヲ求メテ、カヽル艦ヲ創製ス、苟モ之ヲ運轉スルノ人、此艦ヨリ更ニ緊緻ナルモノアラハ、其強豈當ルヘケンヤ、

薄暮ニ旅館ニ歸ル、

二十六日　晴

午後ヨリ「ヴィクトーリヤ號ノ船ニ至ル、此所ハ海口繫在ノ海軍水卒ヲ置所トス、且此船ハ、歴史ニ名高キ、西班牙ノ「タラフレカル」ノ戰ニ、英國ノ名將「子ルソン氏ノ戰死セシ船ナルヲ以テ、其故物遺書ヲ藏シアリテ、好古愛國ノモノハ、男女士庶ヲ問ハス、來リテ之ヲ一見シ、其奮勇死戰ノ迹ヲ弔フモノ多シ、今猶

中ニ存スル書束ハ其行賄ヲ失ヒシ後ノ手書ニ係ル文字潦草ナラス英爽ノ氣千態如生トイフヘシ

夫ヨリ火輪ニ駕シテ「マイノチュアル」號ニ至ル是ハ一千八百六十六年ニ落成セル甲鐵製ノ軍艦ニテ五檣ヲ立テ二十六門ノ大砲ヲ備ヘ六千七百〇二馬力ノ滊機ヲ裝ヒ一萬〇六百二十七噸ノ大艦ニテ「アドミラル、ホンベイ」ノ乘船ナリ此船内ニ於テ「ロンチ」ノ艭アリ此船ト同式ノ船此海口ニ在ルモノ三隻アリ

夫ヨリ「ヘルキュルス」號ニ至ル是ハ一千八百七十年落成ノ甲鐵船ニテ稍前ノモノヨリ小ナリ大砲十四門ヲ備フ砲門屈曲シ舷ニ沿フテ發火スヘシ蒸氣力八千五百二十九馬力八千六百七十七噸亦一大艦ナリ〇船ヲ下リテ港口ノ一砲臺「ノーソン」ト名ツルモノニ至リ薄暮ニ旅館ニ歸ル

英國ノ地位ハ洋中ニ島ヲナシクレハ國安ノ防護ハ重ニ海軍ニアリ在昔一千年前「アンゲロサキソン」ノ朝ニ當リ有名ノ賢王「アルプレット」大ニ海軍ヲ興セシヨリ英國ノ民ミナ海軍ニ心ヲ用フルノ日久シ一千六百八

十八年西班牙王非立ガ羅馬「カトレイキ教ノタメ新教ノ乱ヲ歆覦シ百三十艘ノ軍艦ヲ以テ海ヲ蔽フテ來リ攻シ時英ノ女王以利沙伯(エリサベス)ハ身ヲ誓テ軍ニ臨ミ國人踴躍シテ戰ニ赴キ兵船ヲ募集シ百八十ノ船舶ヲ以テ西國ノ軍艦ヲ摧撃シ其兵ヲ海中ニ鏖殺シタルヨリ英國海軍ノ譽レ歐洲ニ轟キ是ヨリ西國ハ漸ニ衰ヘ英國ハ漸ニ盛ンニ海上ニ横行シテ東西ニ植民地ヲ廣メ富強ノ基本ヲナシ西國ニ大陽ノ没スルナキノ語アリシモ之ヲ英國ニ移シトレリ英國ノ屬地ハ五洲中ニ散有シ國民ノ利益ハ常ニ海上貿易ニアリ舟舶ノ出入一日絶レハ民ニ菜色ヲアンハスト謂フホトナレハ之ヲ防護スルニハ海軍ヲ壯ニセサルヘカラス英國已ニ海軍ニ於テ盛名ヲ輝カシ屬地ヲ廣メ一千七百〇四年西班牙系統ノ亂ニ墺國ニ與シテ西國ヲ攻メ其南岸ノ岬「ギブラルタル」ノ地ヲ取テ地中海ノ門口ニ險ニヨリ砲臺ヲ築キテ海軍ヲ備ヘ其後伊太利「シヽリー」島ノ南ニ於テ「マルタ」島ノ險ニヨリ海軍ヲ備ヘ地中海ヲ往來スル舟舶ハ皆其火線ノ下ヲ由カシム佛帝拿破崙第一世カ歐洲ヲ席巻スルニアタリ僅ニ「マルタ」一島ヲ拔ク

リト雖ヒ、英ノ海軍提督「子ルソン」ノ軍配ニテ、一ハ埃及ノ「ナイル」河口ニ於テ敗衂シ、再ハ西班牙ノ「タラフレカル」岬ニ於テ敗衂シ、其龍驤虎歩ノ故ニ海上ニ於テハ、常ニ屈ヲトリタルハ、英國海軍ノ强大、益世ニ震動セリ勢モ、佛ノ陸軍ト、英ノ海軍トハ、其雄名ヲ專ニセル久シ、巴力門ニ於テモ、海軍ヲ制馭シ、之ヲ規律保守スル方法ニ於テハ、最モ丁寧反覆ニ論ヲツクシテ確定スルトナリ、一千八百七十一年ノ記載ニヨルニ、英國海軍ノ經費ハ、殆ト一千萬磅ニ及ヒ、七種ノ甲鐵艦、總テ六十隻、其他蒸氣軍艦、運送船ヲ合セテ、五百雙ニ及フ、之ニ備フル大砲ハ一萬八千餘門、水夫四萬千五百人、海兵一萬四千アリ昨日ミル所ノ砲臺、無桅ノ甲鐵艦、及ヒ其形式ノ小ナル撞撃甲鐵艦、已成未成ヲ幷セテ十艘ニ及フ、其堅銳ヲキハメタレハ、其敵手ハナカルシト云、一千八百七十三年、露國カラミヤ「セハスアポール」ノ戰ニ、露軍ヲヘ挫折セシ以來、杭ヲ高クシテ國内康安ナル十年、其畜養セル兵氣果シテイカナル勇力ヲ具有セルヤハ、世ノ論者ノ未タ定メ得サル所ナリ、

二十七日　晴

朝陸軍ノ練演アリ人數僅ニ二千八許「ゼテラル」ノ邸ニテ午餐ノ設アリ了テ兵卒屯所ヲ一覽ナシ夕七時同所發車同十時半「ロントンヴィントーリヤ」驛ニ著シ寓館ニ歸ル、

二十八日

午後第二時ヨリ「ギヨーロヂカーテン」ニ至ル禽獸園ノ謂ナリ是ハ「レーゼントパーク」中ノ西北ニアリ一千八百二十八年ニ貴族「サー」爵名スタンフヲルテッフル氏「サー」爵名ハノフリーデビー氏勞爾德オヽクランド氏等ノ殷意ニテ貴族ノ諸家ヨリ財本ヲ出シテ社ヲ結ヒ此園ヲ開ケリ◯園内ニ路ヲ縈回シ山アリ林アリ池アリ樹綠ニ沙明カナリ林丘ノ赴キ清爽ニテ步步ニ足ヲ止メ到ル處ニ首ヲ廻ケ瞻矚ニ遑アラス其間ニ種種ノ結搆ヲ以テ亭榭ヲ造リ其内ニ世界ノ禽獸ヲ旁羅搜索シテ牧養ス巨象駱駝ノ類ナルアリ熊羆豺狼ノ猛ナルアリ獅子虎豹ノ咆哮スルハ林木モ爲メニ振ヒ鳥語百舌ノ啁啾スルハ空モ爲メニ濆タリ池中ニ江豚ヒポタムス、浪ノ瀾リテ走リ草中ニ駝鳥蹄ヲ絶テ走ル「ギラフ」長頸鹿ノ首ヲ翹ケレハ屋宇ヲ狹シトシ「カンノロウ」壯ニ健アル獸ハ、跳

ヲ痛ケ尾ヲ掉トシテ飛越ス、金鶏花ニ遊ヒ、孔雀草ニ戯ル、水渚ニハ、鴻雁鵝鶩ノ眠ルアリ、鷗鵜鴛鴦ノ遊スルアリ、窖室ニ入レハ、蒸氣春ヲ蒸シ、鸚鵡ハ架喙シ、猿猴ハ戯傲ス、花氣薫シ芬香常ニ馥郁タリ、細禽文羽ノ籠中ニ嚩飛スルハ、華然トシテ花ノ亂飛スルカ如ク、南亞墨利加ノ風鳥、印度南洋ノ彩禽、ミナ羅捜シテ其備ハラサルヲ耻ツ、土中ニ穴シテ居ル獸アレハ、枯草ニ巢シテ眠ル鼠アリ、蟒蛇蟲豸モ亦牧養シテ殘サス、同覽ノ多キ、目ノ瞑スルヲ知ラサルニ至ル、○西洋ニ禽獸少シ、熱帶ノ地ニ珍禽奇獸多シ、凡ソ園中ニテ奇異ノ物ハ、多ク南亞米利加、亞弗利加、印度南洋ノ群島ヨリ來ルモノ多シ、之ヲ購ヒ取ルニモ、多少ノ財ヲ費ス、而テ其豢養ノ方、能ク其性ニ合セサレハ死セサルモ痩瘠シテミルヘカラス、此ニテ其國ノ動物牧豢ノ學ニ達シタルヲトスルニ足ル、猿猴ノ屬ハ、熱國ニ産ス、天寒ケレハ肺ヲ病ミテ死ス、故ニ必ス窖室ニ養フナリ、○此園ノ盛ナルヿ、歐洲ニ其比ヲミス、歐陸地ニテハ荷蘭佗ノ禽獸園尤モ高名ナリ、其禽獸ヲ豢養スルノ術ト、獸類ノ備多ナルトハ、殆ト此園ニ譲スレトモ、猿類ノ備ハルト、林泉ノ設ケトハ、又及ハサルトナシ、

二十九日　晴陰相交ル
晦日　陰

「ボッキンハム宮ノ正面

「セント、ヂェームス苑 ボッキンハム宮ヲ望ムノ景ナリ

八月朔日　陰

宮内省ヨリノ沙汰ニヨリ「パークス」氏「アレキサンドル」氏案内ニテ「ボッキンハム」ノ王宮ヲ一覧ス、此宮ハ「ギョールチ」第四世ノ代ヨリ起營シテ、今皇帝ノ代ニ落成ス、前後左ニミナ廣苑アリ、岡坡ノ爽塏ナルナケレ𪜈、樓閣ノ上ヨリ眺望スレハ、眼界ノ景自ラ快ナリ、コノ結構ミナ白石ヲ以テナル、柱壁欄楯ハ、彫刻ノ巧ヲ極メ、内景ニハ綺羅文繡ヲ張リ、金色ハ燦爛トシテ、玉光ハ玲瓏タリ、房ヲ連ネテ珍寶器翫ヲカサル、蓄フ所ノ名畫モ亦無數ナリ、其魏傑莊麗ナル人目ヲ眩耀ス、然𪜈案内ノ人謂フ、佛國巴黎ノ「チュロリー」宮ニ比スレハ、其莊麗ヲ比較スル能ハスト、皇帝ノ粧室寢室ハ入ルヲ許サス、其在宮ノ時ニ取亂セルマヽ、蘇格蘭ニ遊幸アリシヲ以テ、外人ノミルヲ欲セサルナリ、

二日　晴

午後ヨリ「ウエストミニストル」ノ「巴力門」ニ至ル、「巴力門」ハ大英聯合王國ノ議政

堂ナリ○此堂ノ建築ハ一千八百三十四年ニ焼失セシニヨリ四十年ヨリ再造シ全堂ノ積八「エーカー」（約我萬坪）一千一百ノ室局ヲ分ツ其造搆ハ前後ニ高塔ヲ建ル東ナルハ方塔ニテ方八十尺（フイト）高サ三百四十尺（フイト）之ヲ「ヴィクトーリヤ塔」ト名ツク西ナルハ方錐形ノ尖塔ニテ以テ時辰鐘樓トス幅四十尺（フイト）高サ三百二十尺（フイド）中ニ巨鐘ヲ鈎下シ三面ニ指辰ノ盤及ヒ針ヲ備ス司天臺ニテ製シタル器械ヲ施シ常日ニ回轉シ時至レハ鐘自ラ鳴ル周壁ハ鏤刻ノ精ヲキハメ内景室室ノ華麗ハ盡ク目ヲ耀サヽルナシ上院ノ美ニ至テハ殊ニ其首ニオルモノナリ此堂ノ造營ハ金二百五十萬磅ヲ費セリ○此内ニ議院及ヒ大審（ハイコウ）院（チヤンセルリ）等アリ官員室ヲ分ツ局ヲナス國ノ典章格式及ヒ古器珍寶ノ蓄フ時ヲ以テ陳羅シテ衆ニ縦觀ヲ許ス平生ハ婦人ノ外猥リニ入ルヲ許サス官員ニ渡タル券札ヲ受ケテ傍聽觀覽スルヲ得ル

巴力門ハ英國ノ立法議會ニテ皇帝ハ固リ此院ノ長トナルノミナラス議員ヲ徵集ト解散トノ權アリ皇帝崩御ノ際ヲ除クノ外ハ國民自己ニテ相會集スルヲ得ス然トモ皇帝若シ之ヲ緩漫ニシ三年間一度モ徵集セサルトキハ億兆ノ

「ウェストミニステル橋ノ巴力門（パーレメント）

「ブラッキプレヤス橋聖（セント）ポール寺

大臣代テ發詔ス、若シ大臣之ヲ行フヿヲ敢テセサレハ、貴族ノ内十二人ノモノ代テ徴集ス、夫モ敢テセサル片ニ於テハ、地方州州ノ官員ニテ選擧ヲ行フヲ得ル、夫モ嫌厭スレハ、國内ノ房産（フリーホルドル）アルモノ議員ヲ選フヿヲ得ル、此時ニ當リテ、選擧セラレタルモノ、其任ヲ回避スレハ、嚴罰スルトイフホトノ法則ナリシニ「チャーレス」第二世ノ片ヨリ、國會ノ期ハ、必ス三年ヲ越ユベカラサルヿニ決シ、維廉及ヒ馬利ノ世ヨリ、歳ニ一度ハ徴集スルヿニ定リタリ、○抑人民ノ公選ニテ、議員ヲ出シ、立法ノ權ヲ執ルハ、歐洲一般ノ通法ニシテ、政治ノ最モ支那日本ニ異ナル所ナリ、此法ノ行ハレシハ、羅馬時代ヨリ濫觴シ、時代ニヨリ變化シタレトモ、畢竟貿易ヲ重ンシ、會社協同ノ風俗ヨリ生セルナリ、支那日本ノ人民ハ、原來農耕自活ノ風儀ニテ、修身ヲ政治ノ主義トシ、財産ヲ重ンセサルニヨリ、立法上ニテ肝目ノ主義ヲ欠タレハ、民權イカン、物權イカンニ於テハ、殆ト馬耳風ナルノミナラス、反テ其權ヲ抑壓シテ、變風移俗ノ具摸トスルモノヽ如シ、故ニ政治國安ノ論ハ、常ニ財産上ニ於テ注意ヲナサス、君子小人判然トシテ別界ヲナスニヨリ、漸漸ニ貧弱ニ陷ルヲ致セリ、東西洋ノ獨

リニ因テ、民ノ習慣ヲ異ニスルハ、政治ノ樣子モ異ナルヘキコソ至當ナレモ、方今世界、舟楫相通シ、貿易交際ノ世トナリテハ、國權ヲ全フシ、國益ヲ保ツニハ、國民上下一和シテ、第一ニ財産ヲ重ンシ、富強ヲ致スニ、注意ヲ厚フセサルヘカラス、立法ノ權ハ此ヨリ生スルナリ◯立法議院ニハ、必ス上下ノ兩院ヲ分ツヘシ、一个ノ議會ノミニテ、立法局ヲナシタル國ハナキナリ、但シ上下兩院ヲ立ルニハ、國國ニテ異ナリ、米國ノ國會ハ、州州ノ代人ト、人民ノ代人トニテ、上下院ヲナス、日耳曼聯邦政府モ亦然リ、墺國聯邦政府ハ、貴族ト州州ノ代人トニテ、上下院ヲ分ツ、英國聯邦政府ハ、貴族ト州民ノ代人ニテ、上下院ヲ分テリ、其他ノ立君政治ニ於テハ、上院ノ議員ハ、貴族或ハ元老ニテナルト、民代人ノ内ヨリ公選シテナルトノ二アリ◯巴力門上院ノ議員ハ、皇族、貴族、及ヒ僧正官ニテナリタリ、英國ノ貴族ハ立法權ヲ世襲ニ執リテ、上院ニ出席スルハ、貴族政治ノ習風ヲ存スル所ニテ、此ハ英國人カ、法ヲ守ル精神ノ、他ヨリ厚キ美風ナリト謂フ、蓋シ貴族ヨリ國會ノ權ヲ執シハ、巴力門ノ起リシ根本ニテ、昔時英王ギヨンノ代ニ、王ニ迫リ誓約ヲナシ、權利ヲ回復セシヨリ此

權利ヲ人民ニモ回復スルニ至リシ、是實ニ貴族カ已力門ニ永永權ヲ保有スル端トハナレリ、今ノ貴族ハ、ミナ其時ヨリノ門閥ニハアラス、千四百年以前ノ古家ハ只十二家アルノミニテ、今皇帝ノ代ニモ百八十八家ノ貴族ヲ命セルニ至ル○上院ノ貴族カ、世襲ニ國會ニ參與スルハ、其祖宗ノ受シ證書ヲ以テ、權利ヲ永永ニ保有スルヿナリ、新貴族ハ、一旦貴族ニ命セラルレハ、詔ヲ發シ上院ニ列席セシム、此詔書カ其權ヲ得ル根本トナリ、爾後ニ倘徵集ノ詔ヲウケサルモ、自分ヨリ出席ヲ願フヿヲ得ルナリ、英倫及ヒ威爾斯（ウエールス）ノ貴族ハ、悉ノ出席ス、蘇格ト愛倫トノ貴族ハ、名代人ヲ公選シテ出ス、蘇ヨリ十六人、愛ヨリ廿六人ナリ、英ノ貴族其外合テ四百七十三人ニテ上院ヲナセリ、○歐洲ノ人民ハ、上下ミナ財產ノ注意ニ厚シトハイヘヒ、富貴ニ生長セル人ハ、貧賤ノ情態ニ遠カリ、眞ノ生產作業ノヿニハ、甚タ迂濶ニシテ、事務ニ練達シ、世故ニ經驗セル人ハ、甚タ少キモノナリ、此等ノ華胄カ上院ニ集會セルトテ、國益ノ事ニ於テ、名論ノ出ルヿモ少ケレハ、上院ノ議事ハ、至テ温順ナリ、往往ニ其冗事ニ屬スルトテ、貴族議會ヲ癈スル論モ起レヒ、英國ノ人氣ハ、一度立タル法

ヲ容易ニ變更スルヲ好マス中ニハ條理ニ悖リ弊害ノ著シキモ敢テ輒ク改ムルヲ欲セサルニ至ル之ヲ按件掛ノアレキサンドル氏ニキツ上院貴族ノ會ヲ廢スル議ノ時議者ハ此ヲ廢スルノ利益ハ國患ノ擾動スル害ニ比較シ輕シトノ一言ニテ止ミタリ又佛ノ大博士モリスブロック氏曰英人法ヲ守ルノ精神ハ實ニ賛美スヘキモノニテ人人ミナ法ノ許ス限界中ニ於テ十分ニ權利ヲ伸ヘタル餘ニ其限界ノ外ニ望ミヲ生ス故ニ其實際ヲミレハ甚タ自由ヲ得タル如クナレトモ其實ハ自由ノ制限佛國獨逸ヨリ反テ狹シト◯貴族ノ國會ニ最モ權力アルハ財力ニアリ凡國ノタメ公益ヲ興スモ國安ヲ保持スルモ威力ヲ伸ヘルモ商議ノ結局ハ財用ニ歸ス貴族ハ郡村ノ地ヲ領有シ村民ニ仰望サレテ其地租ヲ收メ富有ノ人多シ英國公益ノヿハ多ク貴族ノ財本ニテナレリ故ニ何事モ公費ヲ出シ民力ヲ集メ事業ヲ企テル資本ヲ公需スルニ於テハ貴族ノ承諾ニテ成否ノ決スルヿモ多シ是上院第一ノ權力ト謂フヘシ

下院ノ議員ハ國ノ州郡ニテ自主ノ人民中ヨリ公選ニテ擧ケタル名代人ニ

ヲナレリ「自主民トハ「自家ヲ生理スル「財產身代アリテ「國內一箇ノ人民タル義務ヲ「滿足ニ辨スル人ノ謂ニテ「之ヲ名ケテ撰權者トイフ「身代不如意ナルカ「公租ヲ出ス僅少ナルカ「救濟金ヲ出ス力ナキカ「又救濟ヲウケ「或ハ刑辟ヲ犯シタルモノ「皆選權ナシ「本年ノ六月ニ查定セル「英ノ全國「議員撰權ノ名簿ヲミルニ「英倫ニ二百〇九萬四千七百八十八人「蘇部ニ二十五萬五千七百五十一人「愛部ニ二十二萬三千五百〇七人「總計二百五十七萬四千〇三十九人「略全國男子ノ七分一而テ議員ノ總數ハ「六百五十八人ナリ「之ヲ前年ニ比スレハ「四萬九千人ノ選權ノ者ヲ增加シタリ「〇國中ノ士民「政治ノ學術ニ達シ「國論ニ志望アルモノハ「大抵有產家ノ子弟ニテ「州郡ニアリテモ「庶民ヨリ尊敬セラルヽ人ナリ「其選マレテ代議士トナリ「巴力門ニ出席スルハ「極メテ榮譽ナリ「凡ソ官途ニ向ヒテ「榮譽トスルモノハ「內閣各衙ノ宰相ト「議院ノ代議士トナルニアリ「他ノ各衙門ニ行走スル書記官ハ「餘リ世ニ榮譽トハナラサルモノナリ「然レトモ六百五十餘ノ議員「ミナ賢明才智ノ卓越ナルノミニハアラス「總員ノ內ニ「有力ノ人物ハ「僅十餘人アルニスキス「其他ハ自己ノ州部ニ關係アル

ヿニアラサレハ默默トシテ議論ヲオカス只擧手投票ノトキニ於テ曾同ヲナスニスキサル人モ亦多シ◯下院ノ議事ニ於テ特殊ノ權ハ租税ノ艸案ヲ立ルノ一項ニアリ此租税ノ艸案ハ即出ルヲ計リテ入ルヲ制スルノ法ニテ、一ケ年政治ノ目的モ人民ノ痛痒モ皆コレニ關ス總テ立法權ノ根元ハ此ニアリト謂フモ可ナルヘシ◯下院ノ議員ハ公黨ニ因テ左右ニ分レ列席セリ、議長ノ右側ニハ宰相ノ席ヲ設ケ政府黨ハ此右側ニ列席ス左側ハ抗政黨ノ列席ナリ此公黨ノ分レルハ由來久シキヿニテ古時ハ「トーリー」「ウイツクス」ノ兩黨ナリシカ今世ハ「コンセルヴチーフ」「リベラル」ノ兩黨最モ國議ニ大管係アリ「コンセルヴチーフ」ハ保守ノ論黨ニテ「リベラル」ハ改進ノ論黨ナリ改進論ニハ漸進ト急進トノ別アレハ急進ノ黨ハ餘リ多カラス皇帝ノ宰相ヲ撰ムモ此黨ノ景況ニヨリ國民ノ希望ヲ判定ス那ノ黨ノ人ヲ擧用スレハ其一黨ハ政府黨トナリテ他ノ一黨ヲ抗政黨トスルナリ改進黨ニ於テハ時運ニ應シ國法ヲ改正シテ良善ニ赴カシムルノ主義ニテ其論ノ弊ハ人民開智ノ度ニ應セスシテ事務ヲ紛更シ疾痛ヲ生スルヿアリ保守黨トハ強チ舊章シ

墨守スルニハアラス、其主義タル故蹟ヲ保全シ、完美ナラシメルニアリ、歴史ニ深ク、事務ニ熟達セル人ハ、多ク此論ニテ、英國ノ開明ニ進歩スルハ、改進黨ノ政府ニテ歩ヲ進メ、保守黨ノ政府ニテ之ヲ完美ニシ、自ラ終始ヲナシテ、改良ニ赴ク情況アリ、是公黨ノ尤モ國政ニ益アル所タリ、

英國ノ立君政治ハ、米國ノ共和政治ト異ナリテ、立法行法ノ兩權ヲ平衡セル妙ハ、一等宰相カ、公黨ヨリ推サレ、皇帝ノ特旨ニテ、其輔翼ノ任ヲ命シ、毎事巴力門ニ出席シテ、衆議ヲ協スル辯證ニ從事スルニアリ、此一等宰相ヲ「プライソミニストル」ト稱ス、皇帝輔翼ノ官ニテ、必ス各宰相ノ長官ト、內閣大臣ノ總裁トヲ兼子、會計事務宰相ノ職務ヲ掌ル、此官トナルモノハ、常ニハ自己職務ノ衙門ニ出仕シ、宮內ニ往テ、皇帝ノ顧問ト、政事ノ執奏トヲナシ、退出後ニハ、巴力門ノ議席ニ出テ、辯證ノ責ニアタリ、又內閣議會ニモ出席シ、時ニハ宰相ノ議會ヲモ引受ク、其繁劇ナル、往往ニ晨ニ出テ夜半ニ歸邸スルヿ多シ、故ニ英國ノ一等宰相トナルモノハ、假令其才性卓越シ、學智博達ナルモ、腦力人ヲ兼ルモノニアラザレハ、其責任ニ堪ル能ハスト謂フ〇行法官ノ各宰相ハ、會

計「ハイチヤンセロル」、司法宰相兼上院ノ議長、樞密院、同小璽、出納、内務、外務、屬地、印度、陸軍、海軍、地方等、十六省ニ分ル、皆一等宰相ノ執奏ニテ、其代リ日ニハ皆人ヲカユ、因テ一等宰相ノ替ルヲ政府ノ改マルト謂フナリ、宰相ノ外ハ改マルヿナシ、内閣ハ之ヲ「ケビ子ット」ト名付ク、十六宰相ヨリ十員ヲ撰ム、會計ヨリ出納マテノ五員ハ必ス入ル、又行法諸察長官ヨリモ撰ム、此内閣ニ入ルモノハ、爵位才德名望アリテハ、最モ國政ニ裨益アルモノヽ選ニシテ、甚タ榮譽アルヿナリ、時アリテハ豪傑俊邁ノ士、學識名望世ニ著シキモノ、或ハ議院黨ノ首領トナリ、最モ政府ヲ鼓動スヘキ力量アル人ハ、別ニ主任ノ官ナクシテモ、内閣ニ入ルコトアリ、此内閣議員ハ、其姓名世ニ公布セサレハ得テ知ルヘカラス、國ノ機事ハ、盡ク此ニテ決行スルトナリ、此會議ハ定所ナシ、又定日ナシ、多クハ一等宰相ノ宅ニテ、集議スルヿ多シト謂フ〇一等宰相ノ任スルハ、皇帝ノ特權ナリ、皇帝ノ權ハ、立法行法ヲ兼子タリトモ謂フヘシ、皆其權ニ自ラ定限アリテ、重ナルハ任免決行ニアリ、一等宰相ヲ選用スルハ、其權内ニ於テ甚タ重要ノ員ニテ、英國ノ政府ハ、此舉ニテ體面改マレハ、之ヲ擧用スルニハ如何ナル法ニテ、國中ノ名士ヨリ、鑑拔ス

ルヤトイヘハ、國人ノ最モ希望スル人物ヲ擧ル所ニテ、皇帝ノ私意ニ選ムニモアラス、又議員ノ選擧ニ出ルニモアラス、其大略ハ、巴力門ノ議員中、種種ノ論黨アル內ニ、其論ノ最モ多數ナル黨中ヨリ、撰拔ス、今ノ宰相「グラッストン」氏ハ、改進黨ナリ、當時巴力門ニ於テ、此黨派ハ、保守黨ヨリ人員多キヿ、百人許ナリト謂フ、是國人ノ希望ノ向フ徵(シルシ)ニテ、其擧用セラル、以前ニアタリ、國人ハ己ニ政府ノ改マルヿト、其黨ノ中ヨリ某某カ、皇帝ヨリ此任ヲウクルヿヲ前知ス、一等宰相己ニ勅授ヲウクレハ、他ノ重ナル宰相ハ、執奏シテ之ヲ擧任シ政府ノ體面ハ全ク、一變スルナリ、

巴力門ノ下院ニ於テ、種種ノ論黨カ、公然ト相分レテ、互ニ其意見ヲ主張スルハ、保守、改進、急進、獨立、インデペンデント或ハ「パーチィクエッション」一黨ノ疑議ト云ヿトテ、自己ノ說ニ拘ハラス、一和ノ尉(クミ)ヲナシ、議ヲ立ルヿアリ、下院議員六百五十餘人ノ、人材集會シタル中ニハ、白髮ノ老人モ、溫厚ノ君子モ、俊秀ノ青年モアリ、或ハ議論英發シ、或ハ循循說明シ、仰クアリ、伏スアリ、或默坐シ、或ハ沈吟シ、或ハ文ヲ艸シ、或ハ書ヲ閲シ、中ニハ畫ヲ模寫スル人モアリ、意態萬狀ニテ、百花ノ燦爛

ヲル觀ヲナス、議論ヲ起スヲ「ウォート」ト云、議長ニ向ヒテ一人ツヽ意見ヲ陳明ス、滿座之ヲ聞クモノ、其緊要ノ所ニ至レハ「ヒヤヒヤ」ト聲ヲ掛ル、最モ肝要ノ警語ニハ「チャース」ト掛聲ヲナシテ賞譽シ、或ハ其痛快ニ失策ヲ論破スル所ニハ、ドット笑フヿモアリ、中ニハ欠伸ノ聲モキヽ、異論ノ人ニハ、耳目ヲモ注カス、冷笑シ居ルモアリ、或ハ一心ニ他ノ文案ヲミテ、管知セサル如キ人モアリ、〇抑國論ニ黨派ヲ分ツハ、其主義ノ方向ニ、目的ヲ異ニスル所ニテ、之ヲ公然ト衆人ノ前ニ明フル論ナレハ、固リ娟嫉偏私ノ僻見ヲ言張ルニアラス、故ニ毎事毎議ニ、必ス異樣ノ論ヲ捏造(コシラヘ)シ、議事ヲ攪亂スルニアラス、要其主義ニ於テ、向背ヲ陳シ、畢竟ハ愛國ノ誠意ニ出ルヿナレハ、時ニハ政府黨ヨリモ、此主意ニ至テハ、政府ノ所爲ニ服セスト、抗政黨ニ與スルヿアリ、或ハ抗政ノ一黨協議シテ、議案ヲ持出スヿアリ、政府ノ議案、毎ニ衆議ニ服セラレス、自ラ其人望ヲ失ヒタルヲ知ルカ、或ハ議員ヨリ、政府ノ人望ヲ失ヒタルヿヲ發議シ、一等宰相ノ辨明モ立サル時ハ、一等宰相ハ辭表ヲ上ルナリ、〇宰相カ、一度皇帝ヨリ任ヲ受ケタル後ハ、議院ハ之ヲ廢黜スルノ權ナシ、是皇帝カ政府ヲ敬

ムルニ大權アル所ニテ宰相辭表ヲ上レハ皇帝ノ意ニテ其取捨ヲ決ス皇帝其人望ヲ失ヒタルヿノ迹モ深ク懸念ナシトスレハ取上ケス猶勉勵シテ人望ヲ復スヘキヿヲ勸ム或ハ議院ヲ解散シテ更ニ撰擧セシメ國中ノ向背ヲ察スルヿモアリ或ハ其竟ニ國安ヲ保持シ難キヲ知レハ直ニ其請ヲ許可スルヿモアリ我一行ノ滯府中ニハ政府ノ評判甚タ惡カリシカ後グラッストン氏ハ辭表ヲ出セリ倫敦ノ評判ハ保守黨ノギスレリー氏カ宰相トナルトイヒタレトモ皇帝辭表ヲ取上ス爾後又改進黨ノ評判モ取直シタリ○當皇帝ハ英國ノ人望甚タ深ク古來絕ヘテ少キ仁君ナリト仰望セリ皇帝ノ世トナリテ政府ハ十二回改マレリ即位ノ時ニハメルボールン氏宰相ナリシニ後ロベルトピール氏ジョンロッセル氏デイパイノエル氏（此人三任）アルデヒーンノエル氏バームルストン氏（此人再任）エルロッセル氏トギスレリー氏グラッストン氏ノ八人ヲ擧用セリ

三日　晴

四日　晴

午後ニ「フリンス、アルベルト、ロード」ノ博覧會ヲ一覧ス、會ノ長「マショールウィントン」迎ヘテ案内シ、邏卒ヲシテ他ノ見物人ヲ警メ、混雜ナカラシム、記聞闕ク

○夫ヨリ甲比丹フランクリン氏ノ未亡人ヲ「ガルトンパルチー」ノ莊園ニ訪フ、「フランクリン」氏ハ、北極ノ磁石樞軸ノアル所ヲ探ラントテ、船ニ航シテ西北ノ氷洋ヲサシテ赴キシニ、終ニ消息ナシ、一千八百五十四年ニ至リ「トクトルレイ」トイフ人、北西洋ヨリ歸航シ、四年前ニ「プーチヤー」港ニ於テ白哲人カ四十人許、餓死セシヲ見タルト「エキスモース人寒帶ノ地方ニ住居スル人種露國ノ記ニ詳ナリカイヒシ説話ヲ聞コレハ、或ハ是「フランクリン」氏ノ一遣ナルヘシト話セルヲ以テ左レハ其志ヲ遂セス沒セルナラント、此未亡人ハ家財ヲ傾ケテ、其蹤跡ヲ訪求センヿヲ企テタリ、夫ヨリ五年ヲ經テ、甲比丹クリントック」支配下ノ士官カ、「キンク維廉ランド」地名ニ於テ、先年其地ノ「ベック河邊ニ餓死セシ、甲比丹メロシーロ」ノ手記簿ヲ得タリシニ其簿ニ「フランクリン」氏ハ、一千八百四十七年ニ沒スルトノ文アルヲ見テ、未亡人ハイヨイヨ其死ヲ確知シ、竟ニ親ラ船ヲ發シテ、彼地ニ赴キシニ、其遺物ヲ氷雪ノ内ニ得テ歸レリ、其遺物ヲ房中ニ羅

「ウインザ城（カツスル）

「ウインザ橋 テームス河ノ上流ナリ

列シ且同時ニ赴キシ人ノ像ヲ繪圖セルヲ示セリ其遺物ハ時辰儀ノ空函小刀鉛筆等ニテアリケリ此事蹟ハ近年英國ニ於テ高名ナル美談ノ一ナリ此未亡人ハ曾テ日本ニモ來リシ人ニテ一室ミナ日本ノ器械ヲ裝ヒ茶ヲ享スルニモ亦我茶器ヲ用ヒ國俗ニ從ヒテ喫セシメツ、

五日　晴

「ウイクトーリヤ」驛ヨリ蒸氣車ニテ達迷斯河ノ上流二十一英里ヲ走リ、ベルクス州ノ「ウインザカッソル」ニ至ル此ハ皇帝ノ平日居住ノ宮ナリ今ノ王家ノ祖諾曼的維廉コンケォル王ノ代ニ始テ築キ起セル古城ナリシヲ顯理第一世第二世ノ代ニ增築シテ代代皇帝ノ居宮トナセリ回廊ノ長サ五百尺高櫓ノ圓徑二百尺ニ及フ宮殿樓閣ハ是ニ從フ中ニハ綺羅ヲ盡シ錦繡ヲ張リ珍寶ヲ室室ニ陳子名畫ヲ房房ニ掲ク此地ハ平岡ヲ負ヒ達迷斯河ノ上流幅三百尺許ニ流レ園林ノ勝蔚然爽然トシテ其廣サヲ極メ難シ花園花窖アリ菜畦蔬圃アリ皇帝皇太子モ亦親ラ栽培スル畦モアルトナリ城中ニ武庫アリテ戎器ヲ藏ス、

六日陰

七日陰雨

八日

午前九時ニ「アレキサンドル」氏案内ニテ「ウェストミニストル」橋畔ヨリ小火輪船ニ上リ此ニテ「パークス」氏モ會シ同行ス達迷斯河ヲ下ル八英里ニテ「ウールウィッチ」ニ至ル此都邑ノ人口五萬アリ英國武器ヲ製造スル所ナリ

○先ツ武庫司ノ武庫倉ニ至ル門内魯西亞及ヒ支那ニテ分捕セシ大砲等ヲ列置スルヲミル露國ノ砲ハ砲口糜爛セリ其多ク敵丸ヲ受ケタルヲ見ル支那砲ハ然ラス皆新ニ型ヲ出スモノヽ如シ以テ支那人ノ戰ニ弱キヲ知ルニ足ル東洋ノ大陸地ニ於テ支那人ノ一種ハ柔和ナル性質ニテ其武事ニ於テ怯弱ナルコハ實ニ甚シト云

夫ヨリ「ゼネラル、ウード」氏庫長同道ニテ砲彈ノ製造局ニ至ル器械蒸力ヲ用ヒ製造ヲ助クルハ無論ナレヒ其蒸氣器械ノ大ナルハ一箇ニ二百五十馬力ヲ具セル巨輪ヲ運スルニ至ル一日ニ造出スル所ノ彈丸最大ナルモノハ三百磅

「ウールウイッチ」テームス河ノ下流ナリ

「リチモント」之景

ヲ首トシテ、總テ三十五種ツヽヲ造出スヘシ、其盛大推シテ知ルヘシ、○其他造輪楠藥局、製車諸局ヲ歷覽ス、皆其製作ノ盛大繁遝ナル、殆ト人ヲシテ敵四境ニアルモノヽ如ク疑ハシム、全歐洲ニ於テ、造兵場ノ盛大ナルコ、此地ニ超ルモノアラス、其雄名ハ世界ニ轟ケリ、使節ヨリ其規模ノ大ニ、制置ノ盛ナルヲ奬賛セシニ「ウード氏答ヘテ曰ク、畢竟皆人血ヲ流サシムカ爲ノミ、是豈文明世界ノ宜クアルヘキモノナランヤ、我最モ是ヲ愧ツト、乃チ「ウード氏ノ食堂ニ於テ、午餐ノ享アリ、砲兵ノ樂隊樂ヲ戶外ニ奏ス、待遇懇摯ナリ、此武庫中ニ役スル職人ハ千八人トイフ、薄暮ニ歸館ス、

九日陰

午後ヨリ王廐ヲ觀ル、

十日快晴

此日ハ「ペーコンヒル」ニ於テ大繰練アルヲ以テ、「パークス」「アレキサンドル」兩氏ノ誘ヒニテ、朝六時半ニ出館シ「ワートルロー」ノ驛ヨリ、蒸氣車ニ上リ、九時半「タレトレー」ノ驛ニ達ス、此ニ騎兵二人、豫メ我一行ノ來ルヲ待テリ、乃チ馬車

ニテ先導シ「ペーコンヒル」ニ至ル、此ハ倫敦ヲ距ル、殆ト八十英里ノ地ナリ、此日ハ操練ヲ見ンカ為メニ、倫敦ヨリ來リシ士女雜沓ヲナシ、操練場近傍ノ小岡ニ皆充滿セリ、其地ハ平坦ニシテ、漫坡ヲ起伏ス、最モ操練場ニ適當ナリ、我一行ニハ、別ニ一區ノ地ヲ畫シ、其内ニ在テ見物セシム、此ハ英國貴族ノ内眷ノミ、其内ニ容ルヲ許ス處ナリ、其地ノ傍ニ旗杆ヲ立テ、大旆ヲ揭ク、正午ノ祝砲二十一發ヲ轟スレハ、兵隊進行ヲ始メタリ、此ヨリサキ、皇太子威爾斯（ウェールス）侯ハ、一小隊騎ヲ率ヒ、陸軍ノ大元帥「ケムブリッチ」丟克（チューク）プリンス、ジョージ、皇帝ノ從弟及ヒ各部將、幷ニ各國ヨリ來リ見ル所ノ武官ノ八ト、皆馬ヲ大旆ノ下ニ立、兵隊ハ皆列ヲ整ヘテ、其前ヲ過ク、歩騎砲三兵ヲ幷セテ、凡三萬五千人、其整肅セルイフヲ待タス、最後ニソノ騎兵一萬ヲ二分シテ、戰列ヲナサシメ、凡ソ一里ノ距ルノ地ヨリシテ、疾馳シ陣ヲ衝擊スル勢ヲナス、皇太子、大元帥、及ヒ諸將ノ前、數十步ノ地ニ至レハ、一號令ノ下、一頓ニ馬蹄ヲトヽメ、少シモ參差ナシ、最モ壯觀ナリ、觀畢リ、來路ニ從ヒテ歸館ス、○是ヨリ先キ、此地ニ數口ノ演兵アリ、兵隊ヲ二分シ、彼我ヲ分チ相戰ハシメ、戰略ニ熟セル將校、其整列ノ遲速、布陣

占地ノ要否、放砲縦騎ノ機ニ應スルヤ否ヲ見テ、雙方ノ勝敗ヲ判シ、或ハ勝ヲ凱ヲ奏スルアリ或ハ坐シテ囚虜トナルアリ、此演兵ハ數周ニ及ヒ、費ヤス所ノ金額十萬磅ニ越ユ、五十萬弗ナリ本日ハ其部ヲ幷セテ、整列進行セシナリ、

英國ハ海軍ノ敵ヲモチタル地位ニテ、陸軍ノ用意ハ、是カ補助トナス目的ニスキス、內國ノ政度、公明平正ニテ、人民法ヲ守ルノ心ニ篤ク、勉勵風ヲナシ、和協シテ自主ヲトケ、幸福滿悅スルモノ衆多ナルニヨリ、常備兵ノ用意ハ、國中人口ノ割ニ比較スレハ、其數ノ少キヿ、歐陸各國ミナ及フ能ハサル所ナリト、國人ミナ自負スル所ナリ、千八百七十年ニ、陸軍常備兵ノ數ハ、將校ヲ幷セテ十九萬千〇七十三人、其內ヨリ六萬三千七百〇七人ハ、印度地方ニ駐劄ス、二萬八千三百三十三人ハ、殖民地ニ駐劄ス、故ニ內國ノ常備兵ハ十萬ニスキス、其費用ハ千四百二十三萬〇四百磅ノ額ナリ、全國ヲ十鎭臺ニ分チ、八十屯營ヲオク、此他豫備兵、及ヒ鄉勇ノ數、十二萬八千九百人ニテ、九十五萬二千七百磅ヲ費シ、又十九萬九千ノ義兵アリ、政府ヨリ四十一萬四千磅ヲ補助スルト云、軍備ノ事ハ政府ノ殊ニ詭秘スル所ニテ、公然タ

ル統計ニテハ未タ信ヲオキ難シ○我一行ノ各國ニ歴聘スルニアタリ各政府ヨリ誘引シテ觀察ヲナサシメタルハ多ク軍備ノ事ニカヽル人民ニ工業ノ勸勵ニカヽル事ハ會社ノ誘引ニヨレリ是政府ノ務トスルヿハ殖ソト國威ヲ張リ軍備ヲ振フヲ主要トセルモノヽ如シ況ヤ歐陸ノ列國ニ至レハ全國ノ丁壯ヲ蒐集シテ兵トナシ國中ニ屯營羅布ス之ヲ聞ク米國ノ紳士歐陸ニ遊ヒ各國無用ノ民膏ヲ吸ヒ有爲ノ民力ヲ廢シ凶器ヲ執テ惕然羅立セシムルヲ笑ヘリト夫レ兵ハ凶器ナリ戰ハ危事ナリ殺伐ヲ嗜ミ生命ヲ輕スルハ野蠻ノ野蠻タル所ニテ之ヲ「サウェーヂ」ト謂ヒ之ヲ「バルバリー」ト謂ヒ文明ノ君子深ク惡ム所ナリ然ルニ歐洲ノ文運ハ如此ク二開進シ而テ軍備ノ設ケハ如此ク二相競フ英國ノ常備兵最モ寡小ナルト謂フモ猶十萬ノ丁壯ハ國ノ軍役ニ引擧ラレ教ユルニ殺伐ノ事ヲ以テセラル是其文運ノ未開ニテ蠻俗ヲ脱スル能ハサルニヨル歟未タ必モ然ルニアラス文明國ノ兵ヲ講スルト野蠻ノ民カ武ヲ嗜ムトハ其事ハ相似テ其主意ハ相反スルナリ蓋シ野蠻ノ武ヲ好ムハ自國相鬩フニアリ文明國ノ

兵ヲ講スルハ、外冦ヲ防禦スルニアリ、昔シ商鞅政ヲ秦國ニナシ、民ヲシテ公戰ニ勇ニシテ、私鬪ニ怯ナラシム、是蠻夷ノ稍進ミテ、國規ニ服セル所ナリ、聽フニ公戰ノ主意ハ、之ヲ內訌ニ用フルカ、外患ニ用フルカヲ論セサルベカラス、自國相和協セス、民ヲ凶器ノ下ニ威服スルハ、文明ノ點ヲサル〻遠シ、一家ノ財產ハ、門戶ノ鎖鑰ヲ嚴ニシテ、盜竊ヲ絕ツヘシ、村邑ノ財產ハ、警察ヲ嚴ニシテ、劫奪ヲ禁スヘシ、何ソ必モ兵ヲ要セン、全國ノ財產ヲ防護スルニ於テハ、軍備ノ壯ナルニアラサレハ、外冦ヲ攘ヒ難シ、列國相持シ、大小形ヲ異ニシ、强弱互ニ相制スル日ニアタリ、國ヲ防護スルノ兵ハ、常ニ廢スル〻能ハス、是文明國ノ常備兵アル所ナリ、〇常備豫備ノ兵ヲ設ケテ、外冦ヲ防キ、自國ヲ護スルハ、形勢ノ己ヲ得サルニ出ツ、故ニ務メテ費用ヲ節シ、民力ヲ愛惜スヘシ、夫ノ米國ハ、四疆殆ト陸兵ノ强敵ナシ、只加拿他（カナタ）、墨是科（メキシコ）、及ヒ印甸土人（インヂャン）ニ備フノミ、故ニ常備兵僅ニ二萬ヲ置、他ハ豫備義兵ニテ足ル、海軍ノ敵ハ、大洋ヲ渡リ來ルニスキス、故ニ常備ノ軍艦ヲ省機シ、募艦ノ法ニテ足ル、米國ノ海陸軍、共ニ常備ノ寡キハ、地位外敵ニ遠カルニヨル

ナリ、英國ハ、三面ニ海軍ノ敵ヲ受ケタルヲ以テ、海軍ノ備ヘハ甚タ壯ナリ、陸軍ノ敵ニ至テハ、直接ニ受ケサルヲ以テ、十萬ノ軍ニテモ餘リアルヘシ、是其常備兵ノ寡キモ、地位外敵ニ遠カルニヨルナリ、佛獨墺露ニ、常備軍ノ多キハ、是其國安ノ和協ニ乏シキニ因テ然ルニハアラス、歐陸地ハ大野ヲ畫シテ、互ニ界線ヲ分チ、陽ニ親ミ陰ニ猜ス、一日モ外敵ノ虞ヲ緩ニシ難シ、是ヲ以テ全國ノ丁壯ヲ盡シ、之ニ操兵ヲ教ヘ、其財力ヲ傾ケテ、軍費ニ靡ス、亦國威ヲ保チ、強弱ノ平衡ヲ持シ、外寇ヲ防キ、國安ヲ護ルノ主意ニアラサルハナシ、○國ノ自主ヲ遂クルハ、內國ノ人民、互ニ相和協シテ、生產作業ヲ勉メ、愛國ノ心ニ篤ク、他國ノ下ニ屈スルヲ愧ルニヨル、此自主ノ精神ハ、積テ富殖トナリ、聚テ強兵トナリ、進テハ外寇ヲ攘フニ足リ、退テハ境界ヲ保守スルニ足ル、若シ自國相鬩ヒ相爭フトキハ、自主ノ力、自ラ消滅ス、猶刃ヲ執テ己ノ支體ヲ傷ルニ異ナラス、曩ニ米國南北部相戰フトキ、歐洲ノ大國、陰ニ其分立ヲ唆動セシニ、南部ノ政府ヨリ、之ニ答ヘテ曰、當國ニ於テ、即今戰ヲナスニ至リシモ、畢竟全國共和ノ制ニ於テ異論アルニ因レリ、偶全國ノ共

和敗レ南北互ニ自立スレハ疆場ニ砲臺ヲ築キ海岸ニ軍艦ヲ備ヘ貴重ノ財力民力ヲ費シテ歐洲ノ弊事ヲ學ハサルヲ得ス是ハ米國人ノ本意ニアラスト謂ヘリト四面海ニテ切迫ニ海陸ノ敵ヲ有セサル國ハ自國ノ治安ヲ保有スルニ無用ノ軍備ヲ要セサルハ固ニ國ノ幸福ナリ其外敵ノ切迫ナラサルトテ同族相屠ル南洋群島ノ野蠻ノ如ク政令ヲ凶器ノ下ニ行フハ最モ文明國ノ軍備ヲ設クル主意ト背シテ走レリ兵ヲ講スルモノ此辯ヲシラサルヘカラス

八月十一日　晴

夕ニ舊商會「メルセルホール」ニ招カレ、饗宴ニ會ス、

十二日　陰

十三日　陰

十四日　陰

十五日　晴

午後「アレキサンドル」氏ノ案内ニテ、府中ノ小學校ヲ一覧ス、是ハ旅館ノ近傍ナル區中ニ取建タル、童男童女ヲ教育スル小校ニテ、總生徒百五十餘人アリ、大抵七八歳ヨリ十三四歳マテヲイレテ、言語、文、算、教法、畫圖、國史、地理、唱歌ナトヲ教ユ、窮理ノ道具ヲ見サレトモ、是モ必ス教ユナルヘシ、○女子ニハ紡織針術ノ業ヲ教ユ、數術ニ因テ法ヲ生シ、光學ニ因テ絲ノ排列ヲ生ス、之ヲ織リ之ヲ組ムニ付テ、縮張ノ理ヲ知ラセ、或ハ織機ニ綜ヲトリ文字畫紋ヲ織出ス法

等ミナ數理光學ニ關係ス西洋ニテ人ニ技藝ヲ授クル每ニ如此ク精密ノ理ヨリ簡楚ノ致ヲ卒ム是其愈學ンテ愈深キ所ナリ其他「メリヤス」ヲ編ムカ如キハ尤モ日用必需ノ稽古ナリ○此校ニ又五六歳ノ幼稚ヲ敎フル一寮アリ、女敎師一人補助二人ヲ付ス幼兒三十餘人アリ敎フル所ハ指揮ヲ聞テ手ヲ拍ツ唱歌ノ始メナリ黑板ニ書ヲ引キ斜線ナトヲ書シテ石板ノ面ニ之ヲ模セシムルハ文筆ノ始メナリカヽル事トモニテ一般ノ規則ノ如ク勤休ヲナシヲ遊戲ニカヘルノミ是ソノ習ヒ自然ト學藝ノ稽古ニ腦漿ヲ注カシムルノ基トナルナリ凡男女一タヒ胎ヲ出テ耳目ニ感ヿ生スレハ學知ノ心ハ自然ニ涌進ス一生腦神ノ成形ハ此時ヨリ始マル父母タルモノ此時ヲ失シテ、敎育ニ注意ヲ漫ニスルハ靈美ノ子ヲ廢シテ愚漢ニ陷ルヽナリ西洋ニテ近代幼稚ノ學敎ニ注意シ務メテ人子ヲシテ其天眞ヲ全クセシム人ノ父母タルモノ深ク此主意ヲ知ラサルヘカラス○倫敦ニアル内ニテ學校ヲ見タルハ唯此一ケ所ナリ凡ソ倫敦中ニ公校二百五十義校一千五百アリ然レトモ英國ノ大學校ハ「オツクスブォルト」ニアルモノヲ尤モ高大ニテ備レリトス次ニ「ケ

倫敦古城（タウル）ノ圖

同城内ノ圖

ンブリッチ」ニモ、亦高大ノ學館アリ、此二校ハ歐洲ニ聞ヘタル大校ナリ、都會ノ地ハ、人ノ耳目ノ感、自然ニ散漫シテ、奢靡邪淫ニ流レ易ケレハ、學齡ノ青年ハ、多ク其習慣ヲ誤ル、故ニ英米ノ學校ハ、小學ノ外ハ、多ク村邑ニアリ、

十六日　陰

午後ニ「パークス」氏「アレキサンドル」氏ノ案内ニテ、左ノ處處ヲ見回ル、

○タウァル、オフ、ロンドン」是ハ倫敦古城ナリ、諸曼家ノ祖、維廉コンクォル王ノ創築セル城ニテ、其後ニ代代ノ英王、此ニ居住シ、百般ノ古蹟アルコト、舊史ニ著シ、此城ハ、運上所ト、倫敦ドック」トノ間ナル河岸ニアリ、地底丈餘ノ底ニ、乾壕ヲ堀リテ、其中ニ築キ起ス、達迷斯河ニ沿ヒテ、所謂長馳道ナルモノアリ、周圍ハ樹木葱然タリ、門ニ入リ進行スレハ、石垣牢固ニシテ、鐵關ヲ施ス、古色蒼然タリ、時ニ幽暗ノ處ヲスク、人ヲシテ意思悚然タラシム、○古時囚牢ノ跡アリ、昔時英王カ婦人ヲ斬戮セル跡アリ、城ニ入レハ、壁內ニ二王子ヲ殺シテ屍ヲ隱セシ所アリ、其他古來淫虐慘暴ヲ行ヒシ跡多ク、今ニシテ其蹟ヲミテモ、猶人ノ毛髮ヲ立テシム、○樓上ヲ寶庫トナシ、國王寶玉ノ冠、及ヒ禮式ノ儀物、數箇ヲ

幷セ一室ニ蓄フ、夫ヨリ引續キテ武庫アリ、古甲古戟ヲ夥多シク蓄ヘ、三十年紀ヲ付箋セリ、三百年前ニ製セル後裝式ノ銃アリ、最モ奇ナリ、日本ヨリ査爾斯(チャーレス)第二世ニ贈リタルモノトテ、甲冑一領アリ、又日本刀ヲモ集メタレド、骨董家(ドウガヤ)ノ弊品ニテミルニ足ラス、往昔西班牙(スペイン)ノ戰ニ持來リシ慘酷ノ刑具アリ、西班牙王非立(ヒリップ)第二世カ、羅馬教ヲ墨守シ、同教及ヒ「プロテスタント」教徒ニ慘刑ヲ加ヘ、國民ハ路ニ流離シ、荷蘭ハ叛キ獨立シ、一時ノ大爭亂トナリシ、殘虐ナル暴動ハ、史上ニモ述ヘタレド、其周密ニ巧思ヲキハメ、此慘惡見ルニモ忍ヒヌ器械ヲ製シ、無辜ヲ苦メタラントハ、誰モ思ヒ至ラサルヘシ、西洋不開化ノ時ニ當リ、宗敎ニツキ酷刑ヲ行ヒシヿ、往往此ニ類スルヿ多カルヘシ○又四獄アリ、複壁ヲ造リ、大鐵柵ヲ設ケテ、幽暗ナル處ニアリ、古女王以利沙伯(エリサベス)ノ幽囚セラレシ暗室ニハ、其即位ノ後ニ、西班牙ノ海軍ヲ防カント、親ラ出立セシ、軍裝騎馬ノ像ヲ安置セリ、上層ニハ、古時ノ說教堂アリ、是ヨリ上下スル螺旋ノ階ハ、闇黑ニシテ啾啾ノ聲ヲ聞クカ如シ、其來歷ヲ問ヘハ、到ル處幾許ノ人命ヲ苦メシ跡ナルヲ知ラス、

○電信寮、此ハ「シチー」內ニアリ、元諸會社ニテ分ケ持タルヲ、一千八百七十年ノ仕組ニテ、政府ニ總持シ、未タ其公館ヲ設クルニ遑アラス、故ニ此ヲ假局トナス、寮小ニ線多ク、寮寮ミナ案ト人トヲ攢立ス、僅ニ往來ヲ通スルニ足ルノミ、電信ノ器ハ種種アリ、或ハ字ヲ指シ、或ハ符號ノ點法、若クハ畫線ヲ、長機ノ紙ニ切リ出シ、或ハ文字ヲ印シテ出ス等、種種ニ發明ヲ異ニシタレヒ、各一得一失アリト云、○電報ノ屆キタルヲ、急ニ屆ケサキニ送リ致スニ、地底ニ空氣彈射ノ鋏ヲ設ケ、文書ヲ筒ニ入レ、厚毯(フランネル)ヲ以テ包ミテ、緊シク鐵管ノ口ニ入レル、猶後裝式ノ銃砲ニ「ハトロン」ヲ塡スルカ如シ、其鋏管ヲ地底ノ管ニ接合シ、蒸氣ノ機關(カラクリ)ヲ運スレハ、其口ニ設ケタル機能ニテ、空氣ヲ壓迫シ、文筒ハ地底ノ管中ヲ飛行シ、直ニ上頭ノ口ニ噴出ス、此鐵管ハ地中ヲ通シテ、處處ノ要衝ナル地ニ達セルモノナリ、要衝ノ地トハ郵便局新聞館蒸氣車大驛ノ類ナリ 此鐵管ノ設ケハ、元普魯士(プロイス)人ノ發明ナルヲ、英國ニ取用シ、倫敦府中ニ、總テ八九條モ施セリ、本日觀覽ノ際ニ、此寮ヨリ發セル書狀數箇、又他處ヨリ送リ來リタルモ數箇アリ、彈丸ノ來ルカ如シ、訇然(ボン)ト聲ヲナシ、噴出シタリ、○凡ソ英國ニテ電報ノ數ハ、去年ノ

統計ニヨルニ、總テ一千二百七十萬件アリテ、八十萬磅ノ利益ヲ得タリ、英國全地ニ通セル電線ノ長サハ、二萬二千三百十九英里、其海外ニ通セル所ノ長サ一萬二千三百八十二英里ノ長キニ及フ、其大畧ヲ擧レハ、本國ノ西南岸ヨリ「西班牙ノ角ナル「ヂブラルタル」、英領ノ砲臺夫ヨリ地中海底ヲスキ「マルタ」ニ至リ、更ニ埃及國(エヂープト)ノ亞歷山大府(アレキサンドリヤ)ヨリ、陸路「シュウェス」ニ至リ、紅海ノ底ヲスキ「アデン」ニ至リ、印度ノ孟買(ボンベイ)ヨリ内地ヲ貫キ、夫ヨリ「ピーナン」、新嘉坡ニ至リテ、「オ、スタシリヤ」ニ達ス、大抵半地球ヲ貫通シテ、日日相報告ス、世界ノ事ハ、猶之ヲ掌ニミルカ如シ、其内地ノ電線局ハ、三千三百七十二ケ所、鐵道ニ附屬ノ電信局ハ、千八百〇七ケ所、取扱フ人員九千〇十三人ナリ、

西洋ニ電氣信ヲ傳フノ術ヲ發明シテヨリ、其電線ヲ用フルコ、我邦ノ蝿鈴縄ニ齊シ、一室ノ内モ、各國各都ノ間モ、一線ヲ繫キテ意ヲ達ス、故ニ市街ノ間、電線ハ蜘蛛ノ網ニ彷彿タリ、抑電氣ハ宇宙間ニ充塞シ、微幼ニシテ至ラサルナシ、之ヲ用フルノ法ヲ知レハ、其多キ風ヲ用フルニ齊シ、玻瓈ニ之ヲ盛ル、萬雷モ馴致スヘシ、走ラスニ銅線ヲ以テス、千里モ瞬間ニ到ル、摩擦ニ

ヨリテ生シ交感ニヨリテ生ス乾アリ濕アリ其秘一タヒ蘊ヲ縦(ホコロハ)セシテヨリ市塵ヲ往來シ山海ヲ奔馳シテ雷公日夜ソノ役ヲトル天ヨリ人ニ資スル所ノ利用ハ實ニ不可思議ナリト云ヘシ、

○郵便館(ポストオフイス)是モ「シチー」ニアリ倫敦ニテ郵便局ノ設ケハ甚タ多キ內ニ當時ハ此館ヲ以テ大總館トス近來別ニ新ニ郵便館ヲ此側ニ經營ヲ起シ廣サ二百八十六尺長サ二百四十四尺ノ地域ヲ占メ樓屋ヲ五層トナシ高サ八十四尺ノ大館ヲ建ソト正ニ建築中ナリ○英國ノ內地己ニ庶般ニシテ屬地モ亦廣大ナレハ郵便館ノ設ケ內外ニ二總館アリテ其法ヲ異ニスレヒ皆コレヲ倫敦ノ郵便總館ニ管轄ス郵便ノ一項其事務タル實ニ劇要ナリ五洲ノ列國ト締約シ遐陬僻地ニモ達ス政府事務ノ一大部分ニオルモノナリ○郵便ノ法ハ、米歐各洲ニ於テ凡ソ貿易ヲ盛ニシ文教ヲ普クスル國ハ殊ニ緊要ナル務トス、大都ニハ必ス郵便館ヲ置テ之ヲ總轄シ郵便ノ劵子ヲ印刷シテ全國ニ賣捌ク英國ニ於テ製スル劵子ハ大抵長サ八「インチ」許濶サ六「インチ」許他ノ國國ニテハ些ノ大小アレヒ大般ハ同シ價ニヨリテ色ヲ異ニシ模樣ヲ異ニス劵

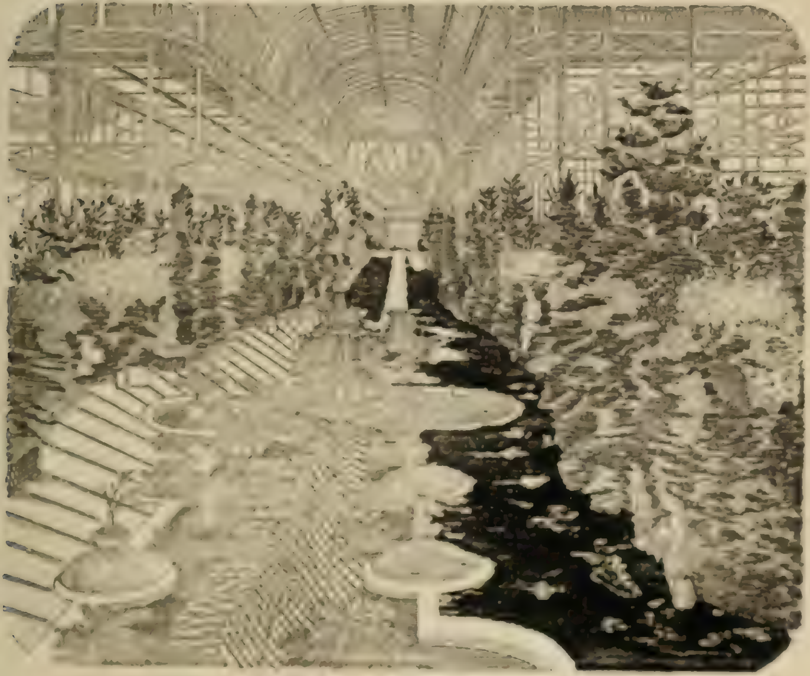
背ニ樹脂(ゴム)ヲ塗リ、信書ニ糊貼スルニ便ニス、此劵子ヲ賣捌ク店アリ、其價ヲ出シ買入レテ貼用スレハ、己ニ信書ヲ差立ル貨ヲ拂ヘル理ナリ、市街村巷ニハ郵便差入ノ鐵製轉斗アリ、信書ヲ此斗ニ投スレハ、時ヲ以テ郵便丁來リ、其信書ヲ收メテサル、若シ劵子ヲ貼用セサル信書アルモ、亦其屆クヘキ地ニ配達スレトモ、扱所ニテ定法一倍ノ劵子ヲ貼シテ、其價ヲ屆ケ主ヨリ徵求ス、是各國ノ通則ナリ〇英國ニテ郵便ノ仕組ハ、人口五千人ニ一ノ取扱所ヲ設ク、倫敦ノ一府ニテ例スレハ、全府人口三百二十五萬餘人アリ、之ヲ十大區ニ分チ、郵便館ヲ設ク、每區ニ百ケ所ノ取扱所ヲ統轄ス、卽チ全府ニテ千ケ所ナリ、英、蘇、愛ノ各地、ミナ此ニ例ス、是內國ノ郵便ノ制ナリ、外地ノ制ハ、少シク之ニ異ナルトモ、外地ニテ加拿他(カナダ)、印度、「オ、スタラリヤ」等ノ屬地、各其內地ニ設ケタル制ハ、亦此例ニヨリ酌量セリ、內外ノ郵便、ミナ之ヲ倫敦ノ「ポストオフイス」ニ統轄ス、綱紀瞭然トシテ、網ノ綱アルカ如シ〇郵便館ニテ通信ヲ收メ、之ヲ見調(シラ)ヘ、屆先(トドケサキ)ノ地方ヲ査(シラ)ヘテ部分(ワケ)ナシ、夫夫ニ取束(トリツカ)子、麻布ノ囊ニ盛リ、時ヲ定メテ配達丁ニ付シ、遠近ノ地ニ送ル、英國ニテモ、今ヨリ四十年前、蒸氣車モ創マ

ラサル時ニハ、驛驛ニ駿馬ヲ繫キ、配達丁、馬ヲ疾駈(ハヤガケ)シテ遞送セリ、其時ニテモ、一日ニ二百四五十英里ノ遠キマテハ届ケタリシニ、蒸氣車ノ便興リテヨリ、「ポスト」ノ車ヲ定メ、一日ニ四百英里ノ遠ニ達ス、夫ヨリ更ニ速カナランヿヲ務メ、近年ニテハ「ポスト」ニカヽル疾行車ハ、例シテ日行七八百英里ニ及フ、其快モ亦至レリ、故ニ倫敦ヨリ蘇格蘭(スコットラン)ノ北地「ホロラ港マテ、路程八百餘英里モアレトモ、三日間ニハ郵便ヲ應返スルニ至レリ、昔時人馬ニテ繼送リタルトキハ、信書ノ輕重ト、届ケ先キノ遠近ニヨリテ、劵子ヲ貼スルモ差アリ、重量五錢ノ書狀ヲ、内地四百英里ノ距離ニ送ルニハ、劵子二「シルリンク」モ貼用セリ、今ハ蒸氣車ノ便ニヨリテ、内地ノ郵便ニ遠近ヲ一ニシテ、重サ五錢ニ付唯一「ペニー」ノ劵子ヲ貼用スルノミ、屬地ノ郵便所ハ、三十年前マテハ、僅ニ四千五百ケ所アリシニ、今ハ增シテ二萬ケ所ニ及ヘリ、〇千八百七十一年、一歳ニ内外ノ信書ヲ總計セルニ、十一億一千七百萬封、其内届ケ先不明了ニテ「ポストオフイス」ニ回セルモノ、只三百五十萬封アリテ、中ニ全ク沒書トナリタルハ、十七萬封ニスキス、沒書ノヿハ第十一卷ニ出、郵便切手ノ代價ヲ收メルヿ、四百八十八萬磅、其

内ヨリ三百六十一萬一千磅ヲ雜費ニ消却シ餘ル所ノ一百二十六萬九千磅ハ大政府ノ歳入ニ歸セリ米國ノ如キハ地大ニ人稀ニ亦内地同價ノ法ニテ、劵子代ヲ收ムレトモ年年闕アリ贏ナシト云、

歐羅巴ノ貿易月月年年ニ盛ンニテ一球世界ニ舟跡ヲ普クシ各其業トスル所ニ從事シ其相隔テヽ交際スルハ郵便ノ便ニ頼ルモノナリ加之（シカノミナラス）ニ文學モ亦益開ケ人ミナ言語ニ習ヒテ談緒ニ富ム門ヲ出テ數町ヲ歩シ歸レハ必ス一二ノ新聞異見ノ話スヘキコアリトス其言語ヲ綴リテ文字トナスヤ率爾ノ語モ之ヲ錄記ス家族相離ルヽ兩三日必ス數回ノ消息アリ家猫ノ子ヲ産スルモ亦相報知スルニ至ル殊ニ英國ノ如キハ貿易最モ盛ナル國ナレハ郵便ノ夥多シキ實ニ甚シ郵便館ノ前收信丁ハ四方ヨリ郵便箱ノ信書ヲ收メ袋ニ套シテ來リ擲チ入ルヽモノ五秒七秒時ヲ隔テヽ續續絶ヘルコナシ是ヲ整理シ之ヲ査驗シ輕重ヲ衡リ記名ヲ閲シ配達ノ地方ヲ分チ以テ各其主名ニ配リ遠キハ香港横濱ニ至ルアリ近キハ數町ノ内ニ達スルアリ大封小封雜錯シテ來ル貨幣ヲ送ルハ別ニ懇囑（タノミコム）ノ口アリ、

水晶宮（クリスタルパレイス）ノ苑中跳水（ホンテイン）ノ景



同宮ノ内景

局内ノ忙シキヿ之ヲ比スルニ物ナシ、

十七日晴

午後三時ヨリ「パークス氏」「アレキサンドル氏ノ誘ヒニテ蒸氣車ニテ「サイデンハム」ニ至リ水晶宮ヲ回覽ス○水晶宮ハ原名ヲ「キリスタルパレイス」ト云、總玻瓈ヲ以テ築キ成ス是ハ元一千八百五十三年ニ倫敦ノ「ハイドパーク」ニ於テ萬國博覽會ヲ設ケシトキニ彼地ニ建築シテ出品ヲ陳列スルノ場トナセルヲ會畢リテ後ニ此ニ引移シ美觀ヲ存セルモノナリ○全院悉ク鐵ヲ骨トシテ滿面玻瓈ヲ以テ覆フ風氣ヲ遮リテ日光ヲ遮ラス其長サ一千六百〇八尺即百六十八間ナリ幅ハ凹凸一ナラス上棟最モ高キ所ハ百十尺左右ノ端ニハ、各高サ二百四十尺即十四間ノ高塔ヲ建テ前ニ廣濶ナル庭苑ヲ開キ地形數層ニシテ上ル岡丘ノ頂ニアリ遙ニ近傍六郡ノ野ヲミル院中ニハ珍ヲ列ネ奇ヲ飾リ院外ニハ樹緣リニ草芳ハシク明沙淸池終日盤桓スルモ其一般ヲ概スルニ難シ此ニ其略ヲ記セン、

院中ハ板ヲ以テ下宇トス壁宇ノ日光ヲ遮ルヿナケレハ室中モ亦野外ト明

ヲ同クス、直線千餘尺ノ長廊、門ヲ極ムレハ涯ナキカ如ク、中ニ池ヲタヽヘ泉ヲ引ク、跳水アリテ飛騰ス、池中ニハ薄荇、芰荷、芙蓉ヲ育シ、池傍ニハ芭蕉、椰子、棕櫚等、スヘテ熱帯國ノ樹ヲ種エテ天喬タリ、其樹間ヲ環繞シテ往來トナス、各熱帯國ノ人物屋廬ヲ模造シ、其樹根ニオク、銅色ノ人アリ、棕色ノ人アリ、黒人、黄人、各其俗ノ衣ヲキル世界ヲ縮メテ此院中ニ観ルヘシ、間ニ白石ノ彫像ヲ立ツ、是中廊ノ勝ナリ○廊ノ左右ニハ閣アリ、樓アリ、憩止ノ所アリ、或ハ茶ヲ賣リ、酒ヲ賣リ、彩影ヲ賣リ、貨物ヲ賣ル、樂堂アリ、舞場アリ、前ニハ観客ノ榻ヲナラフ、數千人ヲ坐セシメテ餘リアリ、樓上ニハ、油畫ヲ集メテ賣ル、畫廊ノ間、ミナ大小ノ畫ヲ掲ク、精粗ミナ備ル、一房ニハ西班牙ノ宮殿、或ハ希臘ノ古城圖ヲ模製シ、埃及ノ古圖ヲ模寫シ、百般ノ古代ノ美術ヲ備ヘタル所アリ、院中曲折シ、愈視レハ愈奇ナリ○又水族室アリ、鱗介ヲ蓄ヘテ観ニ備フ、「プライトン」ニ同シ、第二十三卷ニ出 彼ハ新水ヲカヘ、此ハ空氣ヲ交換ス、水中ノ空氣ヲ交換シ、魚介ヲ養フハ、新水ヲ交換スルニ比スレハ、更ニ其生活ヲ全クスルト云○庭中ノ奇ニ至リテハ、境濶ニシテ勝多シ、院前ニハ明沙雪ノ如ク、中ヲ砌トシ

テ芳花ヲウエ、階ヲ欄トシテ彫像ヲ立ツ、各處ニ鑿池ヲタヽヘテ、中ヨリ水ヲ噴飛セシム、高サ二百八十尺四十六間餘ノ上ニマテ飛騰ス、跳水(ホンテイン)ヲ庭苑ニ設ケルハ、歐洲各國ノ風ニテ、往往ニ壯大ノ跳水アレヒ、此苑ニ設ケタル、飛騰ノ勢ニ及フモノナシト云、其他ノ跳水、細ナルハ錯亂シ、大ナルハ飛騰ス、水ノ奇狀、其術ヲ盡ス、前ニ直路アリ髮ノ如ク、遙遙ト烟リニ遠リ去リ、左右ノ綠樹青草、沙ニ映シテ清潔ヲ極ム○庭中ノ徑ヲ盤回シ去レハ、乍チ巨獸ノ樹ニヨリ立ツアリ、地殼ノ層層トシテ橋岸ニ仄タルアリ池洲ニ怪鱗惡蟲、目ヲ瞋ラシ立チ、口ヲ開キ伏スハ、ミナ前世界ノ禽、獸、蟲、豸ヲ模作セルモノニテ、亦博古ノ最モ古ナルモノナリ、時ニハ亭子アリ、木馬、鞦韆、縄戯ノ具ヲ設ケテ、遊客ヲ待ツ、英國四境無事、洋洋乎タル太平ノ樂地、都鄙ノ男女、日ニ臨集シテ盤樂ス、夜間ニハ烟花ノ戯ヲ設ク○此院ノ傍ニ火藥ヲ製スル會社アリ、都中ノ富豪、太平ノ餘事ニ、烟花ヲ此社ニ囑シ調和セシメテ、黄昏ヨリ院ノ庭前ニ烟花ヲ揚ク、毎週日ニ一次、或ハ二次ニ及フヿモアリ、此日ニモ亦其戯アリ、七彩ノ星ハ空ニ亂レ、五色ノ光ハ水ヲ染メ、金蛇池上ニ鬪ヒ、炎輪階砌ニ轉ス、七月ノ並ニ出ル

ハ「マグネシム」ノ光リナリ、巨人ノ象ヲ現スハ、臺花火ノ設ケナリ、其他諸鑛金ノ精華ヲ燒キ、各色ノ光ヲ放テハ、滿苑ノ淨沙、清水、ミナ色ヲカフ、白光ニハ、嫦娥ニ從ヒ、月宮ニ至ルカト疑ヒ、乍チ紅光ニ變スレハ、赤鳥ノ口球ニ飛翔スルヲ訝ル、驟ニ碧光ニ改マレハ、滿庭水ノ如ク、洛神ノ出テ、湘妃ノ瑟ヲ聞カ如シ、

此夜、院中ノ客館ニ於テ夕饌ヲ享シ、烟火戯ヲ覧シ、歸ルトキ己ニ十一時ナリ、

十八日　陰

午後一時ヨリ「サー」、ハルリー」、パークス氏ノ宅ヲ訪フ、午餐ノ享アリ、夫ヨリ同氏案内シテ、宮内長官ノ村莊ニ至ル、主人茶果ヲ供ス、

十九日　陰

二十日　陰

二十一日　晴

大久保、山口兩副氏、造幣寮ニ至ル「シチー」ノ東部ニアリ、

二十二日　微雨

二十三日　朝晴

二十四日　陰

二十五日　雨

午後十一時ヨリ「ブリツチ、ミジエアム」ニ至ル、

「ブリツチ、ミジエアム」ハ、大英博物館ノ謂ナリ、此博物館ノ盛ンナルヿ、歐洲ニ輝ケル大館ニシテ、萬室ミナ備ル、苟モ學ニ志シ、業ヲ研スルノ人ハ、男女ヲ論セス、科課ヲ議セス、ミナ人ノ來觀シテ益ヲ獲ル所タリ、其物ヲ集メルノ多キ、固リ數時ノ覽觀ニテ盡スヘキニ非ス、〇此館ハ、建テヽ府ノ中央ナル區ニアリ、四方ヨリ集マルニ、ミナ便ヲ選ム、毎週日ニ、月水金ノ三曜ニ逢ヘハ、朝十時ヨリ夕六時マテ開キ、三四月、九十月ハ、午ニ閉ツ、十一月ヨリ二月マテハ、四時ニ閉ツ、土曜日ニハ、午ヨリ六時マテ開ク、蓄ヘル品物ハ、一二ヲ以テ類舉シ難シ、〇書庫ニハ七十五萬册ヲ藏ス、「ウオールト」ト名ケル、圓穹ノ書棚アリ、周圍ニ書ヲ閣シ、中央ニ榻ヲ設ケテ、借覽ノ人ニハ、劵札ヲ以テ借シ與ヘテ、此ニテ之ヲ縱觀セシム、其結構ノ壯美ニシテ、工ヲ極メ大ヲキハメタルヿ、目ヲ驚カス、其側ニハ回廊アリテ、古書、異書、外國書ヲ集ム、印度ノ「サンスクリツト」、貝多葉

ノ經文、希臘、羅馬、埃及、波斯、各國ノ古書、古來名賢達士ノ遺筆、或ハ血痕ヲ存シ、或ハ火燼ノ餘ニ拾ヒ、殘缺弊帚ノ餘モ、亦收拾シテ玻瓈ノ箱中ニアリ、此ニ又古來ノ貨幣ヲモ蓄フ、日本支那ノ書籍ハ、別ニ一房アリテ蓄フ、支那書殊ニ多シ我邦ノ書ハ、純ニ我邦ノ著述ニカヽルモノヲ選フ、大抵名所圖會、三才圖會、成形圖說、節用集ノ類多ク、官府ノ史冊典章ハ、備ハラサリキ〇礦石ノ室ニハ、天ヨリ隕タル石二アリ、尤モ奇ナリ、百般ノ礦石ハ、之ヲ三室ニ蓄フ、次ニ貝類、化石類、地中ヨリ堀出セル前世界ノ動物骨アリ、而テ獸類、禽羽類、鱗介類ニ及ヒ、十數室ノ廣キニ、數萬品ヲ列シ、左顧右瞻モ亦倦ム、焉ンソ細問ニ遑アランヤ、唯天地ノ造物、愈出愈異ニ、其奇ヲ弄シ、巧ヲ眩スル、思議スヘカラサルヲ感スルノミ〇博古ノ室室ニハ、英國及ヒ各國、古來ノ石器、玉器、銅器、磁器ヲ集ム、瑞典ノ地ヨリ堀出セル古器ヲ「スカンテ子ビエン」ノ古物ト云、石斧、石刃、石鋸、石鑿、石鏃等、ミナ古時瑞、嗹ノ民、礦利ヲ知ラサルトキノ物タリ、埃及ヨリ來レルモノヲ、「ニ子ヘ」ノ古物トス、四千年來ノ石像、石刻、古棺、古屍、幷テ衣服文章モアリ、巴庇倫（バビロン）「エジヤマイナ」ノ古物モアリ、其外「プロシワート」トテ、地ヨリ堀出シタ

ル、前世界ノ物品ヲ集ム、ミナ博古ノ士、賞珍シテ措カサルモノタリ、希臘、羅馬ノ古物ニ至リテハ、其純美ナルモノ、殘毀セルモノ、或ハ模製セルモノ、甚タ多シ、美術ヲ學フモノ、石雕家ハ摶泥ヲ齎シ來リテ、之ヲ模擬シ、畫家ハ鉛筆或ハ彩筆ヲ以テ、其狀ヲ模スモノ絶ヘス、

博物館ニ觀レハ、其國開化ノ順序、自ラ心目ニ感觸ヲ與フモノナリ、蓋シ國ノ興ルヤ、其理蘊ノ衷ヲ繙クヿ、俄爾トシテ然ルモノニアラス、必ス順序アリ、先知ノモノ之ヲ後知ニ傳ヘ、先覺ノモノ後覺ヲ覺シテ、漸ヲ以テ進ム、之ヲ名ツケテ進歩ト云フ、進歩トハ舊ヲ舍テ、新キヲ圖ルノ謂ニ非ルナリ、故ニ國ノ成立スル、自ラ結習アリ、習ヒニヨリテ其美ヲ研シ出ス、知ノ開明ニ、自ラ源由アリ、由ニヨリテ其善ヲ發成ス、其順序ヲ暸示スルハ博物館ヨリヨキハナシ、古人云、百聞ハ一見ニ如カスト、寔ニ目視ノ感ハ、耳聽ノ感ヨリ、人ニ入ルヿ緊切ナルモノナリ、歐洲已ニ諸種ノ史傳言行錄アリテ、古來ノ結習源由ヲ敍ヘ、分チ育スルニ諸科ノ學ヲ以テシ、其美ヲ研シ、善ヲ發スルノ方ヲ繁クス、猶其感發自奮ニ闕クモノアリ、因テ博物館ヲ立テ、其感觸ヲ

切ニシ、實益ヲ啓ク、此館ニ入リテ、古拙ノ物ヲミレハ、其時ノ苦心勉強ヲ感シ、精巧ヲ認レハ、今時ノ窳惰自弄ヲ感シ、其進歩ノ序ヲミレハ、今ヨリ後ノ勤勉セサルヘカラサルヲ感ス、感動心ニ動キ、學習ノ念沛然トシテ制スヘカラス、因テ書冊ヲ蓄ヘ、學校ヲ建ルハ、其理義ヲ致フル所ナリ、試驗場ヲ設クルハ、其實術ヲ慣ハシメル所ナリ、其心ニ感ヲ生シ、其自奮氣ヲ啓キテ、理義ト實術ト並ヒ進マシム、是ヲ人ノ常性己ヲ得サルニ勸メ誘クモノト謂フ、宜ナリ其智ノ月ニ奨ミ、年ニ就ルヿヲ、會テ評ス、歐洲ノ民ハ一タヒ家ヲ建レハ、世ヲ嗣キテ之ヲ修繕シ、益其美ヲナス、満國ノ人ハ之ヲ建ルニ甚タ心ヲ用フ、成ルノ後ハ亦掃修セス、廢圮スレハ亦毀タス、我日本ハ兩ノモノニ異ナリ、之ヲ建ルニ鋭ニシテ、其工ヲ省キ、已ニ成レハ、又毀ツテ改立ス、是ヲ以テ進歩改良ノヿ少シ、是豈ニ其性ノ然ル所カ、抑モ教育ノ未タ至ラサル所歟、人ノ言行、其美ヲ採録シ傳フルヿナク、古今ノ進歩、之ヲ史記シテ開カシムルヿナク、博物館以テ其目視ノ感ヲ發スルナク、博覽ノ場、其新知ヲ誘クナク、諉シテ習性ノ異ナリト謂フハ、篤論ニ非ルナリ、

廿六日晴

八月廿七日陰リ夕ニ霧起リ雷鳴ル

當國政府ノ饗應ニヨリ英蘇ノ各地ヲ巡回トシテ「ハリーパークス」氏「ゼ子ラール、アレキサンドル」氏、及ヒ書記官「アストン」氏ヲ譯官トシ、案内ヲナシ、使節一行スヘテ九人、午後四時ヨリ「ホテル」ヲ發シ、馬車ニテ「ユーストン」驛ニ至ル、驛ニ政府ヨリ別段ノ蒸氣車ヲ用意アリ、之ニ上リテ西北里味陂(リヴアルプール)ニ赴ク、此鐵道ハ、初テ英ニ着セシトキノ路筋ナレハ、夜中ニ走リクレハ、此回ニ行テ、始メテ其沿途ノ景狀ヲ一瞥スルヲ得タリ、

○倫敦ヨリ里味陂(リヴアプール)マテ、鐵路ノ程二百〇一英里、地ミナ平坦ニテ、時ニ岡陵ノ綫ニ起伏スルノミ、到ル處ノ田野ハ、井井トシテ區域ヲ分チ、畔ニハ樹ヲウエ、根ニハ灌木ヲウエ、溝ヲ堀テ其中ヲ田トナシ、多ク牧草ヲ播シテ、牛羊ヲ放ツ、麥田ノ殘隴モ多シ、希(マレ)ニ菜蔬ノ畦ヲミル、水田トテハ一區モアラサルナリ、河、清川急流少ク、時アリテ濁水ノ汗漫トシテ流ルニ逢フハ、卽チ運河(カナール)ニテ、水地

ヲ去ル尺餘ニタヽエ流レ「隄防ノ設ケモナシ「又往往ニ沼ヲナセル澤地アリ、此鉄道ノ經ル所ハ「ミッドルセキス「ヘルトホルト「ボッキンガム「ノルザンプトン、「ウーイルウヰツク「スタッホルト「チェスター」七州ノ地ナリ「野中ニアル民家ハ「兩三若クハ七八九「處處ニ散居シ「ミナ小屋ニテ磚瓦ヲ壁トスレヒ「高サ二階ニ過キス「板葺アリ「草葺アリ「或ハ石葺「瓦葺一ナラス「大ナルハ地主ノ林莊「小ナルハ雇作民ノ居ナリ「岡坡ノ上「樹木ノ森蔚ナル處ニ「村邑ヲ設ク「村邑ニハ往往ニ大屋ヲミル「村寺ノ堂尖天ニ朝シ「豪家別墅ハ白壁日ニ映ス「都邑大村ニ近キ處ヲ過ルニハ「必ス鑿割ノ路ヲ設ケ「或ハ隧道（トンネル）ヲ穿ッテ其下ヲ走ル「其中ニイレハ「咫尺闇黒ニテ「唯烟咽ヒ輪轟クノミ「○英國ハ「北緯五十度ノ北ニアリテ「秋冬ノ際ハ「日晷甚タ短シ「此日ハ秋分ヲサル七日ノミ「而テ五時二十分ニ日ハ歿シ「六時ニハ星ヲミル「夜十時半ニ里味波府（リヴアプール）ニ達シ「ノースヴエストロン」驛ニ上リ「驛口ノ「ノース、ウエストロン、ホテル」ニ宿ス、

○里味波府（リヴアプール）ハ英國蘭加斯達州「南方ニアル要港ニシテ「英國ニテ第二ノ都會ナリ「北緯五十三度二十四分ヨリ二十八分マテ「西經二度五十九分ヨリ三度四

里味阪府廳

里味阪河岸船舶ノ蟻集

分マテノ地ニ位ス、一千八百年ノ比マテハ、人口八萬二千ニスキサル都府ナリシニ、同十五年米國ト媾和セルヨリ繁昌ヲスヽメ、五十年ニハ三十七萬六千口、七十一年ニハ五十萬三千八百七十四人ニ及ヘリ、美爾索河ニヨリ、地勢平坦ニテ、河口ハ淺洲多シ、久ク以テ亞米利加ヘ往來ノ港トス「キユナール」ト「インメン」「ホワイトスタール」「ナシヨナルフイン」等ノ蒸氣船會社アリテ、當港ヨリ新約克合衆國加那他英領米利堅等ヘ出船ス、平均毎日ニ、新約克ヘノ出船三十四艘、波士敦ヘ八艘、外ニ十一艘ハ其他ノ港ヘ出ツ、スヘテ五十三艘ツヽ、日日連綿トシテ、壓瀾洋ニ出テ、西ニ向ヒ航スルトナリ、○亞米利加ノ繁昌スルニ從ヒ、當港モ益昌ンニ、港口ニ船廠ヲ造リテ、北岸六英里ノ長サニ連リ、海ニ向ヒタル所ハ、城垣ニ塞關ヲ開キシ如ク、石垣ヲ疊ミテ、内ニ縱横ノ船廠ヲ擱タルハ、城濠ヨリモ堅牢ナリ、出入ノ船舶ミナ此ニ入リ碇泊ス、桅檣ハ灌木ノ叢立セルニ似テ、其綱條ハ漁村ノ網ヲ曝セルニ彷彿タリ、其盛ナル世界第一ナリト稱ス、○市中ハ街路ヲ開ク寛廣ニテ、家屋モ亦美ナリ、繁閙ノ街ニハ、堅石ノ高屋多ク、造營甚タ精ニ、諸店ノ賑ヒ、車馬ノ響キ、大都會タルニ負カス、スヘ

テ當地ハ、貨物出入ノ口ニテ、海上貿易ノ市場ナレハ、製作場ハ盛大ノモノ少シ、區域ノ廣サニ比スレハ、人口甚タ繁庶ニテ、居住清潔ナラス、曾テ美術宗河ノ南岸ヨリ、府中ヲ遠望セシニ、石炭ノ烟、濛濛トシテ地上ヨリ二三百尺ノ上マテ掩ヒ、晴空常ニ闇シ、接伴ノ諸人指シテ曰、府中ノ人民ハ彼黒氣ノ中ニ呼吸セリト、其烟花ノ盛ナル此ノ如シ、故ニ人壽ノ平均、上等ハ三十五年、中等ハ二十三年、下等ノ工人ハ止十五年ナリ、○當府ヲ環リ「ランカシャ」及ヒ「チェスター」州ハ、英國工藝ノ數ニテ、製作場ノ夥多シキ、人ヲ驚カス所ナリ、

廿八日　陰雲濛濛トシテ小雨フル

午後一時三十分ニ、馬車ニテ「タウンホール」ニ赴ク、「タウンホール」ハ府ノ首府ナリ、知事迎ヘテ集會堂ニ延キ、府中ノ官員ミナ席ニ集リテ、互ニ「スピーチ」ヲ取代ハス、府廳ノ中ニハ正面ニ知事着席シ、之ニ向ヒテ議員ノ面面列席ノ椅ヲ設行並ヘ、兼テ會議ノトキモ、人人立テ「スピーチ」ノ如ク、所見ヲ陳ス、是西洋一般議事ノ作法ナリ、演舌ノ儀了リテ、廳内ノ室室ヲ見回リ、暫時ヲ移シテ去ル、

○夫ヨリ市中ノ「エキスチェンジ」ニ至ル、佛國ニテハ之ヲ「ブールス」ト云、是ハ商人

集會所ニテ、商品ノ市價ヲ定メ賣買ヲ約スル會所ナリ、府中ノ公舉ニテ、政府ヨリ命セラレシ、商業世話人アリ、此會所ノ長トナリ、商品貿易品重ナル手形ノ市價ヲ、集會人ノ入札ニヨリテ協定シ、因テ其約束證書ニ、價ノ保證ヲナス、故ニ誰ニテモ、此地ニ於テ賣買ヲナサント欲スル商人ハ、此ニ會集シ、其價ノ定マリシ模樣ニヨリ、其取引ヲ決スルナリ、諸方ヨリノ消息告報ヲ集メ、電線ハ蜘網ノ如クニ達シ、因テ交易ノ多少盛衰ヲ吟味シテ、日日ノ市價ニ、高低ヲ量定スヘシ、諸會社ノ株金、後拂ヒ證書、及ヒ公債證書ノ相場モ、此ニテ定ム、或ハ謂フ商品ノ相場ト、手形ノ相場トハ所ヲ異ニスト、「ロヤルエキテンヂ」ハ、貿易品ノ市價ヲ商定スル、商法緊要ノ會所ナレハ、凡貿易ノ都府ニ於テハ、此建設ナキハナシ、○此日ハ其會堂ニ市中ノ商民群ヲナシタル中ニ、使節ヲ延キ、群集ミナ帽ヲ取テ祝聲ヲ發シ、甚タ混雜ナリ、室室ヲ見回リテ歸ル、

○午後三時ニ「ホテル」ノ前ニ於テ、消防丁ノ調練ヲミル、消防丁ハ「ポリス」ノ支配ナリ、故ニ其服モ「ポリス」ト同ク、藍色ノ長套ヲ衣ル、消防器械(ファヤエンヂエン)ハ、喞筒(ポンプ)ヲ用フ、第一編第十一巻「ゴム」ノ長管ヲ水樋ニ繋キ、其水ヲ管内ヨリ飛迸セシメテ火ヲ消ニ記セリ

ス趣向ナリ、歐米ノ諸國ハ、高處ヨリ鐵管ヲ埋メ、用水ヲ引ク、故ニ人力ヲ勞セスシテ、水自ラ數丈ノ上ニ噴注ス、消防器械(ファヤーエンヂン)ハ、水道樋ノ便ヲ目的ノ一工夫ノナシタルモノニテ、用水管ノ設ケナキ國ニハ、殆ト其利ヲ盡サヽルヘシ、近來ハ英國ニテモ蒸水喞筒(ポンプ)ノ法ニ改革セル都府モ多シトナシ、第一篇第八卷ヲミヨ此日ハ消防調練ノ式日ニテ、使節ノ爲メニ、別段ニ之ヲ催セシニハ非ス、「ホテル」ノ前ハ、「セントギョーヂ」ト名クル、裁判所ノ敎會堂アリ、堂前ニハ甃石ノ廣達アリテ、市中ニテ名アル廣地ナレハ、防丁ノ働キ、市民ノ羣集、ミナ十分ニテ、更ニ壯觀ヲマセリ、

○夜七時ヨリ「タウンホール」府廳ニ於テ「メヨ-ヨリ享宴ヲ開ク、同席ニ會セル、官吏商人、スヘテ百六十人、敍次ヲ以テ食案ニ就キ、樂ヲ奏シ歌ヲ謳シ、食畢リテ、英國皇帝ノ爲メ、我　天皇陛下ノ爲メ、及ヒ使節ヘ祝杯ヲ擧ケ「スピーチ」ヲ演シ、觀ヲ盡シテ徹筵ス、時ニ十二時ニ及フ、食宴ニ於テ、杯ヲ擧ケテ兩國ノ皇帝ヲ祝スルハ、英國ノ風儀ナリ、以テ今帝ノ德望衆ニアマネキヲ知ルヘシ、

十九日　西暦十月一日陰リ

朝十一時ヨリ駕シテ、船廠ヲ見回ル、途中ヨリ船中ヨリ船廠ノ内マデ、市中ノ男女、羣リテ見物ス、府廳ノ注意ニテ、巡査（ポリス）ヲ排布シ、路上ヲ警衞ナシテ、混雜ヲ取鎮メ、一行ノ車通行ノ節ニハ、手ヲアケ敬禮式ヲナス、見物ノ羣集、往來ノ諸人モ、赤帽ヲトリ一禮ヲナシテ過ル、規式嚴肅ナリ、始メテ立君國ノ威儀ヲミル、抑當港ノ船廠ハ、六英里ノ長サニ連リテ、境內廣濶ニ、市街ニ向フ所ニハ、高サ七尺ハカリナル、磚瓦ノ塀ヲ、直線ニ築キ、處處ニ門戶ヲヒラキタリ、門ニ入レハ、塀內ニモ一條ノ通街アリ、中央ニ鐵道ヲシキ、街車往來ノ便ヲナセリ、ソレヨリ內ニハ、荷ヲ積ム、廨舍（ナガヤ）、物ヲ蓄フルノ倉庫等ヲ建並ヘ、又廣キ荷物水揚ノ場所モアリ、固ヨリ廣キ境內ナレハ、一日ノ見テ盡ストコロニ非ス、

船廠ハ凹狀ノ濠ヲホリ、左右ノ岸ヲ堅固ニカコヒ、中央ハ何樣ノ大船モ、出入ニサワリ無ラシム、造船修船ノ廠ハ、其口ニ水門ヲトヂテ水ヲ汲ミ出ス仕掛ヲナス之ヲ「ダライトック」ト名ク、尋常ノ船廠ニハ此仕掛ナシ、「ドック」ノ名稱ニハ、凡ソ船泊リ、水揚場、荷物園ヒ倉、船ノ修覆場ヲ含蓄セルモノニテ、水路漕運ノ衝ニハ、「ドック」ヲ設ケ、陸路輸送ノ衝ニハ、驛站（ステーシヨン）、市場（マーケット）ヲ設ク、皆留

易國人ノ、厚ク注意スル所ナリ、西洋人民ノ意ハ、常ニ孟子ノ所謂ル、商旅欲藏其市ノ主旨ニ親切ナリ、故ニ旅客旅船ノ集ル地ニハ、務メテ便利ヲ與ヘテ、其集來ヲ望ム、船廠ノ設ケ、其地ノ盛衰ニテ、大小ノ差アリ或ハ官設シ或ハ公共ニ設ケ、或ハ私社ニテ設ク、其地ノ便宜ニヨルナリ、舟艙ヲ泊スル者ヨリ、借料ヲ拂フ、貿易盛ナレハ、利益モ亦從テ多シ、船主荷主、其仕組ヲ便利確實堅固ナルト信用スレハ些少ノ借料ヲ拂フテ安穩ヲ買フヲ吝マサルナリ、其都府ノ商業協和シテ、規律正シク、賣買融通スレハ、貿易必ス盛ナルニヨリ、船廠等ヲ設ケル費用ヲ出スコト、固リ人民モ愛惜セサル所ナリ、府中コゾク一致スルハ、平生ニ申合セ行屆カサレハ不可ナルニヨリ、貿易ノ地ハ、最モ會議ニテ政府ヲ建ルヲ肝要トス、是ヲ以テ、西洋ノ各都府ハ、自然ニ共和國ノ風ヲ帶フ、世界ニ貿易ノ盛ナル國ハ、英ニ越ルハナシ、英國ノ貿易、其最モ盛ナルハ、米國ノ往來ニ越ルハナシ、英米ノ貿易、此甲味皷ヲ門戸トナスニヨリ、其繁昌モ亦著シク、此世界第一タル、六里ノ船廠ヲ起スニハ至レリ、船廠內ニ目ヲ極ムレハ、倉庫縱横ニ、桅檣森森タリ、固リ一日ニ其景況ヲ

見盡ス所ニアラス、又筆舌ノ其繁昌ヲ形容ス所ニアラス、此ニ米英兩地ノ貿易概數ヲ記シテ、其想像ニ供セン、米洲各國ヨリ、重ニ合衆國及ヒ加拿佗ノ輸入品ノ價ハ、年ニ五億八千萬弗ニテ、英ヨリ此ニ向ケ輸出品ノ價ハ、是ニ半ハス、猶三億弗ニ過ク、サレハ年年ニ價九億弗ノ荷物ヲ、大半此船廠ヨリ出入ス、又哥羅斯哥ニモ輸出入多シ輸入ノ重ナルモノハ、穀物、烟草、棉花、砂糖ノ四品ナリ、又加拿佗ノ牧畜、山林ノ産、鹽魚、鑛物、智利（チリー）ノ銅、秘魯（ペリユー）ノ雀糞（クアノ）、其他熱帶地ノ出産、總テ製作元品トナルモノナリ、輸出ノ重ナルモノハ、棉毛、麻ノ製造品、木棉棉絲毛織ノ類鐵器ナリ、英人ハ此船廠ヨリ、職人ノ食料ト、製作ノ元品トヲ、各州ニ送リテ製作ヲ加フ、此「ランカシヤ」州、約克（ヨーク）州ヨリ「バーミンハム」邊ニ、石炭ノ烟、往處ニ天ヲ蒸シ、製作品トナリテ、再ヒ此船廠ヨリ積出シ、其利益ニヨリ、全國ノ富ハ與レリ、當船廠ノ境内ニ堀入レタル、大小ノ船廠ハ、六七十モアリテ、其狀繆等ノ文字ヲカキ、草木ヲ縦横ニ竝ヘタルカ如シ、廣キハ大船ヲ横ニナスヒ文ヘナキホトナルモアリ、狹クモ六七十間ノ大船ヲイルヽヘシ、岸ハ皆石材ヲ以テ堅固ニタヽミアケ、水底ヨリ二丈ハカリノ高サモアルヘシ、中ニ

鐵材ヲ以テ、水門ヲ開閉シ、溜水ヲ乾満セシムル機關ヲ埋伏シアリ、

○第一ニ水門ノ開閉ヲミル「ドック」ノ左右岸ニ、一ノ轆轤樞軸アリ、之ニ二枚ノ鐵（螺旋ニハメテ捻ル鍵ナリ）ヲ兩人ニテ振チマワセハ、左右ノ水岸ニ仕込タル、鋼橋ノ板自然ト離レテ、漸漸ニ回リ、兩扇ワ中央ニ合附シテ、一條ノ大橋ヲワタス、平常ハ此橋ニテ人車共ニ向岸ヘ往來スルナリ、入津ノ船アリ、此船島ニ入リ來ル時ハ、樞軸ヲ逆ニ回セハ、橋板ハ兩ニ分レテ、兩岸ニ收藏シ、開然タル船路ノ開ク、因テ船ハ駛行シテ廠内ニイル、因テ又別ニ仕込ミタル樞軸ヲ捩チ回セハ水岸ニ仕込タル水門ノ戸ハ、左右ヨリ離レテ、船廠ノ口ニ、兩扇合附シテ閉固ス、因テ廠内ノ水ヲ乾固セシムルニハ、別ニ埋伏セシ機關ヲ運動スルナリ、足ハ後ニトクヘシ、又水門ヲ開クトキニハ、逆ニ回スヿ前ノ如シ、

○第二ニ穀物倉ニイタル、此倉ハ磚瓦ト石ヲ以テ、六階ニツクリアケ、貯蔵ノ三面ヲ回リテ、皿狀ノ倉ヲナセリ、土間ノ處モ、總テ石ヲ鋪シ少シモ土ヲミス、此中ニ穀物ヲ散粒ニシテ取扱ヒヲナスナリ、當港ハ米利堅ト交易ノ場所ニシテ、米利堅ハ地廣ク、農作ノ産物甚タ饒多ニシテ、歐羅巴諸國ニ輸出ス、中ニモ

里味阪船廠(ハツク)ノ水門及ヒ穀物倉

同船廠内ノ繁榮

英國ハ多分ニ他國ノ穀物ヲ仰ク米國ヨリ輸入高ハ價千二百三十萬磅ニモ及ヘリ去年ノ高重ニ小麥ト玉蜀黍トナリ此倉內ニ蓄フ穀物ハ其兩品ニテ重ニ加利福尼州ヨリ來ルモノト云フ此加利福尼ハ米國西部ヲ誤譯セルナラン西部ハ密河谷諸州ヲイフ彼地ノ開ケショリ此港ト穀物ノ交易盛ンニナリ因テ此大倉ヲ建テ蓄貯スル仕組ヲナスニ至レリト實ニ盛ナリト云ヘシ○倉中ニテ穀ヲ取扱フニ種々簡易省力ノ仕掛アリ元來西洋ニテハ穀物ヲ囊ニテ俵作リスルコナシ他ヘ運送スルトキハ麻ノ麁布ノ袋ニイレ倉內ニテハ散粒ニテ蓄フユヘニ日本ノ穀倉トハ其趣キスヘテ別ナリ此倉內ニテ穀物ヲ二階三階ノ上ニ運リアケルニハ重サ一噸ツヽヲモル大斗アリ之ニ繩ヲ施シ其繩ヲ旋回セシメテ大斗ヲ升降スル仕掛アリ上ニ一人アリテ其機關ノ輪ヲマハセハ大斗忽チニ降リ落ツル下ニ一人アリテ急ニ穀ヲ其斗ニモレハ又自ラ上ル一分時間ニ四度モ上下スヘシ四斗俵ヲ百斤ト積レハ一噸ハ十七俵ナリ則一分時間ニ二八ニテ六十八俵ヲアケル割合ナリ○上階ヨリ穀粒ヲ下スニハ倉中處處ニ方形ナル長筩ヲ柱ノ如ク竪テ其筩ノ上口ハ二階若ハ三階上ニ出テ床板ノ底ニ方孔ヲアケ此ニ長筩ノ上口ヲ開キ而テ下口

ハ地上ノ発石ニ達ス、故ニ上層ヨリ、穀粒ヲ箇ノ上口ニ瀉ケハ、筒中ヲ迸リ走リテ、地上ノ発石ニ瀉キ落ル、之ヲ麻布袋ニテ受ケ、穀ヲ盛リ堅束テ包トナス、発石ハ倉ノ第一層ナル土間ナレハ、其穀包ヲ馬車ニテ直ニ曳出ス、是ヨリ上層ヲ視回ルニ、二階、三階、四階、ミナ穀粒ヲ貯フ室字ニテ、毎室ミナ廣サ六、七十坪、穀ヲ山ノ如ク堆シ、處處ニ風箕ノ車ヲ仕掛タリ日本人民ハ最モ農事ニ慣レ國利ハ重ニ農穀ニアリ貿易ノ開ケニ従ヒ早晩必ス穀物ヲ西洋ニ輸送セサルヘカラス此記事ハ殊ニ注意ヲ要ス◯最上階ニハ、穀ヲ運搬シテ各室ニ送リ、拜テ塵芥ヲサル仕掛アリ、是ハ幅二尺餘ノ「インギヤラバゴム」布ヲ、首尾相接シテ環帯トナシ、其兩端ヲ張ルニ圓材ノ輪轉スヘキモノヲ以ス、環帯ノ長サハ十數間モアルヘシ、中間約一「ヤールト」毎ニ、叉輪轉スヘキ圓材ヲ以テ墊トナシテ、環帯ヲ支持スル故ニ、其帯長ケレ𪜈、中間ニ低垂スルヿナシ、直線ノ平面ヲナシ、墊材ハ帯ノ回ルニ従ヒ回轉シテ其力ヲ助ク、此帯ヲ最上層ノ室内ニ兩條ツヽ設ケテ、左倉首ヨリ右倉首ニ達ス、機ヲ以テ帯ノ兩端ナル輪木ヲ運回スレハ、帯轉回スルニ従ヒテ、帯下ノ圓材ミナ輪轉シ、穀粒ヲ一タヒ帯上ニ傾注スレハ、帯ニ従ヒ回リ去リ、帯ヨリ帯ニ注キテ走リ、帯盡テ下

ニ注瀉スルナリ

〇全倉ノ周リハ殆ト二百五六十間ニモ及フ首ヨリ首マデ囬亘セシムルニハ數帶ヲ接(ツギ)カヘサルヲ得ス其兩帶相接(ツギメ)ノ際ニハ甲帶ハ輪木ヲ囬リ後ニ向ヒ去リ穀ヲ乙帶ニ注瀉シテ走ラス趣向ヲナセリ其法ハ乙帶ノ端ニ罌狀ノ箱ヲ施ス箱首ハ正方形ニ開キ尾ニ向ヒテ斜ニ殺シ吐口(ハキグチ)ハ線形ヲナス甲ノ帶上ヲ走リ來ル穀粒ハ帶ノ回轉ニテ動力ヲアタヘラレ甲帶ノ輪木ヲ回リ後ニ向ヒ去ルニ當リ穀ハ惰力(ダリヨク)ノタメニ猶前ニ向ヒ走ラント迸リテ乙帶ノ首ニ施シタル箱首ニ注入ス猶水ノ瀉下スルカ如シ兩帶相接ノ處ニ五六寸ノ空隙ヲ存シ穀ニ雜ル輕浮ノ塵芥ハ惰力モ亦輕ケレハ空氣ニ吹カレ空隙ノ處ニ飛落テ穀粒ノミ箱ヲ迸リ出テ乙帶ノ上ニ瀉キ入テ箱ノ吐口ヨリ乙帶ニ從ヒ走ル其狀一條ノ白水ニ異ナラス又曲折ノ處ニハ磐折ノ箱ヲホトコス此箱内ニハ鍍錫鐵(ブリツキ)ヲ張リテ之ヲ滑ニス故ニ飛走シ來ル穀粒此箱ニイレハ曲折ノ處ニ觸レテ橫ニ激シ箱口ヲツタヘ出テ又帶上ヲ走リサル此輪環帶ノ設ケハ獨リ穀粒ヲシテ自ラ樓上ヲ走リ回ラシメルノミナラス又空氣ヲ簸動シテ水氣ヲ去リ幷セテ塵芥ヲ去ル三利ヲ存ス故

ニ倉中ニ蓄フ穀ハ、乾燥シテ均圓ナルヲ得ルナリ、◯穀ヲ上層ノトコロヘ輸ヨリ直ニ引上ルニハ連珠斗ノ仕掛アリ、穀ヲ載タル舟關倉中ニ置ケハ、倉室ノ口ヨリ、長筩ヲ出ス、此筩ハ斜ニ空ニ仰ク、是ハ穀ヲ走ラセ、倉中ニ落シムルニ便ナラシムルナリ、其筩ノ上端ニ扉鐵(チヨウツガヒ)ニテ接連シタル長筩アリ、直下ニ荷船ニ向ヒ垂ル、此長筩ノ中ニ、連珠(シユズツナギ)ノ斗ヲモフケ、其上頭ハ仰高筩ニ施セル輪(ワ)槽(ミゾ)ニ接シ、其輪ニ環革(マワリカハ)ヲ張リ、倉内ニモフケタル大輪ニ接連シ、機ヲ運シテ大輪ヲ轉スレハ、其力ハ筩上ノ齒輪ニ移リ、兩輪共ニ回轉シ、長筩内ニ下垂シタル、連珠ノ斗次第ニ回リ、舟底ヨリ穀ヲ盛テ上リ、筩首ニ至リ、轉注シテ又下ル、其穀乃チ斜筩中ヲ走リテ、倉室ノ内ニ落ルナリ、此器械ハ合衆國市高俄(シカゴ)府ノ發明ナリ、◯スヘテ倉中諸器械ノ運轉ハ、水力ヲ用フ、船廠中ニハ流水ナシ、蒸氣仕掛ヲ以テ、海水ヲ汲上ケ、其水力ヲ以テ、臥輪ノ水車ヲ轉シ、諸機ヲウコカサシム、

此穀倉ノ景況ヲ見日本ニテ穀物ヲ取扱フニ較(タクラ)フレハ、径スル所少カラス。日本ノ民ハ、鎖國ノ條習ニ因リ、絶テ生理ニ於テ、研究ノ力乏シ、其利益第一

タル、穀物ヲ取扱フサヘモ、久シク患害ヲ受テ、猶仍舊ニ付シタルヿ多シ、米穀ノ倉中ニ鬱壞スルハ水氣ノ腐敗ニヨル、之ヲ防クハ曝乾ニアルヿ、人皆知レトモ、稻稡ニテ苞束スルノ舊習ニヨリテ、穀ノ苞中ニテ、鬱蒸壞敗スルモ、改良スルヿヲ思ハス、又苞束ニテ運搬スレハ、撿査ニ難ク、散漏多ク、霉壞ヲ醸シ、鼠害ヲ防クニモ便ナラス、而テ散粒ニテ蓄フルニ心付ス、是事ノ難キニモアラス、只習慣ニ壓セラレタルナリ、穀ヲ乾カスハ、偏ニ日光ヲ仰ク、幸ニ秋陽ノ際ハ、空氣乾燥セルヲ以テ、稻米ニハ其曝乾ノ功ヲ得レトモ、春夏ニ水蒸氣多キノ日ニモ、亦膠柱シテ此法ヲ特ムヲ以テ、諸麥及ヒ宿稻ハ、霉敗ノ憂ヲ免レス、夫レ水分ヲ游離スルノ力ハ、日光、火熱、風氣三ノモノ共ニ用フヘシ、風簸ノ效ハ、人ミナ知ラサルニ非サレトモ、風車或ハ風扇ヲ工夫シテ、穀ヲ簸颺スル法ヲ改良スルモノナキモ、亦只習慣ニ壓セラレタルナリ、研究ノ靈機ヲ失ヘルニスキス、英國ノ如キハ、陰天旬ヲ亘リ、日光ハ特ムニ足ラス、然ルニ農ニ濕穀ナク洗濯房、滌戸、時ヲ刻シテ工ヲナス、ミナ風簸蒸氣ノ用ニヨル、此船廠内ノ環帶仕掛ノ如キ、亦其一ナリ、○抑東洋諸國、ミナ

天産ニ富ミ外國貿易ノ目的ニ於テ輸出物ハ食用品ト製作元品トノ二ニアリ歐洲各國ハ農ヲ務ムト雖ヒ土地沃腴ナラサレハ自國ノ天産不足ニテ外國ノ輸入ヲ仰クハ特ニ英國蘭國ノミナラス佛白以ノ諸國ミナ然リ、露國米國ヲ除クノ外ハ外國ヘ多量ヲ輸出スルニ至ラス近年東南洋ノ貿易盛ンナルニ及ンテ稻米ノ西洋ニ輸入スルヿ次第ニ增加シ上品ハ貴人ノ食卓ニモ上リ下品ハ麥麪ト幷セテ賤人ノ食ニ供ス其實益ハ玉蜀黍ニ優ル聖味彼ノ稻嫩ニ米國玉蜀黍ノ輸入夥多キヲ見テモ稻米ノ必ス輸入スヘキヿモ亦明カナリ其輸入セサル原因ハ五アリ第一ニ輸送連續ヲ謀ラサレハ市場ニ價ヲ生セス需用ノ人生スレハ市價ヲ生ス二ニハ曝乾ニ念ヲ入レサレハ腐壞シテ買フモノ利ヲ失フ三ハ内地ノ運漕ニ費多ク市價ハ原價ヨリ甚タ增加ス四ハ輸出永久ニシテ增加スルヲ謀ラス一時ノ市價ニ奔競ス五ハ商人坐シテ買人ノ來ルヲ待ツ等ナリ憶フニ稻米ハ其價必ス麥ノ次ニ位シ玉蜀黍ノ上ニ出ルヘシ大抵石一俵ヲ英國市場ノ平均價トナセハ、甚タ謬リハナカルヘシ小麥ハ歐洲ニテ第一ノ貴穀ニテ其價最モ貴シ口

本ニテハ之ヲ雜穀トシテ賤シムニヨリ、其收納ニモ用意薄シ、若シ此穀ノ國內ニ低價ナルヲ以テ、之ヲ歐洲ニ向ケ輸送セハ、其利益ハ反テ稻米ノ上ニ出ヘシ、農產ノ利ハ麥ヲ首トス、日本ニ於テハ之ヲ悟ラス、麥田ヲ廢シテ草蕪ニ付シ、若クハ化シテ水田トナスニ至ル、麥ヲ耕スノ一路、其進步甚タ遲シ、今ヨリ米麥輸出ノ途ヲ開キ、思慮ヲ其耕作ニ致セハ、麥ノ價位ハ、反テ米ノ上ニ出ン、如此ナレハ、全國ノ荒蕪地、化シテ麥田トナスヘキ所ハ、ミナ勸メスシテ鋤犂ノ跡ヲミン、

○第三ニ「ダライトック」ニ至ル、此ニハ一區域ニ三箇ノ船廠ヲ列ヘ設ケタリ、此船廠ハ其三面及ヒ底ハ、ミナ白石ヲ以テ橢圓形ニ甃錮シ、上層ハ廣サ二十間ニ百間モアルヘシ、下底ハ較狹ク、其深サ十七「フィート」アリ、一面ニハ水門ヲ固閉シ、兩岸ニ機關ヲ設ケ、水ヲ干滿スル仕掛アリ、水ヲ乾カセハ、嚴然タル石槽トナリ、水ヲ盈レハ濶然タル深池トナル、水ヲ干滿セシムル機關ハ、甃石ノ底ニ仕掛ケタレハ、其狀ヲ知難ケレ𪜈、蓋「シリントル」ノ輪軸ヲ伏セルナラン、甃石ノ上面ニ、樞軸ヲヌキンテ、左右石垣ノ底ニ、方四五尺ナル水道ノ口ヲ設ケ、其

樞軸ヲ推シテ、左轉スレハ、水ヲ其口ヨリ吸ヒ出シ右轉スレハ、水逆リテ其口ヨリ噴入ル、○此日使節ノタメニ、水ヲ槽内ニ入レテ示セシニ、半分時ヲ移サスシテ、水二三尺モ滿タリ、此水門ノ戸モ、穀倉前ノ閘臺ト同シク直線ナリ、水乾キシ後、其什ヲミルニ、戸ノ中腹ヨリ下ハ、漸漸ニ板ノ厚サヲ豐ニシ、塊狀ニ製造シタリ、蓋シ積水ノ力、水門ノ扇ヲ壓スルハ、水面ヨリ下三分ノ二ニ、力點ヲ集ム、故ニ其力點ヲ厚堅ニシテ、上下ニ向ヒテ漸ニ殺セルナリ、

第四ニ砲臺ニ至ル、其入口ニハ大門アリ、門ニイレハ、緋衣ノ兵卒整列シテ禮式ヲナス、此砲臺ハ古キ砲臺ニテ、胸壁ハ石ヲ以テ堅築シ之ニ砲眼ヲ開キ、砲ヲ備ヘルコト七八門ナリ、

○第五ニ諸荷物水揚ノ廨舍ヲスキテ、「キュナートライ」社ノ米洲往來ノ郵船ニ至ル、船名「キユバ」、其長サ五十餘間、船内ノ客室三百餘竒アリ、用ヲトル室ニハ電線ヲ仕掛ケ、鈴聲ノ相圖ニテ、船首ヨリ船尾ニアリテ、用取ニ號介ヲナス、此船ハ加奈他ヘ往來ノ船ニテ、此日船中ニ於テ、郵船會社ヨリ晝餐ヲ供シ、主賓三四十八、食畢リテ「スピーチ」ヲ演セリ、○次ニ新約克往來ノ郵船ニ上ル、船名ハ

闊其長サ六十九間、蒸氣力六百五十馬力、其實馬力ハ千五百馬力ニ及フ、荷ヲツムコト四千六百噸、華麗ナル郵船ナリ、〇兩ノ郵船ミナ使節ノタメニ、三檣ニ旗ヲ飾リテ敬禮ス、船廠ノ內、殊ニ景色ヲソヘタリ、是ヨリ一幅ノ街車ヲ粧ヒテ、廠內ヲ回ラシム、

〇第六ニ石炭ノ積卸シヲミル、此處ハ屋上ニ鐵道ヲ設ケテ、荷車ヲ其上ニ運搬スヘカラシメ、每車ノ上ニ、一大箱ヲ安ンシ、石炭ヲ其內ニモル、此箱ノ底板ヲ扇鐷（ブンツガヒ）仕掛ニシテ、左右ニ鉤閣セリ、屋上ノ車ヲ適宜ノ所ニ運シ至レハ、船ヨリ鶴項秤ヲサシ出ス、因テ其一箱ヲカケテ、之ヲ幹旋シ、箱ヲ船ノ中央ニ鉤持セシメ、船中ニ兩丁アリテ、槌ヲ以テ左右ニ閣シタル金物ヲ脫スレハ、箱ノ底板ハ中央ニ下垂シ、炭ハ左右ヨリ殘ラス船ニ落ル、

〇第七ニ煙草倉ヲミル、此ハ穀物倉ニ比スレハ、屋造粗糙ナリ、亦數十室アリ、每室廣キ土間ニテ、桶ニ詰タル煙草ヲ山積ス、大抵合衆國ノ南部ニ產セル煙葉ナリ、及ヒ中南亞墨利加洲ノ諸國ヨリ來ルモアリ、樓上ノ一室ニ、煙草ノ見本ヲ案上ニ飾ルアリ、凡輸入ノ煙草ハ、此ニテ查撿シテ、見本ニ合セサル惡葉ハ、

斥ケテ輸入ヲ許サストナシ〇日本ノ煙葉モ數品ヲ列セリ英人ハ煙草ノ葉ノ厚キヲ好ム我邦ニテ上葉トスルモノハ大葉ニシテ薄ク些ノ蟲痕ナキヲ尙ヘ𪜈此室ニテハ反テ下品ノ內ヘ入レ我所謂ルシボリ煙草ノ類ニテ葉ヲ展ヘス色黑色ヲ帶ヒ些ノ青色ヲ雜ヘタルルモノモ反テ上品ニオキタリ〇英國人ノ煙草ヲ喫スル事我邦ヨリ甚タシ皆外國ヨリ輸入ス合衆國ヨリ價八百七十五萬弗「キュバ」其外ヨリ四百二十萬弗ノ高ニ及フ全國烟草ノ稅ハ高三千五百萬弗ニ及フトナリ卷煙草ヲ「シカール」ト云紙卷ヲ「シカレット」ト云、刻メルヲ「タハコ」ト云嗅煙草アリ嚼ミ煙草アリ米合衆國西印度南亞墨利加ヨリ來ル其葉ハ色黑ミテ其味ヒ辣シ紙卷ト刻煙草ハ露國及ヒ土耳其ヨリ來ル其葉黃ニテ其味辣ナラス露國ノ都及ヒ獨逸薩撒（サツニヤ）國ノ「ドレスデン」府ニテ製造セル「シカレット」專ラ歐洲ニ行ハル頗ル我薩摩ノ國府種ニ似タレ𪜈亦種ヲ同クセサルニ似タリ、

〇歸路ニ市中ノ一店ニ表ヘ紅口ノ旗ヲ飄シ市人其店前ニ群集シ我一行ノ來ルヲ待ツ此ハ郵便會社ニテ水夫ヲ宿セシムル旅館ナリ館ニ入レハ其屋高

別ニアラサレトモ、地下ヨリ七階アリ、四周ニ部屋ヲ分チ、其中ヲ空タシテ陽光ヲトル、部屋ハ水夫ヲ宿セシムル室ナレハ、其宇低クシテ狹小ナレト、寢床洗器ミナ備ル、室中ヲ回ルニ、衆人帽ヲ執テ祝聲ヲナセリ、夜八時ヨリ芝居ヘ招請アリ、

里味阪美爾索河口ノ浮波戸

同南岸ノ造船廠

三十日　朝美晴　晝過雨　一行ス

午前十時三十分ヨリ、馬車ニ駕シテ、博物館ニ至ル、館ハ白石ニテ高朗ニ築キ、凡テ四層ノ建築ナリ、首ニ海石ノ室アリ、夫ヨリ大小ノ禽鳥ヲ蓄ヘタル三室ヲ經テ、海獸鱗介ノ室、諸獸骨ノ室、四ニ回リテ、陶器石器博古器ノ室アリ、夫ヨリ藏書室、名畫ヲ集メタル室、古キ石雕ノ像ヲ集メタル室ヲ歷觀シテ、館ヲ出ツ、館ノ出口ナル廣堂ニ、小學校ノ幼生男女六十人整列ヲナシ、女教師之ヲ指揮シ、其容儀ヲ示セリ、

夫ヨリ浮波戸ニ至リ船ニ上ル、沿途ニ巡査（ポリス）ノ警衛、昨日ノ如シ、船ニ上ルトキ岸上ニテ樂隊樂ヲ奏スルコト一闋、是ヨリ岸ヲ離レテ西ニ下ル、

美爾紊（ミールシー）川ヲ下ル二英里、港口ニ備ヘタル砲臺ノ前ニ至ル、右岸「トック」ノ砲臺ヨリ、十七發ノ祝砲アリ、夫ヨリ船ヲ回シテ、河ヲ溯リ、里味陂ノ東角ニ至レハ、此邊ニ川淩ベ船アリ、後ノ新城ノ條ニ說クト粗同シ

○第二ニ美爾素（ミールシー）川ノ南岸ナル「ベーケンヘード」ニ至リ上陸ス、此ニハ「ダライ、トック」ヲ設ケ大造船場アリ、上陸ノ岸ニ三个ノ「ダライトック」アリ、其二ハ新船ヲ打立テ、一ハ修復ヲナシ居タリ、新造ノ船ハ、ミナ鐵製ノ蒸氣郵船ニテ、一船ハ七分ノ成就、一船ハ骨組ヲ僅ニ打立タルノミ、其長サ六十間、艫ノ處十分ノ二ハ、「ドック」狹クシテ容レ難キユエ、猶缺ケタリ、此兩船トモニ、太平海ニ浮メテ郵船トナス目的ナリ、其一ノ修復船モ郵船ニテ、船形ノ短キユヘ、此場ニ於テ、中央ヨリ截斷シテ、新ニ長サ二丈餘ヲ作リ添エ、適宜ノ船形ニ改良セルナリ、其接續ノ所ヲ、外面ヨリミレハ、鐵ノ新陳猶判然トシテ知ルヘシ、後船ニ入テ、内景ヲミレハ、固ヨリ設ケタルモノヽ如シ、成就ノ後ハ殆ト辨スヘカラサルヘシ○當時里味陂ニ於テ、新ニ一社ヲ設ケテ、太平洋ト歷瀾洋ト郵船ヲ企テ起セリ、此郵船ニテ東洋支那日本ヨリ、太平海ヲ航シ、桑港ニ至リ、夫ヨリ蒸氣車ニテ新約克ヘ出テ、再ヒ社中ノ船ニテ歷瀾洋ヲ航シテ、當港ニ達スヘカラシムル趣向ナリ、因テ當時當港、及ヒ哥羅斯哥ニ於テ、十二隻ノ船ヲ打立テ、一船ノ價十二萬磅、其速力ハ蒸氣ヲ十分ニ盛ンニスレハ、一時間ニ二十英里ヲ走

ルヘシ、故ニ支那ヨリ英國マテ只三十日間ニテ達スヘシ、今マテハ四十五日ヲ費セリ今造船ノ最中ニテ來年ノ五六月ノ比ニハ成就スヘシト、此「ドック」ニテ船ヲ打立ルニハ木材ハ加奈他ヨリ切込ミテ輸入ス、鐵材ハ英ノ内部ヨリ打立タルヲ仕入ル、此場ニ於テハ只其材ヲ矯揉接連シテ船ニ組立ルマテナリ、然レモ一船ヲ打立ルニ常ニ五百人ノ傭夫ヲ入レ、時アリテハ增シテ六百人ニ至ル、而テ營作ヲ勉強セシムレモ一ケ年ヲ經ルニ非レハ一船ヲ成就スルヲ得スト、三「トック」ノ外ニ新ニ船ヲ打立ント下底ナル脊梁ノ鐵材ヲ纔ニ居付(スエ)タルヲ見タリ○「トック」ヘ鐵材ヲ運搬スルニハ「デレック、クレイン」ト「デレック」氏ノ發明ノ「クレイン」ノ意ナリヲ仕掛タリ、是ハ列木ヲ輪回シ巨鑵ノ末ニ巨鉤ヲ垂下シ重物ヲ運搬スル設ケニテ、前後ニ鶴頸秤ト譯スルハ即是ナリ、

鶴頸秤ノ起重器ハ前後ニ屢記セルカ如ク西洋ニテ凡港頭、船廠、工場、礦口等總テ重荷ヲ積卸シスル場所ニハ此器械ヲ設ケサルナシ、諸貨輸出入スル地ニ於テハ最モ必需ノ器械タリ、我日本ハ從來貿易ノ開ケサルヲ以テ、諸港ニ荷物ヲ待受ルニ用意甚タ疎ナルヿ、一二ヲ以テ摘擧シ難シ、殊ニ港

頭ニ起重器ノ設ナキハ、啻ニ商業上ノ價位ニ響キ、大ニ利益ヲ損スルヲ覺フ、西洋ノ人ハ、肩ニテ重キヲ運スルヿナキノミナラス、抑馬有ニテ重キヲ運スルヿモナシ、必ス車輪ノ力ヲ借ル、故ニ一綑ノ荷モ往往重サ一噸ニ及フヲ常トス、以テ日本ニ運ン來レハ、多人集リ扛ケ、互ニ雜遝シテ喧囂シ、荷物ヲ擲チ、時間ヲ費シ、往々ニ手足ヲ傷リ、竟ニハ力屈シ歐客ノ智ヲ仰ソ、又本邦ヨリ綑シ出ス荷ハ、大ナルモ百斤ニ過キス、荷造モ多リ薄弱ニテ、以謂ソ他ノ荷物モ亦如此キニ過スト、以テ西洋船ニ積入レハ、數百千斤ノ荷ヲ、器械力ニテ積入レルニヨリ、荷箱ナル小綑ハ、其重力ニ挫碎セラレ、常ニ貨物毀損ス、因テ謂フ西洋船ハ荷物ヲ損スト、實ハ船ノ咎ニアラス、荷作リ堅固ナラサルニ因ル、然レトモ亦臨時ニ注意シテモ、港頭ニ荷物ヲ積卸ス、起重器ノ設ケナケレハ、運搬自由ナラサルヲイカンセン、今此ニ鶴頸杵ノ大理ヲ略説スヘシ、◯此起重器ハ、定滑車ト活滑車ト、輪軸トノ三ニテ組立クルモノナリ、滑車トハ俗ニ所謂「セミ」是ナリ、之ニ死活ノ別アリ、◯滑車ノ兩柱ヲ釘固シ、他ニ那移スル能ハサルヲ定滑車ト名ク、此滑車ハ用力ノ方向ヲ

轉移スルニ自在ナル用ニテ之ヲ梁柱竿頭ニ施シ以テ支持ノ力ヲ託シ其輪槽ヨリ繩ヲオロシ下ナル重物ニ託スルニ此滑車ヲ用ヒ以テ鶴頸ノ秤首ニ釘固スルナリ○活滑車ハ定滑車ノ槽ヨリ垂下シタル繩ヲ含ミ懸下セル滑車ナリ之ヲ運搬ノ荷ニ繋キ繩ヲ張弛スレハ滑車ノ輪ヲ轉シテ下ナル重物ヲ上下シ因テ力ヲ省クモノナリ此滑車一个ヲ設クレハ力ヲ半ニ省ス二个ヲ設クレハ四分ノ一ニ省ス三个ヲ設ケレハ八分ノ一ニ省ス、是ヲ以テ重物ニ鈎シ託スルアリ繩間ニ託シオクアリ○輪軸トハ即チ車輪是ナリ是ハ槓桿ヨリ轉化セルモノニテ車軸ノ圓徑輪ノ圓徑ヨリ小ナルヿ六分ノ一ニ製スレハ輪周ノ力ヲ五分ノ一ニ省ク十ノ一ナレハ九分ノ一ニ省ク故ニ齒輪ヲ以テ互ニ力ヲ換移スレハ更ニ其力ヲ省減スルヲ得ル○凡ソ滑車輪軸ハミナ助力原器ノ一ニテ器械ノ理ハ是ヨリ生ス鶴頸秤ハ齒輪相含マシメテ其根基ニ施シ繩ノ尾ヲ其輪槽ニ託シテ張弛ヲ自在ニセルモノナリ抑省力ノ理タルヤ力ヲ減スルニ從ヒ時間ヲ倍蓰ス○時間ノ損スルハ距離ノ增スニヨル故ニ繩ノ長サハ省力ノ多キニ從ヒテ

延長ス、因テ輪ヲ根基ニテ轉シ、長縄ヲ引縮ムレハ、其縄ヨリ力ヲ定滑車ニ傳ヘテ、活滑車ニ移シ、重物ノ上ルニ從ヒ、縄ハ益縮促シテ、之ヲ輪軸ノ樞ニ巻ク、是鶴頸秤ヲ製セル工夫ナリ、例ヘハ輪軸ニテ五分ノ一ニ力ヲ省キ、更ニ活滑車ニテ二分シ、或ハ四分スレハ、根基ニ於テ二百磅、若クハ百磅ノ力ヲ用ヒテ、輪ヲ轉スレハ一噸ノ荷物ハアカルヘシ、但シ縄ノ長サハ之ニ反シ、一間ヲ引上ケルニ、十間若クハ猶長キヲ要スルナリ、西洋ノ鶴頸秤ハ、水力氣力ニテ輪軸ヲ運スルモノアレトモ、多クハ八力ニテ運轉スルモノナレハ、他ニ器械ヲ要スルコナシ、本邦ニ製鐵ノ利開ケサルヲ以テ、二千斤以上ニタヘル輪軸ヲ製シ、且其阻力ヲ省クニ由ナシ、製鐵ノ業モ、亦其利ヲ與スニ難カラサルナリ、唯商家賈客、疎惰自ラ安ンシ、奮發ノ念ヲ起スコ遠大ナラサルヲ苦ムノミ、

船ヲ組立ル骨幹ヲ製スルタメ、鐵材ヲ適宜ニ彎曲スルニハ、約四尺ニ七八尺ノ鋼板ノ面ニ、無數ノ圓孔ヲ穿チ、蒸餾（マシヤ）ノ底ノ如クセルヲ、地上ニ數枚連ネテ床トナシ、白泥ヲ以テ、彎曲セント欲スル圖規ヲ、其面ニ畫キ、其規ニ從ヒ、鐵ノ

杙ヲ圓孔ニ貫キ、鋲條ヲ紅熔シ持來リ、其杙ヲ界トシ熔鋲ヲ彎曲スレハ、直條乍チ彎條トナル、依テ杙ヲ放チ、彎條ヲ連槌スルナリ、〇鋲杙ヲ釘緊(クギツケ)シ、縫合裝(トヂメソアハセ)製スル「フレッチンマシイネ」ニハ、一顚ノ鋲ヲ銅馬(フンドウ)トナシ、九箇ヲ累懸(カサネカケ)シ是ハ適宜増減スルニ便ニス滊力ニテ之ヲ扛(アゲ)ルヿ尺許ナレハ、左傍ナル鋲槌ヲ後面ニ引キテ、銅馬ハ滊力ヲ失ヒ下垂ス、因テ其槌ハ彈キ出テ釘ヲ槌ス、米國費拉特費(フイラデルヒヤ)ニテ記シタル滊櫃ヲ釘緊(クギシメ)スル機關(カラクリ)ト、大同ニテ小異ナリ、其他二三寸ノ厚サナル、滊櫃ヲ製シ、鐵ノ巨材ニ孔ヲ鑿ル等、仕掛種種アリ、其大ナルモノハ徑丈ノ鋲輪ヲ旋轉スルニ至ル、〇最後ニ雛形ヲ藏スル室ニ至ル、凡ソ船ヲ造ルニハ、其造構ノ船形甚タ肝要ナレハ、世界各國ニテ製創セシ圖ハ、聞クニ從ヒ之ヲ摸寫シ、或雛形モ製シ、其形式ニヨリテ、更ニ工夫ヲナシテ、眞船ヲ打點(モクロ)ムアリ、之ヲ潤色シテ變化セシムルアリ、新ニ一形ヲ打建ルハ、新發明ニ准ス、故ニ他ノ一國ニテ、新ニ別狀ノ船ヲ造リシトキハ、各造船場ヨリ人ヲ差シテ、其形ヲミテ繪圖ニ寫シテ、船ヲ誂(アツラ)ヘル人ノ見本ニ供ス、〇此室ノ傍ラニ一筐ヲ釣シテ、貧民ノ爲(タメ)ニ施金ヲ集ム、英國ニハ貧民多キユヘ、濟貧ノ法ニ心ヲ盡ス、此モ亦其一

般ヲシルヘシ因テミナ一二錢ヲ投シテ去レリ、

船ヲ造ルハ高夏ヲ造營スルト同シ、一匠工ノ能クスル所ニアラス、造船場ヲ設クルニ若干場宇アリテ、各其業ヲ分ツ、骨脊ヲ作ルハ終身鐵材ノ屈曲ニ從事シ、車輪ヲ造ルハ、終身輪ノ周環ニ從事シ、或ハ木ヲ斷リ或ハ鐵ヲ釘固シ、ミナ一門一科ノ職人、集リテ一船ヲ構ヘナス、故ニ場中ニ出入シ、身ヲ終フマテ、船ノ造搆ハ何樣ナルヲ辨識セサルモノノミナリ、全舟ノ造搆ハ、圖引家ニテ定ム、此家ノ人ハ、皆船圖ヲ熟知シテ、船狀雛形ヲミテ、造船ノ理ヲ學フ、然ニ工業ノ術ヲ問ヘハ知ラサルナリ、總テ製作場ニハ、圖引ノ肝要ナルコ、人體ニ腦アルカ如ク、工業ノ綱領トナルナリ、造船ノ工ハ、其業廣大ナルヲ以テ理宜シク然ルヘシト、人ミナ信スヘシ、抑凡百ノ製作モ其實ミナ如此シ、喩ヘハ蒸車ヲ製スルモ、時辰機ヲ製スルモ、陶器作ルモ、器皿布帛ノ製造モ、皆然ラサルナシ、畫工ハ畫ヲナシ、輪人ハ輪ヲ作リ、染工ハ染メ、塗師ハ、塗ル、分業益分レ益多クシテ、諸器益精緻ヲ致ス、惟之ヲ總フルハ、圖ト雛形トニアリ、故ニ圖引ノ學ハ、小學普通ノ科ニオキ、皆人之ヲ學フ、凡ソ一

ノ工事ヲ打點(モクロミ)スルニハ、先ツ其圖ヲ畫キ、之ニ就テ其工事ヲ吟味シ、己ニ遺慮ナキニ至リテ、猶愼ミヲ致シ雛形ヲ製ス、雛形成リ、其物ヘ果シテ成ルヘキヲ察シ、然後ニ工業ニ施ス、故ニ一物ヲ創成スルハ、假リニ價千金ノ物ナレハ、最初圖引雛形ニ費ヲ用フル五百金ヲ耗ストモ惜ムニ足ラス、蓋シ之ヲ始メニ愼ムユヘニ、成リテ後ニ蹉跌ナシ、千金ノ工ヲナスニ、其五百金ヲ惜ミ、若シ成後ニ用ニタヽサレハ、經費千金ミナ損失トナルニ比スレハ、五百金ニテ止ルニ如カサルナリ、我邦ノ工事、多ク粗鹵ナルハ、其原則物理、化量ノ學、及ヒ度學ニ暗キニヨレド、畢竟ハ圖引雛形ニ精神ヲ用ヒ、費用ヲ擲ツヲ欲セス、一念心ニ浮メハ、空ニヨリテ意想ヲ回シ、大略慮至レハ、直ニ工業ニ下手シ、成否ヲ一擲ニ試ミ、成ラスシテ家ヲ傾ルモノ、比比ミナ然リ、工ノ進マサルハ、蓋シ此ニ本ツク、學術ノ開ケサルモ、亦此ニ本ツク、嘗テ之ヲ許ス、歐洲ノ民ハ性質魯鈍ナリ、故ニ思慮周到シテ、竟ニ動スヘカラサル業ヲ成就ス、日本ノ民ハ性質機敏ナリ、故ニ思慮ヲ用ヒルヲ厭ヒ、竟ニ進歩ヲ失ヘリ思ハサルヘカラサルナリ

夫ヨリ馬車ニ駕シ、船廠ニ至ル、郵船二隻アリ、旗ヲ飾リテ待ツ、其一ハ新訂ノ「ホウァイトスターライン」社ノ船ニ属ス、其名ヲ「ホウアイトスターライン」ト號ス、瀘器其外嚴重ヲキワム、落成ヨリ二十年ノ間、修復ヲ要セスト云、此船内ニテ酒ヲ供ス、次ニ歴澗洋ノ郵船「レホアリック」船ニ上ル、二年前ノ新造ニテ、巨大ナル美船ナリ、此内ニテ晝食ヲ供シ「スピーチ」アリ、船廠ノ岸ニ市民男女群集シテ觀ル、是ヨリ船廠ノ岸上ヲ歩シテ、浮波戸ニ至リ、河蒸氣船ニ上ル、此處ノ船廠ハ、境内ノ大ナル、北岸ニ及ハサレモ、亦宏壯ニシテ繋碇ノ船モ頗ル多シ、

○夫ヨリ美索爾河ヲ溯リテ、船學校ヲ見回ル、船學校ハ、練舟ノ術ヲ教ヘル船ニシテ、凡四艘アリ、其一ハ元支那ヘ航スル軍艦ナリシニ、老船トナリタルヲ以テ、政府ヨリ學校ニ與ヘタリト、此船ニハ貧家ノ子弟ヲ入レテ、練船ノ業ヲ教ユ、生員一百二十九名アリ、ミナ成童ノ人ナリ、此生徒ハ、月ニ十磅ノ學費ヲ出シテ業ヲ習フ、船内ニ楊案ヲスヘテ、書藝算數ヲ習ハス、下層ノ廣間ニハ寝床アリ、釣リ床ノ仕掛ナリ、毎名ニ一箱ヲ付シテ、其需用ノ道具ヲオサム、此口我

一行船ニ上レハ、船上ニテ樂ヲ奏ス、出ルトキニハ、生員ミナ桅上ニ羅列シテ禮式ヲナス、此船ハ毎桅ノ下ニ、大ナル網ヲ張リ、足ヲ失シ落ルヲ受ク、百事ミナ用意丁寧ナリ、

其二ハ、水夫ノ子、及ヒ水夫孤兒ヲ入レテ、水夫ノ働キヲ敎ヘル船ナリ、生員スヘテ百七十八アリ、亦船ニ入ルトキ樂ヲ奏ス、船室ノ廣場ニ、生徒羅列シテ待ツ、船ヲ見回リ去ルトキ、敎師指揮シテ桅ニ上ラシメ、桅上ヨリ、生員帽ヲトリテ祝聲ヲ發スル二三度、此船ニ入ルモノハ、其費用ヲ生徒ヨリハ拂フヿナク、船內ノ緑事ニ役シテ業ヲ習ハシム、業成リテ後ハ、他ヨリ相應ノ給金ヲ以テ、傭ヒ受ラレ業ニツクヲ先途トス、船中ノ接遇甚タ麤ナリ、

其三ハ、貧家子弟ノ生質無氣象ニシテ、或ハ物ヲ盜ムノ僻アル者等、其父兄ヨリ頼ミ、此ニ入レテ水夫ノ業ヲ習ハシ、因テ活計ニ就キ、且其性ヲ變セシメンヿヲ庶幾(コヒネガフ)モノナリ、生徒百六七十人アリ、船ニ入ルトキ奏樂例ノ如シ、船內ニハ耶蘇磔刑(ハリツケ)ノ圖ナトヲ掲ケタリ、此ハ羅馬カドレイキ敎ノ敎師ニテ受持船ナリ、船ヲ出ルトキ、桅上ニテ禮式ヲナスヿ前ニ同シ

其四モ亦同様ノ悪児ヲ入レ教ユル所ニテ其船ニ出入スルトキ送迎前ニ同シ此船ニ耶蘇ノ圖ナシ是ハ「プロテスタント」教ノ教師ニテ受持船ナリ生徒ノ數モ大抵相仍ル生徒ノ左右ノ袖ニ黄布ノ筋ヲ縫付スルアリ是ハ船内ニアリテ規則ヲ守リ且行状宜シキモノハ此筋ヲ增ス大抵三ケ月ニ一試アリ五六試ニテ他ノ船ニ業ヲ繰ルヲ許サル若猶無頼ニシテ業ヲ勤メサルモノハ三年ニ及フトモ出ルヲ得ス在船中無給金ニテ業ヲ繰ラシム第三第四ノ兩船ミナ不規則ニテ桅上ノ昇降モ甚タ隙取レリ

○歸路ニ新郵船會社ニ至ル石造ノ屋ニテ其規模ハ大ナラサレモ窓ヲ開ク廣恢ニテ一種ノ營造ナリ日本ノ家作ヲ參取セルトイヘリ此ニモ日章旗ヲ觀シ市民群シテ待ツ室室ヲ見回リテ歸館ス時已ニ六時ナリ

○夜八時ヨリ富府商社中ヨリ饗宴アリ集會百餘名「スピーチ」ヲ演シ宴終リ馬芝居ニ至リ婦人ノ力技ヲ視ル

九月朔　雨降午後晴

午前十時五十分旅館前ナル「セントヂョーヂ」禮拜堂ニ至ル旅館ヨリ堂前迄巡

里味陂ノ北エストロン汽車驛

同聖デョーヂ禮拜堂

査ニテ路ヲ固メ、一行ノ外市中ノ男女百餘名共ニ教堂ニ入リ、外戸ヲ鎖シ、調樂ヲキケリ、此教堂ハ石造ニテ屋宇甚タ高朗ナリ、四壁四柱ミナ精密ノ彫刻アリ、府中ニテ指ヲ屈スル大建築ナリ、正面ニ大樂器ヲ仕掛ケ、三面ニ回廊アリ、中堂ヲ合セテ千八人ヲイレテ餘裕アリ、此日ハ樂器ノ機關ヲ押ヘテ、樂ヲ調スルコ二曲、一樂師ノ手ニテ調スル所、殷殷トシテ大音律ヲ發シテ堂ニ充ツ、

○十一時五十分ヨリ、蒸氣車ニテ四十三英里ヲ走リ「クルーウ」邑ニ至ル、此邑ハ「チェスター」州、東南ノ一大邑ニテ、人口一萬五千アリ、鐵路六達ノ衝ナリ、此ニ於テ鐵軌ヲ鍛シ、蒸氣車ヲ製スル大場アリ、其名ハ歐洲ニ轟ケリ、邑ニ至レハ其會社ノ廣堂ニテ晝食ノ享アリ、社中二十餘人會食ス、社長ハ八十餘歳ノ白髮老翁ニテ、府長トナリ「スピーチ」ヲ演シ、食畢リ後ニ、場場ヲ案内シテ觀セシム、

首ニ鐵道ノ軌條(スナカチ)ヲ製スル場ニ至ル、凡鐵軌ハ熟鐵ヲ以テ鍛成ス、鐵ニ生鐵鋼鐵熟鐵ノ三アリ、其理ハ、後ノ新城府アルムルトロング氏ノ製場ニ詳ナリ、此場ニ熟鐵ヲ熔成スル一廨アリ、廨舎ノ内ハ其半截ニ二階ヲハリ、其二階ニ巨爐アリ、爐内ニ石炭瓦斯ノ火ヲ蓄ヘ、生鐵ヲ

熔解ス「爐前ニ灰泥ヲシキ「之ニ一條ノ樋道ヲ作リテ「二階ノ端ニ至ル「此ヨリ鐵樋ヲ挟シ「其樋ノ内面ニハ灰土ヲ塗レリ「此樋ハ二階ノ外ニアリ「懸空シテ幹旋スヘシ「以テ一端ヲ灰泥樋ニ挟シ「其一端ヲ巨鑊ニ接シ「熔鐵流レ落ル道トナス「巨鑊ハ螺殼(ホラノカイ)形ノ如シ「是熟鐵ヲ煉成スル巧器ニテ「之ヲ二階ノ下ニ裝置シ「兩鐵柱ヲ以テ釣持ス「底ニ仕掛アリテ「空氣ヲ送ルヘシ〇熱鐵分析スルニハ「先ツ巨爐ノ口ヨリ「裝成セル樋ヲ「巨鑊ノ口ニ接シ「爐口ヲ開ケハ「溶鐵ハ紅水ヲナシテ「樋中ヲ流レ「螺形ノ鑊ニ入ル「約七八分ヲ盈テ盡ク「因テ其樋ヲ幹シ「去リ「鑊ノ口ヲ仰向ケ「底ヨリ仕掛ヲ弛メ「空氣ヲ吹送レハ「空氣ハ鑊ノ内部ニ入リ「鐵中ニ含ミタル炭素ヲ誘ヒ「鑊口ヨリ花ヲナシテ噴飛ス「實ニ壯觀ナリ「工師ハ火光ヲ注目シ「約二十分時許ニテ「炭素ノ己ニ盡ルヲミテ「空氣管ノ口ヲ塞キ「別ノ一爐ヨリ「一種ノ鐵汁ヲ流シ込ム「「セッフィールド」ノ條ニ詳明スヘシ「是ニテ熟鐵トナル〇因テ其前ニ大ナル鑄鍋中ニ傾ケ寫ス「鍋底ニ孔アリ「螺旋ノ軸ニテ塞ケリ「其鑄鍋ニ鑊中ノ熟鐵ヲ瀉入シ「車ニテ幹旋シ「模型(ヒカタ)ノ上ニ至リ「底ノ孔ヲ開キテ瀉鑄ス「模ニ充テハ又塞キ「次ノ模(カタ)ニ至ル「數十箇

ヲ充テ盡ク、其横口ハ次第ニ蓋嚴シ、空氣ノ入ルヲ防ク、冷固スレハ一噸重ノ立方塊ヲ獲ル、是ヲ「ベシマ法ノ熟鐵ト云、英人「ベシマ氏ノ發明ナリ、〇次ニ鐵軌ヲ鍛成スル場ニ至ル、「ベシマ法ノ熟鐵ヲ以テ、瓦斯ヲ蓄ヘタル巨爐中ニ紅煨ス、一塊ノ大サ、六七寸方ニ、長サ二尺許、之ヲ引出シ、小鐵車ノ廂板上ニ載セ一夫ニテ車柄ヲ執テ、押シテ「ローレンマシイネ」ノ前ニ至ル、「ローレンマシイネ」ハ略シテ「ロール」ト云、碌碡ト譯ス、兩輪相轉スルノ器ナリ、棉毛ヲ紡スルモ此ヲ用ヒ、紙及ヒ布ニ印スルモ之ヲ用ヒ、金鐵ヲ展ヘルモ之ヲ用フ、其用甚タ廣シ、其大ニシテ力多キヲ「ローレンマシイネ」ト云ナリ、扨鐵軌ヲ展ヘル「ロール」ノ輪ハ、輪面ニ工狀ノ空隙ヲ設ケ、次第ニ寬狹ヲ差シ、最初ニ熔鐵ヲ以テ、最寬ナル輪際ニオクリ、輪轉シテ鐵ヲ挫キ、前ニ輾リ出ルヲ、梁上ヨリ垂レタル、鈎鎖ノ仕掛ニ頼リテ、二人ニテ之ヲ受ケ、次ノ較狹キ輪際ニオケハ、再ヒ挫ケテ後ニ出ル、如此クシテ八九輪ヲ換ヘ、漸クニ長ク、遂ニ一ノ鐵軌、長サ十「ヤルート」ナルヲ鍛成シ、傍ナル廣場ニ抛置ス、一人槌ヲ以テ、其兩端ヲ治修ス、凡ソ一塊ノ熟鐵ヲ、一條ノ軌トナスニ、一分時ヲ費サス、車ニテ受ケ、鑷鉤ニテ扱フ、二

人力ニテ運搬自在ナリ、鐵堅シト雖モ、瓦斯火ニテ煆シ、蒸氣ノ力ニテ軋搓スレハ、飴ヨリモ輭ナリ、

○次ニ車輪ヲ鍛成スル場ニ至ル初メ、熱鐵ヲ紅煆シ「ハマー」ニテ挫鍛ス「ハマー」トハ、鐵鎚ノ名ナリ、滊力ニテ大鐵槌ヲ引揚ケ、壓下ノ力ニテ、堅キヲ鍛スル器械ヲ「スチインハマー」ト云、扨之ヲ鍛シテ△形トナシ、再鍛シテ□形トナシ、次ニ巨錐ヲ壓下シ、中央ニ孔ヲ穿チ、又之ヲ鍛挫スレハ、ホボ平輪ヲナス、次ニ輪軸ノ首小ニ尾大ナル器械ニ上セテ、斡旋スレハ、其孔益擴大トナル、此輪軸ニ螺旋ヲ施ス、故ニ其孔中ニ螺旋ノ槽（ミゾ）ヲ存シテ、輪ノ形成ル、凡ソ二三分時ヲ費ヤシテ、一輪ヲ成就ス、○又滊鑓ノ冒トナス、笠狀ノ鐵ヲ鍛成スルニハ、凹槌凸砧アリ、其砧上ニオキテ槌ス、其外鋸輪ヲ振回（フリマハ）シ、鐵ヲ横截シ、或ハ廣キ「ロール」ニ、空隙ヲ存スル平薄ナルモノヲ回シ、鐵ヲ展ヘテ廣鐵板トナス、鐵屑ハ花ヲ飛シ、煆鐵ハ火ヲ欺ク、滿場ノ傭人、火氣ノ內ニ奔走シ、車輪、車蓋、鐵軌、鐵板、鍋磊トシテ丘積ス、冷ヘタルハ青ク、冷ヘサルハ紫ニ、場內夏ナラスシテ暑ナリ

○此製鐵場ニハ二階ノ設ナシ、梁上（ウハヅリ）ニ運力ノ器械ヲ設ケ「

ネ」アリ、鎌鈎アリ、車ニ繋ケル革帯アリ、横縦交錯シテ、人ノ工力ヲ助ク、場内ニハミナ鐵牀ヲシク、故ニ往ク處ニ鐵ヲ槌スヘシ、中ニ鐵ノ軌道ヲ施シ、彼場ヨリ此場ニ運搬スルニハ、小蒸氣車ヲ以テス、場外ニハ塊鐵ヲ堆スルヿ垣ノ如ク石炭ヲ積ムヿ山ノ如シ、烟突ハ左右ヨリ起リ、其頂ハ天ニ朝シ、黒烟常ニ滿ナラサルニ陰ル、

次ニ鑄物場ニ至ル、是ハ銅、黄銅ヲ鑄成スル所ニテ、數町ノ外ニアリ、滿場土間ニテ、地上ニ灰土ヲ充テ、之ヲ堀リテ鞏固シ、鑄物ノ模ヲ造ル、以テ蒸氣車ノ飾リニ用フル、諸具ヲ作ル處ナリ、又他ノ鑄物ヲモ幷セ製ス、黄銅ノ床、窓ノ格子、鐵柵等ミナ此ニテ鎔成ス、

次ニ蒸氣車ヲ裝製スル場ニ至ル、此ニテ車材ヲ組立テ、之ヲ治シ、之ヲ修治スル所ナリ、梁ニ「リフテイン、マシイネ」ヲ施シ、是ヨリ巨鈎ヲ垂下シテ、其製セル車ヲ運搬ス、「リフテイン、マシイネ」ハ、梁上ノ兩端ニ車ヲ仕掛ケ、之ニ横梁ヲ架シテ、滊力ヲ以テ梁上ヲ往來セシメ、是ニ取付テ、下ニ製作品ヲ持運フ仕掛ナリ、又「フレッチン、マシイネ」アリ、蒸氣鑵ヲ釘嚴ス、其他鐼板ノ孔ヲ穿チ、螺旋ノ規

ヲ彫リ、鑛板ヲ合綴スル等、細大ノ工作ヲナセリ○其奥ノ一場ニハ蒸氣車ヲ蓄ヘタリ、此ニモ「リコフティン、マシイネ」ヲ仕掛ケテ、稠人群立ノ頭上ニ、製成ノ蒸氣車ヲ鈎下シテ徘徊ス、此ニ製成ノ車六十餘輛ヲ藏シタリ、

最後ニ、蒸氣車ノ小道具ヲ作ル場ニ至ル、首ニ鑛線ヲ展ルヲミル、初メハ徑六「インチ」許ノ長キ鑛棹ヲ煖シ、「ロール」輪ニ挾ミ、次第ニ展ヘテ圓キ長線トナシ、數輪ヲ經ル後ハ、即十餘「ヤールト」ノ鐵線トナル、是ヨリ數場相連リ、「ダライバンク」ヲ以テ、車輪ヲ鉈シ、斲シ、削シ、磨礱スル等、スヘテ細精ノ工ヲナス所ニテ、又黄銅板ニ文字ヲ彫ル仕掛アリ、是ハ手本ノ文字ヲ鑛板ニ彫限(ホリスカシ)タルアリ、是ヲ定規トナシテ、前ニ黄銅板ヲ置ク、其上ヨリ錐ヲ下シ、其尖ハ板ニ向ヒ、其頭ハ定規ノ上ニアリ、車ヲ輪シテ錐ヲ動セハ、黄銅ノ上ニ文字ヲ彫ル、ヿ定規ノ文字ト一様ナルヲウル○又一場ニハ木材ヲ製作ス、是ハ車ニ用ヒル木板、木箱等ヲ製スル所ニテ、半ハ人力ヲ以テ製作ス、仕掛モ簡易ナリ、

此社中ニテ、英國中ニ鑛道ヲ所持セルヿ、其長一千五百英里、此場内ニ於テ、製作ニ用ヒル職人、日ニ五千人ヲイル、一歳中ニ價七百二十萬磅ノ器械ヲ製

シ出ス、一周ロニ「ロコモチーフ」蒸氣軸車四輛ヲ成就ス、英國ニテ第一ノ蒸氣車會社ナリ、此村ノ民屋、半ハ職人ノ寓館ニテ、自ラ一ノ庶村ヲナセリ、此邑ニ鐵道ノ驛アリ、諸條ノ轍軌六條ヲ輻輳ス、殆ト大都府ニ比ス、〇四時五十分ヨリ蒸氣車ニ上リテ、六時十分前ニ里味陂旅ノ館ニ歸ル、社長モ同車ニテ來レリ、年已ニ八旬ニ超ユ、本日饗宴ニ會スル爲メニ遠ク來ルナリ、

此場ノ製作ノ盛ナルヲ見テ、其一歲製作ノ價ヲ聞ケハ、誰モ愕然トシテ其盛大ヲ驚クナラン、而テ英國ニ鏃軌滊車ヲ製スルハ、此場ニ止ラス、漫識特(ムエンチエストル)府ニモ哥羅斯哥(グラスヱー)府ニモ、舌弗力(セッフィル)府ニモ、又北明翰(バーミンハム)府ニモ製作シ、其他尚夥シ、此盛多ノ製作ヲ、狹キ英國中ニ用ヒハ、滿地ミナ鏃道滊車ナルヘシ、憶フニ何地ニ之ヲ運シ出スカト問ハサルヲ得ス、其後蘭國ヲ經テ、露西亞(ロシヤ)ニ至ル、漫識特(メンチエストル)製ノ滊車ヲ見シヿ數回ナリ、其後ニ獨逸(トイツ)ヨリ墺國以國ヲ巡行スルニ、沿途ノ鐵道、此モ英國會社ニ頼ミ架スル所ナリ、彼モ英國會社ノ架スル所ナリト云フヲ見テ、而テ後ニ益信ス、英ノ鐵冶ヲ以テ利ヲ歐洲ニ專ラニスルヿ甚タ廣キヲ、猶且足ラス、又鏃道ヲ印度ニ架シ、「オ、スタラリヤ」ニ架シ、

今ハ又支那ニ架セソヿヲ企ル、鐵道成レハ、車モ亦之ニ從フ、噫又盛ナラスヤ、佛國ノ、技工夙ニ開ケ、國モ亦富ム、英ノ工ヲ仰カス、白耳義(ベルギー)ノ鑛工、近年日日旺ス、亦英ニ仰カス、獨逸(ドイツ)ハ歐陸炭鑛ノ名所ナリ、頻リニ鐵工ヲ興ス墺國モ亦近年此業ヲ勉ム、然モ英ノ鐵利ヲ歐洲ニ敷ク、增アリテ減スルナシ、鐵ノ利タル眞ニ無量ナルカナ、

○夜七時ヨリ、當府ノ官吏商豪ヲ旅館ニ招キテ、宴ヲ開キ、九時ニ徹ス

二日　雨フル
朝九時ヨリ里味破府ヲ發シテ、東方漫識特府ニ赴ク、此間路程三十英里半ノ鐵道ハ、一千八百二十五年ニ「ステフェンソン」氏、始テ鐵軌ヲ路ニ布キ、蒸氣ノ力ニテ車ヲ引カシムベシトノ說ヲ唱ヘ出シ、百方ニ辯明ノ後、竟ニ會社ヲ募リ、議院ノ允許ヲ蒙リ、一千八百三十年ニ功ヲ竣メテ、車ヲ行リシ、世界鐵道ノ鼻祖ニカヽル、

○「セントヘーレンソ」邑ハ、亦「ランカシヤ」州ノ一邑ニテ、里味破ノ東方十二英里ニアリ、一千八百六十九年ヨリ、倫敦、及ヒ漫識特府ノ豪家ニテ、會社ヲ結ヒ、經費十万磅ヲ用ヒ、此地ニ板玻璨ノ製造場ヲ興セリ、此日經過ノ途ニ、其製作場ヲ一見ス、社長ヲ始メ出迎ヒ、第一ニ石末ヲ調合スル場ヲ示ス、此ニ火輪ヲ以テ硅石ヲ碎キテ、麁キ石末トナス、其石末ヲ、再ヒ「プレット」「モーレンソ」ニテ碎ク、是ハ互鐵盤ノ上ニ、堅剛ナル石輪三箇ヲ、遞轉スル器械ニテ、凡物ヲ粉碎スルニハ、此

ヲ主用スル事西洋ノ通法ナリ此「モーレン」ノ下ニテ石灰一袋石末二袋曹達(ソーダ)一袋ヲ和調シ之ニ砒石ト炭末ト少量ヲ加フ此調合ノ分量ニハ秘傳アリトテ委(クハシ)クハ語ラス和調シ畢レハ鍍盤ノ側ニ設ケタル連珠(ジユスツナギ)ノ斗(マス)ヘ其調合ノ粉末ヲ職人ヲシテスクヒ盛ラシムレハ累次ニ二階上ニ至リ石末ヲ凝(コオ)シ轉シテ下リ來ル二階ノ床(ユカ)板ニ方孔ヲ穿チ大漏斗ヲ其孔下ニ受ケ粉末ヲシテ其漏斗ノ口ヨリ馬車ノ箱上ニ瀉注セシメ第二ノ場ニ送ル、

玻瓈(ガラス)ハ西洋ニ於テ羅馬(ローマ)ノ古代ヨリ既ニ其製法ヲ發明シタレ圧後ノ以太利國(ヴエニス)府ノ條ニ藏ス東洋ニテハ其術ヲシラス此物透明ニテ清美ナルユヘ我邦ニテハ人ミナ貴重シタレ圧實ハ格別ニ貴重ノモノニアラス西洋ニテ玻瓈器ヲ用フル事我邦ニテ陶器ヲ用フルニ比較ス農作傭工ノ小家モ玻瓈器ハ用レ圧陶器ハ反テ貴重ノ品ニ屬セリ玻瓈ハ熔シテ後ニ工ヲ施ス故ニ碎片モ再用ヲナス陶器ハ施工ノ後ニ鍛化ス碎片ハ再用ヲナサス其價アルモ亦宜ナリ○玻瓈ヲ造ル料ハ世界ノ地上ニ於テ尤モ夥多キ硅土(リケツド)(火打石)ヨリ成ル此原質ハ何國ニモアラサルナク且地ノ表面ニ露出スルモノナレ

ハ採用スルニ易シ但其質ニ必ス鏁或ハ雑質ヲ含ムモノナルユヘ之ヲ資用スレハ透明ヲ損ス鏁ヲ含マサル純硅石ニ至テハ頗ル採得ニ難シ因テ價格ヲ増スノミ酒壜(ノノコ)ヲ作ル玻瓈(カラス)ノ如キハ鏁ヲ含ミシマヽニテ熔成ス青黒色ノ酒壜(フラスコ)ハ鏁礦ヲ練漉セル渣滓ヲ用ヒ紫黒色ノ酒壜ハ銅ヲ練漉セル渣滓ヲ用フルユヘ其價ノ賤キヿ我粗陶竹管ニモ比スヘキ雑用物タリ透明ノ玻瓈ハ無色ヲ要スルヲ以テ石ヲ擇マサルヘカラス米國ニ出ル硅石アリ全ク鏁ヲ含マス歐州ノ人買取テ玻瓈(カラス)ヲ作ル又有色ノ石ニモ其色ノ有機質ニテ成タルアリ是モ用ニ合ス些少ノ雑質ハ法ヲ以テ除キ去ル即チ砒石(アレセニツク)硝石木炭ヲ和シ酸素ト抱合シ熔スルニ従ヒ浮泡ヲナシ一分ハ氣状トナリテ飛去ラシメルナリ○玻瓈ヲ調和スル法ハ種種ナレ𪜈尋常ノ雑玻瓈(カラス)ハ硅酸曹達(ケイサンソーダ)ト硅酸石炭(ケイサンカルキ)ト等分ニ和シテ熔ス是ヲ曹達玻瓈ト云此調合ナレハ熔解ニ易ケレ𪜈些(スコシ)ク青色ヲ帯フ故ニ稍上品ニハ曹達(ソータ)ニカユルニ「ポッタース」ヲ以テス是ヲ「ポッタース玻瓈」ト云熔解ニハ難ケレ𪜈純明無色ナリ玻瓈(カラス)ノ調合ハ此二法ニ基ツク大抵鏡板窓櫳ノ用ニハ曹達玻瓈

ヲ用ヒ器皿ニハ「ポッタース」玻璃ヲ用フ今此場ニテ製スル玻璃ノ調合ハ硅石ノ末二袋ト曹達一袋ト石炭一袋トヲ用フ即チ硅酸曹達(ケイサンソーダ)一分劑ニ硅酸(ケイサン)石炭(カルキ)一分劑ノ調合ニテ曹達玻璃ノ法ナリ○之ニ炭末ト砒石トヲ和スルハ硅石曹達石灰ノ三品ミナ純粋ノ精質ニハ非サルニヨリ其中ニ幾分ノ硫ト鐵トナキ能ハス因テ此二品ヲ加ヘテ熔スレハ熱度ノ加ハルニ従ヒ炭末ノ化シテ炭酸トナルトキ他質ヨリ酸素ヲ奪ハント其酸素ノ結合ヲ壊リ砒石ハ亦其抱合シタル酸素ヲ分離シ鐵ニアタヘ鐵二酸三ノ氣トナリ火勢ニ従ヒ飛去ラシメル所ナリ○玻璃ノ調合ニハ別ニ高妙ナル深訣ナシ但シ採用スル硅石ノ質ニヨリ調合ノ量ヲ異ニス又參和ノ物モ同量ナラス此等ハ工家其時ト地トニヨリテ商量ヲ定ムルヘキモノニテ膠柱シテ論シ難シ○火爐ノ製式ニハ種種アリ要スル所ハ火熱爐中ニ平均シテ白熱以上ニ至ラシメルニアリ施工ハ修煉ニ頼ル總テ學術上ノ理ト聞見上ノ狀トハ其一斑ノ術理ヲ知ルマテニテ其變通ハ時處位ニヨリテ變化シ人人ノ才智ニ關ス猶他ノ玻璃製場ヲ照合スヘシ

第二ノ場ハ場宇甚タ廣シ、約幅二十餘間ニ、長サ七八十間モアルヘシ、兩側ハ煉化石ニテ、幅三丈ニモ及フ爐室ヲ設ケ、火氣ヲ通シ、鑄戶ヲ開闔スルモノヲ、幾ツトナク設ク、皆玻瓈ヲ冷ス所ナリ、中央ニ熾炭ノ爐アリ、前場ニテ調合セル、玻瓈ノ料ヲ熔ス、此爐ノ製作ニ式アルヿナリ、只其巨大ナルヲ以テ、全部ノ造構如何ヲ認メ得ス、此玻瓈製ニ用フル爐ハ、年ニ二度モ修繕スルトナリ、玻瓈料ヲ盛リ、爐中ニ熔ス壷ハ、剛泥ヲ以テ、器械ニテ製ス、其狀縁（フチ）ノナキ釜ノ如シ、其土ハ結麗（ケレイ）土ノ烈火ニ壞レサルヲ採用ス、製作不平均ナレハ破裂スル故ニ、施工精緻ヲキハム、之ニ調和ノ石末（イシノコ）一千六百八十磅ヲ盛リ、爐中ニテ熔スルヿ、四日ヨリ七日ニ至ル、一爐ノ內ニ、如此キ巨壷四箇ヲイルヘシ、○壷中ノ石末（イシノコ）、已ニ火ニ熔スレハ、八九人ニテ其壷ヲ引出シ、鑄車ノ上ニ載セ、場內ノ鑄軌上ヲ走リテ、玻瓈ヲ展ル鑄盤ノ側ニ至ル、壷中ノ定質ハ、此時溶流シ、白炎ヲ發セリ、凡火ハ、其熱ハ、氏ノ二千一百度ニ上レハ、白炎ヲ生スルモノナリ、數日爐中ニテ此大熱ヲ與ヘタレハ、須臾ノ空氣ノヨク冷ス所ニ非ス、廣場モ爲メニ熱スルニ至ル○玻瓈ヲ展ル鑄盤ハ、幅丈餘、長サ二丈ニ及フヘシ、上面ハ甚

タ平カナリ、其面ノ兩側ニ、方(シカク)ナル鐵線、大サ三四分ニテ、長サ盤ニ同シキヲ安ンシ、玻瓈ノ兩界ヲ劃シ、且厚薄ノ度ヲ定メオキ、其上ニ圓徑二尺餘ノ鐵製ノ「ロール」軸ヲ横フ、兩端ニ樞(ホゾ)アリ轉回スヘシ、白熱ニ至レル玻瓈料ヲ、壷ノマヽニテ此ニ持來ル、盤側ニハ六七夫アリテ、灰ヲ盛リシ革嚢ヲトリ、盤面ヲ打テ灰ヲ撤布シ、熔シ壷ヲ鐵楸ニテ挾制シ「クレイン」トテ、梁上ヨリ低下セル、鐶鈎(クサリカギ)ニテ鈎シ上ケ、盤上ニ持上セテ、熔解玻瓈ヲ覆セハ、即時ニ「ロール」軸ヲ轉轆シ展フル、白炎度マテ熔セシ玻瓈ナレハ、恰モ麩麪(フメン)ノ如ク、盤面ニ廣カリ、鐵線ノ劃中(シキリ)ニ充チ、一平ノ薄片トナリ、熔料盡ルトキ、恰モ盤面ヲ終ル○是ニ於テ兩人、左右ヨリ長鐵竿ヲ以テ、玻瓈ノ裏ト、鐵盤ノ面トノ際ヲ拂ヒ、粘着ヲ離ス、一二回ニテ、前ナル冷シ鑪室ノ戸ヲ開キ、鈎頭ノ長鐵棒ニテ、玻瓈板ヲ推シ、爐室ノ中ニ押送リ、更ニ長鐵竿ヲ取テ、鑪ノ奥マテ押込テ、又次ノ玻瓈ヲ展ヘルナリ、一鑪ニ二枚ヲイレ、一七日間ニ、漸漸ト火ヲ減シテ冷固ス○玻瓈己ニ冷レハ、一人ハ鑪室ノ中ニ跳入リ、二人ハ口ニアリテ、玻瓈ヲ引出ス、此時ニ玻瓈ハ、全面模糊トシテ灰ニ塗(マミ)レ、色ハ青色ヲ帶ヘリ、至堅ナル鋼刃ヲ以テ、前後ヲ截

チサリ、若シ龜拆ノ處アレハ、其處ニ燒小手ヲアテ、拆裂ノ界ヲト、メ、鋼刃ニテキリ、將テ廣キ方形ノ板ニ切ナシテ、磨礱場ニ送ル、玻瓈板ハ廣キホトニ價アレハナリ、碎片ハ再ヒ熔解ヲ行フヘシト雖モ、廣キ方板ヲ得サレハ利薄キモノナリ、

第三磨礱場ハ三宇アリ、其廣キハ十二間ニ五六間モアルヘシ、第一場ニテハ、織沙ヲ以テ磨礱シ、玻瓈ノ面ヲ平カナラシム、其器ハ廣サ約我三疊敷程ノ板ヲ釘連シ、之ヲ車仕掛ニテ振回シ、乍チ斜乍チ横、前ニ押シ、後ニ引クヘキ、機關ヲ施シ、傍ヨリ噴水ヲ射出ス、童子一人ヲシテ、時時ニ織沙ヲ撒布セシム、是ヲ初磨トス、次ノ場ニテハ、同シ仕掛ヲ以テ、美爾索河中ニ產出スル「エモリー」石即チ金剛沙礬土ノ結成ヲ以テ磨ク、此石ハ細粒ニテ藍灰黑色ナリ、之ヲ細粉トナシ炭末ニ似タリ、是ハ面ヲ滑カニナスタメナリ、是ヲ中磨トス、最後ノ場ハ、土耳其ヨリ來ル「エルローカ」石ノ末粉ヲ以テ磨拭ス、此石末ハ赬色ナリ、察スルニ酸化銕ヲ含ミタル土ナルヘシ、（所謂ル褐銕土、黄銕土ノ類、金鏡ノ光ヲ磨キ出ス功アリ、）之ヲ水ニ和シ、玻瓈面ニ灌沃シ、蓋狀ノ銕、其裏ニ「ゴム」ヲ張リタル

ヲ數十箇並ヘテ玻璃上ヲ壓ス玻璃ハ盤面ト共ニ左右ニ往來シテ滿面ニ均シク摩擦ヲ受ク是ハ光ヲ生スル爲メナリ是ヲ終磨トス〇三磨ノ後ニ至テ最初ハ模糊トシテ青ヲ帶ヒ不透明ナリシ玻璃モ玲瓏水ノ如ク透徹ス此場製作ノ目的ハ玻璃ノ質ヲシテ十分ノ透明ヲ極メシムルニアリト云

此場ニハ千五百馬力ノ蒸氣輪ヲ運シ一七日ニ五万方尺ノ玻璃ヲ磨キ成ス全場ニ人ヲ用フル一千六百人石末ヲ和スル一日ニ五千噸之ヲ熔シテ一晝夜ニ二百韲ノ玻璃ヲ展フ一周日ニ六萬方尺ノ玻璃ヲ製シ其六分ノ一ハ破碎トナルナリ石炭ヲ燒ク一周日ニ一千三百噸其製スル所ノ玻璃ハ以テ造營窓櫳ノ用ニ供ス又鑑トモナル此場ニ於テモ餘枝ヲ以テ鑑ヲ製スルナリ

玻璃ヲ以テ鑑ヲ製スルニハ平鋳盤ヲ設ク（疑クハ此面ニハ羅紗ヲ張ルモノナラン）盤ノ周圍ニ槽アリ槽ノ隅ニ孔ヲ穿チ水銀ノ溢レタルハ槽ニ落テ流レ此口ヨリ滴注セシムル爲メナリ此盤ヲ水平ニオキ箔葉ヲナシタル錫紙以テ鋳盤ノ面ニ平帖シ其上ニ水銀ヲ灌キ刷毛ヲ以テ之ヲ錫紙ノ面ニ摩擦スレハ水銀ノ黏ハ紙

二襯帖シ瑩然トシテ光ヲ生ス然レ𪜈其大氣ニ觸レル面ハ酸化シテ鏽ヲ浮フヲ免レス因テ再ヒ水銀一盂ヲ以テ錫紙ノ上ニ灌沃スレハ其鏽ハ盡ク浮ミ漂フ此時其水銀ハ溢レテ槽ヨリ流レ墜ルユヘ盂ヲ以テ其下ニオキ受取ム○因テ一人ハ玻瓈ノ板ヲ持來リ平カニ鋏盤ノ縁ニ妥帖シ錫紙ノ端ト恰モ密帖セシメ二人ニテ其玻瓈ヲ推テ徐徐ト錫紙ノ上ニ滑リ進ムレハ玻瓈ノ自重ニ因テ錫紙ニ親帖セサル水銀ハ推移サレ溢レ漂ヒ鏽ヲ幷セテ盤ノ周圍ナル槽ニ流レ落テ再ヒ盂中ニ入ル而テ盤面ノ玻瓈ハ一ノ鑑板ヲナセリ○是ニ於テ重壓ヲカクルナリ其法ハ銅馬アリ下面ハ方形ニテ至平ナリ、其裏面ニ「インギヤラハゴム布ヲ張ル上頭ヲ圓ニシテ把持ニ便ニス其重サ七磅如此キモノ數百アリ之ヲ玻瓈ノ上面ニ虛隙ナキ並ヘヲクナリ○水銀ハ温熱ヲ加ヘテ取用スルニモ非サレ𪜈自ラ分子游離シ此工ヲ操ルモノ其毒ニ觸レ病ヲ感シ易キヲ以テ二十年前ヨリ銀ヲ以テ代用センヿヲ工夫シタレドモ其光力ハルカニ及ハス種種ニ思考ヲ重子近來ニ至リ竟ニ其術ヲ發明シ硝酸銀ヲ以テ水銀ト同力ノ光ヲ生セシムル術ヲ得タリ故ニ今ヨリ

後ハ次第ニ此法ニ改革スヘシトテ水銀ノ鑑ト新發明セル銀ノ鑑ト兩玻瓈板ヲ比ヘテ其光リノ比較ヲ示セリ

玻瓈ノ裏ニ水銀ヲ帖付シテ鑑トナスノ術ハ蓋シ此ノ如シ此水銀中ニ別ニ合藥ノ方ハナキニ似タリ憶フニ水銀ノ面ヲ摩擦シ錫紙ニ襯帖セシメ其上ヘ更ニ水銀ソヽキテ玻瓈ヲ推シ登スレハ水銀ト玻瓈トノ際ニ些ノ空隙(スキマ)ヲトヽメサルヲ以テ水銀ハ己ニ玻瓈面ニ吸著(スイツケ)リ玻瓈ノ自重(オノガオモミ)ノミニテハ猶空氣ノ排入(オシワケイル)ヲ恐ルヽヲ以テ銅馬ニテ重壓シ其襯帖ヲ固クシ其後「ゴム」ノ液ヲ以テ錫紙ノ裏面ヲ塗ルヲ終工トス佛國尤モ鑑ヲ製スルニ長ス是ハ鑑面ノ磨キ周圍ノ飾リミナ工ヲ施スヿ綺麗ニテ早ク聲譽ヲ歐州ニ得シナルヘシ水銀ヲ玻瓈ニ傅(ツケ)ルマテハ手練ノ工夫ノ外ハ各別ニ深意ナキカ如シ

○是ヨリ蒸氣車ニ上リ東ニ馳セ午後五時前ニ漫識特(メンチエストル)ノ驛ニ達ス富府ノ知事(メーヨル)ラ驛ニ出迎ヘ馬車ニテ「クイーンスホテル」ニ宿ヲナス

漫識特府(メンチユストル)モ亦「ランカシャ」州ノ一大府ニテ北緯五十三度二十分西經二度十六

分ニ位シ、一千八百年ニ、已ニ九萬五千口ノ都會ナリシカ、木棉紡織ノ繁昌ト、米國貿易ノ盛大ニナルニ從ヒ、同五十年ニハ四十萬口ノ都會ヲナシ、同七十一年ニハ四十八萬〇四百七十八「メンチェストル」三十五万五千六百六十五人「サルボール」十二万四千八百〇五人ヲ幷セタルニ及ヒ、英國ニテ第三ノ都會タリ、里味陂（リヴァプール）府美索爾（ミールシール）河ノ上流ニヨリ運河ヲ開キ、漕舟互ニ運送スヘシ、四郊ミナ平野ニテ、河水ハ汚濁ナリ、之ニ加フルニ多霧多雨ヲ以テス、秋冬ノ間ハ日光ヲミルヿ少シ、此府ニ製造所多ク、殊ニ木棉ノ紡織ハ、其盛ナルヿ、歐洲ニ於テ別ニ比肩スル所ナシ、蒸氣ノ力ヲ借テ機ヲ運ス、全府石炭ノ烟、天ヲ掩ヒテ空氣爲メニ昏黒ナリ、八九年前ニ、米利堅合衆國、南北戰爭アリシ時、彼國ヨリ棉花ヲ仕入ルヽ口塞リケレハ、滿市ノ製造場ニ、廢業ノ者多ク、職人男女糊口ノ途ヲ失ヒ、餓死ニ瀕スルニ至ル、商會ヨリ東西印度ニ手ヲ配リ、棉花ヲ購ヒ、此頃ハ世界ノ棉花、爲メニ價ヲ增加シ、此府中ノ困難ハ、日本ニテ連年ノ大飢饉トモ謂ホドノ景况ニテ、府廳ヨリハ三千万磅ノ金ヲ集メテ、之ヲ救濟セリトナリ、米國廢奴ノ論ハ、棉花ノ關係ニヨリ、米英共ニ異論多カリシ所以モ亦察スヘシ、

○夜芝居ニ招請セリ、

三日　雨晴レタレト雲霧濛濛タリ

朝十時、知事ノ案内ニテ、馬車ニ駕シ、紡棉場ニ至ル、此場ニハ、屋ヲ起ス地底ノ窖ヨリ、總テ九層アリ、傍ノ一字ニ烟突ヲ起シテ、三百三十馬力（實馬力ナラン）ノ汽輪ヲ轉ス、其紡スル棉花ハ、皆米利堅ヨリ輸入セルモノヲ用ユ、紡彈ノ器械ハ、ミナ波士敦ニテ見タルト同シ、此ニハ其漏シタルヲ記シ補フヘシ、○棉花ヲ以テ彈器ニ上セ、打棉トナス器械ハ、箱中ニ風輪ヲ回シ、箱ノ口ニ木片ノ編冊アリ、棉花ヲ冊ニ上セ平敷スレハ、齒輪ノ拍子ニ編冊進ミテ、箱ノ口ニ至リ、下ニ回リ去ル、此時ニ箱中輪轉ノ勢ニテ、倒ニ風ヲ生シテ、棉花ハ箱中ニ飛散リ、次ナル箱ノ口ニ吹寄ルヲ、次ノ箱中ニ又輪轉シテ、再ヒ第三ノ箱ニ送リ、第三箱ニテモ同シク彈シ、竟ニ其飛棉ヲ編冊ノ下ニ平敷シテ巻出ス、此時棉花ハ一條ノ展棉トナリテ、轉軸ニ巻カル、是ヲ第一次ノ彈トス、○次ニ再彈ノ器ニ上ス、此器ハ箱中二十二輪ヲ安ンシテ、遞ニ轉回ス、其輪面ニ、鋼鍼ノ細線ヲ曲ケテ、蝟毛ノ如ク密植ス、棉花ノ纖維ハ、蜘蛛絲ノ如ク其面ニ挂リ、兩

相磨切スル際ニ於テ遞ニ移リ傳ヘテ最後ノ輪ニ至リ箱外ニ露出スルトキ鋼線ノ刷毛ヲ上下セシメテ拂ヒ落セハ棉ハ薄葉トナリテ輪ヲ離ルヽヲ前ナル小環ノ中ニ回リ出シ一線ノ篠卷トナシテ下ナル銅筒ニ繰リ入ルヽ是ヲ梳鬆器械ト云○再ヒ此篠卷ヲ引切リ細齒ノ輪ニ密梳シテ再ヒ篠卷トナス器械アリ夫ヨリ次第ニ絲ヲ紡ス器械ニ上スヿ波士敦ト同シ其紡器ノ内ニ細糸ヲ紡シテ兩條ヲ綯合セ纖細ナル絲トナラシメル器械ヲ設ケタル一室アリ一器ニテ百管ヲ綯成ス是波士敦ニテ未タ見サル所ナリ全場ニ人ヲ用ヒル八百人婦人幼童其大半ニヲル

○夫ヨリ「フイツト、ウオールス」社ノ製銕場ニ至ル此場ハ一千八百三十四年ヨリ剏メ次第ニ増大シテ今日ノ盛ニ至レリ鑄成スル所ノ器械ハ鋼アリ銕アリ大砲砲彈砲車輪臺ノ大ヨリ百種銕ノ器械ヲ製スル鑄物場ナリ○場ノ入口ニ銕柱ヲ以テ支持シテ屋上ニ轍軌ノ道ヲ架シ蒸氣車ヲ往返セシムル設ケアリ○初場ハ尋常ノ鑄物場ニテ黒壚ナル灰土ヲ場内ノ土間中ニ充塡シ之ヲ堀リ之ヲ築キテ種種ノ鑄型ヲ造ル深キハ三四尺ニ及ヒ長サハ二三丈ニ

モ及フアリ火爐ヲ處處ニ設ケテ銕ヲ鎔シ兼テ鑄型ノ灰土ヲ温ム梁上ニハ「フリテイノマシイネ」ヲ仕掛テ以テ鑄鍋ヲ運搬シ巨大ノ器械ヲ一度ニ盗成スヘカラシム此日長サ三丈幅七八尺程モアル巨器ヲ鑄テ示シタリ之ヲ鑄ルニハ鑄鍋ニ數顆ノ銕ヲ熔解シ紅水ヲナシテ焰焰ト白炎ヲ發セルヲ「フリテイノマシイネ」ニテ鈎シ送リ來リ地上ナル鑄型(イカタ)ノ上ニ至リ鑄口ヨリ徐ニ傾ケ流セシニ銕ハ滔滔トシテ波ヲナシテ流レ入リ須臾ニシテ型ノ周圍ナル灰土ノ空隙ヨリ藍色ノ炎ノ噴キ出スハ是白熱ノ度退キテ藍熱マテニ退キ冷ヘタルナリ是ヨリ黄炎紅炎ニ變シ漸ソニ減シテ土中ニ冷固ス凡ソ鑄銕ノ工ハ火爐ノ製法ニ要訣アリ銕ハ熔シ難キモノナルヲ以テ人間ニ大利ヲ與ヘタリ故ニ鑄造ハ殊ニ猛烈ノ火度ヲ要スルナリ盗法ニハ他奇ヲミス、

凡鑄銕ノ工ハ火爐ノ製式ニ要訣アリ燃材ノ熱ニテ風氣ヲ皷入シ酸素化シテ炭酸トナルノ分量ニヨリ火熱ノ寛猛ヲナス銕ノ鎔解スルニハ熱度甚タ高シ鋼銕ノ類ハ「ハ」氏ノ一萬度ニテモ鎔流セサルモノナリ故ニ銕質ヲ鑑査シテ火度ヲ差シ和劑ヲ以テ他質ノ抱合ヲ破リ燃材ハ或ハ石炭或

斯ニテ燄火ヲ蓄ヘ「石炭「コーク」ニテ猛火ヲ熾シ「鎔解甚タ熟シタルヲ「鑄型ニ澄注ス「鑄型ノ製ハ「物ニヨリ一ナラス「國ニヨリ各其法ヲ差異ス「模ヲ築製スル泥ハ鬆土ヲ用フ「是其中ニ濕氣ヲ含ム丁少ク「孔隙ヨリ風氣ノ飛散ニ利アレハナリ「又馬糞ヲ和ス「豈ニ其中ニ醱蒸スル炭酸、及ヒ「アンモニヤ」、鑄銕ノ熱ニヨリ「速ニ游離シテ「風氣ヲ誘導シ「鑄銕ノ氣孔ヲ密ニスルニ利アル歟「以テ專業家ノ考按ニ存ス、

次ナル場ニ於テハ「己ニ澄成セル銕ノ器械ヲ以テ「之ヲ削リ「之ヲ鑿リ「之ヲ鉋(カナ)シ「之ヲ磨(ミガキ)スル所ニテ「大小ノ「ダライバンク」鉄ヲ鉈スル器ヲ仕掛ケ「リフテイシマシイネ」ヲ施ス「凡ソ車床ノ大ナルモノハ「長サ五間ニモ及フヲ「鏇削シ「鉋鑿スルニハ「幅一間ニ長サ五間モアルヘキ「鋼製ノ械ヲ以テ「器械ノ上ニ進退セシメ「其拉壓ノ力ハ「銕ヲ截ル丁木ヨリモ柔カナリ「梁上ニハ「リフテイシマシイネ」アリ、劃成(ケツリナセ)ル器械ヲ鈎シ去リ「未劃成ノモノヲ鈎シ來ル「萬鈞ノ巨器「人ノ頭上ヲ來往ス「其他ノ諸器「大小各運轉シテ「其工ヲ呈ス「平鉋アリ「輪鉋アリ「六稜ノ角ヲ削リ成スアリ「螺旋ノ軸ヲ削リ出スアリ「轉輪ノ響「暢暢トシテ場ニ滿チ「聲音

ヲ亂シテ語言スヘカラス〇社中ノ人イフ米歐諸國大少ノ鉄製場ニテ造ル器械寸法ハミナ各國同一ノ度ヲ用フ故ニ米國ノ器械ヲ英國ノ製造場ニ於テ修覆補完スルトモ密合セサルナシ是互ニ盛ナル所ナリト、

第三ハ鋼鉄ノ鑄物場ニ至ル此場ハ重ニ大砲ヲ鑄ル大砲ハ猛烈ノ爆力ニ耐ヘサルヘカラサルヲ以テ其質尤モ緻密ヲ要ス近年西洋人種種ニ其術ヲ求ム此場ニテハ盪注セル後ニ大壓力ヲ加ヘテ其空隙ヲ塡塞スル術ヲ用ヒタリ〇此日大砲一門ヲ鑄テ示セリ其鑄型ハ地下ヨリ仰テ空ニ向ヒ立ツ此上ニ重壓ヲ加フ仕掛ヲ設ケ裝置極テ壯大ナリ盪注スル以前ニ巨大ノ鑄鍋ヲ煨シテ持來ル此鍋ノ底ニ孔アリ鉄棍ヲ以テ其孔ニ貫キ閉塞シ之ヲ鍋ノ中央ニ立テ鍋椽（ナベノフチ）ヲ挾持スル鉄把（トリエ）ニ鉄棍ノ首ヲ貫キ螺旋ニテ緊嚴ス、サテ鋼鉄ヲ鎔スルハ「クルシブール」ト名ケル墨鉛泥ノ鑄壺ニ盛ル數十口ノ爐ヲ開キ其「クルシブール」ヲ取出シテ小鉄車ニ載テ走リ來リ鋼ノ熔液ヲ巨鍋中ニ傾瀉ス、「クルシブール」ノコハ後ノ「セツフイール」府ノ條ニ詳カナリ「クルシブール」數十箇ノ鋼鉄液ヲ鍋ニ充盈セル後ニ梁上ヨリ垂下セル鎖鈎ヲ以テ其鑄鍋ヲ鈎懸シ鑄型ノ上ニ送リ、

最初ニ鍋底ヲ釘貫セシ鑕棍ノ螺旋ヲ弛ヘ斡シ上レハ底ノ孔口開ケ夫ヨリ熔鋼型リ鑄型ノ内ヘ注入シ盡テ後ニ止ム是ニ於テ職人ハ、ミナ鑄型ノ傍ヲ逃レ去リ機關ヲマワセハ鑄型ノ上ニ仕掛タル大鑕椳徐徐ト下リテ鑄型ヲ壓塞スルニ從ヒ其虚隙ヲ傳ヘ鋼中ノ炭素ハ空氣ト共ニ花ヲナシ數歩ノ地ニ飛散ス須臾ニシテ型内ノ鋼鑕其全質ノ氣孔ヲミナ密塡シ中ニ含ミタル空氣ハ盡ク罅隙ヲ傳ヘ又炭素ヲサソヒ壓塞ノ鑕器中ヲ傳ヘ噴キ出テ迸然トシテ聲ヲ發シ一齊ニ花ヲナシ數歩ノ間ニ亂飛ス此壓下ノ力ハ毎方寸ニ一百噸ノ力ヲ具スト云○夫ヨリ場外ニテ孔徑一寸四分寸ノ三ナル旋條ノ鋼砲ニ九「オンス」ノ藥ヲ裝ヒ鑕角ヲ射試ミタリ砲彈斜ニ鑕角ヲ洞シテ飛去レリ之ヲ度リシニ厚サ二寸半ヲ穿テリ、

○夫ヨリ砲彈ヲ作ルヲ略見シテ後ニ大砲ヲ蓄ヘタル場ニ至ル數門ノ成砲アリ傍ニ砲身ヲ横截セルモノ四五箇アリ此處ニテ壓塞法ヲ施シタル鋼ノ尋常ノ鑄鋼ニ異ナル所以ノ實ヲ示セリ尋常ノ鑄法ニ鑄タル鋼質ノ半截ヲミルニ鑕質密緻ナラス往往ニ指大ニモ及フ空孔ヲ存スルニ至ル然ルニ壓塞

ノ法ヲ用ヒタルハ、全質ミナ密塞シテ、些ノ空孔ナシ、○又一器アリ、是ニテ鋼質ノ粘合力ヲ試驗ス、是ハ鋼ヲ引伸テ切ル、ニ至リテ、其度ヲ視ル法ナリ、此日其器械ヲ以テ、雙頭螺旋ノ鋼鋏棍、其徑半寸ナルヲ引伸シニ、四十二噸半ノ力ニ至テ引切レタリ、其切レルマテニ長サハ三分寸ノ一ヲ伸テ、中央ノ處ヨリ恰モ斷絶セリ、以テ其質ノ精ナルヲ知ラレタリ、○此場ニ六角孔ノ鋼砲アリ、又別式ノ後裝砲モアリ、ミナ野戰砲ナリ、蓋シ巨大ノ砲ハ、此法ニテ製セサルナリ、○再ヒ鑄場ニ往テ、鋼鋏ヲ重鎚スル器械ノ運動ヲミル、此仕掛ハ、地ニ大鋏砧ノ其重サ八千噸ニ堪ヘルヲスエ、上ヨリ蒸氣ノ力ニテ、機關ヲ以テ重サ二千噸ノ鋏槌(所謂ハマー)ヲ下ス、此間ニ紅烙セル鋼鋏ノ砲身ヲオキ、展轉シテ重槌ヲ受ケシム、此場ノ製造ハ、逐成ノトキニ壓塞ヲ加ヘ、冷テ後ニ再ヒ重壓ヲ加ヘテ、更ニ其質ヲ密塞セシメタルヲ、更ニ又此仕掛ニテ其全質ヲ鍛槌ス、是ヲ以テ其砲質ノ至堅ナルヲ得ルナリ、○夫ヨリ砲彈ノ鑄型ヲ製スルヲミル、是ハ滊輪ノ仕掛ヲ以テ、其土ヲ築キ固メル器械ナリ、是ハ割リ型アリヲ、其内ニ煉土ヲイルレハ、輪下ニ設ケタル、齒輪ノ轉スルニ從ヒ、一小筒アリ

ヲ升降シ其煉土ヲ築固ス甚タ敏捷ノ器ニテ一分時ヲ出スシテ一ノ鑄型ヲ成就ス、

去年南亞米利加伯爾西(ブラジル)國王英ノ諸部ヲ回リ此ニ來リテ場内ヲ巡視シ歸國ノ後二人ノ海軍士官ヲ遣シ此場ニテ學ハシム現ニ其人我一行ト先後シテ、場場ヲ巡レリ其人黃人種ニテ甚タ日本人ニ肖タリ但鼻準ノ高キヿ歐洲人ト異ナラス平日ハ場内ニテ工役ヲトルトナリ、

○午後ニ再ヒ駕シテ「フヒチコールト」ニ至ル是ハ大裁判役ノ出張所ニテ所謂ル巡審院「シルクイット、コールト」ナリ一千八百五十九年ヨリ改造シ五ケ年ヲ經テ經費百六十萬磅ヲ費シテ成ル英國中ニ於テ最モ備リ最モ美ナル裁判所ナリ全宇ハミナ白石ニテ築キ屋ノ造搆ハ只一層ナレ圧堂宇ヲ高朗ニ搆ヘ起シ正面ナル入口ヲ廣堂トナシ五彩ノ玻瓈ヲ以テ窓ヲ裝フ寺觀ニ彷彿タリ禮拜誓約ヲナス堂ナリ其分房ハ左右ニ裁判ノ間アリ右ハ聽訟左ハ斷獄中央ヲ、以テ書記局トナス法律書數萬冊ヲ藏ス○裁判ノ間ハ左右トモニ略其法ヲ同クス此ニ其大略ヲ記セン先ツ正面ヲ高クシテ裁判職ノ席トス其前ニ於

テ一層ヲ低クシテ、書記官三名ノ席アリ、其左ハ新聞紙社、右ハ證據人ノ席アリ、是ヨリ裁判職ニ面シテ「ヂュリー」ノ席アリ、次ニ代言人（ローヤル）左右ニ振分レ、中央ヲ高クシテ、原被告人ノ席トナス、斷獄ノ間ニハ、此間搆ヘ、嚴ニテ、鐵欄ヲ匝ス、罪人ヲ此ニ出ス、左ニ「グラントヂュリー」ノ席アリ、右ハ證據人其外ノ扣ヘ席アリ、背後ハ數層ヲナシテ、傍聽人ノ席ヲ設ク、上宇高朗ニテ、上ヨリ瓦斯燈ヲ鈎下ス、玻璃光ヲ閃カシ、金裝燦然タリ、下ハミナ白石ヲ甃シ、平滑ニシテ磨澤アリ、罪人ハ地下ニ洞道アリテ、獄ヨリ直ニ此席ニ逮レ來ル○其他裁判官休息室、食堂、密議室、内密裁判室「ヂュリー」吟味室等、ミナ結構廣大ニテ、器具ミナ美ヲ盡ス、總テ彫鏤奇縟工ナシト雖モ、堅緻ニテ清楚ノ造搆ナリ、

○夫ヨリ牢獄ニ至ル、此牢獄ハ、裁判所ノ近所ニアレトモ、別ニ一區ノ廣域ヲ占メ外圍ヒハ磚瓦ヲ以テ、高サ約二丈餘ノ墻ヲ築キ、大樓門アリ、扇闔甚タ嚴重ナリ、出入ハ小戸ヲ其戸面ニ設ケ、是ヨリ纔ニ一二人出入スヘシ、墻頭ニハ巨釘長三四寸ナルヲ植エ、門内ニハ四獄掛ノ諸官房アリ、此所ニ至高ノ大煙突ヲ起ス、二百餘尺ノ高サニ及ヒ、雲表ニ聳エタリ、是ハ其中腔ヲ兩重ニシ、内腔

漫識特（マンチユストル）府ノ通街

同牢獄ノ内景

ヨリハ、烟煤ヲ送リ出シ、外腔ヨリハ、風氣ヲ送リ出シ、獄中ノ腐敗氣ヲ清滌シ、新鮮ノ氣ト交代セシメル設ケナリ○獄屋ハ六棟ノ屋ヲ合轃セシムルヿ、米國費拉特費（ヒフドルヒヤ）府ノ牢獄ニ同シ、蓋シ彼府ノ造構ヲ摸倣セルモノニテ、彼ハ石造、此ハ煉火石造ナリ、彼ハ二層、此ハ四層ノ異アルノミ、每層ニ牢番一人ツヽヲオクヽ、スヘテ一千室、其合轃ノ所ヲ牢番人ノ休所トス、女牢ハ別ニアリ、其造構ミナ男牢ト同シ○此牢ニハ、裁判濟ノ禁獄人ヲイルヽ所ニテ、即チ懲役ノ牢ナリ、牢内ニテ懲役ヲナス、每一人ヲ一室ニイレ、其内ニテ席ヲ織リ、履ヲ縫ヒ、鍛工、斲木、何ニヨラス、其人ノ長技ニヨリテ、工技ヲ課ス、ミナ日程アリ、牢中ニ刀刃ヲ用ヒルヿ自由ナリ、每室ノ廣サ六尺ニ十五尺モアルヘシ、寢床、水甕、及ヒ氣燈ヲ設ケ、又每室ニ一卷ノ經文（バイブル）ヲオク等、ミナ費拉特費ニ同シ、罪人理髪ヲナスニハ、理髪人アリ、牢番ヨリ鍵ヲ開キ、罪囚ヲ出シテ、最下層ナル廊道ノ中央ニ於テ、理髪ヲナス○懲役ノ服ハ、黃色ト黑色ト、大豎横條（タテヨコシマ）ノ粗絨紗ヲ用フ、懲役ニハ日給ヲ與フ、其牢額ハ懲役人ニ與ヘ、其半給ヲ以テ官ニ納メテ、在牢ノ費用、衣食ノ價ヲ拂フ分トス、若シ勉強シテ、日程ヨリ仕越シタル𪜈ハ、其

割ニテ増給シ、ミナ己ノ所得トナル、故ニ勉強スルモノハ、有餘ヲ積テ、出牢ノ時ニハ、資本ヲ持歸リ、且懲役中ニ勉強ノ習癖ヲ生シ、因テ生計ニ就キ、反性シテ産業ヲ立ルモノ次第ニ増スト云〇日程ヲ怠リ、不勉強ナル惰漢ハ、水車場ニ入ル、其水車場ハ、牢獄ノ背後ニアリ、巨材ヲ以テ、木製ノ大水車四箇ヲ造ル、其車輪ノ幅ヲ數十尺ノ長サニ製シ、車ニソフテ厰舍ヲ建テ、之ヲ覆蓋シ、其厰舍ヲ約二尺ツヽニ仕切リ、車ハ其奥ニ露ル、罪人ヲ一格毎ニ一名ツヽイレ、車ニ向ヒ上リ蹈シム、上層下層、凡ソ二階アリ、車重ク輪鈍シ、是ニ一度足ヲ着レハ、上下左右ヨリ蹈ムユヘニ、輪ハ轉シテ息マス、各囚ノ全重ハ車輪ヲ壓ス、其勢ニ催サレ足ヲ移シ、獨リ惰ルヲ得ス、十分時ニテ汗出テ背ヲ浹ス、亦其勞スルヿヲ知ラレタリ、二十分時ノ間ニ、五分時ノ休ヲ與フ、苦役ハ二十分時ニ十五分時ツヽノ割ナリ、側ニ巡査ノ看守スルモノ、毎五分時ニ鈴ヲナラセハ、休時至ルモノハ車輪ヲ下リ、己ニ休シタルモノハ上ル、此ハ懲役人責罰ノタメ、苦役スル所ニテ、其水車ニテ揚ケタル水ハ、獄中ノ用水ニ給スルナリ輕罪ノ者ハ、水車場入リ幾日ト判決シテ、罪ヲ科スヿモアリ、カヽル者ハ、服衣ヲ異ニ

ス、本日入場ノ罪人中ニ、懲役人ノ服ヲ着サルモノ數人アリシハ、即是ナリト云、○懲役人朝夕ノ食物ヲ調製スル臺所ニ至ル、普通ノ食料ハ麪包ト乳酪(ボートル)トヲ給ス、入牢ノ久シキモノハ、晝食ニ「スップ」ヲ與フ、此調食ニ使役スルモノモ、皆懲役人ヲ用フ、又罪人ノ懲役服ハ、洗濯場ノ設ケアリ、入牢ノ婦人ヲ役シテ洗フ、○女牢ノ番人ハ、皆婦人ヲ用フ、女牢男牢互ニ別域ナレトモ、最下ナル地下ノ層ヨリ、互ニ相接シ、往來スヘシ、嚴重ノ扉アリテ仕切ヲナス、懲役ノ婦人ニハ、白帽ニ棉衣ヲ被ス、此牢番婦人中ノ一人、年齡六十餘歳ナルヘシ、此婦人ハ此ニ勤番スル三十三年ノ久シキニ及フト云、○此牢モ、亦裁判所ト同時ニ起ス、經費百七十五萬磅ニテ成ル、現ニ入牢ノ罪人六百六十四人アリ、内男四百七十八人、女百九十六人アリ、

「フヒチコーット」ニハ、經費百六十萬磅、即チ千八百萬弗ニテ成リ、牢獄ハ百七十五萬磅、即チ八百七十五萬弗ニテナル、此ハ該所ヨリ贈リシ、兩屋ノ記載書ヲ撿シタレハ、謬誤ナカルヘシ、當時モ其過多ナルヲ疑ヒ、歸路ノ車上ニテ再撿ノ後ニ記セス、今其書ハ炎上ニテ燒燼シタリ、

四日　晴

此日ハ日曜日ナレハ、府中ノ人民、毎戸ミナ闔（トザ）シテ、商賈殆ト絶ヘルニ至レリ、英國ニテモ日曜日ノ休業、如此キ所ハ希ナリ、職人ノ多キ故ナルヘシ、

○午後ニ府中ヲ散驅シテ「ガーデン」及ヒ近郊ノ村家ヲ回覧ス、「ガーデン」花園ノ設ケハ、未タ美ナラス、樹木モ少ク略（ホヾ）花圃泉池ヲ存セルノミ、近郊ニハ富豪ノ莊墅相並ヒ、垣墻ノ内ニ、樹木鬱蓊タリ、花卉ヲ植エ、泉池ヲ設ケ、瀟洒掬スヘシ、府中煤烟ノ黒キヲ離シ、須臾ノ清氣ヲ呼吸セリ、

五日　陰雨

朝「テンペレンント」會社（ソサイテー）ヨリ來訪シ、「スピーチ」ヲ取代ハス、「テンペレンント」會社ハ、酒烟ヲ禁スル會社ナリ、西洋ノ俗ニ、酒ヲ嗜ミ烟ヲ喫スルハ、凡ソ人ノ諸嗜好中ニ於テ、不正ナル癖トス、故ニ婦人ハ烟草ヲ公然トシテ喫スル者ナシ、酒ヲ飲ムモ亦愧トナス、一般酒ヲ飲ムニ常時アリ、其式ヲ嚴ニス、烟ヲ喫スルニ定

室アリ、其濫ヲ戒ム、頗ル成周酒誥ノ遺風アリ、米英ノ兩國殊ニ之ヲ禁戒スル了深シ、是テンペレンソト社ノ因テ起ル所ナリ、
西洋士君子ノ行ヲ愼ムハ、殊ニ言語食飲ニ於テ、威儀ヲ端ニス、酒烟ノ戒、自ラ艸偃シテ、一般ノ俗、醉ヲ以テ耻辱トシ、烟ヲ喫スルヲ愼ム、滊車逆旅ノ室中、多クハ喫烟ヲ禁スルナリ、酒烟ノ嗜好ハ、人ノ尤モ禁シ得サル所ニテ、西洋各國ノ統計ニ、酒烟ノ高、年年數億萬金ヲ耗シ、増アリテ減ナケレ𪜈、猶此風ノ行ハルヽヲ以テ、陽ニ愼ミテ陰ニ用フ、故ニヨク風俗ヲ維持シテ、隤頽ニ至ラシメス、色慾ノ如キモ亦然リ、東洋ニテ、男子ハ醉ヲ以テ豪トシ、婦人ハ烟ヲ以テ媚悅トシ、淫慾ヲ以テ風流トスルニ至テハ、西洋文明國ノ尤モ穢褻トシ、唾棄スル所ナリ、憶フニ此等ノ陋習、東洋ニ行ハルヽハ、人ノ惰怠ヲ誘シ、生理ヲ妨ケ、其自主ノ力ニ、妨害ヲ與フ了實ニ甚シ、尤モ之ヲ愧テ之ヲ戒メサルヘカラサルモノナリ、

○午前十時ヨリ駕シテ、花布(サラサ)ヲ印スル場ニ至ル、印花布ノ仕掛ハ、波士敦ニテ記セル所ト、大略相同シ、場內ニ花布ノ紋型ヲ雕タル銅筒ヲ藏スル、總テ五百餘

溶ノ多キニ至ル、其內ニテ最密ノ精雕ハ一本ニテ價五六十磅ニ及フトナリ、○「ロール」仕掛ニテ花布ヲ印スルニツキテハ波士敦（第二十卷）ニテ記シ漏ラセル一事、此場ニテ審視シタル狀ヲ記セン、花紋ヲ雕タル銅筒ヲシテ染料ヲ盛リタル箱ノ上ヲ回リテ、布面ニ及ハシムル際ニハ、薄キ鋼刄ヲ安ンシ、銅筒ノ面ニ密接セシメ、輪轉ニ從ヒ、銅面ヲ汚シタル染料ハ、此刄ニ觸レテ刮リ落サシムルユヘ、銅面ニ一點ノ染料ヲトヽメス、只雕紋中ニノミ殘留ス、此鋼刄少シ磨鈍スレハ、布面即チ滲ルヲ以テ、器械每ニ一砥輪ヲ附屬シ、一男アリ監守シテ、此刄ヲ砥スル事トセリ、○下層ニ於テ、顏料ヲ調和シ、染汁トナスヲ見ル、其顏料ハ日本ニ舶來スル「アニリン」（所謂ル染粉）ノ諸種ヲ用フ、之ヲ醋酸、醇(アル)酒(コール)等ニテ溶解シ、鉛糖、明礬、錫液等ヲ和シ、其液ヲ糊ニ和シテ煉ル、糊ヲ製スル料二アリ、其一ハ麥粉ナリ、其一ハ澱粉ナリ、蓋シ馬鈴薯(シヤガタライモ)ニテ製セルモノナラン、葛粉、澱粉等モ適用スベシ、西洋ニ紡織ノ盛ナル、澱粉ノ需用ハ、此工ニ供給スル分ニテモ、其高莫大ナリ、內地產及ヒ外國輸入品ヨリ、澱粉ヲ製スル分モ、亦穀物消費ノ一大項ナリ、農產輸出ニ於テ、注意スヘキ要件ナリ、此處ニテ木

棉ヲ牛羊ノ糞汁ニテ煮ルヲミタリ、植物ノ絲ニ上好ノ染色ヲ發スルハ、一百其質ヲ動物質ニ變化スヘキ理ヲ發明シ、此媒助ヲ行フヿトナレリ、是ハ糞汁ニテ煮タルヲ乾カシ、又浸漬シ、後ハ亞兒加里液（礬類）ヲ參和シテハ、又乾カシ、幾回モ媒助ノ後ニ明礬液ニ浸シテ、後ニ染ルト謂フ○石鹼、及ヒ亞兒加里液

亞兒加里ハ礬類ノ總稱ナリ、曹達ヲ用ヒ又「ポッタース」ヲモチフ

結晶ニテ、木綿ヲ煮テ、洒白ニスル場アリ、是ハ木棉ノ纎維ニ粘シタル「脂氣ヲサリ、膏ヲヌク主意ナリ、洒白スルニハ「コロールカルキ」ノ稀液ニ浸ス數回ニテ、色分ヲサル、之ヲ稀硫酸水（又亞硫酸ヲモ用フト）ニ漬シ「カルキ」ト「コロール」ノ殘留ヲサル、是ハ布ヲ晒白スル通法ニテ、染ムル布モ、先ツ此法ヲ用ヒテ其浮汚ヲ去ル○夫ヨリ晒白布ノ面ニ糊ヲヒク場ニ至ル、是ハ澱粉ノ糊（是ハ馬鈴薯麥等ヨリ製セル葛粉ナリ）ニ、白粉ヲ和シ、（此白粉ハ米ニテ製セル粉ナラン）糊ヲ刷毛ニツケテ、布面ニ横タユレハ、車輪ノ轉スルニ従ヒ、布ヲ卷キサリ、糊刷毛ハ自ラ其面ヲ一掃ス、刷毛ニ糊ヲ傳ルニモ、亦器械ノ拍子ニテナス、人力ヲ勞セス、偖其刷毛ノ下ヲ過キ來ル布ヲ、其次ニ安ンセル鋼板ノ刃下ヘ經過セシメテ、再ヒ其面ヲ一擦シ去リテ、其面ヲ光滑ニナス○夫ヨリ蒸氣ヲ加ヘ、白布若クハ

花布ヲ熨シ乾カス場アリ此ハ板ノ間ニテ麁糙ナル廨舎ナリ上字ヲ高クシ、外氣ヲ閉チ全ク閟セルニモアラス只通暢ナラサルノミ室内ニ温氣ヲ蓄ヘ乾燥ニ利ス凡ソ布ヲ晒シ媒助シ染色ヲナス、ミナ温度ヲ高クスルヲ忌ム大抵「ハ氏ノ百二十乃至五十度ノ温ヲ極トスルト云、

此場ハ専ラ白布花布ヲ仕出ス所ニテ印刷セル花布ノ内最上ナルモノハ二十六「ヤールド」我七十八尺ニツキ原價十二「シルリンク」我三圓弱ニテ仕出スト云是西洋婦人ノ衣服二着ノ長サ

○夫ヨリ紡棉場ニ至ル場内ニ於テ職人ヲイル、九百八其内ニ婦人幼童大半ニヲル棉花ハ米利堅ヨリ来リ又印度ヨリモ仕入ル棉ノ纖維長ク光輝アルハ米國ノ産ナリ他ノ諸國ノ産ハ常ニ劣ル日本ニテ種ル棉ハ短毛花ノ種類ニテ下等ノモノナリ紡器ハ波士敦ノ仕掛ト同シ此ニハ織場ナシ紡絲（ヨイト）ニテ諸方ニ仕出スナリ紡絲ヲ繰（クル）ニ仕掛アリ其繰絲（クリイト）ヲ巻トナシ十巻ヲ束トナシ蒸氣仕掛ノ荷造リ器械ニ上セ其上ニ厚紙ヲ敷キテ束絲ヲ積ミ蒸氣ニテ細束ス凡ソ西洋ノ商物其荷作リノ嚴重ナルハ荷ヲ細束スルノ器械ヲ用フル故ナリ（其狀ハ後ノ東洋

仕出ノ會社ニ於テ記スルヲミルヘシ)

貿易隆盛ナル國ハ商業ニ於テ毎事ニ用意ノ密ナル寔(マコト)ニ一二ヲ以テ數ヘ難シ貨物ヲ細束シ荷トナスニモ巨大ノ仕掛ヲ設ケルホド東洋人ノ夢想モ及ハサル所ナリ凡貨物ヲ仕向ケテ商家互ニ取引ヲナスハ目前ノ小利ヲ弃テ永久ノ利ヲ謀ルヿ第一ノ心掛ナルヘシ故ニ貨物ニ念ヲ入レサレハ仕向(シム)ケニ名譽ヲ失フテ利孔塞ル假令ヘ名譽ヲ全クスルモ仕出シノ仕ニ念ヲ入レサレハ運送ノ際ニ損敗シ名譽モ亦從テ損シ其利ヲ失フ此ハ少シク商業ヲナスモノ皆了知スル所ナルヘシ然レヒ荷作リノ費用ハ其利益ノ幾分ヲ殺クモノヽ如ク誰モ浮費ト心得ルユヘニ自ラ工ヲ省キ費ヲ吝シテ損失ヲ他ニ賣ラントスルノ慾情生シ易シ然レヒ到底其損ハ自己ニ歸セサルヲ得ス西洋ノ會社久シク貿易ノ利ヲ保チ盛大ヲ致スハ己ニ製作ヲ愼ミ又外套ヲ作リ器械ニテ束ネ之ヲ包ミ油紙ニテ濕ヲ防キ鐵片ニテ束ヲ緊クシ之ヲ厚板ノ箱ニイレ周密ニ虚隙ヲ塞ヒ或ハ木材ヲ釘固シ玻璃陶器ノ如キハ兩重ノ箱ヲ造リ内箱ニハ綿密ニ詰メヲイレ各品

ノ間ニ材ヲ以テ格ヲ仕切リ其箱ヲ空懸シテ外箱ノ間ニ虚隙ヲアタヘ惰力ノ響キヲ躱避スルニモ至ル液料ハ壜ニモリ酸類ハ鍍錫鐵ニテ包ミ或ハ箱面ヲ圓ニシテ外壓ノ重力ヲ殺タルアリ「トロンク」行李西洋ノナトハ圓蓋ニテ方身「スプリン」金彈キヲ以テ壓挫ヲ防ク其尤モ美ナルハ五十金以上ノ價ニ至ル此等ミナ製作商業ヲナスモノヽ厚ク注意スヘキヿニゾ、

○夫ヨリ棉布織場ニ至ル○先ツ染絲場ヲ示ス染絲ノ顔料ヲ水ニテ解キ水ヲ和シテ桶テ盛リ絲ヲ浸漬シテ染ムルナリ顔料ニヨリテ或ハ微温湯ヲ用ヒ或ハ熱湯ヲ用フト云藍色ハ「インジュゴ」ニテ染ル藍錠是ナリ之ヲ約四尺ニ二尺厚サ一尺有半ノ藍池ニ盛ル一池ニ入ル藍錠ハ價七十磅即チ三百五十弗歐洲ニハ産セス印度瓜哇「サンサウェトル」中亞米利加ノ一部及ヒ呂宋ノ馬尼剌ヨリ産出スルヲ輸入シテ盛ンニ製作ス此他ノ染色料ハ石炭蒸餾液ヨリ分折シタル「ニアリン」ニテ種種ノ染色料ヲ製ス日本ニモ舶來スル染粉是ナリ又植物、礦物或ハ動物ヨリ製作セルモノモアリ青色ノ料トナルハ藍靛藍泥亞米利加蘇木「ブラーツホルツ」青酸加里所謂ベレンスナリ鑛物ヨリ製ス及ヒ青色アニリン等アリ紅色ノ

料トナルハ蘇木茜根洋紅「コーセンニール」ト名ツクサフオー「プオンソー」及ヒ紅色アニリン」等アリ黄色ノ料ハ西洋鬱金ワオ草醋酸銅即チ緑青「ポスヒレ」及ヒ黄色アニリン」等アリ紫色「コローム」ハ紫ヲ染ム其他青紅黄ノ三色ヲ媒助ト調和トニヨリテ種種ノ色ヲ變化セシムルヿハ染布ニ心得アルモノハ了知セルナルベシ西洋ニテ染色ノ美澤ナルハ染料ノ製法ニ巧者ナルノミナラス媒助ニ手ヲ盡スニヨル前ニ記シタル糞液煮化ト「コロール」晒白及ヒ石鹸煮ニテ、一般ヲ了スルニ足ルベシ、

凡染色ヲナスニハ俗ニ地染本染ノ兩伎倆アリ之ヲ理論ニテ言ヘハ媒助ト親和トノ兩技ニテ親和トハ染料ヲ布絲ニ染入ラシムルヿニテ媒助ハ豫メ其染入ルヿヲ助ケルナリ布絲ヲ熱湯ニ煮テ洗ヒ晒シ或ハ游汁ヲ加ヘ又明礬ヲ加ヘ煮ル皆媒助スル處ナリ游ハ即チ灰汁ニテ之ヲ化學ニテ説ケハ雜ナル亞兒加里液ナリ草木灰ハ其草木ノ質ニヨリ亞兒加里分ヲ含ムヿ差異アリ喩ヘハ木幹ニハ「カルキ」多ク「ポッタース」少ク枝葉及ヒ草等一年立ノ植物ニハ「ポッタース」多ク水草ハ曹達分多ク海草ニハ殊ニ多

量ナル等ノ理アリ、故ニ低價ニテ雌類ヲウルニハ、適當ノ灰汁ヲ用ヒテ可ナリ、精好ノ染ヲナスニハ、媒助品モ精好ナラサルベカラス「タンニン」トハ、草木ノ澁ナリ、五倍子、橡實、及ヒ橡皮ヲ煎用スルハ「タンニン」ヲ用フルナリ、之ヲ鐵水ニ加フレハ、黒色ヲ發ス、即チ媒助ニ因テ變色セシメル一證ナリ、此他媒助ニ用フルハ、明礬、錫鹽錫ヲ白粉トナシタルモノ、鉛糖、硫酸、醋酸等、ミナ染色ノ和劑ニ必用ナルモノナリ、凡ソ媒助ノ物品ニ四種アリ、一ヲ酸類トス、硫酸、硝酸、醋酸、酒石酸、沒食酸、「タンニンク」等ナリ、二ヲ亞兒加里類トス「ポッターース」、曹達、石灰等ナリ、三ヲ土金類トス、明礬、「ケレイ」土、醋酸、礬土等ナリ、四ヲ礦金類トス、緑礬硫酸鐵、丹礬硫酸銅、鉛糖、醋酸鉛、錫鹽、錫液、醋酸銅等ナリ、又之ヲ配劑シテ媒助ヲナス、酒白方モ亦媒助ノ一ニテ、植物質ノ色分ヲ破ルハ「コローール」石灰ヲ用フ、脂膏ヲサルハ、石鹼及ヒ加里ヲ用フ、臭ヲサルハ「コロルール」曹達ヲ用フ、「コローール」ノ腐蝕ハ、硫酸、亞硫酸ヲ用フ、動物質ノ色分ハ、亞硫酸ヲ用フ、硫黄ヲ燒テ、發散スル烟ハ、亞硫酸ノ瓦斯ナリ、又曹達ト「コロール」ハ鹽ヨリ分拆ス、故ニ低價ニテ得ルヘシ、或ハ蛋白卵ノ白ミヲ染料ニ和シ、染

テ後ニ煮レハ、褪色ノ憂ナシト、染料ヲ親和セシムルニハ、其分子ヲ精微ニ砕カサルヘカラス、故ニ水浄法酸化法ニテ、一旦之ヲ水液トナシテ再ヒ之ヲ収メタルヲ普通染料ノ性質トス、之ヲ布ノ纖維ニ沁入セシムルニハ、水ヲ加ヘ、其親和力ヲ起ス、或ハ熱ヲ加ヘテ、溶流親和ヲ助ケルナリ、貴重ノ布ニハ染法ニ精ヲ致ス、一染シテ布緑ニ微色ヲ發ス、之ヲ再ニシ、之ヲ三ニシ、精ナルハ三四十回ニ至ル、染絲家ニ一染ヨリ數十染マテ、染絲ヲ箱ニ挨次シテ示ス、宛モ畫師ノ暈ヲトリタル如ク、濃色ヨリ漸ニ淡ク白色ニ至ル、此術ニ達セサレハ、寫生眞ニ逼ル、花紋人物ヲ織出スヲ得サルナリ、

己ニ絲ヲ染メタル後ハ、之ヲ繰車場ニ送リ籰木ニテ繰リ管ニ巻キ、其管ヲ別房ニ送リテ整理シ、機軸ニ巻キ、機ニ上セルマテ、其ニ器械アリ、凡ソ各色ノ絲ヲ排布シ、縞ヲナスニモ、光學ノ理ニ基キ術理アリ、黑ト紅トノ間ハ、絲ヲ以テ隔ツ、紫ヲ黑色ニ挾メハ、菫花色ヲ幻スナト、一定排色ノ法アリ、舶來ノ華紋ニ注意シテモ知ヘシ、幻色ヲ試ムニハ白紙ノ上ニ、小孔ヲ開キタル黑紙ヲ帖附シ、其小孔上ニ、各色ノ紙ヲオキ、倏チ其色紙ヲ去シサレハ、小孔ノ白色ニ、姑

其幻色ヲ見ルモノナリ、凡ツ工業ノ進ミハ、皆職工用意ノ厚キニ、ヨル、學知ノ志モ、此ヨリ發生シ、自ラ已ム能ハサルナリ、〇色絲、若クハ素絲ヲ、機軸ニ卷ク、器械甚タ精ナリ、我輩貴屏風ノ骨幹ニ似タル、二枚ノ格子ヲ造リ、扇鍱ヲ施シ開闔スヘシ、横格ハ五級、毎級ニ無數ノ孔アリテ、銕線ヲ含ミ、絲ヲ卷タル管ヲ貫キ竪ツ、銕線ヲ滑圓ニシテ、管轉シ絲抽ツルニ澁滯ナカラシメ、其前ニ銕筒ヲ横フ、此筒ヲ銕針ヲ櫛齒ノ如ク植エタリ、各管ヨリ抽テタル、各各ノ絲條ヲ其齒間ニ經過セシメ、上ニ小銕棍ヲ横ヘ、輕ク各絲ノ上面ヲ抑ヘ、此ニテ排叙セル絲ヲ、更ニ其次ニ横ヘタル木軸ニ受ケシメ、其軸ヲ輪轉シテ、排絲ヲ卷キ、是ヲ機軸トナス、一婦ヲシテ軸前ニ立テ工ヲ操ラシメ、絲ノ斷續條理ヲ監ス、排絲ノ內ニ、斷絲アルヲ認知スルタメニ、精妙ノ巧ヲ施セリ、是ハ排絲ノ各條、銕齒ノ間ヲ經過シ、機軸ニ來ル中間ニ於テ、細銕叉ヲ毎絲ニ懸ケ、其下ニ槽ヲ刳リタル、銕製ノ長筩ヲ横フ、此槽底ニ機關ヲ設ケ、傍ナル齒輪ニ相感スヘカラシメ、其端ニ鈴ヲ設ケタリ、一絲斷レハ、銕叉ハ憑ヲ失ヒ、槽底ニ落ツ、其妨ケニヨリテ、輪轉乍チ止リ、傍ノ鈴ヲ鳴スヿ一聲ナリ、工婦ハ鈴聲ヲ聞キ、絲ノ切

口ヲ索レハ即チ一管ニ不張ノ絲アリ其絲口ヲ撿出シテ續ク時アリテハ其端緒ヲ認メサルヿアリ別管ヲ以テ補ヒテ捲サル〇機軸ノ排絲成リテ綜ヲ理スルニハ器械ナシ一機軸毎ニ一工アリ幼童一人ヲ具シテ其綜絲(アヤイト)ヲ理ス、綜成リテ後ニ媒助ノ一場ニ送ル蒸氣ニテ絲ヲ蒸シ光澤ヲ生セシメル等ノ工ヲナス以テ機ニ上スニ至ルマテ綵業甚タ懇到ナリ〇場中ニ六百挺ノ機ヲ設ケ一女ニテ二機ヲ掌ル終日ニ一機ノ織ル所三十七「ヤールト」布成レハ別一場ニ送リ一女兒ヲシテ其布面ヲ査シ鉄鋏ヲ以テ其節アルヲ摘ミ去リ、而テ之ヲ折リ疊ム此場ニテ織成セルハ多ク縞(シマ)木棉ニテ花布(サラサ)ニ比スレハ上品ナルヲ以テ其價モ亦貴シ、

〇午後ニ駕シテ「インギヤラパ、ゴム」製造場ニ至ル「インギヤラパ「ゴム」ハ我邦俗間ニテ「ゴム」ト略シ呼フモノ是ナリ或ハ「エラスチカゴム」トモ云「エラスチカ」トハ彈力ノ謂ナリ是ハ中亞米利加ニ産スル「インチヤラパ」トイフ樹ヨリ出ル樹膏ノ凝結セルモノヲ以テ製ス此樹ハ熱帯地ノ産ニテ其形ハ我讓葉(ユヅリ)樹ニ似タレド天暢ナリ葉莖共ニ大ニ且玲瓏洞徹シテ外觀清美ナリ西人多ク

盈袋シテ、室中ニ蓄フ、其樹ヨリ凝結セル膏ハ、其狀宛トシテ膽囊ヲ乾カシタルカ如シ、其大サ七八寸、其厚サハ一寸ニ至ルモノアリ、如此ク均圓ニ凝成セルハ上品ナリ、雜品ハ襤褸(ツヽレ)ノ如クニ凝成セルモアリ、一千八百二十三年ニ、當國愛倫(アイルランド)ハ「マーキントシ」氏、始メテ其製作ノ法ヲ發明セショリ、其用ハ次第ニ廣マリ、今ハ以テ滊輪ヲ包ミ、寢席ヲ製シ、天幕ヲ製シ、小舟ヲモ作ルニ至レリ西洋ニテ實ニ必用品ノ一ニシテ、其功用ノ廣キ丁枚擧シ難シ、〇之ヲ製スルニハ、始メ水ヲ以テ其凝膏ヲ煮テ、其面ヲ磨擦シ、汚垢ヲ洗ヒ去リ、而後ニ「ロールレ」ノ輪ニ挾ミ、冷水ヲ灌キテ其質ヲ蹂躙スレハ、爛破シテ襤褸ノ如シ、試ミニ之ヲ取テ摘切リタルニ、靭ナル丁爛韋(タヽレカワ)ノ如シ、之ヲ再爛シ、三爛シ、益其質ヲ糜爛セシメテ、後ニ集メテ兩輪ノ間ニテ練ル、輪轉ノ力猛ナルヲ以テ、宛トシテ膏藥ノ如クナレ圧、之ヲトレハ靭ナル丁元ノ如シ、其後硫礦花或ハ亞鉛(トタン)花ヲ和シテ、更ニ之ヲ練ル、硫ヲ和スモノハ黑色ヲナシ、亞鉛ヲ和スモノハ白色ヲナス、而テ後ニ温ヲ加ヘテ之ヲ柔カニス、此間ニ於テ一場ノ工ヲ見殘セリ質ヲ輭柔スルニ術アルヘシ土油ヲ用フル歟〇別場ニ於テ、至平ナル鐵盤ヲ安ソシ、棉布ヲシキテ、其上ニ前場ニテ煉

リ柔ケタル「ゴム」ノ塊ヲオキ、長キ輪筒ヲ以テ、其塊ヲ壓シ送リテ、布面ニ展ヘル事、猶麪ヲ展ルカ如シ、厚薄ノ度ハ、兩側ニ小鐵條ヲオキ、輪筒ヲシテ其上ヲ轉セシム「セントヘーレンス」ノ琺瑯ヲ展ルト同シ、之ニ於テ薄キ布トナルニ、綿布ト共ニ卷キ、次場ニ送リ、其布ヲ離シ「ゴム」布ヲ冷水ニテ洗ヒ、卷キ収メルハ、白粉（此粉ハ亞鉛花ナルヘシ）ヲ石鹼ニ和シ、布面ニ塗ル、是ハ布面ノ乾クニ從ヒ、拆裂ヲ生スルヲ防クノ法ナリ、○其後數塲ニテ、布ヲ截テ雨衣ヲ製シ剉（キザ）ミテ細絲ヲ作リ、縋（ワ）ヲ作リ、卷テ蛇管ヲ作リ、囊ヲ造ル、又「ゴム」ノ塊ヲ方形ニ凝固セルアリ、之ヲ鉋（カンナ）ニテ薄葉トナシ、種種ノ袋物ヲ製スルハ恰モ紙册ニ類ス、其細絲ヲ纔成スルニハ、薄片ヲ截テ、鐵筒ニ卷キ、其筒ヲ輪轉セシメ、前ヨリ薄刃ヲ按シ、定木ニヨリテ、適宜ノ幅ヲ定メテ刃ヲ筒面ニ抵觸セシムレハ、筒ノ轉回スルニ從ヒ、「ゴム」布ハ切レテ方絲トナル、因テ定木ヲ趁ヒ、齒輪ノ順ニ從ヒ、退キテ次ノ幅ヲ定ム、

樹膏ヲ「ゴム」ト云「ゴム」ニ類多シ、所謂ル「アラビヤ、ゴム」ハ、以テ藥餌トナシ、糊トナス、是ハ樹ノ粘液ヲ凝成セシモノニテ、樹膏ト其性頗ル異ナリ「イン

ギヤラパ」ハ樹脂ニモアラス、以テ布ヲ作リ、櫛ヲ作ル、又「ゴッタペカ」ト云一種アリ以テ、電氣法ノ型模ヲ作ル、又「ワニシ」、我邦ノ漆、鳥黐(トリモチ)等モ、亦樹脂ノ類ナリ、其用法ヲ考究セハ、更ニ無量ノ珍ヲナスヿアラン、

○夕四時知事ヨリ、府廳ニ於テ招宴ヲ開ク、會食百數十人「スピーチ」等例ノ如シ、

○八時ヨリ芝居ニ赴ク、使節ノ爲メ、別段ノ演劇ニテ、赤白ノ絹ニ、番附ヲ印刷シテ、一統ニ配付シ、場內ニ兩國ノ國旗ヲ交叉シ、其設ケ甚タ盛ナリ

六日　晴天

十時ヨリ驀シテ、布帛細貨等ノ卸賣店ニ至ル、是ハ「ウヮッ」氏ノ「ウ・ヤ、ハウス」トイフ處ナリ「ウェヤ、ハウス」トハ布帛倉ノ義ナリ、此店ハ石造ニテ、內面材木ヲ以テ、五階ヲ架シ、約二十間ニ五十間ノ大廈ニテ、財本一百萬弗ヲ以テ、始メテ此店ヲ搆立シタリト、倉中ニハスヘテ絹布、天鵝絨(ヒロード)、綾羅、綢緞ヨリ、木綿花布ノ類、男女ノ衣服、諞判(ガバン)、帽子、織文、線繡(レース)、剪綵花ニ至ルマテ、部分ヲ以テ、五階ノ內ニ排列シ、各數名ノ男女附添ヒテ、來客ニ應接ヲナス、各店ヲ一室中ニ設ケタルニ同シ、其貨物ハ當地ノ產モアリ、他ノ諸都ヨリ仕入タルモアリ、輕纎ノ巧ハ、

大抵佛國ノ巴黎府ヨリ仕入レタルモノナリ是ハ府中ノ各商店ヨリ買出シヲナス場所ナレハ此ニテ小賣ハナサヽルトナリ全房ニ藏スル貨物ノ價ハ、現在ノ分原價二十五萬磅ノ高ナリ其内ヨリ一二ノ品ヲ指テ其價直ヲ問ヒシニ上絹一「ヤールト」ニ付テ八「シルリンク」幅一尺ト十分ノ八天鵞絨同二「ホント」四「シルリンク」ト謂ヘリ、

○夫ヨリ「ポリス、コート」ニ至ル即チ府中警察ノ裁判所ナリ全屋新造ニテ甚タ華麗ナリ綵色ノ玻瓈ヲ以テ窓ヲ開ク恢闊ナルヿ殆我邦ノ屋造ニ彷彿タリ巡査ノ手ニテ捕縛シタル罪犯人若クハ府中ノ市民ヨリ吟味ヲ願出タル、スヘテ刑事告訴ノ手續キハ先ツ此ニテ下吟味ヲナシテ而後ニ裁判所ニ送付ス、一ノ大室ニ其裁判ノ席ヲ設ケタリ證人「ギュリー」ノ席ヲ備フ三日ノ條ニ記セル巡回裁判所ニ比スレハ甚タ簡易ナリ○此日ハ時計ヲ盜ミシ罪犯一人「ステーション」其外ニ於テ竊盜ヲ働キシ夫婦ノ罪犯ヲ巡査ノ捕ヘ來リテ、審問中ナリシニヨツテ姑ク裁判役ノ席ニ於テ之ヲ聽問セリ此訟庭ノ位置ハ巡査ハ證人ノ席ニ出ル罪人ハ中央ノ席ニ巡査ノ付添ニテ出ル「ギュリー」

ノ席ハ壇ノ前ニ羅列ス裁判役ハ罪人ノ正面ニ列坐シ其席壇ノ下ニ書記官列席ス「ヂュリー」ハ府中ノ人民ヨリ公選シ常ニ審問ノ席ニ列坐シ立會ヲナシ務メテ罪人ニ荷擔シ其罪ヲ末減スル道ヲ求メ罪人ニ代テ辯駁ヲナスヲ心得トス審問ノ時ハ罪人ヲ其定席ニ立シム固ヨリ束縛ヲ加ヘルヿナシ巡査ニテ看護スルノミ之ヲ捕ヘシ巡査ハ證人ノ席ニ立テ「パイフル」ヲナメテ、誓ヒヲナシ捕ヘシ證跡顛末ヲ明陳ス夫ヨリ引連レ來リシ證據人數名次第ヲ以テ其席ニ進ミ誓ヲナスヿ例ノ如クシテ各人見聞ノ證跡ヲ辯陳ス其時裁判役書記官「ヂュリー」各筆ヲ取テ其陳明ノ語ヲ書キ留ム裁判役ハ其陳スル語中ニ於テ裁判ニ肝要ナル肎綮ノ語ヲ書ス「ヂュリー」ハ務メテ其罪ヲ末減スル肎綮ノ語ヲ書ス書記官ハ總テ其口供セル語ノ顛末ヲ書記ス若シ陳明スル語中ニ於テ肎綮ノ處ニ曖昧ナル所アレハ裁判ニ於テ肝要ナルハ裁判役ヨリ更ニ推問シ罪狀ノ輕重ニ關スルハ「ヂュリー」ヨリ推問ス其外ハ滿坐ノ諸人口ヲ開クヿナク只證人ノ陳説ヲ審聽スルノミ證人陳説ノ際罪人ヨリ辯明ヲイルヽヿアレハ「ヂュリー」之ヲ制止シテ言ハサラシム又傍ヨリ

證人ニ添説ヲナスヿアルモ、亦此ノ如シ、罪人ヨリ證人ノ申口ニ不承服ノヿノアレハ、耳辱シテ「ギユリー」ニ告ケ、己ノ申分ヲ言フモ自由ナリ「ギユリー」ハ罪人ヨリノ申分ト、證人ノ申口トヲ、十分ニ聞濟シ、審問一應スミタル後ニ、裁判役ニ向ヒ、罪人ニ代リ、口ヲ極メテ其辨明ヲナシ、罪人ノ親ラ辨スルヨリ明晰ナリ、故ニ罪人ハ席ヲ終ルマテ、一語ヲ吐ス、只裁判役ニ面シテ立ノミ、此日捕ヘタル所ノ罪犯ハ、其盜狀固リ明白ナレ𪜈、固リ竊盜ヲナス愚人ナレハ、只證人ノ申口ハ、己ノ親戚ニ荷擔シテ、往往ニ實ヲ失フナトノ申分アルニスキス「ギユリー」一一ニ其意ヲ受次テ、十分ニ聲ヲ張リ、備サニ抑揚ヲキハメ、滔滔トシテ辨明セリ、裁判役ハ他ヲ顧ルノミ、竊盜ノ愚人ヲシテ、冗長ニ申開キナサシメンヨリ「ギユリー」代リテ、明快ニ辨明スレハ、罪人モ甘心シ、又審問人モ煩冗ヲ省キ、簡便ノ法ナルヲ覺フナリ、

○夫ヨリ「オウン」學校ニ至ル、是ハ二十年前ニ建タルモノニテ、當今生徒三百餘人アリ、先ツ教師ノ室ニ至リ、互ニ款語ヲナス、夫ヨリ案內シ、講學寮ヲ回リ、化學講義ノ席ニテ、姑ク聽聞シ、夫ヨリ化學ノ試所ニ至ル、記スヘキヿナシ、當府

漫識特ノ新府廳

同商人集會所

ハ製作盛大ノ都ナレハ理化ノ兩學ヲ講スルヿ殊ニ人民ノ必要タリ教師ノ會堂ニ歸テ姑ク談話ヲナシ歸レリ此學校ハ府中ノ繁華ニ比スレハ規摸甚タ小ナルヲ以テ近來別ニ一學ヲ建起シテ七百人ノ生徒ヲ敎フルニ足ラシメント經營中ナリト云、

○夫ヨリ「ロヤル、エキステンギ」ニ至ル屋宇甚壯大ナリ、スヘテ「ロヤル、エキステンギ」ノ建築ハ歐米各都ニテ、一定ノ形式アルモノヽ如シ其造搆タル層屋ヲ造ラス高朗ナル廣堂ヲ設ケ市民集會スル幾千人ニ及フモ妨ケ無ラシメ、左右ニ回樓アリ正面ニ高檀アリ當府ノ「エキステンギ」ハ甚タ新建ニテ美麗ナリ、一週日ニ三度ツヽ開場ヲナシテ貿易品諸株證劵ノ價ヲ入札ス市中商賣取組ヲ決スル所ナレハ其相場ヲキヽ色ヲ失ヒ歸ルモアリ喜ヒ面ニ溢レテ去ルモアリ場ノ近傍ノ人心匆匆トシテ往來忙シキヿ他ノ街路ニ異ナリ本日ハ使節ノ來ルヘキヿ知レタル故ニ殊ノ外群集ニテ堂外ヨリ已ニ混雜ノ狀アリシニ上堂スレハ内景ノ濶サ三十五間ニ二十四五間モアルヘシ堂中ニ商人群立シ滿堂人頭ヲ以テ塞キ立錐ノ地ナシ知事商長其他ノ案内ノ人、

其雜沓中ヲ押排キ、辛ンシテ使節一統ヲ高壇ノ處ニ至ルヲ得セシメ、此ニ上リ、衆ニ向ヒ一禮ヲナセシニ、前ナルハ帽ヲ執テ祝聲ヲ揚レハ、後ナルモノハ押シ進ミ、堂上ニ樹人波ヲタテヽ、靜カナラサリケリ、儀了リテ兩側ノ回樓ヲ回覽シ出テ去レリ、

○夫ヨリ「ムーンギレ」氏ノ「ウエヤハウス」ニ至ル、是ハ東洋ヘ仕出ス、布疋ノ卸賣店ナリ、凡東洋ヘ販來ノ布ニ、面遮士打（メンチエスタ）、三面道路（サンムンドロ）ト、漢文字ノ款印アルモノハ、此ヨリ輸送セル品ナリ、此屋モ新建ニテ、屋宇ヲ四層ニ搆ヘ起シ、其廣サハ二十間ニ、五十間モアルヘシ、外面ハ煉火石ヲタヽミ、內面ハ木材ニテ造リタリ、最上層ニハ書記房アリ、各房ハ玻瓈戶ニテ仕切ヲナシ、甚タ淸麗ナリ、未タ草創ニテ整備セヌ所多シ、其建築ノ形ハ、東洋ノ屋造ヲ參取シタリト云ヒ、聖[illegible]陵及當府ハ東洋ニ往來スル人多ケレハ、東洋屋ニ摸造シタルヲシハシハ見ル、其下層ノ廣室ニハ、職人ヲ雇イレテ製作ヲナサシム、其次ナル下層ニ於テハ、布帛ヲ堆積シテ整理ヲナス、最下層ニ土間アリ、馬車ヲ此マテ引入レ、布帛ヲ綑束シテ積出ス、地下ノ層ニハ、六十馬力ノ蒸氣罐兩箇ヲスエ、滊輪ヲ運シ、其力ニテ水ヲ引上ケ、其水力ヲ用ヒテ、荷物ヲ綑

スル器械ヲ運セリ〇荷物ヲ綑スル器械ハ最下層即チ窖室ノ廣室ニ兩個ヲ分チ各六箇ヲ設ケタリ此荷物ヲ綑スル器械ニ大小ノ種種アリ小ナルモノハ螺旋ノ仕掛ヲナシテ品物ヲ其上ナル平盤ニ整頓シ螺旋ヲ捩シ其力ニテ綑束スルノミ去ル五日ノ條ニ記セル棉絲ノ荷造リハ之ヲ用ヒタリ其大ナルモノハ蒸氣ノ力ヲ以テ「シリンドル」ヲ動カシ是ニ取付テ下ヨリ臺軸ヲ擡ケ起ス臺ノ四周ニ鐵柱アリテ支持ス臺上ニ鐵盤アリ荷造リスルニハ先二條ノ鐵帶ト其上ニ荷物ノ外包トスル麁布トヲ盤上ニシキ其上ニ油紙ヲシキ小綱ヲ挾ミオキ其上ニ又紙ヲシキ又綱ヲ挾ミオキテ其上ニ布ヲ堆積ス二十束或ハ三十束方形ニ堆積シテ先ツ紙上ニ挾ミタル綱ニテ假ノ綑束ヲナシテ上ニ鐵板ヲオケハ柱ニ仕切アリテ其板ハ下ルヘク上ルヘカラス因テ機ヲ運シ下ヨリ蒸氣力ヲ加ヘ臺軸ヲ擡ケアケ布ヲ壓搾ス適度ニ至ルヲ候シ假ノ綑束ヲ解キテ更ニ緊縛シ鐵板ヲ去リ紙ヲ展テ包ミ再ヒ油紙ヲ展ヘテ包ミ綱ヲ引テ緊縛シ而テ麁布ヲ展ヘ包ミ其上ヲ鐵帶ニテ綑束ス故ニ布帛ノ軟ナルモ綑束ヲ加ヘルニ及ソテハ石ノ如シ牢固ニシテ運搬ニ易シ

是此場荷造リ器械ノ大略ナリ、

○午後第三時ヨリ「タウンホール」ニ赴キ、會議室ニ於テ「スピーチ」ヲ取代ス「タウンホール」ハ、府廳ナリ、屋造廣大ナレト、猶十分ナラサルニヤ、別ニ新館ヲ起サント、正ニ經營中ナリ、

○此夜、市中ノ商社ヨリ、旅館ニ於テ饗筵ヲ開ク、會食ノ人百三十人、「スピーチ」アリ、例ノ如シ、

第三十卷　哥羅斯哥(ゲラスゴー)府ノ記

九月七日朝雨晝ヨリ晴

朝行李ヲ辨シテ、十時半ニ漫識特(ムエンチエストル)府ノ旅館ヲ發シ、十一時發ノ滊車ニテ、北方蘇格蘭(スコットランド)ニ赴ク、此朝ハ陰雨濛濛タリ「メヨ」「コンメルス」ノ商會長皆馬車ニテ驛舍マテ送リ來リ別ヲナス、滊車ノ輙ヲ發スレハ、鐵軌ニ爆彈ヲ仕掛ケ、車ノ輾ルニ從ヒ、爆發スル數十聲、以テ我行ヲ祝セリ○漫識特府ヲ離ルヽ、約一時半行ニテ、天乍チ晴ル、凡ソ英地ヲ巡ルニ、都府ニ居ケハ、常ニ陰雨多シ、野ニ出レハ、必ス晴ニ逢フ、豈ニ人烟ノ稠密ニシテ、石炭ヲ燒クノ盛ナル、陰霧ヲ感シ起スノ理モアルニヤ、咏ニ此漫識特府ニ、前後淹ヒシモノヘ、話ヲ聞クニ、イツモ雨天多シト云、豈地氣ノ然ラシメル歟、奇ト云ヘシ○午後二時ニ、一ノ海灣ヲ過ク、漫識特府ヨリ此邊マテハ、沿途ミナ平野ニテ、往往沮澤アリ、鐵路ニソフテ、時ニ運送河ヲミル、謂フ此州中ハ、漫識特、里味陂ヨリ、首府「ランカストル」マテ、運河ノ往來自在ニ通セリト、此邊ニ至リテ松樹ノ林ヲミル、偷敦ニ遊フモノ、英

國ニ怱ナシト云モノアリ、大ニ誤ル、松ハ針葉樹ノ一ニテ、陰濕ノ地ヲ好ミ、磽确ノ地ニモ生殖ス、萌芽力ナケレトモ、其材ハ轉捩力ニ堪フ、北部寒地ニハ、此樹ヲ繁殖スルヲ勉ム、歐州山林ノ通法ナリ、〇己ニシテ海灣ヲ隔テ、初テ山嶺ノ重疊セルヲミル、此時天モ快晴トナリ、初メテ清朗ナル一碧ノ天ヲミル、氣色甚タ爽カナルヲ覺フ、滊車海灣ヲ回ヲ去レハ、山路ニカヽル、峰嶺左右ニ起状シ、谿谷ニハ岩石ヲ露シ、泉水淙淙トシテ流レ出テ、前ナル溪流ニ落テ、一ノ清川ヲナシテ北流ス、山重リ水縈ルノ状、頗ル我邦ノ面目ニ似テ、殊ニ愛スヘキヲ覺フ、西航以來殆ト一年、始メテ山海ノ勝概ヲ得タリ、〇此河水ノ海ニソヽク所ニ、一都府アリ、「ランカストル」ト云、此州ノ首府ニテ、人口一萬八千ニ及フ此驛ヲスキ、海碧山青ノ勝地ヲ走リユキ、是ヨリ西モーランド州ニ入ル、山峰約克州ニ連リ、其山狀ハ奇險ナラス、又樹木ノ陰森タル幽邃モナシ、山間ハ奇勝ニ乏シケレトモ、遠望スレハ空青夕陽ニ凝リ、重巒蜿蜒トシテ、前路ヲ迎ヘ悅フヘシ〇西モーランド」一州ノ境ハ、山巒頗ル險ナリシニ、山盡テ「カムベルランド州ノ野開ク「クリスレ府ノ驛ニ達ストキ、己ニ黃昏ナリ、此ハ州ノ首府ニテ、人

口三万餘是ヨリ壹丁堡(エデンボルグ)及ヒ哥羅斯哥(グラスゴー)府ヘ鐵路分岐ス此日ハ哥羅斯哥府ノ近在ナル貴族ノ勞德(ロード)ブランタイル氏ヨリ兼テ招狀アリシヲ以テ滊車コレニ赴ク「クリスレー」ヨリ蘇格(スコット)ノ境ニ入リ日モ已ニ暝セリ夜八時三十分ヲスキテ「ビショップトン」驛ニ着車ス勞德ブランタイル氏ヨリ家人ヲシテ迎接セシメ家車ヲ以テ驛舍ニ迎ヘテ其家ニ延ク一行スヘテ十一人九時四十分ニ其別業ノ「エルスキンハウス」ニ着セリ主人「ブランタイル氏親ラ玄關口マテ迎ヘ導キテ各名ニ寢房ヲアタヘ更衣セシム皆各房ニ入リ髮ヲ櫛リ面ヲ洗ヒ口ヲ嗽キ衣ヲ振フ頓(ヤカ)テ夕饌ノ設ケモ成タレハミナ禮服ニテ食ニ就クヘキニ旅行ニテ夜分ニ着シ行李混雜セルヲ以テ其儀ヲ略センコヲ「パークス氏ニテ通シ頓(ヤガ)テ一間ナル會談所ニ入ル「ブランタイル氏ハ款待ノ爲メ「アドミラール「サー」ギユームス「ホーツ氏ヲ招キタレハ此室ニテ面晤款接ナシ主人ノ娘兩人ニモ握手款接ヲナシ是ヨリ手ヲ延テ會食堂ニ赴ク食饌美ヲ盡セリ食畢テ談話ヲナシ十二時ニ至リ甫(ハジメ)テ徹ス此「エルスキンハウス」ハ石造ノ大厦ナリ主人氏ノ殷富ナルコハ後ニ詳說スヘシ

漫識特ヨリ哥羅斯哥マテ、鐵路ノ程三百英里、

八日　陰

十時半ヨリ「プランタイル」氏ノ家車ヲ以テ「ビショプトン」驛ニ至リ、滊車ニテ哥羅斯哥府ノ「ブリッチ」街ノ驛ニ至レハ當地ノ「オノレーブル」市尹勞德、「プロウース」氏、商會社中ノ「サー」、「ヂェームス」、「ロオステン」、「ワ、ソン、エ、スンワヤ」等數人、驛舍ニ迎ヘテ挨拶ヲナス、驛場ノ群集甚タ盛ナリ、夫ヨリ同車シテ市中ノ諸製作場ヲ巡覽ス、

○哥羅斯哥府ハ、蘇格蘭西南部ラナーク州ノ都會ナリ、此州ハ蘇部中ニテ尤モ繁昌ノ地方ナリ、幅員僅ニ千方英里ニモ充サレトモ、人口ハ七十六萬ニスク、此哥羅斯哥ハ、蘇部第一ノ大都會ニテ、東海ノ灣ニ於テ「グライド」河ノ上流ニ控ヘ、貿易製造ノ盛ナルコ、世界ニ高名ナリ、殊ニ亞米利加諸國トノ貿易甚タ盛ナルヲ以テ、棉布ノ製作ニ高名ナルコ漫識特府ニ亞ス、又製鐵場、造船場モ盛ナリ、此府ハ一千八百年マテハ、七萬六千口ニミタサル都府ナリシニ、亞米利加交易ノ開ケト、滊船、滊車ノ便利ニヨリ、近五十年間ニ、駸駸トシテ隆盛ヲナ

シ其繁昌ノ原由ハ固リ米國ノ貿易ニ管掌スルノミナラス又東洋トノ交易場ナレハ日本ノ貿易ニ於テ此ト聖味阪［リヴアプール］トハ殊ニ肝要ノ地ナリ其地ハ北緯五十五度五十二分西經四度二十三分ニ位シ人口四十七萬七千百四十四人アリ英國中ニテ第三ノ都會タリ「グライド」河ノ兩岸ニヨリテ起ル河南ノ地方ハ岡陵起伏シテ街路坦平ナラス河岸ノ平地ニ於テ市廛繁華ナリ河ニ架シタル橋五アリ、ミナ石橋ニテ其造營ノ功各形式ヲ異ニス河北ノ市街ハ建築美ナラス製造所多シ府ノ周圍ハミナ製造所ニテ夜中ニ此府ヲ望メハ所所ノ烟突ヨリ炎火ナ噴キ赫赫天ヲ焦シ殆ト火災アルカト疑愕セシム此地ノ木棉紡織ハ甚タ高名ナレ𪜈己ニ漫識特府ニテ其模様ヲ詳悉シタルヲ以テ回覧ヲ省キタリ〇此地ハ北地ニ偏シテ冬季ハ殊ニ寒シ又濕霧多ク陰雨フリツヽキテ日ヲミルヿ希ナリ此ニ一奇談アリ或人哥羅斯哥ニハ雨ノフラサル日アリヤト問シニ答テ曰雨ノミ降ルニテハナシト云ケリ左レハ晴天モアルカト云シニ冬分ハ雪フルト戯謔セシト謂フ地ナリ此頃ハ奇特ニ天氣ツヽキニテ日光ヲ見ル日コソ希レナリケレト薄陰ニテ敦日ヲワタリ

タルハ、府中ノ八、日本使節ノ土産ナリト言タル程ナリ、其後十一月ニ此ニユキクル人ノ物語リヲキクニ、凡滯留スル三十日ノ内ニ日ヲミルヿ僅ニ三日、雨雪フリツヽキ、降ラサル日ニテモ、陰霧濛濛トシテ、朝食ヨリ夕餐マテ、室内燈ヲ消スヿナシ、寒暖計ハ二十五六度ニ升降セリトナン、

○府中ノメクリ、先ツ「ヒッケンボーサン會社ノ製作場ニ至ル、此ハ一箇ノ製鐵場ニシテ、木棉ヲ紡彈シ、花布ヲ印紋スル等、總テ紡織ノ器械ヲ製造スル大場ナリ、

○夫ヨリ蒸氣軸車ノ製造場ニ至ル、其趣キハ米國費拉特費府、及ヒ前ノ「クルーウ」ニテ、記述シタルニ同シ、是ハ「トップス會社ノ製作場ニテ、職人日ニ千五百名ヲイルヽ大場ナリ、

○夫ヨリ礦鐵ヲ鎔シテ、生鐵トナス場ニ至ル、礦鐵ノ熔化ハ、鐵ニ炭素ヲ抱合セシメテ、爐底ニ熔流シ落シムルナリ、火爐ノ式ニ深訣アリ、一見ノ能ク辨知スル所アラス、此三場ハミナ當府ニテ有名ノ大製作場ナリト云、

○夫ヨリ「ロヤルエキステンヂ」ニ至ル、即チ商人ノ集會所ナリ、一統名ヲ題署ス、

堂内ニ商人ノ群集盛ナリシ丁ハ、漫議特府ニ亞ス、

○夫ヨリ「チェンバル、オフ、コンメルス」ニ至ル、是ハ商人ノ會議所ナリ、商長及ヒ商會ノ各議員、同席一百餘人、會議堂ニ於テ「スピーチ」ヲ演シ、兩國貿易、益繁昌セン丁ヲ陳シ、各房ヲ回リテ返レリ、

○夫ヨリ「コルポレーション、ガルリー」ニ至ル、此時已ニ午後三時ニ近シ、因テ此ニテ晝食ノ享アリ、食畢リテ「スピーチ」等例ノ如シ「コルポレーション」トハ、諸人集會シ一體トナリ、目的ノ事業ヲ達スル丁ノ謂ニテ、仲間中ノ會合所トモイフヘキ會所ナリ、

「ロヤル、エキステンチ「チェンバル、オフ、コンメルス」及ヒ「コルポレーション、ガルリー」此三種ノ會所ハ、皆貿易ノ地ニ於テ、重要ナル設ケニテ、何レノ都府ニテモ之アル丁、已ニ是マテノ譯述中ニテモ知レタルヘシ、西洋各國ノ人ハ、固リ都府ノ常トシテ、深ク解説モナサヽレトモ、日本ニ於テハ、皆新奇ナル建設トス、今之ヲ簡易ニ譯語ヲ下サント、商人ノ集會所、商人ノ會議所、仲間ノ會合所ト解釋シタレトモ、東洋ニハ絕ヘテナキ會所ナレハ、其何等ノ目的

ニテ設立シタルヤヲ了悉シ能ハサルヘシ噫此三ノ會所ノ日本ニ盛興ヲ有セサルハ其商工ヲ興シ貿易ヲ隆盛ニスルニ甚タ迂濶ナルヲ証スルニ足ルナリ商人ノ集會所ハ諸商人カ日時ヲ約シ商業ノ媒助人即チ商業世話役仲買人等ニ面會シ商務ヲ運ヒ商事ノ新説ヲキヽ因テ入札ヲナシ相場ヲ定メ取引ヲナス場所ナリ因テ或ハ相場會所トモ譯ス商業ノヤヽ盛ナル都邑ニハ大抵此設ケナキ地ハ少シ此場ヲ設クルニハ固リ政府ノ權ニアルヿニテ商業裁判所ト商業會議所トノ協議ニテ其式日及ヒ開閉ノ時限ヲ定メ、其時限中ハ何人ニテモ出入スルヲ得ル此ニテ賣買ノ取引ハ諸種ノ貿易品凡ソ相場ヲ立ルヘキ品穀酒棉毛沙糖烟艸ノ類及ヒ諸切手會社株式札國債証書受負船貸保險爲替後拂証書等ノ價ヲ入札シ商業世話人ヨリ其相場ヲ保証スルナリ凡ソ都府ニ時々市價ノ定マルハ此公會堂ニ於テス是「エキステンジ」ノ貿易ニ大緊要ナル所以ナリ商人ノ會議所ハ一都府ノ商人ニテ立ル公選議會ニテ政府ノ詰命ヲ以テ其管轄ノ區中ヨリ商工ノ業ヲナス人ノ著顯ナルモノヨリ公擧シテ議員トナス或ハ其人ニヨリ當時現業ヲ廢シタルモ推擧スルヿアリ其議スル所

ハ、商業ノ機關トナリ、商業ニ管係スル事宜ニツキ、政府ヘ意見ヲ陳述スルニアリ、故ニ商事ノ詭秘ニテ、變化多キモ、此議員ニテ下情ヲ上達シ、商工事務省ト、商工裁判所トハ、亦以テ耳目トナシテ、其保護ノ任ヲ全クスルヲ得ル、凡商事ノ機關ハ、此公會堂ニ於テス、是「コンメルス」ノ貿易ニ大緊要ナル所以ナリ、最後ノ仲間會合所ハ、私設ノモノニシテ、其種類ハ一ナラス、之ヲ大別シ、宗教上ノ仲間ト、民事上ノ仲間トノ二種トス、宗教トハ、宗教ノ權利ヲ、永久保存ノタメニ設クルナリ、民事トハ、事業ノ目的ト、施濟ノ目的トノ二アリ、皆其仲間ヲ申合スレハ、議院ニ申請シ、事ニヨレハ國王ノ特許ヲウクルモアリ、或ハ國王モ加入シテ、其職分ヲ盡スヿモアリ、抑人間ノ萬事ハ、ミナ會社ニテ成タルモノナリ、一家族ハ骨肉ノ會社ナリ、主人ト僕婢トノ會社ナリ、其會社ノ增長シテ、民事ノ會社起リ、更ニ商業ノ事爲ヲ、敏捷廣大ニセシタメニ、商業ノ會社ヲ設ク、合名アリ、合本アリ、是ミナ利益ヲ目的ニ設クルモノニテ、其事業ニ於テハ、全ク一體ノ一財產トナルモノナリ、仲間ハ其各會社ノ、更ニ一ノ目的ニ因テ、合體協力スルヿヲ申合フモノナレハ、

其目的ニ於テノミ一體ト看做シ生業上ニ於テハ其體分離セリ故ニ社員ノ生業ニツキ負債ノ責ニハ任セス之ヲ要スルニ仲間ヲ設ケ合體協力スルハ上等社會ニ於テ己ノ職工ヲ保護シ雇人ヲ救濟シ或ハ其心性ヲ正クシ或ハ其老癈ヲ惠恤スル等ノタメニ出テルモノナリ世ニ家族ト雇人トノ增大ニヨリテ會社ノ法ハ起レリ己ニ會社アリテ生業ヲ營ムトハ又自ラ仲間ヲ組ミテ合體協力ノ事ヲ談合セサルヘカラス是コルポレーションノ因テ起ル所ナリ商業ノ事宜ハ民事中ニ別種ナルモノニテ普通ノ法ヲ以テ保護スヘカラス故ニ會社ハ民事ト商業ト相異ナル如ク市政モ亦民政ト相異ナラサレハ其都府ノ繁盛ヲ期シ難シ東洋ノ諸國ハ元來農ヲ勸メ商ヲ抑フノ風ニテ政務ハスヘテ民攻ノ一偏ニ歸ス然レモ猶市人ノ多キ都府ハ其政事ノ趣キヲ異ニセサルヘカラス西洋ノ富强ヲ致セルハ商ヲ盛ンニシテ農ヲ振ハセルニアリ其市政ニ於テハ判然別種ノ治ヲナス商工ノ二途ニ於テハ法律モ異ニ裁判所モ異ニ政府ニ於テハ商工ノ事務省ヲオキ其事業ヲナス人民ハ姓名ヲ別記シテ別様ノ人民タリ工商ノ業

ハ奇利ヲ得ヘキモノナルニヨリ亦奇禍ヲ受ケ易キモノナリ市民ハ此危険ノ業ニ生活ヲナシ其影響ハ直ニ農民ニ及ホス市政ノ緊要ナル如此シ、是最モ人事ヲ盡シテ保護セサルヘカラス然レ𪜈自主ノ權利ハ人人ニ之アリ而テ人ハ利益競爭ノ中ニ住居スルモノナリ利益ノ管係ニ於テハ威力モ屈スヘカラス法則モ縛ルヘカラス刑罰モ嚇スヘカラス只其能保護ヲ全クスルノ道ハ其利益ノ競爭ニツキテ合體協同ノ社會ヲナサシムルニアリ蓋シ人民ノ利益ヲ競爭スルノ情態ハ貧富智愚强弱互ニ相依賴シテ其情願ヲ全クスルヲ免レス地主豪農ニ耕丁傭作アルカ如ク工家ニ職人アリ商家ニ雇人アリ皆自然ト分レテ上下ノ社會ヲナス政府ヨリ其業ヲ保護スルノ道ハ上等社會ヲシテ下等ノ社會ヲ保護救助シテ其利益ヲ永久ニ保存セシムルヲ要トス故ニ各都府ニ於テ其上等社會ヨリ公擧シテ「コンメルス」ノ議員ヲ設ケ全府ノ繁昌ヲ商量シ政府ノ威力法則刑罰ヲ、行ハサルヘカラサル所ニ行ヒ「エキステンギ」ニ世話人ヲ定メテ各人ノ商賣取引ヲ便ニシ確實ニシテ敏疾ナルヿヲ謀ル下ニハ又「コルポレーション」

ヲ申合セ、相互ニ協合一致シテ、生業ヲ扶助シ、下等社會ヲ救護ス、此等ノ設ケ具ニ備レハ、工商モ安穩ニ、耐久ノ業ヲ商量シテ、確實ノ生理ヲナスヘキニヨリ、衆人ノ信用ヲ生シ、契約モ速ニ整ヒ、貨物モ能ク融通シテ、其利益ハ、村邑ノ農産ニ及ヒテ、全地方ノ物産、其價ヲ得テ、生理ヲ勉勵スルヲ得ルナリ、英國ノ都鄙ヲ觀察スルニ、倫敦「ウェストミニストル」諸區ニ於テハ、國君ノ威權嚴ニシテ、立君ノ光ヲミル、倫敦「シチー」、及ヒ各都府ヲ過レハ、會社ノ自由盛ンニテ、共和政治ノ態アリ、野村ヲ回レハ、貴族豪姓ノ權利大ニシテ、貴顯專治ノ態ヲミル、英人嘗テ此三樣ノ治ヲ幷セテ、英國ノ政治ハ成レリト謂フヲ奇怪トセシニ、其地ヲスキ、其情ヲ觀察スレハ、眞ニ一種ノ妙機ヲ此ニ存シタルヲ覺フ、是他ニ故ニアラス、上下ノ社會、互ニ相依賴スル所ノ自由ニ任シテ、其法ヲ商定セシメ以テ政府ヲ成形シ、保護ヲ盡シタル實效ニヨルモノナリ、

○夫ヨリ府中ヲ回リ、竟ニ西公苑(ウエストパーク)ニ至ル、此ニ車ヲ留ムル一時許、此公園ハ、高キニヨリ、谷ヲ抱キテ築造シ、眺望甚タ壯恢ニテ、園ノ泉石、樹木ノ位置モ、亦力ヲ

哥羅斯哥府ノ通街

同クライト河岸

盡シテ修繕ヲナシ、大都府ノ遊園タルニ耻ス、英國ヲ回リシ内ニ、公苑ノ美ナルハ、此ヲ第一トス、倫敦ノ遊苑ハ迥カニ及ハス、園内ニ「セバステポール」ノ戰ニ、露西亞ヨリ分捕ノ大砲ヲ備フ、園前ニ哥羅斯哥「ユニヴァルシチー」アリ、此大學校ニ生徒ヲイル、一千三百人、高名ナル學校ナリ、

○此ヨリ府中繁華ノ諸街ヲ回覽ス、日昃シテ細覽ノ暇ナシ、府中ニ設ケタル、博物館、書庫、大寺ミナ名高シ「ウェヤハウス」漫識特ニ詳カナリ壯大ナルモノ數所アリ、○夕五時ニ滊車ニ上リテ、六時ニ再ヒ勞德ノ宅ニ歸リ、一統禮服ヲ整ヘ、威儀ヲ修メ、會食ニツク、西洋ニテ平生賓主ノ交際ハ、禮式簡易ナルヿ多ク、東洋ニ比スレハ眞率ヲキハム、只食案ノ威儀ト、婦人ニ對スル節目ハ、其禮節甚タ嚴ナリ、飮食ハ必ス食堂ニ就テ儀ヲ修メ、他ノ室中ニテ取扱フヿナク、食間ハ互ニ談話ヲナシ、曾テ公私ノ用事ニ及フヿナシ、食間ニテ用談ヲナスハ失禮トナス、此等ノ風ハ、西洋ノ敎化ニ於テ、最モ嘉尙スヘキモノナリ、

九日　晴

十時半ヨリ、又「ビショップ」驛ヨリ、滊車ニ乘リテ「グリノック」府ニ至ル、此ハ哥羅

斯哥府ヨリ、二十英里ヲ離レタル下流ニアリ「グライト河ハ、海灣ヲナシ、大船上リ來ル、人口五萬七千百三十八人アリ、英國ニテ第三十三ノ都會ナリ「プロヴォースト蘇地ハ「メヨ」ヲ「プロヴォースト」ト云佛國ハ「フンペー」ト云皆知事ノ謂ナリ「シヴィイル氏「コンメルス、ベイリー、ケヤート氏評議官カウンスル「ハートル氏等、驛舍ニ出迎フ、

○此ニテ共ニ馬車ニ上リ「ケヤート氏私社中之ヲ「フライウェート、「コンペニー」ト云「ケヤート氏ノ自力ニテ取立タル場ニテ加入ノ諸人ハ之ヲ子分トス他ノ舫ヒ會社ニ異ナリ製造場ニ至ル、其場ハ二ケ所ニ分ル、

第一ニハ造船ノ鐵材、及ヒ蒸氣櫃ホイルラーノヲ製スル場ナリ、場内ニ職人ヲイル、三千五百人、當時造作中ナル船ハ、スヘテ十二艘アリ、其一艘ノ價、十萬乃至十一萬磅、此社ヲ起シテヨリ、今ニ三十年ニ及フ、當今マテニ造成シタル船、及ヒ器械、スヘテ二百三十四隻ニ及フト、哥羅斯哥近傍ノ造船場中ニ於テ、最モ高名ナルハ、蓋シ此場ヲ以テ魁トス、

第二ハ造船ノ諸具ニ用フル、黄銅（シンチユウ）金物ノ製作場トス、

第三ハ塗物場ナリ、是モ亦船內ノ裝飾ニ用フル、木材ノ塗物ヲナス所ナリ、此場ニハ、重ニ婦人ヲ役ス、西洋ノ塗物ニハ「ワーニシ」ヲ以テ漆ニ代用ス「ワーニシ」

ハ東西印度等熱帶ノ地ニ生スル「コーパル」木ノ粘液ナリ温度ヲ加ヘテ溶解スレハ其質稠ニシテ糊ノ如シ和スルニ胡麻亞麻「テレピン」等ノ乾性油ヲ以テシ其液ヲ木材ノ面ニ摺込メハ光澤ヲ生スルモノナリ漆細工ハ英ニテ「ギヤツパン「グート」ト名ツケ全歐地ニ聲價甚タ高ク且未タ其用法ヲ知ラス然レ𪜈日本ノ黑漆塗ノモノハ太陽ノ光線ヲ受レハ久シクシテ色ヲ變スルノ憂ヒアリ西洋ノ塗物ニハ此變色ノ憂ナシ其術ヲ討問シタレ𪜈ミナ秘傳ナリトテ告ケス傳授金ヲ受ケテ敎ヘル法トナリ

最後此社ニテ打立中ナル蒸氣郵船「シチー、オフ、チェスター」號ニ上ル此船長サ四百八十尺其價十二萬磅當時ハ七分ノ成就ニテ落成ノ期ハ來年ノ五月ニアルヘシ之ヲ歷的瀾海ニ浮ヘ米國往來ノ郵船トスル目的ナリ世界ノ郵船中ニ於テ第一ノ大船ナリ里味破府ニテ記シタル近來新ニ取立タル太平海及ヒ歷瀾海ノ郵船會社ヨリノ注文ナリ此社中ニ於テ當時造立スル船十二隻アリ一隻毎ニ十八月ノ工ヲ費シテ成ルト云

○六コリ「ウオーカス會社ノ白糖精製場ニ至ル屋宇ノ高キヿスヘテ八層アリ

前後ノ製造場ニ於テ是ヨリ高キ屋宇ハアラサリキ社中ノ人導キテ階ヲ拾ヒ先ツ其上層ニ至ラシム蓋白糖ヲ製スル順序ハ最高ノ層ヨリ遞ニ煉リ遞ニ下ソシメ下層ニ及ヒテ成就スルヲ以テナリ屋宇ノ高キモ亦此ニヨル○屋ノ上宇ヲ平カニシ四周ヲ高クシ以テ清水ヲ蓄ヘ池トセリ其下ハ即最上ノ第八層ニテ此ニハ牀板ニ大漏斗ヲ設ケ蔗糖ノ汁ヲ樽ヨリ出シテ流シカケル此糖汁ハ「モラシェス」トテ合衆國ノ南部中亞米利加ノ「ギユバ」及ヒ西印度諸國ヨリ輸入スル蔗糖ノ汁ニテ糖ノ上品ナリ飴色ニテ流動スルコト蜜ノ如シ我邦ニテ糖蜜ト唱フモノ是ナリ沙糖ノ結晶ニ難易アリ其法ヲ知ラサルモノハ結晶ニ難キ分ヲ蜜トナシテ賣ル米國ノ北部ニハ楓糖ノ「モラシェス」アリ歐洲ニハ甜紅蕪菁ヨリ「モラシェス」ヲ採レ𪜈是等ニテ製セル沙糖ハ下品ナリ牛乳茶咖啡(カツフエー)ノ和味ニ用フ舶來ノ棒沙糖是ナリ○次ノ第七層ニハ上層ノ漏斗ヨリ流レ落ル糖汁ヲ受ルタメ巨鑊ヲ設ケ糖汁ハ之ニ注入ス此室中ニ蒸氣管ヲ環繞シ常ニ熱百六十度ノ温室トナセリ糖ハ溶解シ易キ質分ニテ此熱度ヲ受レハ流動ス更ニ水ヲ加ヘテ其流動ヲ促カス上層ノ蓄水池ハ是カ為メニ設ケタルナリ室中ノ温度常

ニ酷暑ヨリ甚シケレハ、此ニ業ヲナスモノハ、ミナ裸體ニテ褌ヲ施セルノミ、扨巨鑊ノ側ニ、鐵ヲ以テ製セル櫃アリ、其底ニハ無數ノ孔ヲ穿ツ、其孔ヨリ長管ヲ貫キテ、下層ニ出ツ、巨鑊ニテ溶セル糖汁、流レテ此櫃中ニイレハ、底ナル孔ヨリ管ヲ傳ヘテ、下層ヘ落ル、〇次ノ第六層ニハ、上層ナル櫃底ノ管口ニ、螺旋ヲ施シ、布袋ヲ拔セリ、此布袋ハ二重ナリ、徑七寸、長サ三尺ノ袋ヲ以テ外套トシ、更ニ徑長是ヨリ稍大ナル袋ヲ内ニオク、ミナ厚キ木棉ニテ製セリ、糖汁ハ、管ヨリ其袋内ニ滴レハ、内ナル袋ハ爲メニ膨張セントスレトモ、外袋ヨリ括搾セラレ、己ヲ得ス、糖汁ヲ滲出シ流レ落ル、此處モ温度ヲ減セスシテ、常ニ冷凝ヲ防ク、糖汁ハ袋ヲ出ル𪜈、其質粗白シ、〇次第五層ニ於テハ、布袋ヨリ出タル糖汁ノ滴ルヲ、又巨鑊ヲ以テ受ク、此巨鑊ノ大サハ、方丈ニ、深サ三丈ニ及ヒ、第四層ニ達ス、此底ニハ木材ヲ墊トシ、其上ニ無數ノ孔ヲ穿テル鐵板ヲ敷キ、其上ヲ覆フニ木棉ヲ以テス、之ニ「アリマル、チョーク」ヲ盛レリ、「アリマルチョーク」ハ、獸骨ヲ燒キ、炭トナシタルモノナリ、獸骨炭ト譯ス、是ハ水液ヲ沙淨法、炭淨法ニカケルト同シク、糖汁ヲ此獸骨炭ニテ漉シ、清淨ニスルナリ、抑炭ノ

質タルヨク物臭ヲ滅シ物色ヲ滅スル性アルモノニテ獸骨炭ハ其性最モ強シ故ニ諸液ノ汚垢ヲ去リ精淨粹白ナラシメルノ妙藥ナリトス又物ノ結品ヲ促スノ効モアリテ製糖ニハ最モ必用ノモノタリ扨此法ニヨリテ糖汁ハ炭ノ隙ヨリ次第ニ滲シ流レテ其底ニ達ス◯次第四層ニハ鑵ノ底ヨリ漏斗アリテ糖汁ノ滴リ落ルヲ受シ此時ニ糖ハ粹白トナリタレド稍微黄ヲ帯ヒテ、其狀宛モ白蜜ノ如シ其滴リ出ル口ニ螺旋ノ管ヲ施シテ圓形ノ帽アル鑵ニ滴リ入ラシム此鑵中ニハ空氣ヲサリ鑵底ニハ蒸氣筒ノ輪ヲ安シ其輪ヲ轉シテ糖汁ヲ攪スレハ蒸氣ノ微温ニ煦セラレ空氣ノ外壓ナキユヘ水分ハ頓ク蒸散シテ上ナル帽ヲ傳ヘ凝テ水トナリ側ナル孔ヨリ管ヲ傳ヘテ流レ落ル此蒸氣ノ温ハ務メテ輕度ナラシムルヲ伺フ若シ熱甚シケレハ糖汁焦テ色粹白ナルヲ得サルトナリ此法ヲ經テ糖ハヤヽ凝テ飴ノ如シ◯次第三層ニテハ前層ニテ凝テ飴ノ如キ糖ヲ受ケテ更ニ水分ヲ離シテ結品セシム所ナリ是ニハ盤ノ如キ鑛鑵アリ其内ニ微温ノ蒸氣ヲ蓄ヘタル輪ヲ旋シ其輪轉ヲ極徐徐ニスレハ糖汁ヨリ水分ヲ游離スルニ從ヒ漸漸ニ結品シテ乾白

糖ヲナス此輪ノ旋回稍急ナレハ結晶ヲ壊リテ一塊ノ凝糖ヲナシ用ニタヽス○次第二層ニ於テハ之ヲ桶ニ盛リ之ヲ綱縛シテ輸シ出ス荷造リ等ヲナス所ナリ最下ノ層ハ即チ地下ノ窖ニテ此ハ獣骨炭ヲ蓄フ此炭ハ一タヒ用ヒ畢レハ又洗滌烙煆シテ更ニ之ヲ用フ今ニ至ルマテ十六年ノ久シキニ堪タリト云フ骨ヲ以テ炭ヲ製スルニハ元量ノ十分一ヲウルニ過キス頗ル高價ナル品タリ又第三四層ニテ游離シ滴リタル水ハ微甜ヲ帶フ因テ之ヲ第七八層ニ送リテ糖汁ニ和スル水ニ代用スルナリ○此場ニ於テ糖ヲ精製スルニ黒糖ヨリ精白糖トナルマテ六晝夜ノ時間ヲ費ス一周日毎ニ製シ出ス沙糖ノ量ハ重サ一千噸其價一噸ニテ四十磅約我一圓ニ付重量十磅ニ當ルナリ職人ヲイルヽコ四百五十八

此場ハ後一千八百七十三年ノ第一月ニ火災ニカヽリテ焼失セリ

○此「グリノック」府ハ造船製糖等スヘテ十二ケ所ノ製造所アリ全邑ノ人民ミナ其利ヲ仰キテ生活ヲナス

此邑ヨリ二英里ヲ隔テタル地ニ田園ヲ占メテ「ケヤー」氏ノ宅アリ「グローッ

ク、ハウス」ト名ク「グリノック府廻覧ノ歸途、午後三時ヨリ、一行ヲ其宅ヘ招キ、晝食ノ供アリ、食後ニ「スピーチ」ヲナス例ノ如シ、此外「クライド河岸ニハ「エーベルトン」「ドンジー」等ノ大邑アリテ、皆八萬口以上ノ都會ヲナセリト云、

五時ニ「ケヤー」氏ヲ辭シ「プランタイル氏ノ宅ニ歸ル、

十日晴

十時ヨリ、主人「プランタイル氏親ラ案内ヲナシ、其家車ニ乘テ、近在ニアル、所有ノ田地ヲ見回ル、耕稼ノ場所ニハ、大ナル麥倉ヲ建テ、又水車ニテ麥粉ヲ挽ク場アリ、常ニ男十二人、女八人ヲイレテ、其業ヲトラシム、西洋ノ平食ハ、麪包ヲヲ以テ本トス、麥ヲ挽キ粉トナスハ、日本ニテ米ヲ舂キ白米トナスカ如シ、農業ノ要事ニテ、往往ニ小大ノ製場ヲ設ケタリ、豪農ハ必ス其製場ヲ設ク、挽粉ノ器械ハ、務メテ緩徐ニ運轉スルヲ要ス、急疾ナレハ其粉麁ナリ、亦我舂米ノ急疾ナルハ、均圓ナラサルト同理ナリ、○夫ヨリ「グランタイル氏所有ノ一部分ノ地ヲ受ケ、代作スル人ノ宅ニ至ル、石材ヲ以テ新ニ建タル、宏壯ナル工屋ニテ、田野ニハ目ヲ驚カス造搆ナリ、此屋モ「プランタイル氏ノ建タル不動產

ニテ代作ノ人、借受テ居住セルナリ、此代作ノ人ヨリ、一年ニ「ナランタイル」氏ニ納メル地租四百磅（約二千弗ニ當ル）ナリ、

英國ノ田地ハ、貴族豪家ノ所有ニ分割セラレ、他ハミナ其田地ヲ借受ケテ、代作スルモノヽミナリ、蘇部ヲ經回スルニ、「ブランタイル」氏ノ外、「テイ」湖ノ濱、一望ノ山野ハ、ミナ「カンメロ」亞爾（イアール）ノ所有地タリ、「アッツォル」村ヨリ「パーナム」村ノ邊ハ、ミナ「アッツォル」丟克（デューク）ノ所有地タリ、皆其地代ノ入ヲ聞ヘハ、一歲百萬圓内外ト云、後英倫ニ入リ「ダヘンシャ」丟克（デューク）、及ヒ「トロマセ」氏ノ所有地モ亦此ノ如シ、其他村野ノ際ニハ、樹木陰森タル區域ニ、莊墅ヲ起シテ、數十百町ノ田宅ヲ占メタル、富潤ノ屋ヲミルヿ比比ナリ、小民ハ、村中野間ニ、落落タル茅舍小屋ノ内ニ住シテ、躬耕ス、之ヲ農丁ト名ク、大抵ミナ他人ノ田地ヲ借受シ、大家ノ保蔭ニヨリテ、勞苦自活スルモノニテ、其居宅モ、多クハ地ノ所有主ヨリ建築シ、價ヲ取テ借渡セルモノ多シ、市街ノ如キニ至リテハ、地主アリ、家主アリ、或ハ他人ノ家ヲ借リ、更ニ之ヲ行旅ニ借シテ渡世スルモノ多シ、（「ボーチン、ハウス」或ハ「ロッギング、ハウス」ト云元來人ニ借渡ス目的ニテ建テ、ソノ價ヲ取テ家主ノ利トスルモノナリ）故

ニ英國ニテ、田地ヲ所有シ、屋宅ヲ所有セルモノハ、ミナ豪姓大族ニテ、勞苦セスシテ衣食ニ豊足ス、之ヲ房産アルモノト言テ、人ミナ羨稱ス、議院ニ名代トシテ出ルモノモ、多ク其中ヨリ選スルナリ、一般ノ民ハ、寸地モ所有ナク、屋宅ヲモ所有セス、常ニ人ノ宅地ニスミ、作業ニテ生理ヲトグ、農ハ農丁トイヒ、工ハ職人トイヒ、商ハ雇人トイフ、是ミナ小民ノ業ニテ、邑法、工商法ニヨリ雇フモノ、雇ハルヽモノニ、契約ノ規則アリ、官府ハ之ヲ嚴重ニ保護スルヲ、主要ノ務メトス、所謂ル財産保護トハ、此ヲ謂フナリ、西洋ニテハ、人ノ借地借宅ニスムトテ、格別ニ賤ムヘキニアラス、中ニハ家産數萬ヲ累ネ、選權者トナルヘシ、マシテ田宅ヲ所有シタルモノハ、概シテ豪富ノ家トスルヿ、猶我有祿ノ家ヲ伺フカ如シ、其內ニテ貴族、豪族ノ歲入、百萬圓ノ部産ヲ所有セルモノハ、其豪奢ハ英國王モ反テ及ハサルニ至ルモノアリ、貧富ノ際、其懸隔セル此ノ如シ、

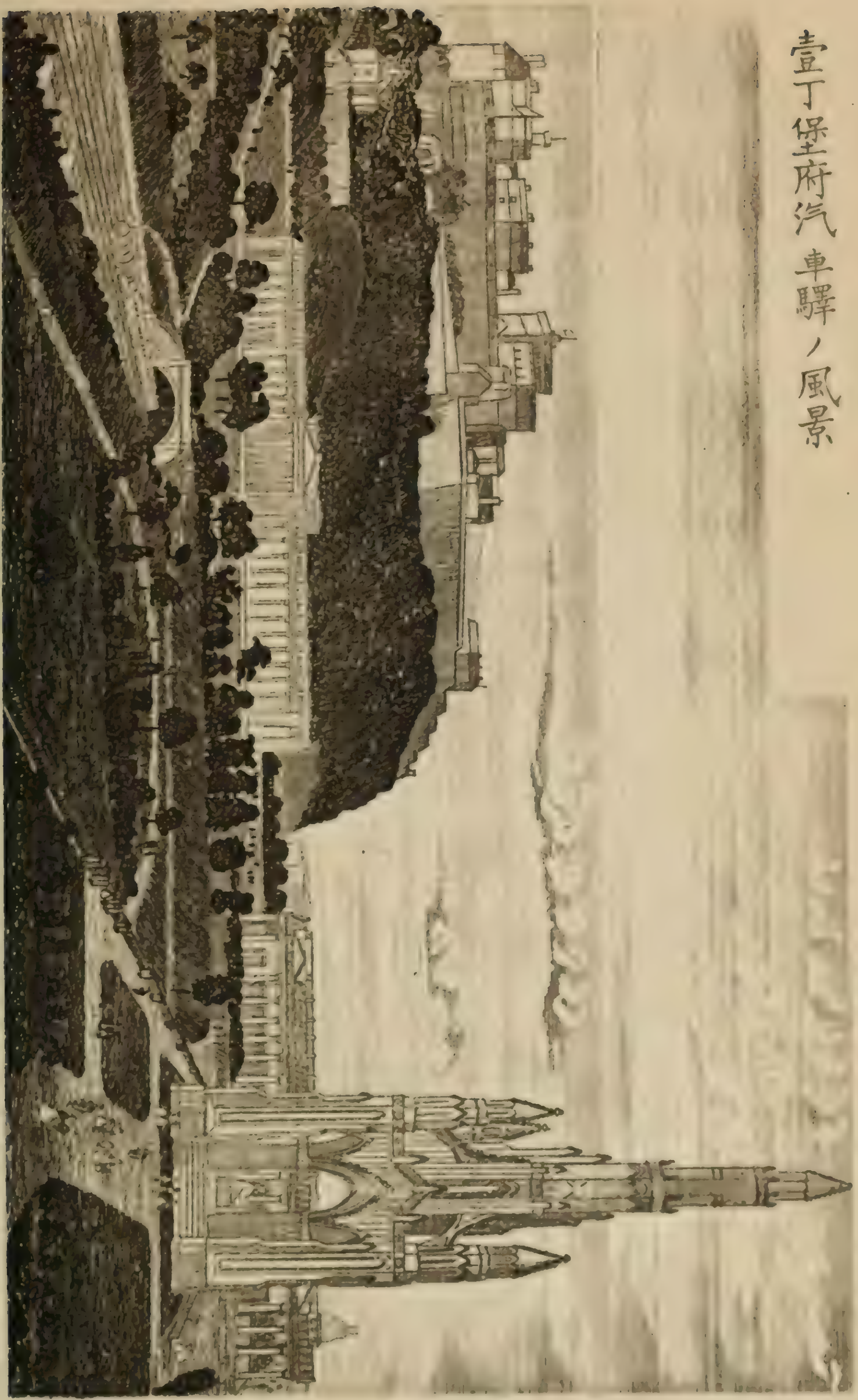
夫ヨリ馬厩ニ至ル、厩ニ繫ケル馬十六疋アリ、其上乘ハ、一疋ニ付テ、稅ヲ納ムル一「ギニー」、二十一「シルリン」ノ稱ナリ我五圓一分ニ相當ス夫ヨリ以下、馬ノ善惡ニヨリテ遞ニ減シ、

半「ギニー」ニ至ルト、去年マテハ二十二疋ノ馬ヲ繋キタルニ、本年ハ其六馬ヲ減セリト、乗馬モ其厩中ニ畜ヘ、又乳牛ヲ養ヘリ、夫ヨリ禽獸園ニ至ル、此内ニ犬ヲ養フヿ尤モ多シ、獵犬アリ、守犬アリ、羊ヲ驅ル犬等ナリ、又鼬鼠（イタチ）ヲ多ク養フ、次ニ花園ニ至ル、玻瓈ノ大窖室ヲ造リテ、熱帯産ノ名卉ヲ養フ、梨樹ノ枝ハ、壁條ヲナシテ、石垣ノ面ニ釘シ蔓延セシム、葡萄ヲ植ユルヿ亦多シ、日日掃丁五人（内一人ヲ長トス）ヲイレテ掃除セシム、此邊ニ又瓦斯室アリ、其宅内ニ用ヒル瓦斯ヲ焼ク所ナリ、

視畢リテ、後ニ主人親ラ導キテ、宅内ヲ見廻ル、臺所ヨリ諸料理所、洗濯所、裁縫所等、室内ヲ殘ラス回ル、イツレモ宏大ナル仕掛ナリ、一家中遣フ所ノ僕婢ハ、十四人ヲ常トス、時ニハ其數ヲ增加ス、家宰「エージェント」ヲ「ヴェルフン」氏ト云、四十ケ年家宰トナリテ、全家ノ會計、主人氏ハ其細目ハ知ラス、ミナ此人ニ問フテ其概略ヲ聞クニ、總テ當家所有ノ田地ハ、處處ニ散有シテ、其地積ノ數ハ、遽ニ擧ケ難ケレトモ、歲歲ニ收ムル租ハ二十萬磅、（我百萬圓）本邸ハ倫敦ノ「ケンシントン」ニアリ、冬季ニハ倫敦ニ住シ、夏時ニハ田園ニ歸リテ避暑ヲナス、倫敦ノ留主

中ハ「ヴェルソン」氏、百事ヲ引受ケテ、其取捌キヲナスト云、其後猶近在ナル所有ノ田地ヲ散驅シ、二時ニ歸リ、晝食ヲ辨シ、行李ヲ理メ、三時ヨリ「ブランタイル」氏ヲ辭シテ「ビショップ」驛ニ至リ、滊車ニ上リ、四時ニ發車シ、東ニ走リテ以丁堡（エデンボルフ）ノ驛ニ至リ「ロヤル、ホテル」ニ宿ヲナス、此日鐵路ノ程五十五英里、

壹丁堡府汽車驛ノ風景



第三十一巻　壹丁堡(エヂンボルグ)府ノ記

壹丁堡府ハ、元蘇格蘭(スコットランド)ノ王國ニテアリシ𪜈ノ王京ナリ、英蘇合併ノ後ハ、以テ別京トナセリ○其地ハ北緯五十五度二十四分二十四抄、西經三度零十一抄ニ位ス、倫敦ヲ距ヿ三百九十九英里、人口ハ一千八百年マテハ八萬口ニスキサリシニ、七十一年ニハ十九萬六千五百八ニ及フ、英國ニ於テ第九ノ都會ナリ○當府ハ兩山ノ峽ニヨリ、城壁ハ岩嶂ノ上ニ兀立ス、只一條ノ路アリテ往シヘキノミ、其他ノ峰巒ミナ奇骨ヲ露シ、錯落トシテ谷ヲ抱キ突起シ、市廛ハ其間ニ闐塞ス、諸寺ノ塔尖ハ、參差トシテ天ヲ刺シ、石屋甍房ノ矗然タル、地ノ起伏ニ從ヒ、山色ニ掩映シ、滊車驛ハ谷底ニアリ、其南坡ニ廣苑ヲ存シ、蘇格風ノ高塔ヲ聳カス、是ハ倫敦「ハイトパーク」ノ博覽會跡ニ「アルベルト」侯ノ記念塔ヲ建ル𪜈、試ミ作リナリ、結構甚タ宜ク、反テ彼苑ニ建タル塔ニ勝ル「ロヤルホテル」ハ其正面ニアリ、向崖ノ地ハ高岡ニテ、此ヲ壹丁堡ノ舊市街トス、街路モ狹隘ニテ、家屋櫛比ス、南坡ノ新街ハ、甚タ宏恢ニテ、山坡ノ間ヲ迂回シ、凹凸

モニ車ヲ得ラス、飛橋ハ谿ヲ越ヘ、鐵路ハ谷ヲ走ル、山巒秀美ニシテ、風景畫ノ如シ、此都ハ英國ノ諸都府中ニ於テ、清淨ノ景地ナレハ、盛夏ノ候ニハ、國王ノ避暑宮トナス、國人之ヲ希臘ノ雅典（アデン）ニ比ス、一ニ新雅典（ニューエデン）トモ云、

十一日晴

午後ニ近傍ノ山ヲ回覽シ、古城ニ至ル、

十二日晴

朝十時ヨリ歩シ、大裁判所「ハイ、コールト」ニ至ル「パーレメント、ハウス」ト名ク、此ニ藏セル裁判ノ諸具ニ、一二ノ奇異ノモノアリ、昔時裁判官ハ、之ヲ冠シテ着席シ、訟ヲ聽タリトテ、白髮ノ鬘（カツラ）ヲ藏ス、又死刑ヲ申渡ス時ニ冠セル帽アリ、其他法官ノ儀式ニ用フル服モアリ、服製ハ「カドレイド僧侶ノ法衣ニ似タリ、

此裁判所ニ屬セル書庫アリ、法律書ヲ首トシテ、其他各科ノ書籍、スヘテ十二萬冊ヲ蓄ヘ、古器、珍物、石臘等モ多シ、蘇格蘭（スコットランド）ニテ高名ナル著述家「スコット」ノ像ナトハ、剞劂活ルカ如シ、

傍ニ學校アリ、此ニテ引電器械ヲ運シテ示ス、

壹丁堡ノ古城

同「アルサスレート山上ヨリノ眺望

○是ヨリ「イソギストリヤ博物館」及ヒ大學校「ユニヴアルシテー」ニ至ル、此博物館ハ、頗ル廣大ニテ、三層樓ノ建築ナリ、禽鳥ヲ乾蓄セルモノモ數房アレトモ、此ハ其眼目トスル所ニアラス、器械製造ノ考證ニ設ケタル場ナレハ、製作ノ品物ヲ排序スルニ、注意ヲ加ヘタリ、一物ノ原質ヨリ、次第ニ工作ヲ經テ、成就ニ至ルマテ、順序ヲ殘サス陳列ス、其細ナルモノハ一釣鈎ノ製作ヨリ、大ナルハ石造屋ノ建築、燈臺ノ雛形等ニ至ル、高名ナル「ベルロック」ノ燈臺ヲ建築スル雛形アリ、殊ニ屬目スヘシ、其他製錬ノ次第、製陶ノ順序等、ミナ一見シ其術ヲ詳悉スヘシ、又人身ノ元素ヲ分拆シ、排列シテ示セルアリ、此館ニ入レハ、製作ノ術ニ於テ學知ノ思ヒ其半ニスク、

大學校ハ、一年ニ出入ノ書生二千人、當府ハ最モ學業文藝ニ高名ナル地ニテ其中ニ於テ此校ハ高名ノ學宮ナリ、

○是ヨリ車ヲ山間ニ驅テ、「アーサス、シート」山ノ麓ニ至リ、車ヲ下テ、山頂ニ上ル、此山ハ高名ナル勝地ニテ、古代ヨリ種種ノ歴史モアリ、且此頂ヨリ府中ヲ一覽シ、兼テ海上ヲモ望ム、景地ナリ、高サハ地ヲ拔クヿ八百尺、滿山樹ナク、細

艸ヲ生ス、○此山ヲ上ルニ、一ノ現象ヲミタリ、此日ハ霧起リテ濛濛タル陰天ナリシニ、山麓ヨリ山頂ヲ注目シテ、歩ヲ拾ヒ上リシニ、山上ニ二箇ノ巨人アリ、男女ノ狀ヲ具ヘ、乍チ望メハ巨岩ノ如シ、審視スレハ遊人ノ山上ニアルカト疑ヘド其狀ノ偉大ナルヿ、常人トハ覺ヘス、怪ミ上リツヽ、半腹以上ニ至ルマデ、猶其狀ヲ縮メサレド、益岩石ニ非サルヲ疑ハル、頂上ヘ近クニ至レハ、常人ノ夫婦ニテ、登頂遊セル所ナリキ、蓋シ此日ハ霧起リ、空氣濃厚ニテ、光線ノ折角、平日ヨリ大ナルヲ以テ、此象ヲ起セルナリ、凡ソ高山ニ登リ、若クハ雲陰ノ都合ニヨリ、遠望ノ物象、或ハ鮮明ニシテ近キカ如ク、或ハ模糊トシテ遠キカ如ク、乍チ訛大ヲナシ、乍チ縮小ヲナスヿハ、常ニアルヿニテ、日月ノ地線ヨリ出ルトキ、其輪ノ大ナルト同シ、怪ムヘキヿニモアラサレトモ、此日ハ八百尺ノ距離ヲ隔テタル人ヲ望ミ、其大ナル常人ニ四五倍シ、岩石ノ如ク見ヘシハ、其現象ノ尤モ甚シキモノナリ、博物窮理家ノ一證ノ爲メニ、此ニ首錄ス、

○山ヲ下リ「ホリール」ト「パレイス」ト云、王宮ニ至ル、是即チ蘇格蘭ノ故王宮ニテ、五百年以前ノ建築ナリ、其内ニハ更ニ舊キ堂壁モアリ、「キングスイト」ニハ、歷

壹丁堡「ホリイル古宮

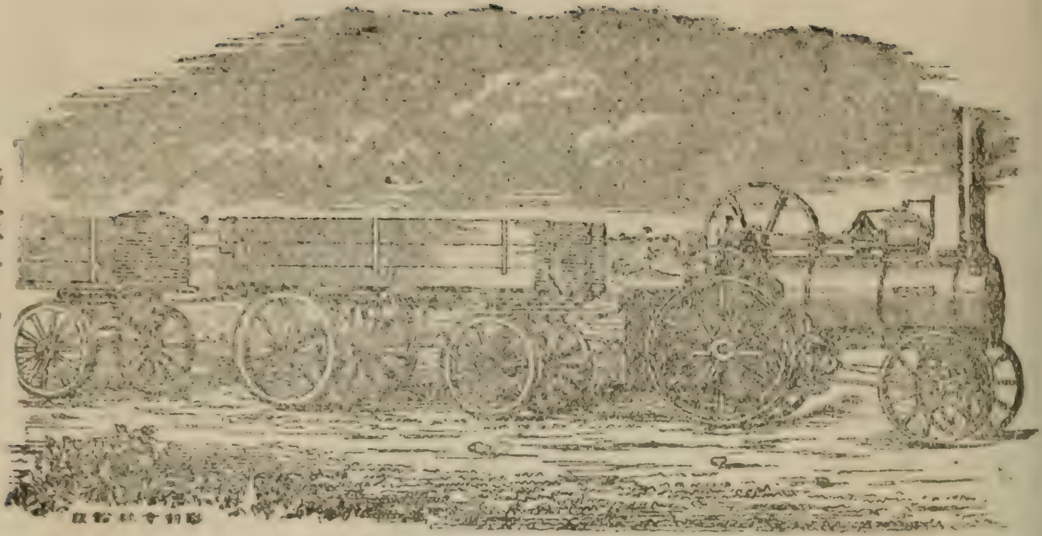
同上女王（クイン）馬利（メーリー）ノ寢室

代蘇格蘭ノ王、惹迷斯第六世即チ英王ヂェームス第一ナリニ至ルマテノ肖像ヲ掛ケタル廣室ナリ、夫ヨリ蘇王ノ寢室ヲ回ル、房具依然トシテ舊ノ如クニ存ス、一千五百四十二年ニ即位セル、蘇ノ女王馬利ノ寢室アリ、馬利ハ英ノ女王以利沙伯ト位ヲ爭ヒ、佛國太子「フランソセス」ニ婚シ、英、蘇、佛ノ三國ニ幷セ王タラントセシ婦人ナリ、其寢室ノ壁ヨリ間道ヲ造リテ下層ニ達ス、寢牀ノ傍ニハ、針箱、粧具ナト舊ノ如ク陳列ス、此后ハ絶代ノ美人ニテ、淫亂ノ行甚シク、始メ佛國ニ嫁シ、「フランソセス」佛國ノ王位ヲ踐ミ、間モナリ殂シ、佛人ヨリ逐ハレ、蘇ニ歸リ「ダビドリシオ」ヲ夫トシタリシカ、又之ヲ厭ヒ、奸夫ヲシテ暗殺セシメ、此間道ヨリ其奸夫ヲ引テ私通シタリ、其穢行ハ史傳ニ著シ、國內ニ激黨起リ、奸夫ヲ宮中ニテ刺殺シ、其屍ヲ斃セシ室ハ、寢室ノ近傍ニアリ、板面ニ血痕ナホ糢糊トシテ存ス、其後馬利モ、蘇人ヨリ逐ハレ、流離困難ヲ極メ、又英ノ大臣ノ「ウボート丟克ニ私通シ、種種ノ禍階トナリシ人ナリ、馬利ノ嗣王ヲ、惹迷斯第六世トス、終ニ英蘇ヲ兼テ王トナレリ、

○午後三時ヨリ、再ヒ駕シテ「ドラクション」ノ「エンチン」ノ製造場ニ至ル、是ハ近年

「トームソン」氏ノ發明ニテ、鐵軌ナキ土路ヲ曳キ走ル蒸氣車ナリ、土路汽車ト譯ス、此車ハ三年前ヨリ製造ヲハシメ、其目的ハ印度、及ヒ孛斯多獨利ニ送リ、鐵道ナキ原野ニ用ヒルニアリ、頃來又支那ニモ輸送シテ、北京邊ニテ運用ヲ試ミタリト云、○此車ノ製ハ、尋常ノ「ロコモチーフ」ニ較スレハ、製作簡易ナリ、兩輪ノ厚サヲ、幅尺有餘ニ製シテ、其周圍ヲ「インヂヤンラバヱム」ノ厚帶ニテ包ミ、其上ニ齒輪ヲ亘ス、此ヲ以テ土路ヲ輾ルニ、稍凹凸ノ石アルモ、「インヂヤンラバ」ニテ、輾ニ之ヲ抵觸スル故ニ、激動ニ因テ輪ヲ損スル患ナシ、輪ノ幅廣キユヘニ、塗泥ニ沒スルノ憂ヒモ免カル、前ニ隻輪アリテ、左右ノ回旋ヲナスヘシ、是ニ荷車ヲ繫キテ牽カシム、荷車ノ製ハ、尋常ノ式ヲ用フルナリ、此車ノ以テ軸車トナセハ、十二馬ノ力ニカヘルヘシ、此車ニ、二十噸ノ重キヲ積タル荷車ヲ繫キ、六十斤ノ石炭ヲ燒キ、一時間ニ四英里乃至六英里ヲ走ルヘシ、荷車一輛ニハ、大抵四噸ノ重サヲ藏ス、故ニ四車ヲ繫キテ餘力アリ、地ノ高低アル處ニ於テ、仰向シテ走ルノ度ハ、五ニ一ノ勾倍マテハ登ラシムヘシ、阪路甚タ急ナルトキハ荷車ヲ減ス、此車一輛ニ付、價一千六百磅、約我八千圓ニ當ル、近

第三十一圖



土路滊車之圖

此「ゴム」布ノ價騰貴セルヲ以テ、車ノ價モ亦騰レリト云〇此日製造場中ノ演塲ニ於テ、此車ニ乗リ試ミシニ、二輪ノ屈折自在ナリ、激動モ亦强カラス、大陸地ノ平原緩坂ニテ成タル州土ニ、鉄路ナキ所ナレハ必用ノ車ナルヲ以テ、日本ニモ取用センコトヲ勸ム、然レトモ日本ハ大陸地トハカハリ、殊ニ世界ニテ、山多キ國ナルノミナラス、海濱ニハ澤地多ク、水田ヲ業トスル、別種ノ國ニテ、土路滊車ノ用ヲナスヘキ地ハ、甚タ少カルヘシ、兩總奥羽ノ野ニ用ヒテ、米穀ナトヲ引出スニハ、或ハ利用モアランカ、

十三日陰

朝十時ヨリ、馬車ニ駕シテ、壹丁堡ノ西南ナル「パーテレット」社中ノ「インヂヤラバ、「ゴム」製造場ニ至ル、「パーテレット」氏ハ、米利堅人ニテ、當場製造ノ長タリ、其下ニ「ダイレ〃トルス」、（即チ世話役ノ頭取）五人アリ、其次ニ「マ子イヂース」、即チ世話役）六十人アリ、頭取ハ、一周日ニ一會議ヲナシ、製作ノ事ヲ申合ス、世話役ハ、年ニ兩度ノ會議ヲナス、工社會議ノ法、一斑ヲミルヘシ、◯此社ハ、十六年前ヨリ創起ス、當時ハ職人男女一千四百人ヲイレ、三百七十馬力ノ蒸氣輪ヲ運シテ、大小ノ蛇管、雨衣、及ヒ履ナトヲ造ル、「ゴム」製ノ履ハ、常ニ履ノ上ヲ套スル用ニテ、泥路、或ハ寒中ナトハ、必ス是ヲ以テ革履ヲ保護ス、坐ニ就クトキハ、戸外ニテ脱スルナリ、之ヲ「ロース」「シュース」ト云、去年中ニ製出セル總數ハ、二百二十五萬足ニ及ヘリ、◯「ゴム」布ヲ製作スル大略ハ、漫識特府ニ異ナルコトナシ、「ゴム」布ヲ以テ蛇管ヲ製スルニハ、圓キ鐵管ノ長サ數丈ナルモノヲ以テ心棒トナシ、或ハ又螺旋ノ鐵線ヲ用フルモアリ、「ゴム」ノ長布ヲ幅狹ク裁リ、其上ニ油糊ヲ塗リテ、又同幅ノ棉布ヲ合セテ、片端ニ合縫スル餘地ヲ存シ、鐵管ノ心

棒ニイレ其布ヲ巻キテ兩端ヲ接合スルナリ此合縫ニ用フル油糊ハ「ゴム」ノ碎片ヲ剉切（キザミ）シ石質ノ油ニ浸漬シオケハ溶解シテ糊トナル故ニ「ベンズイ油或ハ石炭油ヲ用ヒテ此油糊ヲ製スルト云此糊ハ即チ溶解ノ「ゴム」ナルヲ以テ其粘着力ニテ「ゴム布ヲ接合セル後ニ其水分ヲ游離セシムレハ同質密着シテ一トナリ再ヒ離レス總テ「ゴム」ノ製作ハ之ヲ以テ合縫ス○雨衣ヲ製スルニモ亦「ゴム」ヲ溶解シタル油糊ニテ合縫ス白色ト黒色トノ兩樣アリ此工事ハ婦人ヲシテナサシム履ニハ鑄ノ型數百アリ「ゴム布ヲ裁テ其型ニ冒覆シ油糊ニテ合縫ス亦婦人ノ業ニテ其製作共ニ甚タ簡易ナリ○成就ノ後ニハ、ミナ烘爐ニイレテ乾燥ス爐中ノ温度ハ「ハ」ノ氏ノ二百七十度「ゴム」ノ分子ヲ親和セシメテ其粘著ヲ防ク所ナリ子細ノ事ハ秘シテ告ス雨衣ノ價壹「ポンド」履ハ五「シルリング」以上ミナ差アリ各名ニ雨衣一領ツヽヲ贈レリ

○此場ト路ヲ挾ミ向ヒナル區域ニ一ノ「ゴム製造場アリ是ハ別社ノ所轄ナルヘシ此場ニテハ專ラ大小ノ椅紐釦（ボタン）等總テ硬質ノ「ゴム」ヲ製作スル所ナリ前場ニ比スレハ場屋ハ較（ヤヽ）小ナリ○凡ソ硬質ノ「ゴム」ヲ製スル法ハ「ゴム」十分五

ノ間ニ、硫黄花ヲ參列シテ「ロール」ニテ煉レハ、黒質ノ「ゴム」トナル、又亞鉛花ヲ參和スレハ、白質ノ「ゴム」トナル、兩質ヲ雜錯シテ、鼈甲樣ノ質ヲ製スルヿモアリ、黒白兩質トモニ、煉揉シテ膏藥ノ如クナラシメ、「ロール」ニテ、適宜ノ厚サニ展レハ薄ノ如シ、之ヲ紙幅ホドニ截リテ、平キ銅板、若クハ眞鍮ノ板ニテ、其薄狀ノ「ゴム」片ヲ挾ム、此トキニ「ゴム」ト銅板トノ際ヲ、表裏共ニ水ニテ濡シ、水ヲ帶ヒタルマヽニ挾ミテ、熱六百六十度ノ烘爐中ニイレテ、水分ヲ游離セシムレハ、堅質ノ「ゴム」板トナル、水ニ濡シオクハ、其質ノ早ク焦レ損スルヲ防ク所ナリ、○此「ゴム」板ヲ以テ櫛ヲ製スルニハ、是ヲ幅一寸餘ノ長片ニ截テ櫛齒ヲ截ル車ニカンル、此器械ハ、前ニ卓案アリ、案上ニ垂下セル鑿アリテ、其鑿ハ齒輪ノ次第ヲ逐テ、上下スル仕掛ヲナス、故ニ「ゴム」片ヲ櫛幅ニキリ、案上ニオキ、中央ヲ鑿ニテ、左斜右斜ト遞ニ穿チサレハ、最初ニハ濶齒ヲ存シ、而後ニハ疎齒ヲナシ、次ニ密齒ヲナシ、櫛ノ適度ノ長サニ至ルトキ、又濶齒ヲ存シ、一截シテ止ル、此機關ハ齒輪ノ轉亨ニヨリテ成ルモノナリ、因テ其「ゴム」片ヲトリテ、左右ニ引分レハ、介齒ノ尖リ、交互ニ錯リ、分レテ兩片ノ櫛ヲ得ル、一雙ノ櫛ヲ截

ツノ時間ハ、一分時間ヲ費サス、其櫛ヲ鑢ニテ毎歯ヲスリ、更ニ其尖リヲ圓滑ニナシ、棉布ノ小口ヲソロヘテ、軸巻シタル輪ヲ、機關ニテ轉回セシメ、櫛ヲ其棉軸ニ按シ磨ケハ、即チ光滑ナル櫛トナル、但シ密歯ノ櫛、或ハスキ櫛等ニ、歯ヲキル卜ハ、細小ナル鋸輪ヲ回シ、其鋸ニ「ゴム」ノ片ヲ觸レシメ、下ニ度ヲオキ、其度ヲ按シテ截リスヘシ、西洋ニ櫛ノ用多シ、婦人ノ髮ヲ飾ル櫛アリ、髮ヲ理スル梳アリ、理髮ノ梳ハ男女ヲ異ニス、髮ニカケル櫛アリ、或ハ髮ヲ束子、或ハ首飾ニ施ス櫛モアリ、其狀或ハ平、或ハ彎ミナ「ゴム」片ヲ以テ製ス、一片ノ價二三「ペンス」ヨリ以上、精粗ニヨリテ差アリ、

「ゴム」ノ紐釦ヲ製スルハ、銕型ニ温度ヲ加ヘテ、器械ニテ打出ス、冷固スル卜、其面白ラ光澤ヲ生ス、型ノ式様ハ種種アリ、其製シ出ス品類一ナラス、紐釦ヲ首トシテ、時辰儀ノ鏁モ製シ、婦人ノ髮飾リモ製シ、或ハ胸飾リアリ、或ハ耳環、腕環アリ、花紋ヲ刻ミ、唐草ヲ鏤ス、其製作ハ盡ク型ニテ打出ス、之ヲ編笊ニテ運ヒ、別室ニ送リ、其數ヲ閲シ、紙箱ニイレ、或ハ紙ニ挾ミテ運出ス、宛卜シテ丘山ノ如シ、凡ソ「ゴム」ニテ製セル諸粧飾ハ、殊ニ賤價ナルヲ以テ、貧民賤婦ニモ需

用トナリ、中人モ平常ノ衛リトナスヲ以テ、消費甚タ廣シ、職工ハ多ク婦人ヲ役ス、

○夫ヨリ南十英里餘ヲ走リ、「ワリフィールド村ノ抄紙場ニ赴ク、沿途ノ景ハ、青山郊野ヲ圍ミ、時ニ奇峰アリ、村樹ハ處處ニ綠ニシテ、時アリテハ坦途ニアヒ、時アリテハ岡隴ヲ上下シ、時アリテハ榛栗ノ並木アル路ヲ馳行ス、景象宛トシテ東京ノ近郡ニ行カ如シ○抄紙場ハ「エ、コーワン氏ノ會社ナリ、其宅ハ「ワリフヒルド村ニ至ラサル、一英里許ノ地ニアリ、此ハ「コーワン氏ノ所有地ト覺ヘ、一箇ノ深林鬱茂ノ際ニ、門徑ヲ開キ、通路ヨリ其家屋ニ至ルマテ、數町ノ平路ヲ開キ、四圍ハ森林ニテ、人烟ニ遠カリ、地ハ甚タ靜幽ニシテ、建築莊美ナリ、兄弟三人迎接シ、一家ノ妻女モ亦欵待シテ、共ニ晝餐ヲナス、接遇甚タ懇親ナリ、食畢リテ「スピーチ」ヲナス、「エ、コーワン氏ハ祖父ノ代ヨリ抄紙場ヲハシメ、今ニ三世其業ヲウケ、州ノ大姓タリ、曾テ議員ニ推擧セラレテ、巴力門(パーレメント)ニ於テ名望アカシ人ナリ、大抵巴力門ノ議員ニ出ル人ハ如此キ豪家多シ○食畢リテ後、主人親ラ導キ、其村中ナル製造場ニ至ル、村中ニ一川アリ、流レ頗ル急ナリ、其水力ヲ用ヒ、水車ヲ設

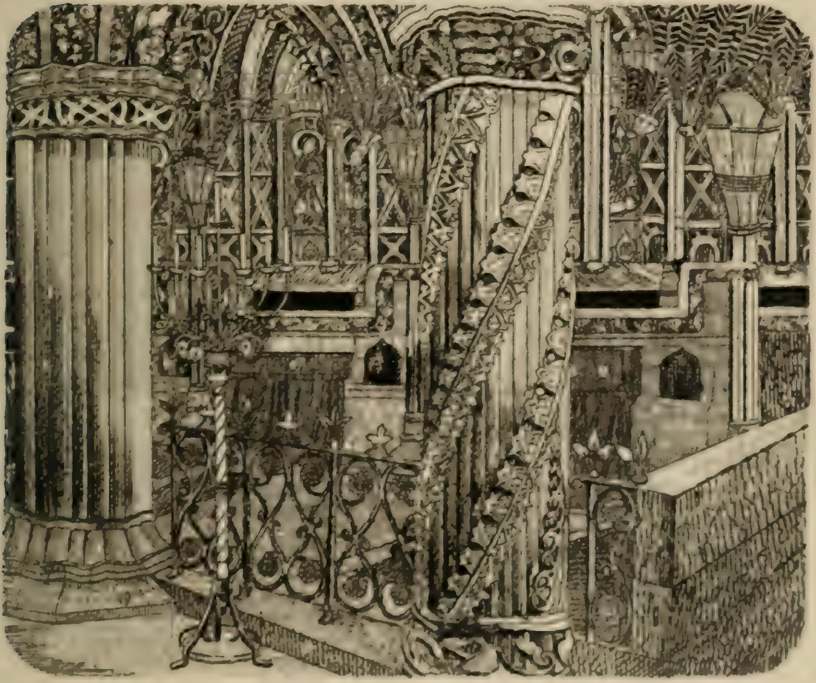
ケ、併テ漉車ヲ又エ、場屋ノ設ケ頗ル費大ナリ〇凡紙ヲ製スルニハ、都テ纖維アル草木ノ皮ミナ宜シ、多ク破布弊布ヲ買ヒ集メ、其料トナス、所謂ルボロ是ナリ、棉布、麻布ノ断片、襤褸、ミナ包束シ此場ニ輸入シ、先ツ其中ヨリ水ニ流レザル、染法ヲ施シタル布ヲ擇ミ出ス、水ニ流レザルトハ、俗ニ所謂ル洗フテモ、色ノ剝褪セサルヲイフ、西洋ノ染法ハ、前ニモ第二十九巻ニ論述セル如ク、媒助法ヲ密ニシタレハ、縞布花布ノ類モ、洗フテモ剝褪セス、我邦ノ染法ニ此術ナシ、故ニ濃染ノ布モ、藥水ヲ和シ煎シハ、乍チ剝脱ス、故ニ染布ニテハ、其價ヲ增サヽレに、抄紙ノボロトナリテハ、反テ便利ナルヲ以テ、西洋ノ人ハ、喜ンテ仕入ルヽナリ〇扨其ボロヲ圧釜ニイレ、水ニ曹達ヲ和シテ煮ル、曹達ハ脂膏ニ親和強キユヘ、以テ垢脂ノ汚ヲ去ル、既ニ熟爛スル後ニ、之ヲ水ニ漬シ、其爛布ヨリ又已ニ洒白ヲ經タル布ト、未タ洒白セサル布トヲ擇ミ分クル、先ニ擇出シタル、色ノ剝脱セサル布ト、後ニ擇出セル、未晒白ノ布トハ、別ニ其法ヲ施シ、之ヲ洒白ニスルナリ〇其後水盤ニイレテ、布質ヲ採蹦シ、兼テ冷水ニテ洗滌ス、此水盤ハ、木材ニ鉄箍ヲ施シタル平桶ヲ用ヒ、中央ニ仕切アリ、此仕切ノ板ヨリ

取付テ「ロール」ノ軸ヲ貫キ盤底ニ鐵板ヲシク此板ニ條ヲ刻リ「ロール」ハ其上ニ仕掛タリ之ヲ徐徐ト輪轉ス水ハ其力ニツレテ回リ流ルヽニヨリ「ボロ」モ亦回リ來テ輪下ニ至リ「ロール」ノ際ニ碎カレ前ニ含ミ出テ再ヒ回リ去テ又來ル此盤ニ藥水ヲ用ヒテ其質ヲ洒白シ又藥水ヲ洗ヒ去ル盤ニ送ル是ニハ水ヲカヘル仕掛アリ龍頭ヲ以テ新水ヲ送リ底ニ孔アリテ舊水ヲ出ス藥水ニ洒白劑（即チ滅色劑）ト滅臭劑トノ兩アリ水盤ヲ遞ニ移シテ洗淘ス化學ノ理ニヨルニ滅色劑ハ「コロライドライム」ヲ水ニ和シテ用フ普通ノ洒白劑ナリ滅臭劑ハ「コロライドソーダ」ヲ用フ此等ノ諸藥劑ハ西洋ニテ莫大ノ須用アルヲ以テ其價極メテ賤シ但シ「コロール」ハ其質ヲ殘留スレハ久シカラスシテ纖緯ヲ毀破スル性アリ是ハ亞硫酸水ニテ洗フト云滅色滅臭ノ際時時ニ水ヲ以テ洗ヒ且淘シ且剉ス數次ノ水盤ヲ經テ布ハミナ小纖維トナリ水面ニ漂フヲ搾リ取テ桶ニイレ或ハ藍靛洋紅ヲ傺シテ色紙ノ料トナス○是ヲ抄紙器械ニ上ス抄紙器械ノ大形ハ長大ナル織機ニ彷彿タリ幅ハ約五六尺許長サ三丈ニ及フヘシ（甲）ニ鐵筒アリ其一面ノ（乙）ニ廣キ箕形ノ口ヲ開キ、

紙料ヲ和セル水ヲ、徐徐流シ出ス、其次ノ〔丙〕ニ接シテ、木棉ノ環帶ヲ張ル、帶ノ兩端ハ、輪轉スヘキ筒ニテ張ル、帶ノ間ナル〔丁〕ニ、細織ナル銅線ヲ織タル紗布、其長サ一丈ニ及フモノヲ張リテ、環帶ヲウケ、下ニ方鑛盤アリテ、上ヨリ滴ル水ヲウケシム、輪筒轉スレハ、棉布ノ帶環繞シ、下ニ向ヒザル、環帶ノ後端〔戊〕ニ近ツキテ、鑛製ノ大「ロール」筒ヲ、交互ニオキ、其中ニ蒸氣ヲ送リテ、鑛面ヲ熱セシム、最尾ノ〔巳〕ニ輪轉ノ筒アリテ、「ロール」チ經テ來ル紙ヲ卷クナリ、扱〔甲〕ニアル抄紙ノ料ヲ盛タル鑛箱ニハ、中ニ銅製ノ「ロール」筒三角形ナルヲ包ミ、輪轉スヘカラシメ、「ボロ」ノ纖維ヲ水ニ和シ、銅筒ノ中ニイルレハ、銅筒ノ面ニ針樣大ノ長孔(ナガキアナ)ヲ無數ニ鑿リタルヲ以テ、ボロノ纖維ハ、其孔ヨリ水ニツレ流レ出テ、箱ノ中ニタノヤフヲ、輪轉ノ力ニテ、徐徐ト攪キ、前ナル口ヨリ流レ出ル此流レ出ル口ニハ〔乙〕ノ箕狀鑛盤ヲ安ンシ至テ平面ニシテ、箱ヨリ出ル水ヲ送リ〔丙〕ノ木棉環帶ニ上ル(ノボル)、此ニ一條ノ鑛線ヲ横ヘ、紙料ノ水ヲシテ、其際ヲ過テ、出シメ、以テ紙ノ厚薄ノ度ヲ定ム、箕狀ノ盤ト木棉トノ際ハ、高低均一ナリ、因テ其水ハ、木棉ノ環帶ニ均灑スレハ、環帶ノ軸トナリシ、兩輪ノ轉回ニヨリ、木

盤ハ紙料ノ水ヲ灑セ徐徐ニ前進シ此際ニ水ハ濾テ下ナルヿノ編銅ヲ滲テ出テ盤ニ滴リ木棉ニハ紙ノ料ノミ殘留シ編銅ノ盡ル比ハ棉布ノ上ニ已ニ紙ヲナセリ棉布ノ末端ニ至リ其紙ノ端ヲ靜ニ離シテ茂ナル「ロール」第一ノ輪木ニ傳着スレハ「ロール」ノ轉スルニ從ヒテ紙ハ木棉ヲ離レ木棉ハ底ヘマハリテ首ナル箕狀盤ノ處ニ上リ出テ紙ハ遞互ニ「ロール」ノ際ヲ過キ其熱ニヲ水ヲ游離シテ次第ニ乾キ後端已ニノ軸ニ及フ片ハ一條ノ無膠紙トナリタリ此一軸續續ト卷取ル紙ノ長サハ三英里ノ餘ニモ及ハシムルニ足ルヘシト云〇軸ニ卷取タル紙ヲ再ヒ膠ヲ塗ル器械ニカクル此器械ハ大ナル鐵ノ方盤ニ膠水ヲ盛リ微温ヲ加ヘテ冷凝ヲ防キ紙ヲシテ其下ヲクグリ出テ前ナル輪ヲ傳ヘテ羽車ノ上ニ至ラシム羽車ノ外面ハ框木ノ如シ其中心ニ羽車ヲ振轉ス此框木ヲ上下交互スルヿ凡ソ六十餘輪ヲ傳ヘシメ風ヲ皷シテ紙ヲ扇揚スレハ紙面ヲ濕セシ水ハ蒸散シテ輪ヲ終ルトキハ已ニ乾燥セリ若シ膠ヲ火或ハ蒸氣ニテ乾燥スルトキハ色ヲ變シ紙ノ質ヲ黑クスル豈アリ〇トナン〇紙已ニ乾ク因テ之ヲ「ロール」輪ニ挾ミテ轉シ出テ其面ヲ平滑ナ

壹丁堡近在ノ「ロースリン寺



同内景

ラシメ更ニ「ロール」仕掛ノ鋏ヲ以テ輪轉ノ柏子ニ之ヲ截ツ一幅ノ紙三幅ノ紙トナリ適宜ニキレテ前ニ落ツ一童子ヲシテ之ヲ重子シメ再ヒ平滑ナル銅板ニ挾ミ重壓ヲ加ヘテ其面ヲ展ヘ更ニ又薄キ銅板ヲ以テ一枚ツヽ挾ミ重子テ蒸氣力ニテ强壓スレハ更ニ光澤ヲ生ス

此抄紙場ハ岡ヲ負ヒ水ヲ帶ヒ場内ノ區域頗ル廣シ岡上ニハ曾テ「セバステホール」露國戰爭ノトキ俘囚ヲオキタルトテ今ニ其遺跡アリ岡上ニ一二ノ別墅アリ村ハ人口千餘モアリヌヘシ田舍ニテ都雅ナリ

○歸路ニ一ノ古寺ニ至ル一千四百四十六年ニ勞爾德「ロストン」氏ノ建立セル寺ナリ寺ハ甚タ壯大ナラサレトモ建築ニ精工ヲ盡セリ堂ノ正面ニ白大理石ヲ以テ滿面彫刻ヲ施セル柱一對アリ此柱ヲ彫刻セシ石工柱ヲ成就シテ建ントセシニ其術ヲ知ラス以太利(イタリー)國ニ赴キ其法ヲ學ヒタリ主人ノ留守ニ家僕日日柱ヲ熟視シ工夫ヲ回シ遂ニ其法ヲ考ヘ出シ寺主ニ乞フテ建タリケリ主人年ヲ經テ以太利ヨリ傳授シ歸リシニハヤ堂ハ建チタルヲミテ大ニ驚キ其故ヲ聞キ僕ノ匠心ヲ妬ミテ之ヲ殺セリトカヽル因緣アルヲ以テ

此寺ノ名ハ世ニ音高シ寺○ノ○左○ニ○ハ○勞德(ロート)ロストン氏ノ古城アリ隱森タル樹木ノ内ニ石壘依然トシテ現存ス壘前ノ乾壕(カラホリ)ハ草蕪ヲ生シ刎橋(ハチハシ)ノ設ケ猶存ス寺○ノ○右○ハ○谷ニ臨ミ底ニ深林アリ水聲時ニ聞ユ折シモ秋葉ノコロニテ殊ニ景色多シ谷ヲ下リ林ヲ分ッテ入レハ徑路一條アリ水ニ沿ヒテ去ル前岸ハ岩石聳ヘ立テ水ソノ間ニ落チ潺湲トシテ咽ヒサル英○蘇○ノ○水○ハ○其○色○玄○ニ○シテ清冷ノ致ナシト雖モ此ニ入レハ靜幽ノ韻アリ時ニ薄暮ニテ雲陰返照ヲ漏シ風度リ聲ヲナサス時ニ墜葉ヲキク一鳥不レ鳴山更幽ノ境概ヲ覺ヘ彷徨須臾ニシテ車ニ上リ北ニ歸ル

十四日

八時半ヨリ蒸氣車ニテ當府ノ東部ナル「グレントン」ニ赴ク此ニ「ノーズロン、ライト、コムミッショ子ルス官員ヨリ北方燈臺官 其所轄ノ「ファロ號ノ蒸氣船ヲ用意シテ待ッ即チ其船ヘ乘移リ第九時ヨリ港ヲ出船ス時ニ天モ亦次第ニ晴レクリ船中ニテ朝食ヲナシテ東ヘ乘リ出ス此海ハ即チ「フオース灣トテ北洋ニ向ヒタル海口ニシテ豆丁堡(エヂンボルク)ノ北ヲ浸シテ漸ク狹ク「チ、ッ河ノ水此ニ注流ス

「グレントン」ヨリ東ヘ乗出ル四十英里ニテ「ベルロック」ノ燈臺ニ達ス此ハ地方ヲ離ル丶十一英里ノ海中ニアリテ高名ナル建築ナリ一千八百十一年「スチーカント氏之ヲ建テ起シ五年ノ久シキヲ經テ成就セリ〇此所ハ海底ニ岩石アリテ基礎ヲ定著スルニ難カリシ「スチーガント氏水底ニ道ヲ築キテ石材ヲ運シ岩石ノ屈曲折角ヲ按シ石ヲ刻ミテ其隙ニ挾ミ之ヲ根基トシテ石ヲ緊接シ積ミアケタリ其石材ハ各種ノ形ニ削リ磬形アリ枠形アリ彼是互ニ相交錯維持セシメタルヲ以テ根底牢固ニシテ動カス築造ノ𪜈ハ入水鐘ニテ職人ヲ海底ニ送リ工ヲ施サシメ燈臺ノ基ハ海底ニ入ルヿ四十二尺皆花剛石（グラレット）ノ材ヲ以テ築キアケ水面ヨリ上ハ白泥ヲ以テ築ク點燈ノ樓ハ水上ヲ出ルヿ高サ百十尺ニアリ其形ハ長圓柱ニテ根基ヲ大ニシ漸クニ殺シテ上層ニ至リ稍又豐ナリ窮理家ノ所謂ル天ノ巨木ヲ生スル上下大ニシテ中ヤ丶殺小ナル理ヲ用ヒ其耐久ヲハカレルナリ頂上ニ燈臺ヲスヱ回欄アリ丶其圓經十五尺此燈臺ノ經費ハ六萬千三百三十〇磅三十〇萬六千六百五十弗ヲ用ヒタリ此頃マテハ英蘇ノ地職人ノ工料尚廉ニシテ一人ノ日給二「シルリング」半ヨ

リ、三「シルリング」半ニ過キサリキ、今日ニテ其費用ヲ算スルニ、假リニ當時ノ給料ニテ職人ヲ傭フト雖モ、右ノ金數ニテハ建ルヿ難シ、如何トナレハ、獨リ傭直ノ騰貴セルノミナラス、亦鏡價モ甚タ騰貴シタレハナリ、燈臺官話ニ日六十年間ノ變遷ヲ徵スルニ足ル、○此燈臺ノ建築巳ニ高名ナリ、而テ之ヲ守ル北方燈臺寮ノ官僚、ソノ用心ノ至レルヿ、亦國中ニ稱セラレタリ、此燈臺ヲ守ルモノ四十五人アリ、其勤休ノ則ハ、八周日ニ、六周ハ臺ニアリ、二周ハ暇日ニテ、交番ニ上陸ス、官長「セリフウオール」「プオルチス」「ロード、フロウォーストロー」等、スヘテ五人、此日船ヲ同クシテ案内ヲナセリ、汐時アシクシテ、燈臺ニ上ルヲ得スシテ、岸ヲ離レ、船ニテ晝食ヲナス、

○夫ヨリ又「メイル島」ノ燈臺ニ至ル、此ハ海灣ノ口ナル、一小島ニテ東ハ汪洋タル北洋ニ望ミ、三面地方ヲ離レテ、最モ遠キ海心ニアリ、此燈臺ノ建築、亦美ナリ、燈臺ノ官員、此上ニスエタル、三稜玻瓈製ノ燈ヲサシテ曰ク、是ヲ「ダイオフトリックエッパラトス」ト名ツク、其中ニ點スル所ノ燈火、外圍ナル三稜玻瓈ニ反射シ、其光ヲ散シテ、遠ク二十里ノ外ニ達ス、燈中ニ機關アリテ、遠近ノ度ヲ差

次ス、若シ其光力ヲ極メルニハ、地面ヲ平面トナシテ、一百五十英里ノ外ヨリ望ムモ、燈光ヲ認ムヘキ力アリ、其價二千磅弗一萬之ヲ造ルモノハ英佛兩國ニ只三ケ所アルノミト、英ノ燈臺師ハ即チ「バーミンハム」ノ「チヤンセ」是ナリ後ニ詳カナリ此燈臺ヲ齎セルモノ三人アリ、黄昏ニ火ヲ點シテ、平旦ニ遠ス、齎人ハ常ニ臺中ヲ家トス、其給料ハ點燈、及ヒ燈臺ニカヽル經費ヲ除キテ、年年百磅ヲ給ス、年中ニ只三日ノ暇ヲ得テ上陸スルノミ、平常ハ島内ヲ拂除シテ、輝ニ一點ノ芥ナク、路ニ一箇ノ汚ナシ、一行此臺中ノ螺旋階ヲ上リ、四望シテ而テ後ニ去ル、

是ヨリ船ニ上リ輪ヲ回シ、船中ニテ晩餐ヲナシ、三食ミナ燈臺官員ノ享應ナリ、「フオールチース」氏祝盃ヲ擧テ「スピーチ」ヲ演ス、大使及ビ「パークス」氏ノ答演アリ、港口ニ入リ「グラントン」ニ至ルトキ、巳ニ八時半ナリ、歸館ハ九時ヲ過タリ、

第三十二巻　ハイランド山水ノ記

歐羅巴洲中ニ於テ、山水ノ勝ニ名アル地三アリ、一ニ瑞士、二ニ以太利、三ニ蘇格蘭ナリ、西洋ノ人ハ遊歩ヲ好ミ、山水ヲ愛シ、路ヲマケ險ヲ越エテモ、遠ク尋訪スルヲ厭ハス、蘇格蘭ノ人、他方ニ遊ヘハ、故園ノ山水ヲ思ヒ出シ、悵然トシテ歸心ヲ發シ、身ヲ終ルマテ、去テ他郷ニスム能ハスト、人ノ故土ヲ思フハ常ナリ、蘇人殊ニ甚タシ、豈山水ノ靈、人ニ結縁ヲナスノ深キカ、抑其民ノ性情純朴ナルカ、倫敦ヲ發シテ以來ハ、日ニ車泥馬塵ノ中ヲ奔走シ、煤烟鐵臭ノ際ヲ徘徊シ、英倫ノ平原、蘇格ノ岡坂、ミナ一望索然ナリ、壹丁堡ノ山ハ、秀麗ナリト雖モ、蘇地山水ノ美ハ、是ニトヽマラス、「パークス」氏、大使ヲ勸メテ、「ハイランド」ノ山水ヲ探ラントテ、同行スヘテ七人ニテ、十五日ノ朝八時ニ、壹丁堡ヨリ、蒸氣車ニテ西北ニ赴ク、「ハイランド」ハ、高地ノ義ナリ、

九月十五日晴

壹丁堡ノ驛ヲ發シ、「フォーツ」灣海ヲ右ニミテ、左ニ古城アリ、此邊ノ地勢ハ、稍平

行ナリ、七十五英里ヲ走リ、十時半ニ「プユーツ驛ニ達ス、此驛ハ「テイ河ノ水、「テイ灣ニ注ク處ニテ、鐵軌線四達ノ地ナリ、灣海ノ下流ニ於テ「ヅンデー府アリ、蘇部第三ノ都會ナリ、「ヅンデー」ト、哥羅斯哥、壹丁堡ト、三都會ヨリ、往來ノ滊車ヲ、此驛ニ集ムレハ、其混雜常ニ甚タシ、此ニ停車スル一時ニテ北發ス、蘇格蘭山水ノ奇ハ、此ヨリ始ル、◯「プユーツ驛ヨリ進行スレハ、前面ノ山林叢茂シ、中ニ綠松ヲ錯ヘテ、秋樹黃葉ノ中ニ點綴シタルハ、青綠顏石ヲ以テ、米點ノ山ヲ畫クカ如シ、始メテ水聲ノ潺湲トシテ流レ來ルヲ聞ク、滊車ハ谿谷ヲ分ツテ走ル、兩側ノ峰容、奇峻ミルヘシト雖ト、滊吼ヘ車響キ、暫視ノ際ニ、峯ハ已ニ背後ニアリ、滊車ニテ佳山水ノ間ヲ走ルハ、殊ニ殺風景ナリ、是ヨリ谿間ヲ走リ、隧道ヲ出テ、一時半ニ「アッツォル驛ニ至リ、車ヲ下リ「アッツォル、ホテル」ニ休ス、「アッツォル村ハ、人家只五六戸アルノミ、皆蕭然タル矮舍ナレトモ「ホテル」ハ、頗ル美屋ニテ清潔ナリ、食ニ鹿肉ヲ供ス、此邊ノ嘉味ナリ、是ヨリ歩行シテ「ホルル」前ノ「アッツォル王克ノ莊園ヲ訪フ、莊園ノ前ニ門アリ、鐵柵ノ戸ヲ鎖シ、石屋ノ番屋アリ、電線ヲ架スレハ、守門ノ老叟出テ、門ヲ開キ入ラシム、門内ハ至平

ノ草苑ニテ一條ノ直道ヲ開ク、廣濶ニテ長サ二百間モアリヌヘシ、左右ニ樹ヲウヱ、枝ヲ交ヘテ繁茂シ、路ニ墜葉ヲシク、履ニ索索ノ聲アリ、路窮リ岡アリ、一輭艸芊芊トシテ青氈ヲシク、右谿ニ水聲ノ玉ヲ戞スルヲ聞ク、谿ニ臨ミテ亭亮ノ館アリ、總白石ヲ以テ築キ起ス、其前ハ奇嶂數頭、水岸ヨリ起リ、山ミナ綠樹ヲ生ス、落日之ヲ射テ晩靄ヲ拖キ、殊ニ窈渺ノ致アリ、是ヨリ老叟導キテ、園中ノ瀑布ヲミセントテ、右方ナル輭艸ヲ踏ミ去レハ、一ノ老樹陰森ノ處ニ至ル、此ニ溪流アリ、一條ノ水、其前岸ヨリ落ル、是ハ前岡ヨリ流レ來ル水ヲ引テ、此ニ瀉カシメル、人造ノ瀑布ナリ、谿底ミナ石ニテ、水源溪トシテ咽ヒ、水ニソヒ路アリ、老樹枝ヲ交ヘテ陰森タリ、地モ亦平ナラス、步シテ苑ヲ出レハ、一ノ鞦韆橋アリ、溪流此ニ合流シ、大川トナリ流レ去ル、河岸ニ松樹ヲ並ヘウヱ、奇峰前ヲ環リ野村疎疎、頗ル一佳境ナリ、「アッツォル」村ハ、北緯五十六度五十分、西經四度ノ地ニアリ、此行蘇部ヲ回リ、北ニ入ルハ此ヲ極トス、

○夾ヨリ馬車ヲ僦ヒ、鞦韆橋ヲ越エテ、東南ニ馳ス、山村ノ馬車ハ、都府ノ美ニ似ス、一行七八、屆ヲ共ニシ、上ニ蓋覆ナシ、踞テ圓望ニヨロシ、山路蕭然トシテ、河

水ハ路右ヲ流ル、水淸クシテ淺洲ヲ洗フ、此河水ニ多ク鮭魚ヲ育ス、大サ數尺
ニ及フト、下流ハ東南「テイ河ニ合シ「テイ灣ニ注クトナリ、山間ノ路ハ濶ナラ
サレトモ、猶三車ヲ並フヘシ、人步車走ヲ別タサレトモ、其修繕ハ甚タ坦平ニテ、
山勢高低ノ多キモ、車輪ヲ澁滯スルコト少シ、西洋ノ民ハ、道路ヲ脩ムルコトノ
生理ニ緊要ナルヲシル、山僻ト雖トモ、亦善ク修繕スル此ノ如シ、路ヲ挾ミ樹ヲ
ウエ、其樹ハ櫟栗橡楡ノ類ナリ、各株ノ距離齊列ナラス、都府ノ街樹ニ似ス、却
テ野味アリ、山林內三戶、處處ニアリ、多クハ磚瓦ヲ壁トシ、石片ヲ以テ上宇ヲ
葺ク、又茅宇モアリ、一二ノ小窓ヲ開キ、戶ハ猶玻瓈ヲ闔ス、此路傍ニ鐵道アリ、
即チ來時ノ道ナリ、乍チ一連ノ蒸氣車、滊笛ヲ吹テ「アッツォル村ヨリ來リ、忽然
前谷ニ去リテ、其跡ヲ失フ、蓋シ隧道ニ入リタルナリ、跡ハ一抹ノ煤烟ヲアマ
シ、重疊ノ山腰ニ拖キ、徐クシテ散ス、已ニシテ晚靄蒼然トシテ、日光ヲ峰隙ヨ
リ漏ラスハ、夕陽無限好キ風致アリ、◯是ヨリ尙山間ヲ馳行ス、此邊ノ山原ハ
ミナ豪家ノ私有ニテ、廣平ノ新路ヲ開キ、以テ車行ヲ便ニシ、且探奇ノ路ヲ利
ス、故ニ勝境幽地ニ至ルニハ、其路ニ必ス門關アリテ、路錢一二「ペンス」ヲ收ム、

雲烟ヲ買フ其價モ亦廉ナリ「アッツォル」ヨリ東南五英里ノ山路ヲ經テ「ヤリカムケル」ノ溪ニ至ル此溪ハ奇嶂前ニソヒヘ河溪ハ其麓ヲ流レ路ハミナ山ヲ負テ行ク前岸後岸ミナ森林鬱然トシテ溪水ヲ蔭シ秋葉已ニ老ヒ翠色半ハ枯レ黄ヲナシ老黄ヲナシ中ニ綠松鳳尾松ヲ錯ヘ毎樹ノ葉色同シカラス亦五彩ノ點皆ニ似タリ路ハ溪水ヨリ高サ丈餘ノ上ヲユク時ニ瀬聲ノ秋葉ノ間ニ喧シキヲ聞ク即チ徑ヲ拾ヒ落葉ヲ分ケテ溪水ニ近ケハ岩石磊磈トシテ跳立スルアリ傾仄セルアリ或ハ横或ハ縱水ハ其間ヲ飛灑シ處處ニ瀑ヲナシ黄葉ノ林ニ響ク跳霧冷冷トシテ衣ヲ浸サントス時ニ返照峰ニ隱レ烟霞ハ紫色ヲナシ半巓ヲ射ル山陰ノ霞ハ已ニ蒼茫トシテ暝ニ赴ク山ヲ仰キ水ニ伏シ低回スル久クシテ前行スレハ一ノ石橋ニ逢フ山谿僻ナリト雖ヒ橋ノ建築ハ奇古ナリ西洋ノ山水ハ橋ヲ以テ勝ヲマスコ多シ橋下ノ水ハ其色玄黑ニシテ深キヲ覺フ前岸後岸ミナ黄葉掩映シテ奇峰ノ頂ヲ露ス橋上ノ眺メ亦奇絶ナリ禹貢ニ黑水ノ名アリ嘗テ以謂ク水ハミナ藍青ナランノミト今歐米ヲ回ルニ英地ノ水ハ玄黑ナリ瑞西ノ水ハ鴨綠ナリ瑞典ノ水ハ

深青ナリ水色ノ地ニヨッテ異ナル此類ナリ故ニ旅遊ニ老タルモノハ地圖ノ天空ヲミテ某國ノ景ナルヲ知リ山ノ皺皴ヲミテ某地ノ山ナルヲ知ル譯トニ天ノ各地ヲ造ル到ル處ニ異工ヲ運ラス其奇變百出シ端倪スヘカラス、

○馬車ハ橋下ニ來リマツ即チ車ニ上リテ南スレハ秋葉道ヲ埋メテ往ク所ニ景趣アリ往往ニ峯巒ノ奇ヲミル大家ノ別墅アリ或ハ河ニ臨ミ或ハ山ニ面ス鷄犬ノ鳴キ奇禽ノ遊フヲミル英國ノ民其富メルモノハ繁華奢侈ヲ都府ニ競ヒ幽趣雅淡ヲ山園ニ樂ム人生ノ快樂ヲ擅ニスルト謂フヘシ夫此靜中ノ工夫ヨリ起リテ躁中ノ發明アリ躁中ノ情ヲシラサレハ靜中ノ智ヲ發スルニヨシナシ野村山郭ニ遊ヘハ西洋ノ面目頓ニ改ル都會ニ遊フモノ此境ヲ經スシテ西洋ヲ說クハ一斑ヲ以テ全豹ヲ說クノ類ナリ○數英里行ニテ、「ピトロクリー」ノ驛ニ達ス時ニ正ニ五時ナリ日ハ「キリカムケル」ノ山ニ沈ミ、暮烟暝シテ星光點點タリ天清ク野曠ニシテ涼風ノ肌ヲ侵スハ都府ノ陰濛濛濛タル氣色ニ非ス多日ノ紅塵ヲ一掃シテ頓ニ潔キヲ覺フ驛傍ニテ車ヲ待コト半時許ニテ滊車ニ至ル即チ上テ南走スル十英里許「ドンケル村驛ニ

達シ「バーナム、ホテル」ニ投宿ス、○「バーナム」村ハ「テイ」河ノ北ニアリ、此河ハ蘇格ノ中部ヲ流ル、大河ニテ、其幅五十間モアルヘシ「テー」湖ヲ源トシテ、四十餘英里ヲ流レ「テー」灣ニ入ル「バーナム」ノ邊マテハ、水清ク流疾ク、時ニ佩玉ノ音アリ「バーナム」ノ村家ハ、河南ニ一二ノ村街アリテ、百貨ヲ肆賣ス、此邊ハ青山メクリ、區區ノ小原ヲ抱キ、ミナ勝致アリ「ホテル」ハ甚タ大ナラス、石造ニ木材ヲ以テ文ヲナス、村寺ニ似タリ、此夜同宿ノ男女七八名ト同案ニテ食ス、蘇部高地（ハイランド）ノ民ハ、其俗朴魯ニテ、交際ノ儀モ亦慇ナリ、山村ノ遊ハ、軒冕ノ氣ヲ忘レテ、反テ一味ノ眞趣、嘉（ヨミ）スヘキヲ覺フ、

十六日陰

平明ニ起キ、八時ニ朝食ヲ辨ス、此晨ハ、村舍ノ檐ニ、霜花ヲミル、紅暾ウラヽカニ上リテ、氣色清シ、此時ハ、我寒露ノ中候ナルニ、已ニ十月ノ氣象ヲナス、須臾ニシテ、山靄陰ヲ釀シ、朝食ノ間ニ、雲陰空ヲ鎖ス、九時ヨリ馬車ヲ備ヒテ、近村ヲ徘徊セントテ「テイ」河橋ヲ超エ「アッツォル」丟克ノ別園ニ至ル、園ハ石ノ矮垣ヲ匝シ、石門鐵關アリ、中ニ廣キ、卿苑ヲ開キ、小坡ヲ起ス、歩シテ進メハ、左ニ一丘

アリ、削リテ圓基ニ方丘ヲナサシメ、丘上ニ砲十餘門ヲ備ヘ、全丘ニ草ヲウエ觀美トス、丘前ヨリ右ヲ望メハ、草原漠トシテ前巒ニ達シ、古戰場ノ概アリ、更ニ前行スレハ、一古寺アリ、半ハ完ク半ハ頽ル、寺中ニ「ゼバステホール」ノ戰狀ヲ雕セル石面アリ、「アッツォル」丟克ノ苦戰ヲ圖セルモノニテ、有名ノ雕刻ナリ、其前ニ説經堂アリ、背ニ出レハ、廢壁兀立ス、此ハ今ヲサル七百年前ニ、アッツォル氏私立ノ寺ナリ、石壁ノ處處ニ彫刻アリ、雨ニ蝕シ蔦ニ蔓レテ、古色蒼然タリ、寺ヲ出レハ巨木陰ヲ交ヘテ茂ルモノ二三根アリ、ミナ鬱葱タル古木ナリ、中ニ鳳尾松ノ一株ハ、一千七百三十八年ニ、瑞西(スイス)國ノ山中ヨリ、始メテ此地ニ移シ栽タルモノニテ、蘇部ノ山ニ、此樹ヲ種エタル濫觴(ハジマリ)ナリト、今ハ鳳尾松ヲ滿山ニウエ、瑞西ノ景勝ヲナセリ、

丟克ノ園ヲ出テ、車ヲ回シテ、「又」テイ河橋ヲ越エ、北スレハ山原荒寥トシテ、八家兩三戸アリ、此處ノ圃畦ニ、無數ノ鳳尾松苗ヲ作ル、滿山ノ松モ、ミナ如此クニ苗植ヲナシタルモノナリ、

米歐ノ地ヲ回ルニ、山林ニ松樹多シ、大抵黒松、落葉松、鳳尾松ノ三種ニテ、幹

木直立スルコ、杉樹ノ如シ、曾テ大枝ヲ生シテ、屈曲輪囲セルヲミルナシ、松杉ノ類ハ、西洋ニテ之ヲ針葉樹ト名ツク、其葉ノ狀、針ニ似タレハナリ、即チ松、杉、檜、樅、樺等ノ云、此樹ハ繁殖力ナク、陰地ヲ好ム、故ニ北部高緯度ノ地ニモ殖ス、陰寒ノ地ハ土凍リテ地墳起シ、春融ノ後ニ、樹根動搖シ、僵レ易キヲ以テ、樹林ニ落タル實ハ、苗ヲ生スルコ少シ、故ニ必ス苗ヲ作リ、稚樹ヲナサシメ、二年乃至三年ニテ植ルヲ法トス、針葉樹ノ質ハ、年輪著シク、彈力強ク、屈曲スヘカラサレモ、反衝重壓ニタヘ、叉輪軸トナシ轉振ニ耐ヘ、打裂シ易キヲ以テ、桶樽ヲ製スヘク、多脂ニシテ「テール」ヲ製スヘシ、其利用甚タ多ケレハ、近年歐洲各國ニ、針葉樹ヲ培植シテ、大ニ喬林ヲ作ルト云、

夫ヨリ山路迂回ニ環繞シ、峰巒高低一ナラス、容ヲカヘ面ヲ改メ、車ニソフテ送迎ス、北ニ雪ヲ帶ヒタル峰頂ヲミル「ベン、マクトー」山ナリ、直立僅ニ四千三百尺ノ蘇地第二ナリト云、叉關門アリ、路錢ヲ投シテ行ケハ、黄葉ノ林叢ニ入ル、之ヲ「ロンプリン」ノ溪ト云、車ヲステ、叢ヲ拾ヒ、水聲ヲタヨリテ林ヲ下レハ、一ノ溪上ニ至ル、是ヲ「ロンプリン」ノ瀑布トス、水勢大ナラサレトモ、石ノ奇狀

變幻百出ス、蹊ノ底ハミナ岩石ナリ、嶙嶸磊磈トシテ、各奇狀ヲナシ、水流ヲ塞ク、水ハ其間ヲ縈リ流レ、碎ケテ百派トナリ、咽フアリ、落ルアリ、跳ルアリ、盤渦シアリ、多少ノ回折ヲ極メテ、乍チ壁立スル丈餘ノ岩上ニ至リテ、水一噴シ瀉落ス、石壁ノ怪險ナル、加フルニ水響ノ猛ナルヲ以テス、人ヲシテ悚然タラシム、皆共ニ石ヲ傳ヘ下リ、瀑布ノ上ニ立チ、俯瞰スレハ、水底ハ潭トナリテ、岩壁ノ下ニ瀦ヘテ、玄黒ナルヿ岩ト一色ナリ、其下流ニ當リ、壁立ノ巨岩アリ、高サ三丈餘、中央ニ裂拆アリ、水ハ其隙ヲ洞シテ流レサル、此瀑ノ奇ハ、岩石ヲ以テ、水狀ヲ變化ス、嵩ケモ成サル勝境ナリ、

○「ロンブリン」ノ勝已ニ了リ、馬車ヲ回シ「ドンケル驛ヨリ、滊車ニ上リ、西ニ走ルヿ十六英里、「アルブェルデン」ノ驛ニ至リ、又馬車ヲ僦フ、山中東ニ之ミ、同行一車ヲ共ニシ、「テイ河ニ沿テ西ニス、此路ハ「ゼ子ラール某、私開ノ路ニテ、平坦ニシテ且廣シ、右側ニ樹ヲウヱ、左ハ山岡ヲ負フ、落葉輪ニ礙リテ、鎮鐵ノ聲アリ、樹間ヨリ河流ヲミル、河北ハ平原ノ牧地ニテ、牛羊遊息ス、路南ハ岡ニテ、草木蕃蔚タリ、時ニ遊鹿ヲミル、此邊ハ鹿ノ名所ナリ、○蜘玻ノ中ニ石盤ヲスヘ、周圍

ニ天然石ヲ環繞シタルヲミル、「アレキサンドル」氏曰ク、是ハ二千年前ノ遺壇ナリ、蘇地ノ古ヘ、夷民ニ一種ノ教アリ、天日ヲ拜ス、是ハ其拜日ノ壇ナリ、今時博古ノ士アリ、此時代ノ事ヲ稽ヘ、今ハ粗端緒ニツケリ、然レモ其年代ハ、未タ確徵ヲ得スト云、

大英國志ニ載ス、英地有奇異古蹟數所、非民居非宮寢、無棟宇牆壁、惟巨石環築絶而不續、四圍如環、環有數重、壘石高一二丈不等、此殆古教中祭壇蹟、亦見于印度波斯トアル是ナリ、但彼ハ其大ナルモノ、此ハ其小ナルモノナリ、國ニ史學盛ンナルハ、遼乎タル數千歳ノ前モ、亦追テ之ヲ證明スルモノアリ、些細ノ奇蹟異器モ亦愛重ス、文明ノ德澤ナリ、

（ ）路窮リ、鐵柵ノ門アルニアフ、是ヲ「カンムェル」亞爾莊園ノ後門トス、園中ノ樹木陰森タリ、午後一時ニ「カンムェル」村ニ達シ、「ホテル」ニテ晝食ス、此村ハ「テイ」湖ノ尾ニテ、山ニヨリ湖ニ背ク、人家六七戸アリ、「カンムェル」亞爾ノ莊園ハ、村ニ面シ正門ヲ開ク、未タ村ニ達セサル前ニ、林間ヨリ開ケル柵門ヲ叩ケハ、小婢出迎フ、園林ノ中ニ入レハ、古キ胸壁アリ、砲眼ヲ開キ、數砲ヲ備ヘテ、谷ニ向フ、砲ハ、

ミナ錆朽シテ用ヲナサス蓋舊蹟ヲ存スルナリ胸壁ノ前ハ自然斜ノ谷ニテ恢然タル平原ニ向フ前峰數脈其容温温タリ滿谷ノ樹ハ秋ヲ凝シ黄緑ノ斑點ヲナス西ニハ湖上ノ山烟水ヲ抱キ重疊セルヲ望ム又勝境ナリ「カンムュル亞爾ノ館ハ谷底ニミユ「テイ河ニヨリ石屋堅牢ニシテ儼タル城壘ノ如シ、

○「カンニル家ハ「丸」アルゲール州ノ全土ヲ擁シ蘇部ノ強族タリ後ニ家ヲ數門ニ分チ土地ヲ分轄シ甚タ勢力アリシ今ニモ「カンムュル亞爾ハ此「ベーチュ郡中ニ所有ノ土地甚タ廣シ「テイ湖兩岸ノ山原ミナ其所領ニシテ此邊ノ領地ヨリ收ムル一歳ノ地代八萬「ポンド」其他ノ所有地代ヲ合スレハ二十萬磅ニ及フ大姓ナリ「テイ湖ノ兩岸ハ大抵荒山多ク牧地少シ然トモ荒山ヨリ夥多キ税ヲ收ム蓋シ獵場ノ税ナリ此邊已ニ鹿ノ名所ニテ亦禽鳥多ク或ハ人ニ獵セシメテ税ヲ收メ其中ニテ良獵場ハ親ラ遊獵ノ地トス冬ハ倫敦ニ出テ、議院ニ出席シ國務ニ盡力シ夏ハ山ニ歸リテ遊獵ス寒ニハ南シ暑ニハ北ニス英蘇ノ貴族ハ其富且逸ナルコ國王ノ上ニ出ルモノ多シ猶議院ニ勞ヲ厭ハス英國ノ人上下ミナ其國ヲ愛シ法ヲ重ンスルノ風マタ嘉尙スヘシ、

○山路馬疲ル、此村ニテ車ヲ乘換テ西ニシ「テイ湖ノ北ヲ走ル、湖ノ長サハ十五英里モアルヘシ、幅ハ甚タ濶ナラス、最濶ノ所、一英里許、此日薄陰ニテ風ナシ、一碧澂灔トシテ微烟ヲ拖ク、湖南ノ山状ハ崩レルカ如ク、脈ヲ湖ニ派シテ屈垂シ、湖濱ニ鋸齒ヲナス、箇箇ニ林樹アリ、落落トシテ村家アリ、牧地ノ草ハ、青氈ヲ展ヘ、半腹ヨリ以上ハ、荒草毳ヲ布ク、烟霧ノ峰峰ニ帶ヒタルハ、淡墨ニテ皴法ヲ拂ヘルニ彷彿タリ、湖濱ノ路ハ、漫ニ上リ漫ニ下リ、車ヲ碍ヘス、西洋ノ人ハ道ヲ開クニ、車行馬走ヲ主トス、故ニ深山ノ中モ、坦路ヲ通セリ、馬塞溢ナルヲ以テ、車ヲ下リ歩行スルコ數英里、路傍ノ村舍ハ、磚壁茅宇或ハ石ヲ積ミ、泥ヲ封シテ壁トス、又ハ泥炭ヲ燒キ薪炭ニカフ、湖北ノ山モ亦重重相疊マリ、村民其麓ヲ劃シテ羊ヲ放ツ、羊ハ高地ニ適ス、蘇地ニ牧羊富ム、羊ニ數種アリ、臂ニ半月形ノ赤毛ヲ生スルモノ、頭ニ螺旋ノ角アルモノ、皆良種ナリ、山ノ半腹ヨリ以上ハ、薇葉枯萎シテ、滿面荒蕪ス、山ニ奇容ナシ、高峰アリ「ベン、ロールス」ト云、高サ海面ヲ拔ク三千九百四十五尺、此日陰リテ頂ヲミス、峰麓ヲ「ロールス村ト云、村家ハ路ノ左右ニ散布ス、ミナ小舍矮屋ナリ、松樹多シ、蘇格蘭ノ

地ハ此處ヲ以テ中心トス又テイ湖ノ正中ナリ山路ニ流ル丶淵溪ノ水ハ地中ヲ往カシム故ニ路ニ溪水ナシ○高地(ハイランド)ノ地方ニハ重ニセルチツク人種住シ、「スコツト語ヲナス驛卒車夫ノ言フ所ハ「パークス」アレサドル氏ミナ解スル能ハストテ一笑セリ此人種ハ蘇部ニ三百餘萬人アリ風俗ミナ樸魯ニシテ、衣服奇古ナリ蘇部兵卒ノ戎裝モ亦其服ヲ用フ倫敦ノ「ペーガ街ニ開展セル蠟人形ニ間人「スコツチ」ノ像アリ又此服ヲ著セタリ西洋ノ山僻鄉曲ニハ人民ノ古風ヲ守リテ改メサル如此キノ類甚タ多シトナリ、

○四時ニ湖首ノ「キリム村ニ至ル蘇地ノ冬景ハ甚タ促シ已ニ日沒ニ近シ因テ此ニ宿ヲ投ス「ホテル」ハ小屋ナレトモ亦頗ル淸潔ナリ其地ハ池ニ臨ム池ヲ隔テヽ「カンムエル家ノ古城アリ小艇ヲ棹シテ此ニ上ラントス村ニ一有性アリ亦伴ヒテ同行シ村中ノ一岡ニ上ラシム此處ハ古戰場ニテ三百年前宗門ノ亂ニ城上ノ兵ト此岡上ノ敵ト互ニ相射タルヿアリ池ヲ越ヘテ城址ニ上ル城ノ周圍ハ老樹枝ヲ交ヘ落葉地ニ滿チテ意象岑寂タリ城ハ三百四十年前蒸迷斯第五世ノ時ニ築ケル小砦ニテ只五十人ヲ屯シテ守レリト是モ「カンムエル

家ノ砦ナリ、周圍ニ石垣ヲ築キテ、小高キ岡ノ上ニ建ツ、壘ノ高サ三丈餘、外ハ蔦蘿老ヒ茂リテ、石ヲミス、前ニ刎橋(ハネ)アリ、橋下ハ乾壕(カラホリ)ヲ穿ツ、深サ六七尺、幅七八尺、地中ニ穴シテ兵屯ヲ構ヘ、夫ヨリ螺旋ノ階ニテ壘ニ上ルヘシ、壘面處處ニ矢間(ヤサマ)アリ、此頃マテハ、弓ヲ以テ敵ヲ射タリナリ、遺壁儼然トシテ、ミナ完全ナリ、蘇格ノ地ハ、古來侯伯分裂シ、其民驍悍ニシテ鬪爭ヲ事トシ、常ニ弓矢ヲ挾ミ互ニ相戰ヒ、寧歲アルコ少ク、蘇格王モ制スルコ能ハサリキ、故ニ高地ノ山谷ニモ、古城古壘多ク、昔時屍ヲ偃シ血ヲ流セシ跡、今ハ荒艸矮林ヲナシ、愴然トシテ弔古ノ思ヒヲナサシム、○此古城、今ニ「カンムェル家ノ所有ニテ、城上ニ一屋ヲ存シテ墓所トナシ、其靈屋(タマヤ)ノ中室ハ、三面ニ四十五格ノ石室ヲナシ、以テ棺ヲイヽル所トス、今其子女ヲ葬レルモノ只四アリ、城上ニテ、日已ニ暮ル、同伴ノ有性云、我兒横濱ニアリ商業ヲナス、日本使節幸ニ此僻村ニ至ル、願クハ我家ニ伴ハントテ、其宅ヘ導キ入ル、宅ハ池水ヲ望ミ、地域頗ル廣シ、客坐ノ爐ニ薪ヲ燒キ、妻娘手ヲ握リテ款待ス、相話スルコ半時ヲ移ス、山中ノ僻村ナレハ、話言ヲ以テ酒茶ニカヘ、爐前ニ榻ヲ交ヘ、薪火ヲ加ヘ、懇情ヲ表セルノ

ミ、日暮レ室闇ミタレハ、暇ヲ告ケテ歸ル、此夜ハ雨フリ曉ニ至リヤム、

十七日　陰リ晝ヨリ晴

六時ニ茶ヲ喫シテ「ホテル」ヲ發ス、此時ナホ黎明ナリ、馬車ヲ驅リテ「ティ湖上
流ノ河ニソヒテ走リ去ル、山路マスマス荒蕪ニテ、地ニ鋤痕ナシ「ロウルス」
ノ山ハ、雲ヲ巻キテ峰巓ヲミス、其餘脈ヲ走ラシ、相重ル處ヲユク、路ヤヽ險奇
ナリ、漸ニ阪路ヲ上リテ山驛ニ達ス、小湖尾ノ沼ノ如クニ淺スヲミル、南方ヨ
リ新ニ築ケル鐵道アリ、此ニ至リ止ル、此驛ヨリ北方ニ向ヒ、路線ヲ展ヘ、山路
ニ向ヒテ鐵軌ヲ架セント、正ニ地ヲ開キ鐵軌ヲシクヲミル、此時已ニ七時半
ニテ、恰モ東ノ將ニ發セントスルニ逢フ、即チ超上シ南發ス、鐵路ノ兩側ハ、猶
高山相重リ、谷ニハ一河ノ流レサルアリ、車ハ河右ヲユキ、人ハ河左ヲ步ス、進
行スル三英里ニテ、東方ニ一湖ノ濶開スルヲミル、圍繞相環抱シ、東ハ天ニ際
シテ雲水渺漫タリ、是ヲ「エルン湖トス、暫見ノ間ニ、滊車ハ巳ニ過キサリ「ロケ
ロンヘット」ノ驛ヲ過ク、此驛右ニハ兩高山アリ聳エ立ツ、夫ヨリ「ロブナイ湖
ノ右ヲ走ル「ロブナイ湖ハ其幅甚タ狹ク且淺シ、右岸ハ乍チ狹ク、乍チ濶ク、恰

モ鋸齒狀ヲナセル小瀑ナリ、鐵道ハ其湖ニ傍ヒ縈回シサル、約二英里許ニテ湖盡ク、此邊ハ新開ノ鐵道ニテ、山路ヲ亘リ、西方、オダン港マテ達ス、路線ノ小驛ナレハ、往來寥闃ニ、驛舍ノ建設モ亦簡易ニテ、前後ニ柵ヲタテ、中ニ一小宇ノ四五坪ナル木屋アリテ、切手ヲウルノミ、皆笑テ曰鐵道驛ノ大ナルハ、倫敦ノ「ヴクトーリヤ驛ヲミタリ、其小ナルハ此驛ヲミル、驛舍大小ノ極、ミナ英ニ於テ之ヲ盡ス、真ニ大家アラサルモノナシト、相共ニ一笑セリ、

○八時半ニ「ガァランドル村ニ達シ、車ヲ下ル、此村ハ生口多ク、市廛層層トシテ地ニ滿ツ、東南北ノ三面ハ、峰巒相環リ、南ニ平野ヲ開ク、村廛ハ平地ニ湧起シ、「テァチュ河ニヨル、頗ル一庶村ナリ、「ホテル」ニ憩スルヿ須臾ニテ、車ヲカヘテ發シ、西ニ去ル、此邊マテハ土地ミナ開ケテ、熟田ナリ、樹木路ヲ挾ミ、路モ平坦ナレヒ、幾クナクシテ、山ヲ越テ回リ出レハ、又荒山トナル、山中ノ平原、ミナ蕪穢ニ附シ、一路蕭條タリ、往往ニ古戰場アリ、蘇王ノ砦トテ石壘ノ存スルヲミル、砦前ニ小路アリ、昔時ノ往還ナリ、其路ハ山坡岡間ヲ回リ、屈曲高低多ク、宛トシテ我邦ノ山蹊ニ似タリ、理學ノ開ケニ從ヒ、斜面ノ理ヲシリ、且道路ノ制ヲ設ケ、

今ハ山中モ坦路ヲ開キ車行スヘキニ至レリ、是ヨリ西ニ向ヒテ去ル、満野草枯レ、凋樹廢葉相仍リ、黄薇老蘞ノ間ニ、雉飛鶉遊フ、衰颯トシテ風ナキニ寒キヲ覺フナリ、此ニ「ホコレイ」ト云小湖ヲタヽユ、車路ハ其北濱ヲ走ル、湖ヲ環シテ皆山ナリ、山ニ奇狀ナシ、行益進ミ、前ニ一高山ノ峯狀險奇ナルヲミル、是ヨリ後ハ、奇峯前ニ起リ、後ニ聳エテ、又佳境ニ近ツクヲ覺フ、其最高ノ峯ハ「ベンツニ——」ノ山ナリ「ベン」トハ、蘇語ニテ山ト云フヿナリ、○數英里行ニテ、湖水盡テ黄葉ノ林ニ入ル、左傍ノ山、岩石巉巉トシテ奇狀ヲ攢メ、樹林ノ上ニ露ル、此山ノ麓ヨリ、一八徑ヲ歩シテ來ルヲミル、肩ニ一物ヲ負フ、畫師ノ畫嚢ヲ擔シテ、此處ノ景ヲ寫ス爲メニ來レルナリ、西洋ノ畫モ、筆意ニ巧ヲ爭へに、眞景ヲ描クヲ尙フ、故ニ有名ノ勝地ニハ、四方ヨリ畫師集リ來リ、宿ヲ定メテ其山水ニ就キ、直ニ模寫ス、其價萬金ニ上ル、皆豪家大商ノ爭ヒ買フ所トナル、此山ノ景ハ、蘇地ニアリテ有名ノ一ナリト云、是ヨリ黄葉掩映シ、日色爲メニ黄ナリ、車轉シ路改レハ、乍チ湖光ノ奇峯ヲ浸スヲミル、是ヲ「トロサキッ湖ノ勝トス、此行ノ奇、此ニ至リテ、更ニ快ヲ覺フ、

蘇格ノ高闌(ハイランド)トロサキツ湖山

同森林奇峰ノ蹊路

○「トロサキツ」湖ハ、甚タ小ニシテ、一泓ノ地ニ齊シ、中ニ一小嶼ヲアラハシ、前ニ奇峯ヲ峻立ス、側ニ湖面ヲ鑑ミル、嶼上ニハ秋樹疎疎ミナ黄葉ヲナシ岸上ノ林葉ト、互ニ相掩映ス、夕ナラスシテ、落照ノ景ヲナス、湖前ニ一宇ノ大屋アリ、造營奇麗ナリ、「トロサキツ、ホテル」ト云、此ニ入リテ朝餐ス、數月前ニ、亜米利加ノ伯爾西（ブラジル）王モ、亦英蘇ノ地ヲ周歴シテ、此ニ投宿セリキ、旅館ノ主人、兄弟二人、喜テ客ヲ迎ス、既ニ伯爾西王ヲ迎ヘテ、此湖山ヲ案内セシニ、今又日本ノ大使節至ルヲ喜ヒ、路ニハ馬車ヲ用意シ、湖ニハ滊船ヲ艤シ、且主人兄弟、先導セント請フ、此「ホテル」ニ朝食ヲ畢リテ、馬車ニ上リ、主人兄弟ト、亦車ヲ同クセリ、前ニ一車ヲシテ「パーフハーフ」ト云、蘇地ノ樂器ヲ吹テ先行ス、「パーノハーフ」ハ、兩管ノ笛ヲ以テ、喇叭ノ如ク、豎ケ、吹ツ器ナリ、其聲瀏澆トシテ、淸雅ノ音アリ、已ニ「トロサキツ」ヲ出レハ、一路又黄葉ノ林ニ入リ、日光陰映シ、瀏澆ノ聲、車ヲ導キテ林間ヲ走ル、恍トシテ仙界ヲ渡ルカ如シ、林樹甚タ密ナラス、鬱ナラス、車上ヨリ左眄スレハ、一峯ノ石ヲ負テ其上ニ露レルヲミル、湖光水聲ノ奇ナシト雖ヒ、其奇絶ノ勝ハ、畫ニモ描キ難キ勝地ナリ、○此日天ハ淸ク晴レ、

日色朗カニ、四モニ風靜ナク、靜ニ霧葉ノ枝ヲ辭スルノ聞ク、蘇地ノ山水、忽出テ愈奇ナルヲ覺フナリ、黄林盡テ、一ノ渡頭アリ、傾仄ノ山崖ヲ負テ、長キ亭舍ヲ搆ヘ、不測ノ木ヲ以テ柱トシ、欄トシ、甚タ古雅ナリ、是ヨリ長廊ヲ進リテ、湖ニ接シ、汽船ヘ上ラシム、船ニ上レハ、即チ輪轉ヲ脱ス、前ニ一島アリ、左右後ハ、ミナ山巒重重シ、峯巒ミナ奇ヲ呈シ、峻ヲ競ヒテ、其狀一トシ怪奇ナラサルナシ、湖濱山麓ミナ秋葉ノ林ニテ、島上ノ樹葉ト相照シ、湖面爲ニ黄ナリ、時ニ微風起リ、水ニ瀲灔ノ波ヲタヽミ、日光慘淡トシテ、奇峯ノ上ニ、倒ニ光ヲ返レハ、峯巒ミナ薄烟ヲ拖キテ、縹緲ノ致ヲソユ、左顧右眄、應接ニ遑アラス、船ハ秋葉ノ映射中ニアリテ行ク、滿船ノ日色爲ニ黄ナリ、此行ノ奇ハ此ニ至リテ絶勝ヲ極ム、船已ニ島ヲ回リ出レハ、湖光瀲灔トシテ、奇峯ノ間ニアリ、景勝又改ル、之ヲ「キヤッツル湖ト云、湖水甚タ清シ、四圍ノ峯巒、ミナ嵐氣ヲ帶ヒ、奇狀變幻、一一ニ名狀ヲナシ難シ、湖ヲ航シ將ニ盡ントスル處ノ岸ニ、哥羅斯哥上水樋口アリ、船ヲ著ケテ之ニ上ル、

○此處ハ、哥羅斯哥（グラスゴー）府ヲ距ル二十六英里ノ南ニアリ、此湖ノ水質眞ナルヲ以テ、

高蘭之キヤツル湖乗船ノ岸

同湖島山水ノ景

一千八百五十三年ニ府中ニ於テ此水ヲ引テ府中ノ上水トナサンヿ議ヲ訂シテ一千八百五十五年ニ倫敦ノ巴力門(パーレメン)ニ持出セシニ衆議ノ歸スル所湖中ノ水乏シキヲ以テ水面ヨリ下ヘ只三尺ノ水ヲ引クニ過キサルヘシトノ法ヲ定メタリ府中ニテ之ヲ議スルニ湖面ヨリ五尺以上ノ水ヲ引クニアラサレハ至府ノ用水ニ給スルニ足ラス彼是商議ヲ盡セシニ然ラハ湖ニ注ク所ノ水源ヲ盡ク導キテ湖ニ入レ傍ニ漏ルヽ口ヲ塞クヨリ外ハナシトテ竟ニ其法則ヲ受取リ法ノ如クニ水面ヨリ三尺ヲ度トシテ樋ヲカケ且四圍ノ山ヲメクリ水源ヲ疎利セシニ湖ニ注ク水ハ是ヨリ増加シ樋ニカヽル所ハ其實七尺ノ水ニ及ヘリ法立テ情達シ其ニ並全キヲ得タリ一千八百五十六年樋道ヲ營起シ三年ヲ經テ落成シ其記事ヲ樋口ニ刻シタリ、

英國ノ富強ヲ世界ニ鳴スハ其民ノ性自強力ニ逞シク篤ク法ヲ守リテ勉勵スルニヨル佛國ノ博士「モリスフロック」氏嘗テ曰佛國ノ其民ニ權利ヲ與フル之ヲ英ニ比スレハ寛ハ之アリ抑ハ之ナシ佛民ノ英ニ及ハサル所ハ、此ニアラス英人ヨク法ヲ守リテ政府ヨリ許ス所ノ權中ニ於テ能ク其自

主ノ力ヲ盡シ而テ後ニ其餘ヲ望ム傭人ハ其權利ヲ盡ス能ハサルナリ而テ徒ニ其餘ヲ寬ニセンヿヲ望ムト此言ヤ人民タルモノ思ハサルヘカラス政府タルモノモ亦思ハサルヘカラス此哥羅斯哥府上水樋ノ如キ則チ法ノ許ス限界中ニ於テ自主ノ力ヲ盡スノ一徵ナリ國人ノ相和シ相闘ムノ龜鑑トナスヘシ、

其樋ハ湖岸ヨリ石岬ヲ築出シアルチ法ニテ彎形ノ石門ヲ開キテ以テ樋口トス是ヨリ地底ニ隧道ヲ穿チ山底ヲ流レ岡坂ヲ潜行シ二十六英里ノ長サヲ經テ哥羅斯哥ニ達ス水樋ノ傍ナル岡上ニ一ノ石屋アリ守樋ノ人ヲシテ勤番セシム屋造美ニ庭苑潔ク湖面ニ臨ミテ眺望ヨロシ西洋ハ該樋ノ勤番小屋ト雖モ屋造ヲ美ニシ日掃除ニ念ヲ入ル丶往往此類ナリ、

○是ヨリ再ヒ舩ニ上リ湖首ナル「ストロネチュレチャル」ノ岸ニ上リ車ヲ僦ヒ西ニ走レハ山巒相重ル其馬車路ヲ開ク巧ニ阪ヲ迂回シ傾斜少キ路トナシ輪轉ニ礙ラス山間ノ路ト雖モ其平處ヲ擇メハ車路トナスヘカラサルナシ是ヲ斜面力ノ理トスルナリ「トロサキホテル」ノ主人ハ岸上ニテ別ヲ告ケ舩ニ歸

「キャツル湖西岸山路ノ景

「インウェルスナイドル瀑ノ上流

リ、其弟ハ獵從ヒ來ル、岸ヲ離レ岡ニ上レハ、湖水ヲ下ニ望ム、漁船ハ、烟ヲ吹キ方ニ歸ラントス、馬車ハ其峯巒ヲ分キ往カントス、車上船上、遙ニ相望ミテ別ヲ惜ミ、手巾ヲ以テ相招キ、其影ヲ見送リテ、少焉ハ車ヲ停メテ去レリ、蘇地山谷ノ僻ト雖ヒ、友于ノ情ハ、藹如タル、如此シ○是ヨリ山路又荒寥ナリ、處處ニ石ヲ堆シ、山原ヲ域セルヲミル、豈ニ古時ヨリ牧畜セル跡ナルカ、抑近年人口ノ增スニ至リ、此石ヲ匝シ、獸ヲ獵スル爲メニ、限界ヲ設ケタルカ、途中ニ一壯士アリ、銃ヲ提ケ一童子犬ヲ率ヒテ、從ヒ、山ヲ上リ去ヲ見ル、此邊モ亦鳥獵ノ地ナルト知ラレタリ、本日經過ノ地ハ、蘇地ノ山僻ニテ、人口甚タ希ニ、山野ミナ荒レ、路險ニ山峻ナルヲミテ、始テ身ヲ僻遠ノ境ニ入レシ、心地ヲ覺ヘタリ、

○此邊ニ、沼ニ似タル小湖アリ、水岸ミナ黑土ナリ、土民此土ヲ堀テ、處處ニ堆積ス、是即チ泥炭ニテ、以テ薪ニ代ユルトナン、小湖ノ水ハ車路ニソヒ、西流スル四英里ニテ、一林ニ至ル、水聲ノ喧吼スルヲ聞ク、因テ車ヲ舍テ、林蹊ヲ分ケ下レハ、小木橋アリ、水ハ其下ヲ咽ヒ流ル、水底ミナ石出テ、水淙淙トシテ岩石ヲ傳ヘ、級級ニ落ル、小橋ヲスクレハ、岩石乍チ仄立シ、水ハ沛然トシテ懸瀑ヲ

ナシ落ル、之ヲ「インウェルスナイドル」ノ瀑布ト云、高名ナル勝地ナリ、英國ノ畫工、其景ヲ描寫シテ、國中ニ傳布セルヲ、數處ニテミタリ、瀑布ノ下ニ至レハ、岩石縱横ニ立チ、種種ノ奇狀ヲナシ、水ハ上層ヨリ級級ニ下リ、乍辟ケテ又合シ、橋影雲ナ渡リ、白水ハ其下ヨリ迸リ落ツ、愈望ミテ愈勝アリ、此水流レ落テ「ロク、ロモンド湖ニ入ル、瀑側ニ「ホテル」一宇アリ、此ニ小休シ酒ヲ傾シ、此「ホテル」ハ、湖面ヲ俯瞰シ、前ニハ奇峯仄立シテ、湖水ニ鏡ミ、亦一佳境ナリ、朝來峯容ノ奇ヲミル多シ、一トシテ其狀ヲ變化セサルナシ、造化ノ人目ヲ幻スル、其變化端倪スヘカラス、

○「ロッロ－モンド湖ハ「ヘルッサ州ニテ、第一ノ大湖ナリ、(「ロク」トハ蘇語ニテ湖ト云フコトナリ)其長サ二十英里、幅ハ狹シ、湖首ハ一英里ニモミタス、其尾ハ甚タ廣シ、四英里ニモ及フアリ、總面積四十五方英里アリ、此湖ノ兩岸ニ奇峯多シ、山ニ秋葉アリ、松樹森立ス、島嶼アリ、斷續點綴シテ、種種ノ佳景ヲ裝フ、湖上ニ蒸氣郵船アリ、往返シテ遊客ヲ渡ス、著岸ノ棧橋ニハ、橋錢ヲ收ムル處多シ、

○此船ニ上リテ湖ヲ廻リ、湖首ニ至リ、橋ツ上岸シ、散步スル數町ナリ、湖村ノ景

「インヴェルスナイトル瀑布 蘇格ニ名高シ

「ロモンド湖群島ノ景

況ヤ野趣愛スヘシ、又船ニ上リ返ル湖首ノ水ハ狹ク、兩岸ノ峯容互ニ奇ヲ競ヒ、松ハ後湖ノ色ヲ凝シ、天籟ノ刁刁タルヲキク、島嶼斷續シテ、水面ヲ裝ヒ、洲角ノ楡楊モ姿致アリ、牧羊ノ山麓ニ遊フ、時ニ牟鳴ヲキク、羊ヲ牧スルハ、高地ニ適ス、西洋ノ山ニハ、羊ヲ放牧ス、特ニ此處ノミナラス、〇湖ヲ下ル六七英里ニテ、風來テ雨ヲ吹キ、船上ニ坐スヘカラス、遂ニ船室ニ入リヌ、船室頗ル廣シ、渡航ノ客、男女卅人許、内ニ畫工數人アリテ、大小ノ畫幀ヲ携フ、其他モ山水ヲ探ルノ遊人多シ、此湖ニ郵船ノ設ケハ、以テ遊客ヲ濟渡スル目的ニ出ルトナシ、湖岸處處ノ埠頭ニ船ヲ著ケ、人ヲ上下スルヲ以テ、船行爲メニ遲滯シ、十餘英里ヲ駛シテ、日已ニ暝シヌ、此邊ヨリ以南ニハ、無數ノ小島相點綴シテ、湖面ノ景、變幻出沒ノ致アリト云、東岸ニ「ベン、ロモント」山聳ユ、此山ハ湖邊ノ高山ニテ、其高サ四千八百尺、亦一佳景ナリ、

七時ニ「ハロホ」ニ著船ス、岸ニ上レハ、此日我輩ノ遊覽ヲ了リテ、此ヨリ上陸スヘキコヲ、此地ニ通シアリシヲ以テ、驛ノ鐵道會社ヨリ、喜ヒ待テ、別段ニ一車ヲ用意シテ、此埠頭ニアリ、即チ上車スレハ、直ニ發ス、「ハロホ」ハ哥羅斯哥（クラスコー）府ヲ

り、西北二十英里ニアリ、是ヨリ哥羅斯哥府ノ南ヲ過キテ、車走スルヿ總テ七十英里、十時ニ再ヒ壹丁堡(エデンボルグ)ノ旅館ニ歸ル、

十八日　陰

十一時ヨリ「ギヨンス、エピスコーハールチヨルチ」ニ詣ス、當寺ハ蘇部ニ於テ、英吉利宗ノ大寺ナリ、有名ノ教僧「ワイーソルアムセイー」氏、説教ヲナス、禮拜ノ男女集ルモノ、總テ六百人アリ、

○午後二時ヨリ「チヨーナス、チヨルチ」ニ赴ク、是ハ「フレビテリヤン」宗トテ蘇格宗ノ大寺ナリ、教僧「ドクトル、カントリー」氏、當寺ノ住職タルヿ三十三ケ年ニ及フ、高僧ナリ、此人法談ヲナス、來聽ノ男女七百人、勞徳(ロード)ギヨーギ、スコラツク氏、及ヒ「アートミルソー」氏ノ席ヲ以テ、使節ノ席ニ供セリ、米英ノ人ハ、法教ヲ信スルヿ甚タ厚シ、中ニモ蘇格蘭ノ一部、尤モ甚シ、是ヲ以テ、其風俗愿愨ニシテ、文學モ亦盛ナリ、故ニ此土ノ人ハ、遠賓異客ト雖ﾄﾓ、禮拜ノ日ニハ、必ス勸メテ共ニ寺ニ詣ラシム、

「アボーッスホルト村トツヰート河

「アベイカッソル」之廢寺

九月十九日雨

朝十時ニ壹丁堡府ノ旅館ヲ發シテ、南方新城府ニ赴ク、驛舍ヲ出ルトキニ爆彈ノ祝アリ、「ガラシィルス」邑、羅紗製造場ノ會社ヨリ數人、當驛マテ來リ迎ヘ、車ヲ同クシテ發ス、沿途ハ雨中ニテ見ル所ナシ、十一時半ニ、「ガラシールス」邑驛ニ著ス、知事「リーコン」氏、驛ニ迎ヘ、馬車ニ上リテ、直ニ製造場ニ赴ク、

○「ガアラシィルス」邑ハ、壹丁堡ヨリ鐵道六十英里ノ南ニアリ、蘇格蘭東南ノ境上ニ近シ、人口一萬餘ノ市邑ニテ、人民質愨ナリ、全村ニ「ポリス」只五人アリト云、蒸氣車ノ驛舍ニ著スレハ、市中ヨリ男女路ニ群集ナシテ我輩ヲ見物ス、童走リ女從ヒ、馬車ノ前後ヲ戀ヒテ、甚タ混雜ナリシ、

羅紗製造場ハ、「アダムス」及ヒ「スーチン」兄弟ノ會社ニテ、屋舍ノ設ケ頗ル大ナリ、蒸氣ノ輪、百二十馬力ナルヲ設ケ、職人ヲイルヽ、日ニ男女三百二十四人、其内婦人ハ百二十八ナリ、給金ハ多少差アリ、平均一名ニツキ、一周日ニ十六「シ

ルリン」ヨリ、十八「シルリン」ニ至ルト云、〇羅紗ヲ織ル毛ヲ、英語ニテ「ウール」ト云、凡ソ綿羊ノ毛ヲ七部ニ分ツ、羅紗ヲ織ルニハ、其尤モ緻頓ナル部分ヲ用フ、其質寛トシテ綿花ノ如シ、多クハ豪斯多辣利亜ヨリ輸入スルモノナリ、英國ニモ、牧畜盛ンニテ、蘇格倫ノ牧羊ハ、殊ニ高名ナル𪜈、英國ニテ紡績スル所ノ毛布ハ、重ニ豪洲ヨリ輸入スル羊毛ヲ用フ、其質ノ最モ纖美ニシテ、價廉ナルヲ以テナリ、日本ノ人、或ハ獸毛ハ寒國ニ産スルモノ纖頓ナルユヘニ、歐洲ノ土宜ト謂フハ、大ナル謬ナリ、

英國ノ富ハ、石炭ト鐵トヲ以テ、器械ヲ運シ、棉毛麻ヲ紡織スルヲ眼目トセリ、其羊毛ハ遠ク豪洲ヨリ輸入シ、其棉花ハ亞米利加諸國ヨリ輸入シ、其麻ハ印度ヨリ輸入シ、亞麻ハ露國ヨリ輸入ス、本來此諸元品ヲ本國ニ夥多シク産スルニ因リテ、製造ヲ興セシニハ非ス、但シ羊毛ヲ織ルヿハ、英ノ古代ヨリ、此業ヲナシ、之ヲ「ヴ、子シー」ノ海商ニ賣渡セシヨリ濫觴シ、甚タ古キ産物ナレ𪜈、五十年前マテハ、高貴ノ品ニテ、中等以下ノ人ニハ普カラス、然ルニ其價下落シ、利益ヲ海内ニ隆ニスルニ至リシハ、豪洲ノ曠野ニ、牧羊ノ利

開ケシニヨレリ、其他麻モ歐洲ニヤヽ生スレに、棉花ニ至リテハ、全ク土地ニ適セス、殊ニ英國ノ如キハ、地面ヨリ生スル元品ハ些少ノ高アルノミ、之ニ反シテ、東洋南洋ニ天産ヲ出スヿ、甚タ夥多シ、只製作ノ業ニ注意ヲ欠ヲ以テ、其利ヲ擧テ、歐洲ニ仰ケルノミ、是東洋南洋ノ民ハ、天然ノ化力ヲ以テ、西洋ヨリ營業力ヲ買入ルナリ、之ヲ約メテ言ヘハ、人民ノ游惰ナルナリ、試ミニ之ヲミヨ、東洋ノ西洋ニ及ハサルハ、才ノ劣ナルニアラス、智ノ鈍キニアラス、只濟生ノ道ニ用意薄ク、高尚ノ空理ニ日ヲ送ルニヨル、何ヲ以テ之ヲ證セン、東洋ノ民、其手技(テワザ)ニヨリテ製作スル産物ハ、高尚ノ風韻アリ、警拔ノ經驗ヲ存シ、西洋ニ珍重セラル、是才優ナルナリ、應對敏機ニ、齊思活撥ニシテ、摸擬ノ精神强ク、當位即妙ノ智ヲ具ス、是智敏ナルナリ、西洋ノ民ハ之ニ反シ、營生ノ百事、皆屹屹トシテ刻苦シタル餘(アマ)リニ、理、化、重ノ三學ヲ開キ此學術ニモトツキ、動力器械ヲ工夫シ、力ヲ省キ、力ヲ集メ、力ヲ分チ、力ヲ均シスルノ術ヲ用ヒ、其拙劣不敏ノ才智ヲ媒助シ、其利用ノ功ヲ積テ、今日ノ富强ヲ致セリ、其元品ハ、鐵ト石炭トニヨルノミ、此物ハ、東洋ニ饒足セサル

ニ非ス又其利ヲ知ラサリシニモアラス、而テ其利用ノ興ラサルハ、畢竟其土地ニ天産饒足シ、其人民ニ才智優長シ、物ニツキ理ヲ抽テ、刻苦ノ精神ニ乏キカ故ナラスヤ、故ニ理、化、重學ノ理タル、之ヲ性理政術ノ學ニ比スレハ、平易悟リ易ク、其文ヤ循循トシテ、幼兒ノ耳ヲ提クルカ如ク、其理ヤ的切ニシテ、日常ニ知ラサルヘカラサル要項(カナメノカド)ノミナレトモ、日本ノ人ハ、最モ意ヲ留メス、是其才性ノ過敏ニテ、事毎ニ功ヲ急(イソ)キ、疑款ニヨリテ、其原因ヲ討究スルカ乏シキノ實證ナリ、功ヲ急クノ獸念ヲ以テイヘハ、東洋西洋ハ開化ノ進路ニ於テ、已ニ甚タシキ隔絶ヲナシタルニ似タレトモ、其實ハ、最モ開ケタル英佛ニテモ、此盛ヲ致セルハ、僅ニ五十年來ノヿニスキス、世界ニ開化ニ後レタル國ハ猶夥多シク、與スヘキ利ハ甚タ廣シ、苟モ本ニ反リテ之ヲ求レハ、爲ヘキヿモ亦多シ、喩ヘハ滿地ノ蕪草ヲ獸畜ニ與ヘテ食セシムレハ、其生育スヘキヿ甚タ知リ易キ理タリ、而テ之ヲナスモノナシ、是習至ラサルニ非ス、勉強ヲ厭ヘルナリ、水碓、水車、刀刃、鋸鉋ノ利ハ、千年前ヨリ起レリ、輪軸ヲ輾ラスニ木ヲ用フルハ、鐵ヲ用フルノ滑ナルニ如カサルヿハ、甚タ

知リ易キ理タリ、而テ是ニ代フヘキ製法ヲ起スニ至ラス、是理深キニ非ス、進歩ノ精神乏シキナリ、藍草ヲ煮テ青ヲ染ルハ、ミナ人之ヲ知ル、以テ綿ヲ染メ絹ヲ染ムル久シ、而テ獸毛ヲ染ムル能ハス、灰汁ヲ以テ布ヲ晒シ、明礬ヲ以テ布ニ浸セハ、色分ノ沁入ヨキヲ知ル、其然ル所以ヲ推考シ、益精華ヲ發スルナキハ、是術難キニ非ス、其刻苦ノ足ラサルナリ、東洋人ノ才性ニ、此ノ如キ資質ヲ欠ケルニモアラス、試ミニミヨ三千年前ノ古代ニアリテ、東洋ノ生理、始メテ進ム頃ニハ、水、火、木、金、土、穀ヲ化治シ、正徳、利用、厚生ノ道ヲ盛ニスルヲ、政治家ノ要領トシテ、之ヲ九功トハ名ケタリ、生理僅ニ進ミシ後ハ、營業ノ精神頓ニ息ミ、五行ノ說、性理ノ談ニテ、九功ヲ五里ノ霧中ニ陷レ、餘理ヲ推考スルヲ知ラス、今ニ猶迷フテ悟ラサルノミ、西洋、東洋ノ開化ハ、乾坤ヲ別ニセルニ非ス、厚生利用ノ道ハ、豈ニ東西異理ナランヤ、

羊毛ヲ牧地ニテ剪毳セルヲ綑束シタルハ、其質甚タ汚レテ、灰黑色ヲナス、且毛質ハ膩氣甚タ强ク、之ヲ洗去ニアラサレハ、染ムルヿ能ハス、因テ先ツ石鹼ノ温湯ニテ洗滌シ、風車ノ輪ニテ熕彈ス、是ヲ第一次ノ媒助トス、其車輪ノ製

ハ、粗我農家ニ用ヒル唐箕ノ如シ〇其彈シ出セル羊毛ヲ收メ、結晶曹達ノ湯ニ入レテ煮ル、此時斷ヘス攪スルヲ要スル、故ニ一个ノ器械ヲ作ル、是ハ鐵製ノ長箱ニ、中ヲ畫シテ三部トナシ、ミナ曹達湯ヲ盛ル、下ニ熱ヲ送ル仕掛アルヘシ、箱ノ毎部ニ松葉搔ニ似タル、長柄ノ鐵爬ヲ竪テ、其柄ヲ箱側ノ輪面ニ釘連シタレハ、輪轉ニ從ヒ、鐵爬ヲ左右ニ撒搔スル機能ヲナス、蒸氣力ニテ輪ヲ催シ、三箇遞轉スル片、輪面上レハ鐵爬ハ立テ、其下端ヲ左ニ退ク、輪面下レハ鐵爬ハ斜ニナリ、右ニ撒シテ羊毛ヲ爬シ、次ノ部ニ送ル、如此クシテ、三部ノ羊毛ヲ爬キヤレハ、最後ニ「ロール」ノ輪アリテ、羊毛ノ水ヲ榨リテ、前ニ噴キ飛ス是ニ於テ羊毛ノ質ハ純白トナルヲ、水ニ漬シテ洗フ、是ヲ第二次ノ洗助トス〇此羊毛ヲ以テ彈器ニカクル、彈器ハ、棉花ヲ彈スルモノト同シ、一彈二彈ヲ經テ、色ハ益皎白ヲナシテ、質ハ益軟穩ナリ、之ヲ染房ニ送ル〇染房ニハ、箱ヲ以テ染汁ヲモリ、散毛ニテ染ルモアリ、絲ニ縛セルヲ染ルモアリ、但シ此房ニテハ、紬紗ヲ織ル用ニ供スル故ニ、他ノ染房ニ比スレハ、染色ノ品類ハ多カラス、大抵黒色紺色ニ染ムルモノ多シ、凡ソ毛ヲ染ムルト、棉ヲ染ムルト、別ニ異」

ナルヿナシ、但棉ハ染料ノ分子、沁入スル早ク、絹ト毛トハ遅キノミ、初メ明礬、鉛糖、錫液ノ類ヲ以テ浸シ、色分ヲ親和スル質ト、變化サセル媒助ヲ行フユヘ、染汁ヨク沁入シテ褪脱セス、其黒色ノ染汁ニハ、鐵液ヲ主用シ、別ニ印度ヨリ來ル木ノ皮アリト云、

羊毛ノ傾鬆ナルヿ、棉花ニ彷彿タリ、之ヲ彈シ之ヲ染ムル後ニ、之ヲ紡器ニカケテ篠卷（シノマキ）トナス、棉花ヲ紡クト、大同ニテ小異ニスキス、夫ヨリ整理シテ機軸ニ卷キ、綜（アヤ）ヲ理ス、綜ヲトル法ニ傳授アルヘシ、機ニ上セテ之ヲ織ル、機ヲ下リタルトキハ、尋常ノ麁布ニ似タリ、之ヲ微温湯ニ漬シ、蒸氣力ヲ以テ、杵ヲ運シテ舂キ、夫ヨリ「ロール」仕掛ニテ、布面ニ殘ル粗ナルフシヲ削リサリ、次ニ厚輪ノ面ニ「チッソー」トイフ草花ノ殼（カラ）ヲ、稠密ニ緊縛セルヲ轉回シ、毛布ノ面ヲ掻キ、毛ヲ起ス「チッソー」花ノ殼ハ、其狀日本ニ生スル、千日紅花ノ延長セルニ似テ、其輪廓ニ多ク硅分ヲ含ミ、鋸ノ如ク鋭利ナル刺アリ、此草ハ英國ニハ產セス、西班牙（イスパニヤ）國ヨリ輸入スルト云、蓋シ温帶ニ宜シキ物產ナルヘシ、〇其後モ尙二三ノ器ヲ傳ヘテ、布面ノ毛ヲ艷澤ニシ「ロール」仕掛ノ鋏アリテ、毛ヲ鉗（ツ）ヽシサルヘ

後ニ又「ロール」ニテ、之ヲ摩擦シテ光澤ヲ生セシメ、而テ後ニ銅板ヲ以テ之ヲ挾ミ、蒸氣ノ力ヲ加ヘテ、壓搾スルヲ終功トス、布成リテ後ニ、婦人アリ、毛拔ノ如キ鐵ヲ持シテ、其面ヲ查驗シ、缺アレハ之ヲ摘ミトル○凡ソ此場ニテ織出ス所ノ羅紗ハ、去年ノ較ヲ以テスレハ、原價六萬四千四百八十「ポンド」即三十二萬三千四百弗ノ多キニ及ヘリ、

○場ヲ出テ「タウンホール」ニ於テ、晝食ノ享アリ、伶人二名、左ニアリテ樂ヲ奏シ、前ナル壇上ニハ、婦人羅列シテ見物ス、食案ヲ共ニスルモノ四十人、食畢リテ「スピーチ」アリ、三時ニ徹シテ蒸氣車ニ上ル、

○雨頻ニフリテヤマス、二十分時ニテ「メルロース」ノ驛ニ至ル、此驛ニ「アベイ、カッソル」ト云寺ヲ一見ス、此寺ハ一千百三十六年開基セル有名ノ靈場ナリ、三百年前兵燹ニカヽリ、已廢シタルヲ、其後一度修繕シタレヒ、遂ニ廢隤シテ、今ハ周壁ヲ存ス、處處ニ殘缺ノ廢宇アリ、此寺ノ造搆ハ、名匠ノ建築セルモノニシテ、石雕ノ精ナル、間架ノ巧ナル、近世ニ至リ、建築家之ヲ摸スレヒ、及フヿ能ハス、其建築法ハ、十字頂彎弧法トテ、石材ヲ疊累シ、周壁ノ上ヨリ、漸ニ彎弧形

ヲナシ、四面ヨリ十字ニ輻輳シテ、最上ノ中點ニ結フ、其術ハ勞力ノ理ヨリ來ル、今ニ西洋各國ノ寺觀ハ、多ク此法ヲ用フ、尋常ノ住家、總石造リノ建築ニモ、此法ニテ建築セルモノアリ、只其施工ノ周密ニテ、結搆ノ均圓堅牢ナルヿハ、竟ニ古人ニ及フ能ハサルトナソ、此寺ニハ、今ニモ近郡ノ大家ハ、遺言シテ來リ葬ルモノ多ク、廢宇ノ内外ヲ墓地トナシ、近ク一千八百六十九年ニ葬リタル石碑モアリ、此寺内ヲ回觀シ、時ヲ移シテ出タリ、雨ハ蕭蕭トシテ下リ、寺背ノ岡上ニ、秋葉黄ヲナシ、微風時ニ流リ、悄然トシテ懷古ノ想ヲナセリ、

寺ヲ出テ、村中ノ「アベイホテル」ニ休ス、村ノ官長數名來リ款待シ、酒ヲ供ス、此邊ハ「バケリー」丟充(チューク)ノ領分ニテ、蘇部ノ南界ニアタリ、山水ノ勝地ナリ、此日ハ案内シテ、其景勝ヲ回覽セシメル志ナリシニ、雨天ニテ其意ヲ遂ケサルヲ恨ムルト言ヘリ、此ニテ蒸氣車ノ來ルヲ待ヿ一時許ナリ、五時ヨリ上車シ、九時半ニ新城府ノ驛ニ著ス、當府ノ「メヨ」及ヒ「コンメルス」、緋衣盛服シテ驛ニ迎ヘ、驛舍ノ休息所ニ延テ接款シ、「スピーチ」ヲ取代ス、夫ヨリ伴ヒテ、驛傍ナル「ステイシヨンホテル」ニ宿ヲナス、

〇「ニユーカツスル」府ハ「新城」ノ義ナリ、英倫ノ東北（蘇葛蘭ノ界）ノ大州「ノルサムベーランド」州ノ首府ニテ、此州ハ幅員千九百五十二方英里、三十八萬六千六百四十六口ヲ有シ、此地ニ英國第一ノ石炭礦ヲ有シ、民口富庶ノ源トナス、又牧羊ニ富ム、新城ハ東方ノ海岸ニ近ク、北洋ヨリ船舶出入ノ口タリ、「タイル」河ニテ「ドルハム」州ニ分界ス、北緯五十四度五十八分、西經一度三十七分ニ位セリ、一千八百七十一年ニ、府中ノ人口十二萬八千百六十〇人、英國ニ於テ第十四等ノ都會ナリ、北海ノ西岸ニ於テ、第一ノ要港タリ、石炭其他ノ貿易盛ンニ、製造場モ亦少カラス、詳ラカニ明日ノ條ニ記ス　然レ𪜈礦山ノ業ニヨリ、繁昌セシ都府ナレハ、職人礦夫ノ群聚地ニテ、一躰ノ人氣風俗ハ美ナラストナン、

壹丁堡ヨリ新城マテ鐵路百十〇英里

二十日　薄陰

朝九時半ニ、「サー」（爵名）「アルムストロング」氏、親ラ旅館ニ來リ、其會社ノ大砲製造場ニ案內ス、「アルムストロング」氏ハ、年七旬ニ近シ、丈高キコト七尺餘、言寡ク溫溫タル老翁ニテ、容貌愚ナルカ如シ、凡ソ諸才ヲ回リ、高名ナル製造家ニ逢フ

ニ、往往ニカヽル八多シ、〇製造場ハ「タイル河ノ上流ニヨリ、地域ノ幅七町、入リ二町モアリヌヘシ、漫坡ヲ負ヒ、河流ニ臨ミ、兩側ニ解舍ヲ列子、中ニ一條ノ路、及ヒ鐵軌ヲシキ、解舍スヘテ十餘宇アリ、河岸ニ鶴頸秤ヲ設ケ、「テレッククレイン」棧橋ヲ作リテ、河水ニ臨ミ、滑舟直ニ其下ニ著スヘシ、水力ヲ以テ輪ヲ轉シ、「シリントル」ノ軸ヲ抽塞スル仕掛ヲ、橋下ニ施シテ、上ニ鶴頸秤二箇ヲ安ンス、皆河岸ニ荷物ヲ揚卸シスル用ニテ、其一ハ一八ニテ十五噸ノ荷ヲアケ、其一ハ二十噸ヲアクル力アリ「アルムストロンク」役夫ニ命シ、運動シテ示セリ、近來更ニ五十噸ヲアクル「クレイン」ヲ仕掛ントスト言ヘリ「タイル河ハ、此邊マテ其流レ頗ル急ナリ、洲沙ヲ卷キ出シ、此棧橋ノ下ニ迫リテ流ル、〇次ニ水力仕掛ノ器械場ニ至ル、圓徑八尺、長サ丈五ノ大鐵筒ヲ、捲上ケ卷下ス仕掛アリ、又車ヲ旋轄セシムル器械幾筒モ仕掛タリ、其中ニ於テ一箇ノ機器ヲ轉回シテ示セシニ、諸輪乍チ旋轉スルヿ、漲力ヲ加ヘタルカ如シ、其力ヲ生セル水ヲ、漏シ導キタル賸水ハ、管ヲ傳ヘテ側ノ壁下ヨリ落ル、之ヲミレハ、一筧次ノ縮リ出ルニ過キス、〇夫ヨリ蒸氣仕掛ノ器械所ニ至ル、此ニ一千馬力ノ輪軸ヲ安ン

ス、是マテ處處ニテ見タル、蒸氣輪軸ハ、如此ク大ナルモノハナカリキ、蒸氣ヲ沸ス爐ニハ、石炭ノ碎屑ヲ燒ク、其法ハ、三角形ニテ毎面ノ幅一寸許ナル、鐵條ヲ編ミ柵トナシ、其編條ヲ首尾相接シ、環柵トナシ、爐口ニオキ、兩端ニ齒輪ヲ設ケ回轉セシム、其齒輪ヲ徐徐ニ轉スレハ、柵ハ爐内ニ向ヒ回リ去ル、爐口ニ於テ、石炭ノ碎屑ヲ、其環柵上ニ平敷スレハ、徐徐ト進ミテ爐中ニ入リ、倒烟ヲ生シテ、爐中ニ熾燒シ、而テ其灰ハ、又環柵ノ下リ回ルニ從ヒ、爐中ナル灰牀ニ落ルナリ、如此ク灰ハ徐徐ト落チ、炭ハ、徐徐ト進ミ、編鐵ノ回リニツレテ、新陳交代シ、石炭ハノコラス火トナル、其熱ニテ千馬力ノ蒸氣ヲ起シ、以テ或ハ重槌ヲ壓下シ、或ハ溶鐵ヲ提ケ、或ハ鐵ヲ澄注シ、或ハ已成ノ鐵器ヲ運搬ス、鐵牀ノ大キナルハ、數十坪ヲ專ラニシ、製成セル車輪車軸ハ、場ノ内外ニ累累落落タリ、又鐵ヲ熔スルハ、火爐ヲ幾箇トモナク場内ニ設ケ、爐口ヲ開キ、熔鐵ヲ提ケ出ス片ハ、夏ナラスシテ熱ス、◯此場ニテ製成スル所ハ、特ニ大砲ノミナラス○凡ソ鐵鋼ニテ製スル、蒸氣機關、水力機關ノ如キモ、亦種種ノ新發明アリ、大砲車最モ多シ、別一場ニ至レハ、已ニ成就セシ大砲ヲ蓄ヘタリ、其數ヲ閲スル

ニ二百五十磅ヨリ百四五十磅マテノ大炮ハ十二門アリ是ヨリ小ナル野戰砲ハ四十餘門アリ此外ニ未タ成就セサル大砲モ亦十餘間アリキ其内ニ新發明ノ後装（アトゴミ）砲アリ二百五十磅ノ巨砲ニテ十秒時ニテ一發ヲナスヘシ同式ニテ三百磅ノ後装砲ヲ造ルヘキ發明ヲナシタレモ大政府ノ議ニ後装砲ノ巨大ナルモノハ反テ十分ノ利用ニアラストテ製造ヲ許サスト「アルムストロング氏親ラ話セリ〇「アルムストロング氏發明ノ大砲ハ鍛鋼ノ長條ヲ砲身ノ下部ニ螺旋卷キシテ打立タルモノナリ其砲身ハ舌非力（ヒッフィールド）ニテ鑄立ル第三十六卷ニ出之ヲ此場ニ輸シテ砲身ヲ卷ク此伎倆ヲ施スニ仕掛ノ壯大ナル驚クヘシ地ヲ掘リ磚瓦ヲ疊ミ長サ十餘丈ニ亘ル長爐ヲ塗リ爐中ニ石炭瓦斯火ヲ蓄ヘタル内ニ鍛鋼條ノ幅四寸厚サ一寸有半ニテ長サハ十餘丈ナルヲ十分ニ燎煆シ白炎ニ至ラシメ爐口ヲ開キ其鋼條ノ端ヲ引出シ砲身ヲ前ニ横ヘ之ヲ輪轉セシメ鋼條ヲ螺旋ニ卷キ十餘亘ニテ盡キレハ又他ノ鋼條ヲ引出シ其一端ヲ接シテ又卷ク卷キ畢ルノ後ニ再ヒ砲身ヲ燎煆シ鍛鎚ヲ加ヘテ成就ス〇場後ニ射梁アリ此ニテ「カットリンコーン砲ヲ示セリ是ハ砲身ニ

銃孔ヲ蜂巣(ハチノス)ノ如ク開キ、火門ノ處ニ、轉輪ノ仕掛アリ、火門上ノ銅管「パトロン」ヲ自然ニ蜂巣孔ニ塡裝シ、幷セテ彈發スル機關ヲ施シタリ「パトロン」ヲ作ルニハ、薄鐵ニテ造リタル桶アリ、一桶ニ二百五十箇ノ「パトロン」ヲ整理シテ貯リ、之ヲ火門上ニオキ、輪ヲ徐徐ニ轉スルレ、機動キテ彈發ス、終リニ輪ヲ急轉セシニ、二百五十發ヲ七秒時間ニ射出シ、射垜ノ厚板ヲ射切リヌリ、是ハ米國人ノ發明ナルヲ「アルムストロング」氏更ニ工夫ヲ加ヘテ成シタル、猛烈ナル軍器ナリ、○夫ヨリ礦鐵(アラガネノテツ)ヲ熔シ、生鐵(ヅクテツ)トナス場ニ至ル、此ニハ煉舍ナシ、大[illegible]アリ、烟突ハ空ニ朝ス、所謂ル猛風爐ナルモノナリ、背ニ圖ヲ負ヒ、礦鐵ヲ爐ニイルヽニ便ニス、前ニハ沙場アリ、熔流セル生鐵ノ汁ヲ流シ込ム、司羅斯哥唐ニテ見タルト同シ、

凡ソ鐵ヲ礦底ヨリ掘リ出シタル、鐵石ノマヽナルヲ礦鐵ト云、掘出セル後ニ、其塊ヲ以テ石炭ト遞ニ積ミ、一往煆鍊シテ、其石質ヲ條ニシ、因テ此猛風爐ニ入レ、熔シテ炭素ト抱合セシメ、石ト離レシメタルヲ生鐵ト云、其法ハ熔煆ヲ加ヘシ、鐵石ヲ碎キ、石炭ノ燒殼「コークス」ト、石炭ト、互ニ一層ツヽ、敷キ上

セテ爐内ヲ充テ下ヨリ火ヲ放チ二方ノ口ヨリ風ヲ鼓シイルレハ石炭ノ焚炎スルニ從ヒ鉄ハ熔ケテ炭素ト結ヒ下ニ流レ落ルナリ此秘訣ハ爐ノ製作ニアリ凡爐中ニテ火ヲ焚クニハ石炭ノ量若干是ニ含ム所ノ炭素亦素若干ナレハ之ヲ游離シテ炭酸瓦斯即チ焚ケテ火トナルニハ必ス酸素若干ノ即チ風分量ヲ要シ其廣張即チ爐内ノ幅廣サナリハ若干立方尺ナルヘキヿヲ算定スルヲ要訣トス酸素ハ風中ニ混ス風ノ分量多カラサレハ焚燒ノ勢猛ナラス是鼓風ノ設ケアル所ナリ石炭ノ質ニ種種アリ「コークス」ノ如キハ、火燄盛ナラサレヒ熱力ハ甚タ强シ此等ノ理致ヲ周測シテ爐式ヲ製ス其算定ニハ學士ヲ引テ周密ニ考量スルヿ西洋製造家ノ常則ナリ、

此側ニ石炭瓦斯ヲ燒ク所アリ以テ管ヲ傳ヘテ諸熔鐵烙鉄ノ爐ニ送ル其前ニ一大舍アリテ三十五噸ノ「ハマー」重槌ノ謂ナリヲ設ケタリ此場ニテ仕掛タル他ノ「ハマー」ハ十五噸二十噸ニスキス此「ハマー」ハ近來ノ新設ニテ尤モ巨大ナルモノナリ〇又坂上ヨリ鉄軌ヲ敷キテ河濱ニ達シ斜面ノ自然力ヲ以テ鉄器ヲ上ヨリ下シテ河濱ヨリ石炭ヲ自然ニ上セル仕掛ヲナセリ此外ニ矚目

スヘキモノモ多ケレモ、半日ノ能ク盡ス所ニアラサルノミナラス、重學、化學ノ理ニワタリ、徒見益ナケレハ、之ヲ匆匆ニ看過セルノミ、○場內ノ一室ニ於テ、晝食ヲ享シ、「アルムストロンク氏「スピーチ」ヲ演シ、會食ノ人三四人アルノミ、是ヨリ場ヲ出テ、同氏ノ別宅ヲ過リテ、室內ヲ看回（ミメグ）リ、須臾ニテ、其ニ「ゴフベット」ノ石炭礦ニ赴ク、

○「ゴフベット、コロリー」、（「コロリー」ハ石炭礦ノ謂ナリ）府ノ近在二英里餘ノ地ニアリ、平地ヨリ直鉛線（マッスグ）ニ坑ヲ鑿リ入ルヿ、其深サ四百「ヤールト」即チ千二百尺ナリ、間ニ二百間ナシテ其底ニ、九尺ヨリ六尺ノ厚サノ石炭ヲ出ス、其炭質ハ中ノ上タリ、坑口ニ入ル所ハ、棧樓ヲ架成シ、側ニ蒸氣仕掛ノ大喞筒（ポンプ）ヲ仕掛テ、晝夜水ヲ汲ミアク、礦夫、及ヒ馬ヲ、坑內ニ送ルニハ、此蒸氣力ニテ、棧樓ノ上ヨリ、懸樓ヲ鈎下シ、升降セシメ、一方ヨリ入レハ、一方ハ出ル、懸樓ハ銕ニテ造ル、上ニ六人ヲイルヽ、下ニ石炭及ヒ械具ヲイルヽヘシ、麻ヲ組テ巨綱トナシ、以テ之ヲ鈎ス、棧樓ヨリ坑中ヲ下ルヿ、約五分時ヲ經テ、始テ、坑底ニ達ス、○坑內ニ操業ノ礦夫ハ、時ニヨリテ增減アリ、二百五十、乃至三百人ヲイルヽヲ常トス、日ニ五時ヲ定

期トシテ交代セシム其給料五時間毎ニ約八「シルリング」約二弗ヲ與フ此礦ハ三年前ヨリ鑿起シ今ハ横ニ掘入ル廣サ三万英里ニ及ヘリ中ニ柱ヲ殘シ縱横ニ路ヲ開キ鐵軌ヲ敷キ車ヲ運シテ石炭ヲ引出ス此礦中ノ圖ヲ見ルニ地底ニ於テ街路井井タル一箇ノ都府ヲナセリ○書記局ニテ此礦ノ炭脈圖ヲ示セリ土泥ノ層累ヲ色分ケニシ炭脈ノ斷續ヲ明カニス此爆ノ一脈某ヨリ某ニ至リ土叉墳起シ中絶シ高サ幾尺ノ上ニ場所ヲカヘテ斜ニ如此クナリタルヿナト一一ニ査驗ヲ加ヘタリ西洋ノ礦業ハ其學ニ富ミ其術ヲ愼ム如此ナルヲ以テ開礦ノ後ハ遺算ナキニ似タリ猶往往ニ蹉跌アリ礦業ヲ起ス豈ニ容易ナランヤ○此日ハ此局ニテ衣ヲカヘ「クロール」氏ノ案内ニテ「アルムストロング」氏ト一同ニ礦底ニ入ル銘銘ニ手ニ玻瓈ヲ冒セル用心燈ヲ提ケ杖一根ヲ携フ礦底ニ至レハ水聲ノ淙淙トシテ喞筒ヨリ滴リ落ルヲ聞ク咫尺ミナ闇黑ニテ小燈ハ數歩ヲ照スノミ路ヲ按シテ進行ス鐵軌履ヲサヽヘテ穢氣安カラス路ニハ往往ニ水溜アリ時ニハ十字ノ街ヲスク戸ヲ施シ或ハ麁布ノ幔ヲ低下シ以テ礦中ノ風氣漏出スルヲ防ク風ハ徐徐

トシテ吹來リ常ニ清鮮ナリ氣候ハ常ニ五十五度ノ温アリ一英里有半二十二町許ヲ進ミ入リテ石炭ノ切口ニ達ス此邊ノ炭層ハ薄ソシテ五尺有半ニ過キス歸路ニハ荷車ニ上リ鑛柢ノ上ヲ走リテ礦口ニ回歸ス此ニテ馬廠ヲ回覽ス二十餘匹ヲ繫ケリ坑中闇黑ニテ何事モ辨カナルヲ得ス遂ニ昇樓ニ上リテ鉤上ス泉下ヲ出テヽ天上ニ登レル心地ヲナス此時ニ日モ已ニ暝セリ

石炭ノ人生ニ大用アルコハ文明ノ進ミニ從ヒ益著明ナリ英國ノ富庶ヲ致セル本ハ石炭ト鐵トニヨルノミ歐洲ニテ石炭ヲ用ヒル起源ヲ査スルニ二千百年モ以前希臘ノ古史ニ已ニ石炭ノコヲ記セリ左レハ其由來ハ甚タ悠久ナレヒ其後紀元一千二百四十年ニアタリ此新城府ノ民石炭ヲ掘ソコヲ願ヒテ政府ヨリ免許ヲ受ケタリ因テ之ヲ採用セシニ其烟氣人ニ毒スルトテ他ヨリ紛議ヲ生シ止マス六十七年ヲ經テ遂ニ又禁止トナリ禁焼ノ材ハスヘテ樹木ヲ用フヘキコニ定メタリ然レヒ一方ノ説ニハ樹木ノミヲ焼ソトキハ國中ノ木ハ終ニ盡ルニ至ルヘシト種種ノ論アリ樹木ノ生長ハ甚タ遲ク歐洲ノ北地ニテハ五十年ノ久キヲ經テ僅ニ圍ニ及フヲ最トス故ニ山林ノ法ハ評論セサルヘカラス露國ニ廣林アルモ斬伐ニ厲禁アリ英國ニテハ「ッソニソク」ノ用

弘マリテ、現ニ全國半ハ赭山トナリタリ、又二十年ナラスシテ、石炭ノ禁ヲ除キタリ、是ヲ起源トシ、追追ト歐陸ノ諸國ニモ弘マリ、紀元一千六百二十年ノ頃ニ、此新城府ニ於テ、石炭ヲ焼キ玻璃ヲ熔スヿヲ防メ、大ニ利益ヲ受ケタリ、又錬鐵ノ業ヲ興シ、石炭ノ用、年ヲ追フテ盛ニナリ、一千六百六十年ノ頃マテニ、全國ニテ石炭ヲ用ヒル數ハ、一年ニ二百二十五萬噸ナリシ、夫ヨリ漸漸器械ノ用ヲ生シ、蒸氣助力ノ術弘マリ、一千八百年ニ至リテハ、一千万噸ノ多キニ及ヒ、去ル一千八百七十一年中ニハ、一億〇七百二十九萬九千六百二十四噸ノ石炭ヲ堀出シ、其一億噸ハ、內國ニ用ヒ、外國ニハ七百餘萬噸ヲ出セルノミ、國中ノ炭礦、處處ニ多ケレトモ、此地ノ礦ヲ最モ盛大ナリトス、去一ヶ年此地ヨリ、外國ヘ輸出セル石炭ノミニテ、三百三十萬一千七百七十九噸ナリ、此數ハ全國輸出ノ半數ニオル、其內地ノ用ニ供セル數ノ夥多シキモ、亦推テ察セラレタリ、此日礦社ノ長アラサルヲ以テ詳カナルヲ聞クヲ得サリケリ、

附テ云、英國ニ石炭脈ヲ伏セル全額ハ、一千四百六十四億噸アリ、國中ニテ逐年ニ炭ヲ用フル數ノ增多セル例ヲ差較シテ、計算セルニ、今ヨリ六百三

十六年ニ至レハ燒キ盡スヘシト云フ

二十一日晴天

十時ヨリ車ニ駕シテ、當府ノ「エキステンヂ」(商人集會所)ニ至ル、此府ノ「エキステンヂ」ノ屋造ハ、甚タ壯麗ナラス、商民群集シテ待チ、帽ヲトリ敬禮ヲナシ、迎ヘテ書記室(オフィス)ニ延キ、夫ヨリ延テ會議堂ニ至リ、群集中ニ環立シ、「コンメルス」(商會長)「スピーチ」ノ演シテ文ヲ渡ス、大使ヨリ答辭アリ、衆ミナ足ヲナラシ帽ヲトリ、祝聲ヲアゲルヿ甚タ盛ナリ、

○夫ヨリ「タイル」河岸ニ出ツレハ、河蒸氣船ヲ艤シ、河岸ニ沿フタル、諸工場ヲ見回ラシメント、諸工商社ノ社長社員、ミナ迎接シ來リ、府ノ知事「コンメルス」等、ミナ共ニ同伴シ、此ヨリ船ニ上ル、沿途ニ市民ハ、群リ奔走シテ、我輩ヲ觀ント、甚タ混雜ナリ、

○是ヨリ岸ヲ離レ、河ヲ遡ル二町餘ニテ、新(ニュー)タイル橋ヲ架スル所ニ至ル、當時ハ石基ヲ築固セント、蒸氣力ノ「リュフテインマシイ子」ヲ仕掛テ、需用ノ械具ヲ

運搬シ、河底ヲ堀テ、銅製ノ大管ヲ樹ツ、此管ノ大サハ、略、我井筒ノ如シ、底ニ向ヒ層層ニ殺少シ、深サ三四丈ニモ達ス、管ハ黒色ニテ鐵ニ似タレ𪜈、鐵ハ酸壞シ易キ金ナレハ、必ス鉛錫ノ類、水ニ堪ヘルモノニテ衣包スルカ、或ハ錆ヲ用ヒタルナラン、審カナルヿヲ問ハサリキ、管ノ内部ハ、洞然井ノ如シ、是ニ材ヲ横架シ、工丁ハ其上ニ立テ操作ヲナス、側ニ起重器ノ鶴頂秤ヲスヱ、鐵桶ニ土砂ヲ盛テ釣下ス、坑中ノ職夫ハ其土砂ヲ傾ケ覆シ、身ハ其桶ニ入テ上リ出テ、或ハ中間ノ横架ノ上ニ立テ、下リ來ル鐵桶ヲ傾ケ覆ス、其深キヿハ觀者ヲ股栗セシム、如此キ巨柱ヲ樹ルヿ六七基、是ヲ一礎トナシ、外面ニ石垣ヲ圍築シ、六稜角形ノ橋基ヲ疊成ス、此處ノ河水ハ、深キ處十八「フィート」、河幅ハ七八十間モアルヘシ、全橋ニ此六稜角ノ石基六箇ヲ作リ、毎基ヨリ彎弧ノ法ニテ、擡鑿橋ヲ疊ミアケテ、堅美ノ石橋ヲ架成スルトナリ、〇架橋ノ工ハ、建築術ノ一大作ナリ、殊ニ石橋ヲ架スルハ、不朽ニ垂ルヘキ業ナレハ、之ヲ經營スル容易ナラス、羅馬城ノ「ダイバル河橋ハ、二千年ノ星霜ヲ經テモ、完美ニ儼存シ、今ニ建築家ノ摸範トナレリ、倫敦橋ハ、經費一千萬弗ヲ用ヒテ架成ス、倫敦ノ殷富

ト建築ノ工トヲ、千古ニ垂ルヘシ、石橋ノ輕忽ニ着手スヘカラサル如此シ、今此「タイル」橋ニ、石基ヲ樹ルヲミテモ、石橋ノ不容易ナルヿハ察スルニ足ラン、西洋建築家ノ石橋ヲ經營スルニハ、其河ノ平均水積ト、高下ノ差ト、漲水ノ度トヲ密測シテ、水ノ橋基ヲ壓スル勢力ヲ定メ、河底ノ地盤ヲ測リ、其沙泥ノ強弱、下層ノ石泥、如何ンヲ、驗知シ、其礎ヲ託スルノ方法ヲ定メ、石材ヲ擇ミ、其堅久ニ換レサルヲ用ヒ、結搆ヲ堅牢ニシ、橋上ニ幾萬噸ノ重マテヲ、一齊ニ加フヘキ力ノ度ヲ保證ス、然ル後ニ其外貌ヲ美麗ニシ、彫鏤ノ技ヲモ施スニ至ルモノナリト、歐洲ノ都府ヲ經過シ、石造ノ建築ハ、皆大工業ニテ、其經費實ニ莫大ナリ、是一ハ傭價ノ貴キニヨル、二ハ石材ノ得難キニヨル、三ハ建築ノ愼密ナルニヨルモノナリ、

○是ヨリ下流ヘ下リテ、諸製造場ヲ回ル、此河ノ南岸ニハ、總テ製造ノ場所ニテ、烟靄蒙トシテ天ヲ薰ス、英地ノ冬日ハ、景晷甚タ薄ク、常ニ朝陽ノ如シ、此日快晴ナレトモ、其晴朗ヲ覺ヘス、先ツ「ヘッポンケイ」ノ製造場ニ至ル、此「ヘッポンケイ」ノ埠頭ニ「ターシス、メダール、エキスタランチン會社アリテ、銅ノ精煉ヲナ

ス、是ハ礦銅ヨリ硫礦ヲ分拆シタル石ヲ輸シ來リ、精銅ヲ獲ル目的ナリ、場宇甚タ廣シ、時促シ匆匆ニ看過シ、初メ數場ニ設ケタル鑪ハ、正ニ火ヲイレテ鑪口ヲ閉シ、熔煉中ナレハ、其中ニテ何ノ工夫ヲ用ヒルヤヲ詳カニセス、○次ノ一場ニ於テ、礦銅ヲ碎キ粉末トナシタルニ、食鹽ヲ和シテ之ヲ鑪中ニイレ、職夫鈎桿(カギノサホ)ニテ攪(カキマ)セルヲミル、此鑪ニテ十二時間熔煉ノ後ニ搔キ出スト謂ヘリ、是蓋シ銕分ヲサル施工ナルヘシ、○次ナル場ニハ、木製ノ大槽ヲ並ヘ、中ニ温湯ヲ盛タリ、此內ニ煉銅ノ粉末ヲ混攪シ、其硫礦分ヲ洗ヒ、水ト共ニ流シ出ス、夫ヨリ又一場ニ於テハ、同シ大槽ヲ設ケテ場ニミチ、此ニテ銅ニ含メル銕粉ヲ洗ヒ流ス、兩場共ニ、廨舍甚タ廣ク、流レ出ル湯ヲミルニ、硫礦ハ玄黃(コタチヤ)ヲナシ、銕ハ黑色ヲナシテ、地ニ漂ヒ溝ヲナシテ流ル、ヲ見タリ、○其後銅ヲ鑪中ニテ熔シ、己ニ熔シテ又熔ス、一場一場ヲ經テ、次第ニ雜質ヲ拆(ワカ)チ去リ、最後ノ場ニ至リテ、遂ニ純銅ヲ得ル、各鑪ミナ一次暫過シ、閫戶熔煉ノ外表ヲミルノミ、社中ノ諸人一一ニ其解ヲナシタレモ、匆匆ニテ詳ニスル能ハス、○各場舍、其廣キハ百五十坪、挾キモ百坪ノ大舍ヲ、纔許トモナク立並ヘタリ、最後ノ場外ニ

銅ヲトリシ、礦石ノ塊ヲ山積ス、其石ハ紫黒色ニテ甚タ重シ、傍ニ一小室アリ、此ニテ煉成ノ銅ヲ試驗シ、猶駁雜ナレハ批シテ再煉セシム、○此場ハ總テ職人ヲ入ルヿ口ニ三百八ナリト云、英國ハ銅ヲ產スルノ多キヿ、世界第一ナリ煉銅ノ業モ、從テ高名ナリ、然レモ煉銅ニ尤モ注目スヘキハ、爐ノ法式ニアリ、其成功ハ、數日ノ工ヲ經テ煉成スルモノナレハ、固リ一時間怱怱ニ看過シ得ヘキモノナラス、馬ヲ走ラシメテ燈ヲミタルカ如シ、肯綮ヲ知ルニ足ラス、

礦金中ニ於テ、銅ノ一種ハ、自然生ノモノ多シ、故ニ純精ニ熔煉セル銅分ヲウルハ難ケレモ、不純ノ銅ヲ用フマテハ容易ナリ、是ヲ以テ人事ノ開クルニ從ヒ、銅ノ製作ハ早キ世ニ行ハル、世界各國、毛ヲ茹ヒ血ヲ啜ルノ世一進シ、石ヲ以テ器ヲ製スルノ世トナリ、再進シテ煉銅ノ業起ル、我日本ノ古代ニ石斧アリ、又煉銅ノ法アリ、三器ノ寶モ、此兩法ニテナレルモノナリ、禹貢ニ三品金ノ貢アリ、蚩尤ノ兵器モ、蓋シ銅ヲ用ヒタルノミ、南亞米利加ノ智利ハ、銅ノ名所ニテ、此國ノ土人、古昔ノ銅器トテ、各國ノ博古館ニ陳ネルヲミル、然レモ煉銅ノ精理ニ至リテハ、化學ノ開ケニテ、始メテ其蘊ヲ發明セ

ルノミ、純粹ノ銅ヲ煉成スルノ法ハ、元來容易ナラス、例焰爐ヲ以テ、硫礦分ヲサリ、礦石分ヲ去リ、再ヒ鑛分ヲサリ、然後ニ礦石分ヲサリ、又硫礦分ヲサリ、又鑛分ヲサリ、錫分ヲサリ、熔煉六七次ヲカヘ、三日三夜ノ後ニ、漸ク純銅ヲ得ル、故ニ古ノ銅ハ純銅ニアラス、其質中ニ雜質ヲ含メリ、此等ノ理ヲ知ルニ非サレハ、眞ノ煉銅ヲ語ルヘカラス、己ニ純銅ヲ得テ、以テ眞鍮ヲ和スレハ、其光ハ金ニ亞シ、白銅ヲ製セハ、其光ハ銀ヲ欺ク、硫酸銅トナシテ顏料ヲ製スルノ類、錢ニ亞シテ利用ノ廣キ礦物ナリ、殊ニ家屋舩舶ノ內景ニ用フルト、白銅器皿ニ費ス高、最多ナルヘシ、日本ノ銅細工ハ、歐洲ニ擧レ高シ、其巧技ノ圓熟シテ風致アリ、歐洲ノ習氣ヲ脫セルニヨル、又銅質ノ調和熔煉、及ヒ發色ノ術、別ニ歐洲未發ノ秘ヲ發セルモノアリトテ、甚タ賞美スルナリ、恨ムラクハ其巧ハ美術ニ屬シ、未タ多量ノ輸出ヲナスヘキ工ナキヲ、

○夫ヨリ「ヘッポン、スティション」ノ岸ニ至ル、此ニ河底ヲ濬ヘル舩アリ、元來此ノ「タイル」河ハ、元ハ甚タ淺クシテ、舩舶上リ來ラス、此府ノ興ルニ從ヒ、泥ヲ濬フ法ヲ設ケテ、日夜之ニ從事シ、又海角ニ波止ヲ築出シ、海口ノ潮ヲサヽヘル等、種

種ノ營繕ニ因テ遂ニ良港トナレリ〇淤泥船ハ里昧皷府ニテモ略目撃シタレト今日之ヲ詳觀スルヲ得タリ其装置ノ大略ハ船ノ兩側ニ鏁鎖ヲ以テ連珠ノ鏁斗ヲ繋キ其鎖ノ首尾ヲ接シ連環帶ヲナシ之ヲ輪軸ニテ張リ一軸ハ船上ニ施設シ一軸ハ河底ニ沈ム鏁鎖ニテ力ヲ送リ船上ノ軸ヲ刎上レハ河底ノ輪軸刎起リ之ヲ刎下セハ又下リテ傾仄ス河ノ深淺ニヨリ斜度ヲ自在ニスルヘシ連珠斗ノ上頭ヲ輪軸ノ齒輪ニ含マシメ三十五馬力ノ蒸氣器械ニテ齒輪ヲ旋回スレハ連珠斗ハ挨次ニ下リ河底ヨリハ泥ヲ盛テ上面ヨリ上リ船首ニ至リ倒ニ傾瀉シ順ニ裏面ニ向ヒ下リサル泥ハ箱口ヨリ船側ニ迸リ出ルヲ此ニ小船ヲ繋キテ之ヲ受ケ滿テハ即チ交代ス連珠斗ノ數ハ三十四五ヲ連ヌ如此キ仕掛ヲ船ノ兩側ニ施シタリ一晝夜ニ一萬七千噸ノ泥ヲ掀ク今年ニ入テ已ニ十ケ月間ニ八十萬噸ノ泥ヲ掀ケタリ

〇此處ニ一ノ大船ヲ泊セリ其船號ヲ「フィルハーブリー」ト名ク其長サ四百四十「フィート」世界ニ第二番ノ大郵船ナリト然レモ「グリノック」ニ出タリ第三十卷ノ船落成スルトキハ風斯下トナルヘシ〇此岸ニテ船ヲ留メ晝食ノ享應アリ會食五十

入計「スピーチ」アリ

○岸ニ上リテ「ヘッポン、スティション」ノ製鉛場ニ至ル、此場ハ希臘(ギリーキ)國ヨリ棹鉛(サノナマリ)ヲ輸入シ、其質ニ含ミタル銀ヲ分拆シ、純鉛トナシ、其鉛ニテ鉛板ヲ展ヘ、白鉛ヲ酸化シ、鉛丹ヲ煉ル所ナリ、○先ツ棹鉛ヲ大鍋ニテ熔解シ、鉛中ニ含メル、銀ト銅トヲ分チ出ス、此鍋ノ經四尺許、其狀ハ普通ノ平鍋ノ如シ、長キ竈突ヲ造ル、其狀ハ我尋常横竈ノ長大ナルモノニテ、其長サ約十四間ニ亘ル、之ニ十鍋ヲカケ、各鍋ノ間ナル隅ニ、又八个ノ小鍋ヲカク、大小十八鍋ヲ含ム、如此キ互竈ヲ、總テ六突箇モ設ケタリ、棹鉛ヲ其大鍋ニイレ、竈口ニ火ヲ熾ンニシ、鍋ニハ水ヲイレテ鉛ヲヒタシ、其酸化ヲ防ク、鉛ノ熔度ハ速カナルユヘ、鉛全ク熔スレハ、長柄ノ鐵杓ニ、無數ノ孔ヲ穿チタルヲ以テ搔攪シ、熔鉛中ノ顆粒ヲ酌(スクヒ)上クレハ、鉛ノ稍冷ルニ從ヒ、其質中ニ銀ハ顆粒ヲ結ヒ、鐵杓ニ殘留ス、之ヲ隅ノ小鍋ニイレ、熔解ノ後ニ、次ノ大鍋ニイレ、又搔攪シテ酌上クル、凡鉛一噸ニ、三百「オンス」ノ銀ヲ含ミタル以上ハ、此竈ニテ分拆ス、若シ其量コレニ及ハサルハ分拆セス、鉛ハ銀分ナキヲ上品トス、含銀ノ量僅少ナルハ、分拆ノ費、得失

相價ハサルヲ以テ分拆セサルナリ〇次ニ右ノ法ニテ分チタル含銀鉛中ニ混セル銅分ト銕分トヲ分拆ノ鑪ヲ示ス是ハ磚瓦ニテ製シ側面ヨリ火口ヲ開ク下ニ風口アリ上ニ鉛ヲオキテ熔ス其鑪牀ハ傾斜セリ此爐ノ製ニ深訣アリ〇次ニ鉛ヨリ銀ヲ分拆スル鑪ヲ示ス此鑪製法モ略前式ニ同シ其内景ノ狀ハ外面ヨリ解シ難シ此内ニテ鉛ヲ熔解シ鉛ヲ酸化スル劑ヲ投スレハ百分三ノ鉛ト九十七ノ酸化物トナリテ上ニ浮ム銀分ハ下ニ沈ミ底ノ盂ニ入ル因テ其浮ミタル酸化鉛ヲ搔キ出ス此酸化鉛ハ又別場ニ送リ製法ニカケルト謂フ此日爐底ノ盂ヲ引出セシニ其盂ハ銕製ノ桃實形ノ薄鍋ニテ深サ一寸許內面ニ泥土ヲ塗リタリ其内ニ充タル銀ハ重量五百磅ノ量ヲ得タリ凡ソ鉛一噸ニ含ム銀分ハ百「オンス」ヨリ八「オンス」ニ至ル甚タ不等ナリ（此說ハ前ニ記セル說ト異ナリ孰レカ是ナルヤ聞シマヽニ併セ記シテ攷ニ備フ）凡ソ諸製造場ヲ回ルニ案內スル人ハ多ク社中ノ頭立タルモノナレ𪜈工事專門ノ分科アリ術理ヨリ會計ノ情由マテ一一ニ知悉セル人ナシ只其受持一課ヲ詳カニセル人ノミ故ニ我問ヒニ答フルニハ往往ニ誤リ多シ社長

或ハ總幹等ニ就テ審問シ、而テ後ニ創記スルト雖ヒ、時ニハ如此クナル能ハサルヿモアリ、殊ニ本日ハ甚タ倉皇ニテ、最モ詳密ヲ欠ルヿ多シ、

西洋諸國ニ製作學術ノ盛ナルヲキヽ、日本ニテ想像スレハ、人人ミナ一般理化ノ術ナトハ、知悉セサルモノナカルヘシトナサン、是大ナル誤ナリ、凡一場ニ業ヲ操モノハ、自己ノ分業ヲ精細ニ知得スルノミ、己ニ全精神ヲ其科ニ致ス片ハ、他ノ技術ハ淺薄知リ易キヿモ、多クハ莫然タル人多シ、製造場ノ社長トナルモノトテモ、必ス化學、重學、理學ノ博士ニモアラス、理上ノ工夫ト、實驗ノ鍛錬ハ、學問上ニ於テモ自ラ人ニ短長アリ、況ヤ之ヲ實用ニ施シ、利益ヲ得ルニ至テハ、其運用ノ妙機ハ、學知ノ外ニアリ、一个ノ製造ヲ起スニハ、諸名人集リテ、其業ヲ構ヘ起シ、各人ミナ分業ニヨリテ、其適當ノ職ヲ務メ衆美ヲ合セテ、一物ヲ製シ、之ヲ賣與ヘテ、利益ヲ納メルマテ、多少ノ人物ヲ要スルモノナリ、殊ニ化學理學ノ如キモ、一般ノ人ハ、了知セサルモノ多シ、西洋工藝ノ盛ナルハ、分業ノ多キニアリ、兼業ノ人多キニヨラサルナリ、

此場甚タ廣ク、幅二十五六間ニ、長サ六七十間モアルヘシ、中央ノ場内ニテ、鉛板ヲ展ル、其法ハ凡五尺方ニ厚サ五六分ノ大鋳盤ニスエ、爐口ヲ開キテ、熔解ノ鉛ヲ流シ込ミ、上面ノ鏽(即次酸化鉛)ヲ、鋳板ニテ掻キ取リ、鉛ノ凝結スル後ニ、之ヲ「ロール」ノ下ニシキ、鋳盤ノ上ニ展フ、猶玻瓈ヲ展フルト同シ、廣サ五六尺、長サハ十間ニ至ル、長短ハ望ム所ノ度ニ従ヒ截ツヘシ、

別ニ一字ノ場アリ、白鉛ヲ製ス、此場ニハ重ニ婦人ヲ役ス、先ツ鉛ヲ熔シ薄片トナス、幅五六寸、長サ尺許、面ニ十餘箇ノ孔ヲ開ク、一室内ニ木澁(タンニング)ヲ煎シタル、樹皮ノ屑ヲ敷キ、其内ニ瓦器ヲ埋ム、瓦器ハ圓經三寸餘、深サ之ニ同シ、上濶ク下狭シ、植木(ウヱキ)ニ用フル土鉢ニ似タリ、之ニ木酢ヲ盛テ、其上ニ鉛片ヲ載セ、板ヲ覆ヒ、又樹皮屑ヲ埋メ、又上ニ瓦器ヲオキ、如此ク層層ニ埋メ、室ノ戸ヲ鎖テ、之ヲ酸化セシメル、約三ケ月ヲ經レハ、鉛片ハ醋ノ交感ニヨリ、樹屑ヨリ温蒸スル炭酸ヲ引テ、白色ニ化ス、此ヲ炭酸鉛トス、即チ白鉛ナリ、其白鉛ヲ水ヲ盛タル桶中ニ入テ、其未タ酸化セサル鉛分ヲ淘汰シサリ、水ヲ澄清スレハ、底ニ白粉ノ沈澱スルヲ、酌ミ揚ケ、車ニテ碎キ、之ヲ篩(フルヒ)テ、更ニ水底ニイレ、水浄シテ後

ニ之ヲ乾カシ白鉛粉ヲ得ルナリ「此白鉛粉ヲ別室ニ送リ「磨輪ノ上ニ「乾性油ヲ混和シ「樽ニ盛テ輸出ス「是ヲ白鉛漆粉(ペンキ)トス「堊土ノ料トナスモノナリ「純白鉛ニテ製セルハ上品ナリ「多ク亜鉛白粉ヲ加フ「價ヤヽ廉ナレド下品ナリ「西洋ニテハ「白鉛粉ヲ婦人ノ化粧ニ用ヒルヿナシ「化粧ノ白粉ハ米ニテ作ル「鉛粉ハ戸壁舟船ヲ塗リ「風水ノ腐蝕ヲ防ク用トナス「西洋家屋ノ材ニ「濡而之ヲ塗ルニヨリ「需用甚タ宏多ナリ〇此場ノ白鉛製法ハ「新法ニテ「之ヲ荷蘭陀術ト名ク「舊法ハ酸化鉛ヲ强醋ニ浸漬シ「之ニ炭氣ヲ透セハ「下ニ白粉ト化シテ殘ル「本邦ノ鉛粉ハ「西京大阪ニテ製ス「其法ハ頗ル新法ニ類ス「只醋ノ性弱ク、亦腐木ノ自然熱ニテ「炭酸ヲ游離セシムル理ヲ悟ラス「日夜ニ文火ノ温ヲ與フニヨリ「工費ヘテ獲ル所少シ、

又一場ニ於テハ「丹鉛ヲ作ル「是ハ鉛ヲ爐ニ燒キ「爐口ヨリ長柄ノ鐵把ヲサシ入テ搔キ廻ス「此爐ハ爐口ヲ開キ「風氣ヲ鼓入スル仕掛ヲナシ「中ニ酸素ヲ送ル「此丹鉛ヲ作ル場ハ「火氣人ヲ毒シ「工師モ往往ニ健康ヲ傷ル「務メテ風氣ノ溢流ヲ防クヘシ「丹鉛モ亦油ニ和シテ「物ヲ塗ル用トナス、

鉛ノ用甚タ廣シ第一ニ此質ハ水ニ壞レサル妙用アリ酸化ニヨリ種種ノ美色ニ變化シ不可熔ノ粉ヲ結ヒ是ニ由テ大用ヲナス此場ニ設ケタル製作ノ諸法ニテ煉鉛ノ術ハ略備ハレリ○第一ニ觀タルヲ鉛中ニ含メル銀ヲ分拆スル術トス一千八百三十八年英國人ペテンシン氏ノ發明ニテ十鍋互煉ノ方トス凡鉛ハ華氏(ハーレンハイド)ノ六百二十度ノ熱ニテ熔解ス銀ハ一千八百七十三度ノ熱ニアラサレハ熔解セス故ニ十鍋ヲ一突ニ仕掛ケ先第五鍋ニテ鉛ヲ熔シタルヲ稍冷シ水ヲ加ヘテ擾攪スレハ鉛中ニ混セル銀ハ顆粒ヲ結フユヘニ其顆粒ヲ取出シテ小鍋ニ入レ之ヲ第六鍋ニ傾ケ混シ第五鍋ニ殘リシ鉛ヲ第四鍋ニイル如此ク展轉遞ニ煉リ第十鍋ヲ盡セハ此ニ含鉛ノ銀ヲ得ルナリ○第二ニ觀タルヲ含鉛ノ銀ヨリ銅鉄ヲ去ル術トス凡銀ノ銅鉄ヲ含ミタルヲ分拆スルニハ必ス鉛ヲ和シテ熔シ薄板トナシ再ヒ爐内ニオキ熔流セシムレハ銀鉛ハ流レ銅鉄ハ殘ルモノナリ此術理ニヨリ第二ノ伎倆(ワザ)ニテ取タル含鉛ノ銀ヲ此爐ニオク此爐底ハ前ニ向ヒテ少シク傾斜ス火度ヲ加フ六百五十度ノ熱ニ至レハ鉛ハ熔流ス因テ

銀ヲ含ムマヽ、斜面ヲ圓轉シ向ヒナル底ニ落テ、銅鐵ノ分ハ熔セス、渣滓トナリテ傾斜ノ面ニ殘ル〇第三ニ觀タルヲ、銀中ヨリ鉛ヲササル方トス、鑪底ニ鍋ヲオキ、鍋ノ縁ニ孔アリ、鉛ノ熔スルニ從ヒ、流レ落ルヘカラシム、銀重ク鉛輕キユヘラ浮ヘハナリ

自含鉛ノ銀ヲ、此鑪ニイレテ熔シ、粗紅熱ノ度ニ至ルトキ空氣ヲ鼓シ、鎔鉛ノ中ヲスキシムレハ、鉛ト酸素ト抱合シ、次酸化鉛トナリ、灰色、ノ粉ニ化ス、猶モ空氣ヲ鼓入スレハ、亞酸化鉛トナリ、黄色ノ粉ニ化シテ浮ム、此鼓風酸化ノ法ハ此場ニテハ藥ヲ用フルトイヘリ其藥ハ何ナルヤヲ知ラサレヒ酸素ノ抱合多キモノヲ投シ其抱合ヲ破リ鉛ト抱カシムル術ナラン底ナル鍋ニハ銀ノミ熔流シ落ルナリ〇第四ニ觀タルヲ、鉛ニ炭酸ヲ抱合セシメ、白粉ニ化スルノ術トス、本條ニ其技倆ヲ詳カニセリ〇第五ニ觀タルヲ、煉丹ノ法トス、前第三伎倆ニテ、銀ヲ分析スルトキ得タル黄色鉛粉ヲ、此場ニ送リ更ニ鑪中ニ熔シ、風氣ヲ鼓シ、其質內ヲ過シメルニヨリ、更ニ酸素ト抱合シ、鉛三分酸素四ノ質分トナリ、朱赤色ニ變ス、即チ丹鉛ナリ〇此五法ノ外ニ鉛糖(醋酸鉛)ノ製法アリ、此ハ白鉛中ノ一伎倆ニ屬ス、凡ソ鉛ハ以テ薄葉トナシ、屋宇ヲ葺キ、製作室「コロール」ノ製作ヲ張リ、管トナシテ瓦斯ヲ導キ、或ハ以テ

電線ヲ套シ、酸化鉛及ヒ「エマイル」ヲ和シテ、磁器、玻瓈ノ顏料ニ和シ、密陀僧ノ漆ヲ煉リ、丹鉛ノ人目ヲ喜ハシメル、白鉛ノ漆粉トナル、鉛糖ノ染房ニ必用ナル、其利用モ夥多シト謂ヘシ、

○「タイル河ヲ下ル、約四英里ニテ「シイルツス村ニ至ル、此ハ「タイル河南岸ノ岬角ニテ、人家頗ル密ナリ、此邊ノ兩岸ハ、スヘテ造船廠(ドック)多ク、舟船ヲ業トスル村ト覺ヘ、帆檣林立シ蜘網ノ如シ、其盛ナルヿ里味陂府(リヴァプール)ニ彷彿タリ、造船ヲナセル所甚タ多シ、ミナ尋常舟船ノ製造ニテ、大船ノ製造ニハアラス、

「シイルツス邑ニ「シチーーセンツン氏ノ曹達製造場アリ、此人ハ當時巴力門(パーメント)ノ議員ニ選マレタル、英名ノ人物ナリ、此會社ノ頭取ヲ維廉(ウリヤム)ツン氏ト云、親ヲ案内シテ、其場ヲ回覽セシム、○曹達ハ、灰精(ポッタース)ト同性異質ノモノニテ、山沕(アク)海沕(アク)トモ稱スヘシ、曹達ハ、海物中ニ多少含ミタル沕ナリ、鹽酸製場ニテハ鹽ヨリ「コロール」ヲ分チ、此物ヲトル、此場ハ「コリローフ」ト云海石ノ鏍屑ニ、海草ヲ和シテ、兩物ニ含メル曹達ヲ取ル、海草ハ蓋シ西班牙(スイハニヤ)ノ海ニ生スル、海松ノ類ナルヘシ、其草ハ鹿角藻(ヒシキ)ニ似タリ、「コリローフ」石ノ事ハ、次ノ條ニ詳カナリ、○一場

內ニ經七八尺長サ丈餘ナル圓球ノ大鎮鑵ヲカケ之ヲ輪轉スヘキ仕掛ヲナシ鑵ノ腹ニ口ヲ開キ開閉スヘシ曹達ヲ煉取スル料ヲ此ヨリ吐納ス此鑵中ニ瓦斯（ガス）ノ火ヲ送リ曹達ノ料ヲ燒キ其鑵ヲ輪轉シテ自ラ攪動セシメ度至ル後ニ口ヲ開キ材料ヲ傾ケ出セハ黒色ニテ灰土ノ如キモノトナリ出ル是ヲ地上ニ撒シ冷タル後ニ其中ニ曹達ノ結晶ヲミル之ニ水ヲ加ヘテ溶解セシムレハ曹達ハ溶流シ硫礦分ハ材料ノ滓（カス）ニ存留ス其水ヲ方五尺ニ厚サ七寸許ノ大鎮盤ニ盛リ温熱ヲ與ヘ水ヲ蒸散スレハ水面ニ斜立方形ノ結晶ヲナス氷ノ如シ之ヲ結晶曹達トス結晶曹達ハ一分ノ炭酸曹達ニ十分ノ水ヲ含メルモノトス此結晶大鎮盤ハ四階ノ上ニ四十餘モ連ネタリ此場ノ室中ニ又幅五尺長サ六七尺高サ四尺ナル方形ノ大鐵櫃ヲスヱタリ是ハ定メテ温熱ヲ送リ結晶曹達ヲ燒キ熔煅曹達トナス蒸氣ノ外套ナルヘシ〇下ナル第三階ノ所ニテ結晶曹達ヨリ水分ヲ分拆シテ乾炭酸曹達トナシ或ハ重炭酸曹達トナシ之ヲ碎キテ粹白ナル粉トナシ以テ處處ニ山積ス又第二層ニ下レハ之ヲ樽ニモリテ輸出ス別ナル一字ニハ油ヲ和シテ石鹼ヲ造ル所モア

リト此日回覽ノ場多ク尤モ倉卒ニテ何モ詳カナル能ハス、

○此邊ノ兩岸ニソフテ人家アリ其前ニ低キ岡阜ヲミル曰フ是ハ五十年前此港ノ交易起リシヨリ輸入スル船下荷トシテ積來リタル沙ヲ輸出ノトキニ江中ニ弃タルモノ積リテ山ヲナシタルナリ其大サヲ問ヒシニ其一ハ山頂ノ幅百尺橫二百尺高サ二十尺其下基ノ幅三百尺ニシテ長サ六百尺アリ之ヲ「ブァレース」ト名ク其三筒ニ港口ハアリ凡ソ西洋形ノ船ハ下荷ヲ積ミ水中ニ重壓セサレハ其舟漂蕩シ易シ故ニ輸出品ニ乏ク或ハ輕量高價ノ品多クシテ輸入品ノ多量多重ナル港ニハ貨物ヲ積來リ沙石ヲ積去ルヲ免レス、我橫濱ニ沙礫會所アルハ是カ爲メナリ之ニ反シ輸入品ハ輕量高價ナルモノニテ以テ多量多重ナル物品ト交易シテ輸出スル港ニハ二艘ノ荷物ニテ、交換ノ代品ハ數艘トナル故ニ沙礫ヲ積來リテ其貨ヲ積去ラサルヲ得ス此新城府ハ石炭輸出ノ港ニテ加フルニ鋼器鐵器等皆多重ニシテ價少キ物ヲ多ク輸出ス故ニ入津ノ船ヨリ沙礫ヲ弃テ品物ヲ積去モノ甚タ多ク遂カヽル山ヲナスニ至レリ意フニ必ス港ノ法則アリテ是ニモ多少ノ稅ヲ抽ツナ

ルヘシ、

○夫ヨリ「シイルウス」ノ海角ニ至ル、此處ハ直ニ北洋ノ水ニ接シ、淼茫タル海波ノ衝ナレハ、海角ヨリ岬ヲ築出シテ其波勢ヲ遮リ、且「タイル河口ノ淤泥ヲ彈回スル爲メ、岬首ニ波戸(ハト)ヲ築キ起セリ、此ニ波戸用ノ石場ヲ設ク、此場ニ於テ「コリローフ石ヲ鋸截シ、其用ニ供ス、此石ハ其質灰白ニテ甚タ脆(モロ)シ、所謂泡石(カルイシ)ニ類ス、蓋シ石灰質ノ石ナルヘシ、此石ハ海底ニ生成シ、多ク曹達分ヲ含メルニヤ、之ヲ「シイルッス」ニ輸シ、以テ曹達ヲ採ル用トナセリ○場中ニ鋏輪ヲ回シ、此石ヲ鋸截ス、鋏輪ノ緣(フチ)、厚サ徑五六分アルヘシ、是ニ筒狀ノ鋏刃ヲツケ、石面ヲ削リ鋸斷ス、其粉末ハ筒刃ノ孔ヨリ漏出ル、其末ヲ車ニ盛テ「シイルッス」ノ曹達製場ニ送ル、又其零片トナリ碎ケタルハ、造石ノ法ニテ煉リ固メ、又一箇ノ石材トナシ、截リ出セル石材ト併セテ、滊車ニテ海角ヘ運ヒ出ス、是ヨリ海角ノ波戸ヲ築ク所ニ至ル、岬角ヨリ海中ヘ、灣形ニ石垣ヲ築出セルヿ、已ニ一英里ニ及フ、岬上ヨリ東望スレハ、北海ノ波濤、天ニ接シテ黑ク、澎湃ノ勢ヲナシ、岬角ニ押寄セ、白沙ノ濱ヲナシ、怒浪ヲ蹴立ツルヲミレハ、遠淺(トオアサ)ノ

ノ海トソ知ヲレゲル石垣ノ高サハ沙洲ヲ出ル二丈餘上頭ニ數條ノ鐵道ヲ敷テ運送ニ便リシ又鐵軌ニソヒテ鐵ノ長管ヲ引タリ其管口ニ蒸氣器械ヲ仕掛ケ空氣ヲ管中ヘ送リ管ノ末ヨリ「ゴム」ノ蛇管ヲ繫キ入水鐘頂ノ孔ニ傳ヘ海水ニ入ラシム職人ヲシテ此鐘ニ入テ海底ニ工作ヲナサシム○入水鐘ハ「タイウィンベル」ト名ク鐵板ヲ釘緊シ上ヲ圓クシ其面ニ六箇ノ玻瓈ヲ嵌シテ明ヲトリ上頂ニ孔アリ「ゴム」ノ蛇管ヲ繫キタル銅管ヲ螺旋ニテ堅ク捻入レ是ヨリ空氣ヲ送リ鐘内常ニ新陳交換セシム又鐘内ノ兩側ニ榻牀ヲ設ケ兩人對坐スヘシ此中ニ職夫ヲイレ海底ニ沈メ工作ヲナサシム我輩ノ岬頭ニ至リシトキハ正ニ鐘ヲ沈メテ施工中ナリシニ合圖ヲナシテ鐘ヲ引擧ケタリ兩夫共ニ鐘ヲ出ルニ少シモ水氣ヲ帶ヒス凡西洋ニテ水中ニ工ヲ施スニハミナ此鐘ヲ用フ其形式ハ種種アレトモ其理ハ大同小異ニスキス

○此河口ニモ里味咬府ト同ク船學校アリ性質ノ惡シキ子弟ヲ入テ水夫ノ業ヲ教習ス生徒桅ニ止リ帽ヲトリテ祝聲ヲナセリ

○夫ヨリ向岸ナル「タインマウス」ノ燈臺下ニ至ル○「タインマウス」ハ北緯五十

六度、西經二度二十七分、此處モ頗ル一庶村ニテ、岸上ニ男女群立シ、我輩ノ來ルヲ待テリ、燈臺下ヨリ石岬ヲ築出シ、前岡ト相對シテ小灣ヲナス、此口難船救助ノ法ヲ試ミテ示セリ、抑此港ハ北海ニ控ヘ、洋海甚タ暴ク(アラク)、難破ノ船多シ、甲比丹(ケピテイン)某氏ハ此所ノ富豪ニテ「パンク」ノ社中ニモ加ハリシ人ナリ、其救助ノ法ヲ思考シ、遂ニ此仕組ヲ始メタリ、之カ為メニ助命ヲ得タル船客モ甚タ多シ、此日燈臺下ノ波戸ヲ難船ニ比擬シテ、前ノ岡陵上ヨリ、一發ノ火失ヲ射出セリ、此火失玉ニ綱ヲ繫キテ波戸ニ達セシメ、是ヲ手繰(タグ)リ、其端ニ巨綱(オホツナ)ヲ繫キ送リ、此綱ニトリツキ、又種種ノ繩ヲ仕掛ケ、夫レニ兜狀ノ鐵鉢ヲ低下ス、此鐵鉢ニテ荷物ヲ載セ、船客ヲ乘スヘシ、是ニ綱ノ仕掛アリ、引テ前ヘ送リ、又繰(クリ)テ後ヘ戻スヘシ、又一榻子ヲ往來セシメル設ケモアリ、是ヲ難破船ニ繫キ、乘組ノ人ヲ載セ、何時間アレハ荷物ヲ載セ移ス、○此日「パークス氏ハ、此榻ニ上リテ海灣ヲ超エタリ、此岸ヲ離ルヽ時ハ、岸上ヨリ祝聲ヲ發シ、向岸ニ達スレハ向岸ニ祝聲ヲ聞ク、時ニ日方ニ暮タレハ、岡上ニ「マグ子シヤム」ノ火ヲ點ス、灣海ミナ白光ニ照サル、兜影ハ水面ニ映シ、「パークス氏ノ影、波間ニ蒼茫トシテ、歸

リ來ル、兩岸歡喜ノ聲ヤマス、亦一奇觀ナリキ、〇肴畢リテ、甲比丹ヲ始メ、地方ノ諸人ミナ從ヒ「タインマウス」ノ街ヲ步行シ、滊車驛ニ至ル、村民男女、前後ヲ纒ヒ來リ、甚タ混雜ナリ、六時ニ驛ヲ發シ、歸館ノトキ、已ニ七時ニ及ヘリ、

此日ノ舟程ハ距離七八英里

〇夜八時後ヨリ、「アルムストロング」氏ノ案內ニテ、當府ノ天文臺ニ至ル、是ハ當府ノ有姓某、私ニ取立タル天文臺ナリ、此臺ニ設ケタル望星鏡、其球ノ大ナル、徑二十五「インチー」厚サ四「インチー」、其價五千弗ニテ購ヒ入レタリ、世界ニ無類ノ大鏡ナリト云、全臺ノ入費ハ、年ニ一万磅ヲ耗ス、其臺上ハ圓規ノ壁ニテ、上宇ヲ圓球ニシ、分度ノ狀ニ鐵線ヲ輳合シ、而ニ玻瓈ヲ簸ス、全宇ヲ機ニテ轉回スヘシ、中ニ大鏡ヲ安シ、亦機ニテ左右上下ヲナシ、星影ヲ鏡後ニ盛リシ木盤ノ上ニ映セシムル仕掛ヲナス、又月星圖、及ヒ日耳曼(ゼルマン)ノ天象精圖ヲ、寫本ニテ藏ス、若シ新發見ノ天象アレハ、各天文堂ヘ、電線ヲ以テ告知シテ、其經驗ニ備フトナソ、

第三十五巻「ブラットホールト」府ノ記

九月二十二日　雨此霜降ノ節

朝十時ヨリ、新城府ヲ發シ、南方「ドーハム」州ヲ過キ約克(ヨークシヤ)州ノ西部マテ九十英里ヲ走リ、午後二時半ニ「ブラトホールト」府ニ着ス知事(メヨ)親ラ驛ニ迎ヘ、馬車ニ駕シテ「ヴィクトーリヤホテル」ニ宿ス、驛舍ノ内ヨリ「ホテル」ニ至ルマテ、沿途ノ街上ニ、人民群集シ、見物スルヿ堵墻ノ如シ、前後各都府ニテ、群集ノ見物ヲウケルノ盛ナル、此府ヲ最トス、街頭處處ニ張札アリ、來ル木曜日ニ、日本使節到着、知事同道ノ文ヲ書シタリ、旅館ニ着スレハ、知事ヨリノ注意ニテ、晝餐ヲ用意シ、食後ニ親ラ來リ欵話シ、其應接甚タ欵懇ヲ盡シ、夜ハ「ホテル」ニ於テ小宴ヲ設ク、

○「ブラットホールト」ハ、約克(ヨークシヤ)州ノ一都會ナリ、此州ハ英倫(イングランド)北部ノ大州ニテ、地積五千九百八十三萬英里、人口百十九萬五千五百六十九人ニ及フ、炭鑛共ニ富ミ、製作甚タ盛ンニ、貿易ノ良港モ多シ、山陰ノ「ランガシャ」ト互ニ繁盛ヲ競ヘリ、首

府ヲ約克ト云ヒ大都ハ里的、舌弗力及ヒ「ブラットホールト府ヲ首トシ二十府ニ及フ○「ブラットホールト府ハ北緯五十三度四十三分、西經一度四十五分ニ位シ、人口ハ、一千八百年ニ、一萬三千ノ邑ナリシニ、七十一年ニハ、十四萬五千八百二十七人ニ及フ、其地勢ハ、四面ニ岡陵相重ナリテ、一水縈帶シ「キムベー灣ノ上流ヲシメ、海灣ヲ距ル事三十六英里アリ運河ヲ以テ漕通スヘシ、背ハ漫識特府ト、山脈ヲ隔ル三十五英里、鐵道ニテ往來スヘシ、英國ノ内部ニ於テ、羊毛ノ紡織、幷セテ羊皮製造ノ名所ナリ、每歳羊皮ヲ製スル高六十萬枚ニ及フ、羊毛ノ高ハ未詳ナレモ、後ノ「ソルテヤ」「ハリハツキス」ノ記ニテ其盛大ナルヲミルヘシ、府ニ接近ノ地ハ、岡上谷底ニ、石炭ノ碎末ヲ堆積シ、到ル所ノ土ヲ染メテ黑ク、製造所ノ烟突、處處ニ起リ、黑烟天ヲ焦スヲミル、

二十三日 陰

朝十時ヨリ滊車ニ上リ二十四英里許ヲ走リ「ソルテヤ」邑ニ至ル、此地ハ今ヨリ二十年前マテハ、荒原ニテ、牛羊ノ遊牧スルノミナリシニ「サー」爵名タイトル氏「アルパカ」獸名ノ毛ヲ織ル製造ヲハシメシヨリ、工商四方ヨリ臨至シ、遂ニ一

「ブラットホール府近在「ソルテヤ村ノ寺

同村「アルパカ製造場ノ汽車場

村ヲナシ今ハ人口五千ニ及フ大村トナレリ○「アルパカ」ハ羊ノ一種ニテ其毛ニ光輝アルヿ絹絲ニ似テ纖維長シ初メ此毛ヲ用ヒテ紡織セント謀ルモノアリテ南亞墨利加ヨリ其毛ヲ仕入タリシニ成功ヲミスシテ其毛ヲ里味陂府ノ倉中ニ空シク綑積シ年月ヲ經レトモ一人ノ買フモノナク之ヲ海ニ弃ントスレハ海口ヨリ拒ミ之ヲ燒弃ントスレハ府中ヨリ拒ミ徒ニ倉庫ノ借料ヲ償シ荷主ノ困屈トナリシ「タイトル氏モ久シク此毛ヲ紡織スルノ術ヲ考ヘシカ竟ニ發明スル所アリテ其毛ヲ盡ク引受ント荷主ニ約シタリ其事英國ニ傳播シ之ヲ嘲笑シテ息マス英國ハ種種ノ奇事モ多ケレトモ「アルパカ」ノ毛ニ價ヲ出シ引受ル痴漢マテ生セルナトヽ新聞紙ニテ嘲リタリ然ルニ「タイトル氏工夫ノ器械ニカケテ竟ニ一ノ精布ヲ織リ出シケレハ是ヨリ不用ノ「アルパカ」遽ニ價ヲ生シテ其業益繁昌ナシ此地ノ「テヤ河ノ上流ニヨリテ大製造場ヲ起シテ年年盛ンニ織出シ牧野ハ變シテ烟花ノ都トナリ之ヲ「ソルテヤ邑ト名ケ「タイトル氏子女ノ名ニ以テ各市街ヘ名號ヲアタヘ儼然タル素封ヲナシ政府ヨリ賞賜ヲウケ「サー」ノ爵ヲ賜ハリ今モ尚現存ナレ

ト、今日ハ遠行中ニテ面會スルヲ得サリキ〇邑中ニ小學校ヲ建ツ、村民ノ子弟男女ヲシテ、半日ハ場ニ出テ丶業ヲ操リ、半日ハ校ニ入リテ敎ヲ受ケシム、學知（タヲリツク）ト實驗（プラクチカル）ト、互ニ相進メル良法ニテ、且製作場ヨリ給料ヲ受ルハ、其子弟ニ利アルノミナラス、製造ニモ亦利アリ、英國人ハ職工ヲ保護シ、貧民救護ニ力ヲ盡スヲ、榮譽ノ一トナス、此場主ノ用意モ、亦感賞スヘシ、校中ニテ敎ヘル科ハ、小學普通ノ科ヲ授ク、男女トモニ知ラサルヘカラサルノ藝術ニテ、高尙ノ科ニ及ハス〇校ノ前ニ養老院アリ、職人ノ老衰シテ用ヲナサヽルモノハ、此ニ入レテ恤養ス、又病院アリ、村中ノ病人ヲ醫藥ス、建立ノ寺アリ、村民ヲシテ此ニ詣リテ說敎ヲ受ケ、其心性ヲ正シクス、前後ノ製造場ニテ、如此ク備ハリタルモノナシ、邑中五千ノ人口、ミナ「タイトル」氏一家ヲ仰ク、此ヲ職工市街ノ仕組トス、勸工ノ道ニ於テ、深ク意味アルコナリ、（第三編巴黎ノ記ニ備論ス）、

〇製造所ハ數字アリ「タイトル」氏ノ諸子案內シテ、先ツ羊毛ヲ蓄ヘル樓ニ上ル、羊毛ニ數種アリ左ノ如シ、

一ハ「アンコロゴー」ノ毛、一名ハ「モルヘヤ」、是ハ亞細亞買諾（アシヤマイナ）亞細亞洲ノ西北境土耳其ニ屬ス

ニ產ス、其價一磅ニ付、三「シルリング」ヨリ、四「シルリング」ニ至ル、纖維長クシ、テ光澤尤モ多シ、

二ハ「アルパカ」ノ毛、南亞米利加洲ヨリ出ルモノ、其價一磅ニ付テ三「シルリング」半「モルヘヤ」ニ似テ、光澤ヤヽ劣ル、

三ハ英國ニ產スル、尋常棉羊ノ腹ニ生セル、輭毛ノ長キモノニテ、其價一磅ニ付テ、二「シルリング」、

是ハ其大別ニテ、其內ニツキテ、又之ヲ二十四類ニ分ツ、次層ノ室ニ於テ、其毛ヲ撰リ分クル、棚ニ格子ヲ分チ、各種ノ毛質ヲ區別ス、此一場屋ハ、スヘテ五層、ミナ羊毛ヲ取扱フ場ナリ、〇第二ノ場屋ニ至レハ、羊毛ヲ洗ヒ、之ヲ彈シ、之ヲ紡シテ、細絲トナシ、染メテ機ニ上セテ織ル、其中ニ紡績シテ絲トナスノ器械ハ、即チ「タイトル」氏ノ苦心ノモノトスルナリ、其技術ノ大略ハ、彈器ニテ彈キ出タル羊毛ヲ、一條ノ大絲ニ紡成シ、之ヲ連環ノ櫛ニテ梳リ、次第ニ其纖維ヲ整理シ、次第ニ引展ヘル工夫ナリ、連環ノ櫛ハ鋼鐵ニテ作ル、之ヲ編テ冊トナシ、三十條ヨリ五十條ニ至ル、其冊ヲ環冊トナシテ、兩端ヲ齒輪ニテ張リ、スプ

リング」ヲ仕掛ケ輪回レハ歯輪ノ順序ニテ毎條ノ櫛ヲ一箇ツヽ彈キ出シ櫛齒ヲ毛絲ニ貫キ輪次ニ梳シテ進ム前ニ一櫛出レハ後ノ一櫛毛絲ヲ離レ下ヘ回リ去ル如此ク絲條モ漸ニ進ミサルナリ第一器ノ櫛齒ハ粗ナリ次ニ漸ク細密ニテ三器ヲ傳ヘテ後ニ細小ノ絲ヲナス○場内ニ一千挺ノ織機ヲ安シ「アルパカ」ノ諸布ヲ織出ス一織ノ力ニテ織ル所一周日ニ百八十「ヤールド」、去一ケ年中ニ原價五十萬「ポンド」ノ毛布ヲ織出セリ職人ヲイル、男女四千人半日ニ交代ヲナスモノ多ケレハ都合ハ六千八ニスク其給料ハ一周日ニ、ニ「ポンド」ヲ上トシ七「シルリング」ニ至ル蒸氣ノ室ハ左右ニ兩室ヲ分ツ皆七百馬力ノ巨輪ナリ石炭ヲ燒クヿ一日ニ四十噸蒸氣ヲ蓄フ鑵十有二アリ其内ノ二箇尤モ大ニ英國ニ於テ其比ナシト云○此日其書記局ノ側ラナル廣堂ニ於テ晝食ヲ供ス夫ヨリ邑外ノ公苑ニ至ル是モ「タイトル氏ヨリ修メテ職人ニアタヘタルモノナリ「テヤ河ニ望ミタル平岡ノ上ニアリ背ニ岡巒ヲ負ヒ、頗ル風景アリ是ヨリ滊車ニ上リ歸途ニ「ミットランド村ニ至ル、

○「ミットランド」村ハ「ブラットホール府ノ南部ニ引續キタル村邑ニテ此ニ絹ノ紡

織場アリ此場ハ「リスター」氏ノ社中ニテ取立タル大場ナリ二十七年前ヨリ此ニ絹ノ紡織場ハアリタレトモ規摸狹少ナリキ然ルニ先年火災ニ罹リテ燒失シ因テ更ニ其規摸ヲ廣メテ再造ヲ謀リ當時ハ尚經營中ナリ「リスター」氏ハ當年六十餘ノ老翁ナリ此邊ノ近在ニ「ボールトンアベイ」ト云川アリ其河ニ沼ヒタル所ニ田宅ヲ所有シ別莊ヲオキテ又一ノ素封家ナリ〇英國ニ蠶桑ヲ生セス此場ニテ製造ニ供スル所ハ支那日本ヨリ仕入タル屑繭屑絲等用ヲナサヽルモノヲ細輪シ器械ヲ以テ彈シ紡シ竟ニ細美ノ絲トナシテ絹ヲ織出ス殊ニ多ク天鵝絨(ビロード)ヲ織ル其施工ノ巧ミナル「アルパカ」ノ織場ヨリ又一層ヲ超ヘタリ

紡織ノ器械ハ其類ヲ推論スレハ抄紙ノ器ヨリ始マル抄紙ハ布絮ノ纖維ヲ碎キ水ニ淘シテ薄ク簀布(スノコヌノ)上ニ擴(ヒロケ)タルヲ乾カスニ過キス其施工尚易シ次ヲ麻絲ヲ紡ク器械トス器械紡キノ麻ハ麻屑ニテ精巧ナルモノニ非ス其精巧ナルハ猶人力ニテ紡ク一變シテ紡棉器械トナリ紡毛器械トナル其機巧ヤヽ人目ヲ驚カス再變シテ「アルパカ」ノ紡器トナル連環梳ノ仕掛

ケ巧ミナリト謂ヘシ、三變シテ紡絹ニ至リテ、機巧絶倫ナリ、此等ノ器械アリテ、世ニ廢弃ノ物益少シ、絹絲ノ西洋ニ貴重セラル、甚タシ、近來佛、以、澳、西、及ヒ米國ニテ、蠶絲ノ業ヲ興シ、駸駸トシテ盛多ナレ𪜈、猶高貴ナル價ヲ有セリ、茵衾ノ絮ハ、雜毛雜羽ヲ用フ、東洋ニ雜繭ヲ絮トシ、茵衾ノ蘊（ナカワタ）トナスヲ、西洋人ニミセタラハ、無上ノ驕奢トシ、天物ヲ暴殄スルト謂ナルヘシ、

屑繭、屑絲ヲ絲ニ紡績スル法ハ、先ツ之ヲ温湯ノ水檻ニ浸漬ス、此用ニ供スルタメ歟、或ハ其剩水ヲ弃ルタメ歟、磚瓦ヲタヽミテ、百尺方モアルヘキ池ヲツクリ、池面ニ蒸氣ノ生スルヲ、場舍ノ中央ニ圍ヒタリ、扨其浸漬ヲ經タル繭ヲ、温湯ニテ洗フヿ羊毛ト同シ、然レ𪜈繭中ニハ腐蠶蟲殼アリテ、其甚シキハ惡臭ヲ發シ、水色モ爲メニ黑ク、其汚穢ナルヿ鼻ヲ掩フ、此時絹絲ハ、襤褸（ツヾレ）ノ如クニ亂レ、殆ト條理スヘカラサルニ似タリ、○再ヒ之ヲ洗ヒ、彈器ニテ彈シ、又三洗三彈ヲ經テ、後ニ「ロール」ノ輪ニテ、其水ヲシボリ落セハ、絲絮ノ質ハ、灰黑色ヲナシ、多少雜物ヲ錯ヘ、甚タ穢惡ナリ、○是ヨリ連環櫛（前ノ「ソルテヤ」邑ニテ記セルヲミヨ、）ノ巧ニカヽル、先ツ麁濶ナル連環櫛ノ器械ニカケ、蟲殼腐蠶ヲ梳リ落シ、絲ノ纖

絲ヲ整理ス此時ニモ零碎ノ汚物ハ、猶絲ニ冒リ存セリ、夫ヨリ稍細齒ナル連環櫛ニカケ、再度マテ梳櫛ヲナシ、雜質ヲ梳リ落ス、如此ク三度器械ヲ移ス、三度目ノ連環櫛ハ其櫛ノ數多ク、半面ニ三十六條アリ、周圍ニハ七十二條ナリ三梳ノ後ニハ、絲面ニ冒(カヽ)リシ雜質モ、十ニ七八ヲ去リテ、絹絲ハ長條トナル、此ニ至テ微黃色ノ絲質トナリ、頗ル觀ルヘシ〇此絲ヲ數條一束シ、梳櫛ノ盤ニカケ引切ル、梳櫛ノ盤トハ、鋏盤ノ上面ノ周圍ニ、鋏計ヲ以テ、細密ナル梳齒ヲ施シタルモノナリ、此盤ハ己ニ羊毛ヲ紡スル器械中ニモアリ此盤ハ三箇相集リテ轉回ス、第一ノ盤上ニ向ヒ、連環櫛ヲ出タル絹ヲ束シ、垂下シテ漸漸ニ降ラシメ、此ニ機アリテ其絲ノ端ヲ鋏齒ニ挂ケ、幷セテ之ヲ引切レハ、絲ハ盤ノ周圍ニ、白鬚ノ如ク、參差トシテ垂レ、盤ノ回ルニ從ヒ、絲ハ風ヲ帶ヒ宛(アタカ)モ白犀ノ槍鞘(ヤリサヤ)ヲ振回スルカ如シ、盤回一周ニ至ル處ニ、盤下ニ管ヲ設ケ、蒸氣ヲ吹出ス、此力ニテ輕輕ニ絹絲ヲ吹キ、絲ハ倒ニ飛揚スル勢ニテ、第二ノ盤ナル鋼齒ニ吹カヽル、盤ノ轉スルニ從ヒ、第一ノ盤ヨリ離レ、第二盤ノ櫛ニ挂リテ回リサリ、第一盤ノ梳根ニハ、渣屑ノ殘セルノミ、第二盤ヨリ第三盤ニ移ルモ亦然リ、第三盤ノ末ニ至リ、挨次ニ其

白。毛。ヲ。收。メ。一條ノ大絲トナス雨个ノ輪盤交接ノ際ヨリ吹ク蒸氣ノ煦噓ニヨリテ絲質ニ光潤ヲ生セシメ盤ヲ出テ大絲トナルトキハ已ニ純粹ノ白綿トナルヲ又紡シ更ニ紡シ遂ニ至纖ナル絹絲トナス之ヲ瓦。斯。ノ。火。中。ニ。貫。キ。輪。ヲ。以。テ。急。ニ。繰。レ。ハ。絲。ニ。生。シ。タ。ル。細。芒。ノ。ミ。燒。ケ。テ。絲。ハ。更。ニ。粹。白。ナ。リ。此烈火中ヲ過キシムルハ細芒ヲ燒クノミナラス又布絲ノ質ニ存スル垢膩ヲ燒キ去テ色ヲ白クセシムルモノナリ布ヲ晒スドニモ此法ヲ用ヒルトナリ

明治六年西暦一千八百七十三年理事官佐々木長淳カ瑞士ヲ巡行シテ筆記セル報告ニ彼國ノ屑繭製絲ヲ記セリ此ト大同ニテ小異ナルニ似タリ參考ノタメ此ニ撮記セン屑繭ハ溫湯ニ浸スコ七。日。或。ハ。十。日。間。ニテ取出シ絞リ車器械ニテ其水分ヲ脫去シ本文ニテ羊毛ヲ洗フト同シト記セル是ナリ而テ又之ヲ皮車ノ器械ニテ敲碎シ此伎倆本文ニテハ紡彈ノ器ニテ彈鼓ス又之ヲ針車ノ器械ニ輸リテ抓搔シム而テ針車ノ針間ニミチタル屑絲ヲ針車ヨリ採去ル爲メニ此車ノ轉回ヲヤメ鋏ヲ以テ針間ノ一方ヲ橫斷シ又微ク其車ヲ轉シ手ヲ以テ之ヲ採放チ之ヲ帶ノ如クニタグリテ之ヲ他ノ針櫛車ニ輸リ漸次ニ諸種ノ針櫛器械ニ

轉移ス、針櫛車ハ即チ本文ノ連環櫛ノ輪ヲイフナルヘシ最初ノ針車ハイカナル器械ナルヤ本場ニハコレナシ此後ノ製造法ハ、木棉紡績ノ方法ニ異ナラサルカ如シ、延絲ハ臼杵器械ニテ搗碎キ、其車臼ノ轉回スルニ從ヒ、銅管ニテ頻ニ温湯ヲ注キ、延絲ヲ柔輭ナラシメテ、之ヲ絞リ、車ノ器械ニテ、水分ヲ脱去ス、其後紡績ノ序ハ、前法ノ如シ、此二種ノ屑絲ヨリ、最美ノ絲縷ヲ製シ、絨織（ビロード）其他精良ナル織物ヲ製造スルナリ、「ルッアーン」ノ近郊「ケレイン」村ニ於テハ、其屑絲ヲ精製シテ織物ヲナシ、且錬鐵ヲ以テ其「シャープ」器械ヲ製造セリ、如此ク屑絲ヲ製造スル器械ハ、凡八種ナリ、其價凡三萬一千百十五「フランク」トス、

織機ノ數ハ、スヘテ二百五十アリ、ミナ天鵝絨（ビロード）ヲ織ル、此織機ニハ、絨ノ表面ヲ裏（ウラ）ニナシテ織リ去ル、裏ニ機關アリ、齒輪ニヨリテ織毛ヲ剪スル刀ヲ往來セシメ、織込タル針金ノ頂上ヲ一截シ、幷セテ針金ヲ抽テ、後面ニ送ル仕掛アリ、〇絨已ニ機ヲ脱スレハ、之ヲ「ロール」仕掛ノ鋏ニテ、其毳毛ヲ剪リ、是ハ「ラシヤ」織ニ用フルト同シ、而テ其面ヲ摩擦ス、是ヨリ長キ方案上ニ張リ、絨面ニ摩澤ヲ加ヘ、再ヒ「ロール」ノ器ニテ磨スル等、スヘテ五六器ヲ傳ヘテ後ニ成就ス、〇夫ヨリ染場ヲ

回ルヿ凡ソ藍ヲ以テ青ヲ染ルニハ空氣ニ觸レテ色ヲ發セシムルヲ肝要トス、故ニ染工數人藍水ノ櫃ヲ挾ミテ立チ其櫃頭ニ染工ノ長一人アリ指揮ヲナシ衆工絲ヲ手ニトリ浸スヿ須臾ニテ引上ケ拍子ヲ合セテ絲ヲ振リ櫃側ノ板ニアテヽ打ツヿ數十度ニテ又染ム其他ノ染法ハ化學ノ術ニカヽリ一夕ノ審問スヘキニ非ス凡ソ藍汁ニ絲ヲ浸セハ初メ黄色ヲ帶フ空氣ニ觸レテ藍青ニ變ス故ニ日本ノ染房ニテ藍ハ天氣ノ都合ニテ染色ニ良惡ヲ差スルト謂フモ即チ染藍ノ空氣ニ觸レ發色スルノ實ナリ此場ニテハ廨舍ノ土間中ニ藍汁ヲイルヽ池ヲ設ケ其處別ニ日光ヲヒキ空氣ヲ疏通スルノ用意モナレ尋常ヨリハ微シ暗キ處ナリキ、

此場ニハ職人ヲイルヽ當時已ニ二千五百ヨリ三千人ニ及フ造營落成ノ後ハ千挺ノ機ヲ居付テ男女六千人ヲイルヽノ目的ナリト云○大烟突ヲ起ス高サ八十「ヤールド」我四十間ナリ烟突ノ口ニ入レハ十二人ヲ坐セシメテ餘裕アリ、英國ノ諸製造場ニ於テカヽル大烟突ハ未タミサル處ナリ其他温湯ノ池ヲ匝リ製造ノ廨舍ヲ縱横ニ建テ連ネ宏大ナルヿ目ヲ驚カス會社長ノ嫡子ハ

當時横濱ニ出張シテ、繭絲ヲ仕入ルト「リスター」氏親ヲ話セリ」

二十四日　陰雨

朝九時五十五分ヨリ、旅館前ノ驛ヨリ滊車ニ上リテ、八英里ヲ走リ「ハリファックス府ニ赴ク、知事、及ヒ府(タウン)ノ議員(クラーク)等驛ニ迎ヘ、「コンメルス」及ヒ毛織社ノ長モ、同ク來リ迎フ、其外市民ノ群集セルヿ、道ニ寸隙ヲトヽメス、祝聲ハ市ニ振ヘリ、馬車ニテ群集ノ人ヲ押分ケ、車ヲ驅スルヿ半英里許ニテ「ゲーンクロー」ノ「クロスリー」氏社中ノ羊毛紡織場ニ至ル○當所ノ毛織ハ、英國第一ト稱スル大製造場ニテ、「ブランケット」ヲ織リ、「カーペット」ヲ織リ、又天鵞絨等ノ諸數氈ヲ織ル、スヘテ絨毯毾氈ノ類ヲ、種種ニ織出シ、其製作ノ盛ナルヿ、言語ニ絶ヘタリ場屋ハ數宇ヲ建並ヘ、樓室ノ數スヘテ四百房アリ、各種ノ羊毛ヲ輸入シテ、其品種ヲ分チ、各各目的ノ用ニ供ス、猶「ソルテヤ」村ノ毛撰リニ同シ、之ヲ染場ニ送リテ、百種ノ色ヲ染成シ、之ヲ紡シ之ヲ織ル料トナス○スヘテ百般ノ紋ヲ織出スニハ、先ツ鋳ノ器械アリテ、各色ノ羊毛ヲ配(クバ)リ、番號ヲ加ヘテ、畫形ニ從ヒ整理シ、次ナル場ヘ送ル、禽、獸、草、木、藻績、花紋等、各國各地ニテ畫キ出セシ、新

様ノ流行モノハ、ミナ寫シトリテ摸織ス、故ニ其意態萬狀ヲ備フ、所謂ル大家アラサル所ナキナリ、已ニ其智ヲ盡シ、更ニ世界各國ノ智ヲアツム、是其智ハ益智ナル所ナリ、○其之ヲ紡シ、之ヲ彈シ、之ヲ絲ニ製スル等ハ、各紡織場ニテミタルト異ナルコトナシ、又毯子(ダンツウ)類ノ厚絨(アッピロード)ヲ織ル術アリ、其法ハ初メ各種ノ畵形ヲアヤドリ、以テ各色ノ配リヲナシ、之ヲ機ニ上セテ織ル、緯絲數條毎ニ幾分ノ隙ヲトヽム、猶絽ヲ織ルカ如シ、其布ノ機ヲ下ル後ニ、其空隙ノ中央ヨリ、一一ニ截斷シ去リ、其片片ヲ以テ、再ヒ緯絲トナシテ、紋ヲ案シテ織リ込ム、故ニ其切口ノ經絲(タテイト)、ミナ絨面蒙茸トシテ起リ、花紋ヲアラハスナリ、之ヲ總ブルニ、凡敷物ヲ織ルニハ、木綿ヲ經トシ、毛絲ヲ緯トシテ織ル、其器械ノ働キハ、波士敦(ストン)ニテ看タルト異ナラス、天鵞絨ヲ織ル法ハ「ミットランド」ト異ナルコトナシ、

○當場ノ蒸氣輪ハ、四百馬力ナルヲ居付テ、職人ヲイルヽ、日ニ男女五千人ナリト云、

○夫ヨリ「カー」製造場ニ至ル、「カー」ハ毛ヲ搔起ス器械ニテ、敷物ヲ織ルニハ、此器ノ入用甚タ多ク、又磨シ鈍レ易キヲ以テ、更ニ此場ヲ起シタリ、其餘ハ又諸方

ヘ賣出ス「カー」トハ「インギヤラハゴム」ノ片ニ銀針ヲサシテ作リタルモノナリ器械ヲ運スルスヘテ三四百箇或ハ鋏管ニ「インギヤラハゴム」ヲ卷キ水力ヲ以テ之ヲ壓スル二十四時間ノ後ニ三十五度ノ冷水ニ冷シテ其質ヲ石ノ如ク堅固ナラシメ又「ゴム」ヲ以テ刃物ヲ施セル機關ニテ切リ截ツテ之ニ針ヲサスアリ其器械ノ敏捷ナルヿ一分時ニ二百五十ツヽヲサスト云、

○此「ハリファツクス府ハ人口六萬五千百二十四人アリ此ニ「サー、クロスリー」氏ヨリ建立セシ學校アリ其校ニ至ル校中ニ生徒二百五十八アリ其中ニ於テ、七十五人ハ中學校ノ科ヲ授クルモノナリ使節至ルトキ生徒集リテ唱歌ヲ唱ヘル一關ナリ看畢リテ去ルトキミナ祝聲ヲアケヌ、

夫ヨリ「タウンホール」ヘ赴ク市民ノ群集一方ナラス此ニテ「スピーチ」ヲ取替セリ會堂ニ於テ晝餐ヲ供ス會食七十八人食畢リテ「スピーチ」ヲナシ祝杯ヲアケ時促セルヲ以テ怱卒ニ撤シ蒸氣車ニテ旅館ニ歸ル頃ハ午後三時ナリ、

○明日ハ日曜日ナルヲ以テ接伴掛兩人近傍ノ勝ヲ探ランヿヲ勸ム山口副使及ヒ林董久米邦武ノ三人ノミユク午後四時ニ滊車ヲ發シ南走スル二十英

里ニテ車ヲ下リ馬車ニ駕ス亦村民群來シ見物セリ凡英國人ハ海外ニ航シ最モ外國ノ交通ニ慣レタリト稱スレ𪜈親ラ足ヲ擧テ外國ヲ親知セルハ萬人中ノ一二ニテ殊ニ田舍ニテハ外國人ヲ奇異スルヿ如此シ是ヨリ秋葉路ヲ挾ミ岡巒野ヲ抱キ中ニ一ノ淸川アリ淙淙トシテ來ル是ヲ「ポールトンアベイ川トス數英里行ニテ「ボールトン、ブリッチ、ホテル」ニ宿ヲナス此ハ野村ノ孤館ニテ只二十餘室ノ屋ナリ川ニ向ヒ野ニ臨ミ前巒ノ眺メモ亦佳ナリ此邊ハタ「タペンシヤ丟克ノ所領ニテ曾テ英ノ皇太子ト皇女(日耳曼太子ノ妃)ト此ニ遊獵シテ此館ニ宿セリ其時ノ寢床ヲ第一ノ室ニ設ケ存セリ此日ハ副使ヲ其床ニ臥セシム○西洋ノ皇族貴族ハ遊獵ヲ喜フ婦人モ亦操銃ニ習フ英ノ北地ニ鳥アリ「グラウス」ト名ク雉ニ似テ小ナリ足ハ鴉ニ似タリ原野ノ草中ニ棲ム此鳥ヲ獵スル𬼀ハ追テ飛起セシメテ其揚羽ヲ射落スヲ法トス野ニオルヲ射ルハ耻ナリ英太子「ダヘンシヤ丟克ミナ其獵ニ巧ミナリ出獵ノ𬼀ハ一月ニ七千羽獲テ歸ルニ至ルト云フ

二十五日晴

ブラットホルト府近在ボールトン古寺

同ボールトン河ヨリ古城ヲ望ム

朝十時ヨリ歩シ「ポールトン、アベイ」ニ至ル、是ハ七百年前ニ建立セル古寺ニテ、由縁アル靈場ナリ、後ニ記ス今ニ完存ス、古色闇然タリ「ポールトン川其背ニ流レ、岡ヲ負ヒ、野ニ臨ミ、瀰瀑注下シテ、勝景掬スヘシ、此寺ニテ說敎ニ就ク、約二時間ニテ出テ、歩シテ「ポールトン河ノ上流ヲ歩シ去ル、是ヨリ河流曲折シ、時ニ淺瀬ノ沙ニ迫リテ、淙淙タルヲ聞ク、益上レハ水勢益急ナリ、秋林掩映シ、奇石狼藉タリ、時ニ中洲ヲ露出シ、疎疎ニ秋樹ヲ生ス、數百歩ニテ一ノ矮瀑ニ至ル、此處ノ水狀甚タ奇ナリ、瀨聲怒リ吼ヘ、沫ヲ噴キテ落チ、餘流ハ岩際ニタヽヨヒテ盤渦ヲナス、今ヨリ七百年前ニ、此邊ニ住セル一著姓アリ、只一兒ヲモウケタリシニ、其兒犬ヲ牽ヒ、溪邊ニ遊ヒ、溪水ヲ越エントテ、誤テ石ニ足ヲ失シ、水ニ落チテ死シタリ、兩親之ヲ哀ミ、其菩提ノ爲メニ、此河ノ下河ニ寺ヲ建立セリ、是ヲ「ポールトンアベイ」ノ緣起トス、今ニ高名ナル史傳アリ、○是ヨリ上レハ、水回リ岸仄チ、蔦蘿ヲ負ヒタル古橋ノ横タハルアリ、前ニ峰巒ヲ露シ、山腹ニ古城アリ、一抹ノ烟ヲ起ス、亦佳勝ヲ極ム、此一帶ノ溪水ハ、ミナ「ダベンシヤ」丢克（デューク）ノ所領ニテ、天然ニヨリテ樹ヲ植エ路ヲ開キ、人造ヲ加ヘテ勝地ト

ナセシモノニテ此傍ナル林中ニ山林ヲ守ル猶人ノ宅アリ其前ニ畦圃ヲ設ケ樹木ノ苗ヲ仕立テ更ニ上流ニ向ヒテ植ヘント擬セリ英國ノ富庶ヲ極ムルヤ野ニ鋤セサルノ地ナク土地ヲ所有セル大家ハ遂ニ景勝ヲ造修スルニ至ル開拓モ此ニ至リテ極マレリト謂ヘシ夫レ如此ク餘財アリ故ニ鐵路電線百般ノ便ヲ謀リ眼前ノ宏費ヲ惜マス遠大ノ業ヲ起シ年ヲ逐テ庶績駸駸トシテ興ルモ亦怪ムニ足ラサルナリ、

此溪ノ上流ニアタリ「プラットホールト」ノ上水ヲ引ケル所アリ夫ヨリ山ニ向ヒ去リ「ボールトン、タワル」ト云古城ニ至ル此城ノ築ケル年記ハ詳カナラス一千五百八十九年ニ一度廢セルヲ後六百五十八年ニ修復シ其後又廢シテ今ハ四周ノ石壁ヲ存スルノミ○是ヨリ河ノ前岸ニ沿テ下ル上流ニ「ノルマン、ブリッチ」ト名クル一橋アリ造築ノ巧ニ奇狀アリ此橋ヲ越エテ河岸數丈ノ上ヲ往ク眺望ノ景亦其致ヲ異ニス夫ヨリ「パーフリーショレション」ト云谷ヲスキ「ディヤパーク」ノ瀑布ヲミテ前路ニ回ル麋鹿ノ跡處處ニアリテ山路蕭條タリ夕陽紫霧ヲ拖キ三竿ニ及フトキ車ニ上リテ旅館ニ歸リヌ翌日ノ朝十時

半ニ「ポールトン」村ヲ發シ十一時ニ滊車ニ上リ午後一時ニ「プラットホールト」ニ歸ル、

九月二十六日　陰

午後一時半ヨリ「ブラットホール」府ヲ發シ、滊車ニテ南走スル、四十二英里ニテ、舌非力（ヒッフィールド）府ニ著ス「ブラットホール」府ニ滯寓ノ時、當府ノ豪姓「ウィルソン」氏親ラ彼府ニ來リ、歸路ニ舌非力ヲ一顧シ、且己ノ家ニ宿センヿヲ約シタリ、是ニ於テ其昆季二人、驛舍ニ迎ヘ、家車ヲ用意シ、其家ニ延テ宿セシメ、室數不足ナルヲ以テ、伊藤副使、及ヒ書記官兩名ハ弟「アレキサンドル、ウィルソン」氏ノ宅ニ宿セシメ、毎夕馬車ニテ兄「ウィルソン」氏ノ宅ニテ會食ス、享欵眞率ニテ、甚タ懇和交情掬スヘシ、

○舌非力府モ、亦約克州（ヨークシャ）ノ大都會ナリ、其地ハ北緯五十三度二十二分、西經一度二十九分ニ位シ、一千八百年ニハ、六萬口アリシニ、今ハ二十三萬九千九百四十七口ヲナセリ、英國ニテ第八ノ都會ナリ、「ドン」河ノ上流ニヒカヘ、岡坂起伏ノ野ニヨリテ、鋼鐵ノ名所ナリ、「ウィルソン」氏ハ、其西部ノ岡原ニ、邸宅ヲ搆ヘ、市

塵ヲ離ルヿ約二英里、靜雅ニシテ野景ヨロシ、夜享ニハ府中會社ノ豪姓、三四人來リテ會食シ、食畢リ茶ヲ喫シ晤言シ、或ハ球ヲ彈シテ遊戲ヲナシ、子夜ニ至リ徹ス、

二十七日陰

朝九時ヨリ車ニ駕シ「カメロ」氏會社ノ鋼鐵製造場ニ至ル、此場ノ盛大ナルヿ、一區ノ廣域中ニ、大小ノ煙突、參差トシテ天ニ朝シ、石炭ノ煙ハ、墨ヲ撥クカ如シニ、大空ヲ滾シテ簇起スルハ、暴風大雨ノ至ラントスル氣色(ケシキ)ヲナス、外ヨリ望ミテモ、己ニ人ノ心膽ヲ驚カス、前後ノ製造場ニ、如此キ壯大ナル場ヲ見ス、而來日耳曼「クロップ」ノ場ヲ除ク外ハ其比ヲミス、此製造場、二十五年前マテハ、只鑪(ヤスリ)ヲ製シテ賣出ス、一小場ニテアリケリ、然ルニ「カメロ」氏、世ノ形勢ヲ熟覽スルニ、熟鐵鋼鐵ノ業ハ、歲月ヲ逐フテ盛大ニナルヘキヿヲ察シ、盛ンニ鋼鐵ノ製作ヲ開キ、世界ニ便利ヲアタヘ、以テ利益ヲ受ント、會社ヲ募リシニ、人ミナ之ヲ非笑シテ、許諾セサルノミナラス、狂人ト看做シ、相齒セサルモノモ多カリキ、「カメロ」氏ハ、敢テ是カ爲メニ屈セス、百方ニ論理ヲ盡シ、竟ニ金ヲ募リ社ヲ集メ、此製造ノ業

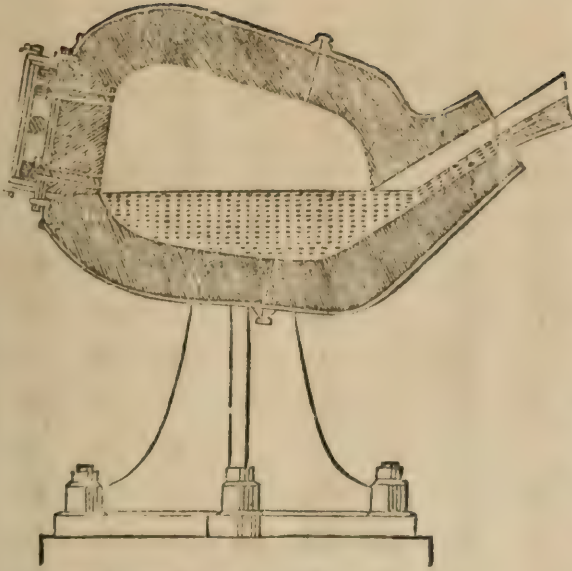
ヲ起セシニ、果シテ其用ハ日ヲ逐ヒ盛大ヲナシ、二十年中ニカヽル有名ノ大製造場トナリヌ、「カメロ」氏ハ當年七十餘ニテ、眇小ノ老人ナレ𪜈尚健ナリ、此場ニテ製作スル材ハ、重ニ鋼鐵ノ巨材ニテ、第一ニ甲鐵艦ノ鐵板ヲ展フル所ナリ、又大砲ノ身、及ヒ蒸氣ノ輪軸ヲ鑄成シ、鐵道ノ軌、及ヒ百種ノ鉄線モ展ヘ、兼テ鑢(ヤスリ)ヲ煆成ス、○先ツ熟鐵ヲ煉シテ鋼トナス鑪ヲ示ス、當時火ヲイレ鎔煉中ニテ、鑪ノ內景ヲ詳カニシ難シ、此鑪中ニテ、鋼ヲ煉ルニハ、熟鐵ニ「アイロンメニハクトリー」又我邦ニヲナマガ子ト云モノ木炭ヲ加ヘテ、鑪中ニ堆積シ、熱ヲ加ヘテ煉レハ、鐵ノ焙煆スルニ從ヒ、炭素ヲ鐵ノ氣孔ヨリ、漸漸ニ竄入シテ、其質ニ化合シ、鋼鐵トナル、又乾石炭(コークス)ヲ以テ、木炭ニ代テ、煉ルヿモアレ𪜈、是ハ其質中ニ硫礦、硅石等ノ雜質ヲ含ミタルヲ以テ、鋼質分モ麁笨ナルヲ免レス、總テ鑪中ニ熔煉スルヿ、二週日ヲ經テ、始メテ鋼ヲ成就ス、熟鐵ヲ煉テ鋼トナセハ、其價ハ一倍トナルモノナリトテ、社中ヨリ鋼材ノ見本ヲ出シテ、詳カニ指示セリ、○是ヨリ鋼片ヲ烙シ、「ロール」ノ間ニ軋リ、長線(ハリカチ)ヲ製スル場ヲ回ル、「ロール」ニテ線ヲ展ルヿハ、已ニ第二十七卷ニ記ス、他ノ錄スヘキナシ、凡ソ電線ニ用ヒ、或ハ鋼釘ヲ製ス

ル等、種種ノ製作場ヨリ、ミナ此鋼線ヲ仕入ルトナリ〇夫ヨリ鋼ヲ試驗スル場ニ至ル、場內ノ職人、鋼ヲ煉成セル後ニ、此ニテ其內ノ一片ヲ取テ、之ヲ截斷シ、其截口ヲミテ、比較ノ煉鋼ニ見競ヘ、麁笨ナレハ受取ラス、其給料ヲ停メテ、更ニ鍊冶セシムル規則ナリ〇夫ヨリ鋼鐵ヲ「ロール」ニテ展ヘ、鋼板トナス場ヲ回ル、板ノ厚サ一寸許、此板ヲ疊ミテ、甲鐵艦ノ材トナスナリ〇次ノ場ニハ、「シリンドル」ノ軸ヲ鑄テ示セリ、地ヲ堀リテ竪ニ型ヲ居エ、鑄口ハ上ニ向ヒ立ツ、此ニ鑄鍋ヲ熔シテ持來リ「クルシボール」ニテ熔解セシ鋼ヲ、此鑄鍋ニ盛リテ鑄込ム、其狀ハ漫識特（メンチエストル）府ニテ見ル所ニ同シ、一鍋ノ容量ハ、三噸ノ鎔鋼ヲ盛ルヘシ、凡ソ鋼鐵ハ熔解ニ難シ、二千五百度ノ熱ヲ加ヘ、徑方七寸ノ材ヲ熔解スルニ過キス、故ニ「クルシボール」ノ製アリ「クルシボール」ハ、猛烈ノ火ニ熔セサル土泥ヲ擇ミ、墨鉛ヲ調和シ、長圓形ニ造レル熔甂ナリ、其徑七寸ニミタス、（此解ハ後ニ詳錄スヘシ）大鋼材ヲ盜スルニハ、其「クルシボール」百餘甂ノ鎔鋼ヲ、鑄鍋ニ盛リテ、一齊ニ盜注スルヲ以テ、熔解ニ難キモノニテモ、大器ヲ鑄成スヘシ〇夫ヨリ甲鐵艦ノ板ヲ鍛成スル場ニ至ル、是ヲ場中第一ノ大施工ト

ス、此日ハ木材ニテ、觀臺ヲ釘裝シ、我一行ヲ其臺ニ上ラシメテ、施工ヲ覽觀ス、鑪口ヲ開ケハ、職人六七八許、指揮ヲ聞テ、鑪中ニ烙セル鋼板、長サ十六尺、幅四尺六寸、厚サ一尺ニ餘ルモノヲ、鈎鎖ノ力ニ賴テ曳キ出セリ、鋼板ノ全質、烈火ニ烙シ、白炎ノ度ニ至リタレハ、全面ニ炎焔ヲ吐ク、鑪口ヲ距ル五六間ノ處ニ、巨大ノ「ロールレン」、「マシイ子」ヲ居エ、前後ニ輪筒ヲ施セル鐵砧ヲオキ、紅烙セル鋼板ヲ、其上ニ載セ、職人十八名、左右ニ分レ、長キ鐵把ヲ以テ、推シテ「ロール」ニ挾メハ、「ロール」猛力ヲ以テ轉回シ、之ヲ後ニ輾リ出ス、後面ニモ同シク十八名ノ職人アリ、之ヲ推振シ、又前ニ輾リ出ス、如此クスル十餘回、鋼板ハ一輾リ毎ニ、鍛ヲ受テ縮小シ、厚サ九寸トナレリ、指揮官尺度ヲ以テ、其厚サヲ査シ、施工ヲ止ム、此「ロール」ヲ出入スルトキニ、職人傍ラニアリ、常ニ「ポンプ」ニテ水ヲ迸注シ、「ロール」ノ輪際ニ注キ、長帚ヲ以テ、板面ヲ掃ヒ、鏽ヲ除ク、此時ニ水ハ乍チ蒸氣ニ變シテ蒸騰シ、帚首ノ落タルハ、瞬間ニ灰燼トナル、炎炎赫赫トシテ、滿場爲メニ紅ナリ、鍛成ノ後ハ、之ヲ「リュフティン」、「マシイ子」ニテ鈎シアケ、側ナル地上ニ投ス、漸ニ紫ニ、漸ニ黑シ、カヽル板數枚ヲ堆積セル間ヲ、職人ハ徘徊

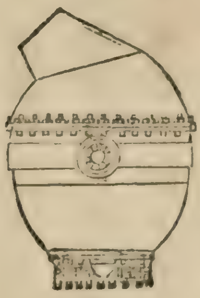
ス西洋人ハ、貴賤皆履ヲ著サルナシ、故ニ熔鐵銑鋼ノ上ヲ奔走シテモ、足ヲ傷ルノ憂アルナシ○是ヨリ鼓風罐ニテ熟鐵ヲ製スル場ニ至ル、其仕掛ハ第二十七卷ニテ記シタルト同シ、社中ノ諸人側ラニアリテ、此製鐵ノ理ヲ話ス、頗ル詳ナリ、其言ニ曰ク、凡此「ベシマ」ノ器械ニテ製スル鐵ハ、生鐵ヲ鎔シ、此罐ニ

横形



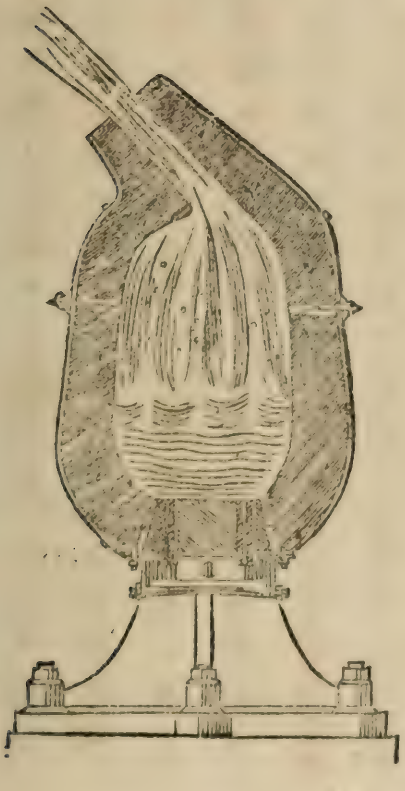
鼓風罐之圖

外形



内形

竪形



ヲ質内ニ含ム炭素ヲ離ス所ナリ、鑪口ヨリ散飛スル火花ハ、即チ其炭素ノ飛散スル所ナリ、生鐵ノ質ハ、百分ノ鐵ニ五分ノ炭素ト、四分ノ「シリケツト」硅土ナリ石炭ニテ熔セルハ殊ニ此質ヲ含ム多シヲ含ミテ成ル、今此仕掛ニテ、其炭素ト「シリケツト」トヲ離レ、四百分ニ一ヲ含ミタル鐵トナス、是ヲ熟鐵ト名付ク、此ハ其施工ナリ、此鑪ノ底ヨリ吹出ス、空氣ニテ、炭素ヲ吹出スト、其火色ヲ熟視シ、度ヲ察スルヲ要訣トス、之ヲ察視スルニ鏡アリ、羽子板ノ如キモノニ、三稜ノ玻璃ヲ簇ス、手輕キ鏡タリ、此鏡ヲ以テ、火花ヲ照シ視レハ、七色ノ光ヲ幻スル際ニ、黃帶一線アリテ、分明ニ其間ヲ貫ク、是即チ炭素游離ノ色ナリ、鐵中ノ炭素ヲ分離シ、盡度ニ至レハ、黃線滅ス、是ニ於テ機ヲ牽テ、空氣ヲ鼓スル口ヲ塞キ、鑪ヲ横シマニナシテ、後側ナル鑪ヨリ、一種ノ熔鐵ヲ注キ入ル、是ハ、墺地利國ヨリ產出スル、一種ノ鐵ニテ、之ヲ「スピーレツト」ト名ク、炭素ヲ合ムノ量少ク、其質柔軟ナリ、之ヲ加ヘテ後ニ、恰モ四百ニ一ノ炭素ヲ含メル熟鐵トナリ、其質ヤヽ柔靱ニシテ韌ナルヲウル、凡一鑪ニ盛ル所ノ鐵、其量七噸アリ、約十五分乃至二十分時ニテ熔煉ヲ了ル、二十四時間ニ、百二十五噸ヲ煉成スヘシト云、

哥羅斯哥（クラスゴー）、及ヒ新城（ニューカッツル）ニテ觀タル猛風爐ハ、礦鐵ヲ熔シテ、生鐵ヲ煉成スル所ナリ、生鐵ハヅク鐵ヲ謂フ日本ニテ鐵ト汎稱スルハ是ナリ「クルウ」、及ヒ此場ノ鼓風鑪ハ、之ヲ「ベシマ」法ト云、生鐵ヲ熔シテ、熟鐵ヲ煉成スル所ナリ、又此場ニテ最初ニ觀タルハ、熟鐵ニテ鋼ヲ煉成スルノ法ナリ、一ノ鐵質、三ノ技術ヲ經テ、三樣ノ鐵ヲナス、鐵工ヲナスモノ、其捌（ワカチ）ヲ知ラサルヘカラス、此ニ之ヲ略說セン、凡礦鐵ノ質ハ、種種一ナラス、生鐵トハ、礦鐵ノ質ヨリ、硅土、硫礦、燐酸（ピスソル）、「マンガン」、炭素ヲ去リ、鐵千分ニ、化合ノ炭素二十、乃至五十分ヲ合メルモノトナシタルノ稱ニテ、其質ハ脆（モロ）クシテ堅剛ナラス、僅幾分ノ硅硫等ヲ合ム、故ニ雜用ニ供スヘシ、精緻ノ工ヲナスヘカラス、熟鐵トハ、再ヒ生鐵ヨリ、炭素ヲ吹キ離シ、鐵千分ニ、炭素僅ニ二分、乃至五分ヲ合ミタルモノトナス、「アイロン、メニハクトリー」ト稱ス、製造ノ鐵ト謂フ義ナリ、之ヲ熔煉スルノ法ハ、種種アル中ニ「ベシマ」氏發明ノ法ハ、熔煉スルニ工ヲ省キ、多量ノ熟鐵ヲ得ルヲ以テ、當時尤モ行ハル、此熟鐵ヲ熔成スルニ、鑄鍋ノ底ニ、渣滓ノ殘ルアリ、是生鐵中ニ存セル雜質ナリ、熟鐵ノ質ハ、柔韌ニシテ脆

ナラス「ベシマ法ノ熔成ハ殊ニ粘力強シ其鉋屑(カンナクズ)ハ編ミテ筐ヲ作ルヘキニ至ル鋼鐵トハ純鐵千分ニ炭素十五分ヲ含メルモノナリ若シ炭素ヲ含ム十七分ニ上レハ叉生鐵ニ屬ス故ニ鋼ヲ煉成スルニハ一旦熟鐵トナシタルニ木炭末ヲ加ヘ爐中ニ交互敷塡シ火ヲ加ヘテ熔錬スレハ木炭ハ熱ノ媒ニヨリ鐵ヲ透シテ質内ニ化合ス煉ル數日ニテ法ニ合ス鋼鐵ノ質タル堅剛ニシテ脆ナリ熱ヲ加フ四百五十度以上ニテ刀刃ノ用ニ合ス加熱ノ度ハ鋼ヲ煆スルノ深訣ナリ如此ク鐵質ハ含炭ノ加減ト酸化ノ都合ニヨリ種種ニ其性ヲ變ス其熔煉ニ最猛ノ火度ヲ要ス故ニ其術理ヲ熟知セサレハ利用ヲ盡シ難シ東洋ニテハ此鐵質化合ノ理ヲシラス只天然ヲ仰キテ其用ヲ足セルノミ禹貢雍州ノ貢ニ璆鐵銀鏤ノ文アリ註者イフ鏤ハ鋼ナリト漢土ノ西部ニ自然鋼ヲ生スル地アリ獨逸ニモ自然鋼ヲ出ス是ハ其礦石ノ質ニ禎石(マンガン)ヲ含ムユヘ其酸素ノ離合ニテ鐵中ノ炭ヲ奪ヒ自然ニ適度ノ鋼ヲナセル所ナリ日本ニテ鋼ヲ採ルモ亦此類ヲ用フル歟故ニ人ミナ鋼ト鐵ト別種ノ金ナリト謂フモノ多シ然レドモ生鐵ニテ煉成ス

ルヿモアリ其法ハ冶工ノ秘ニカヽリ世ニ知ルモノナシ宋ノ沈括カ夢溪筆談ヲ讀ムニ蜀地煉鋼ノ狀ヲ記シテ曰世間所謂鋼鐵者用柔鐵屈盤之此柔鐵トハ鐵ノ質ニ炭素少クシテ柔軟ノ性アルモノヲ用フルナラン即チ熟鐵ノ代用ナリ乃以生鐵陷其間此生鐵ハ即チヅク鐵ナリ泥封煉之令相入是生鐵中ノ炭素ヲ柔鐵ノ中ニ透入シ平均セシムルナリ謂之團鋼此乃偽剛耳炭ヲ含ム多量ナルヲ以テ尙生鐵ニ屬ス憶フニ巧ミナルモノハ眞ニ鋼ヲ得ルヿアルベシ暫假生鐵以爲堅二三煉則生鐵自熟仍是柔鐵此ニテ證ス含炭ノ多量ナルヲ生鐵ト云少量ナルヲ柔鐵ト云フ予出使至磁州鍛坊觀煉鐵磁州ハ蜀地ニテ支那鐵礦ノアル所ナリ諸葛孔明ノ兵器ヲ作ル此邊ニテ自然鋼ヲ得テ採用セリ古ヨリ銕冶ノ業盛ナリ凡鐵之有鋼者如麵中有筋濯盡柔麵則麵筋乃見此銕質ノ化合ニヨルヿニテ詳カナラス煉鋼亦然但取精鐵鍛之百餘火一鍛一輕西洋熟銕ヲ煉成スル舊法モ亦精鐵ヲ小塊トナシテ煉鍛スレハ其五分ノ一ハ鏽トナリテ飛去ル鏽ハ乃酸化亞酸化鐵ノ化合セル鐵ノ三酸四ノ化合質ナリ此ニ一鍛一輕ト云モ此質ノ飛去レルナラン至累鍛而斤兩不減則純鋼也雖百煉不耗矣炭素ヲ引キテ其重ヲマシ且銕鏽ヲ生スルノ量少キユヘニ斤兩ノ減セサルナリ鋼銕ハ烈火ニ非サレハ熔セス故ニ百煉耗セスト云ナリ此乃鐵之精純者其色明瑩磨之則黯青而且黑與常鐵迥異是果シテ鋼ヲナセルカ且其色ハ火度ニヨリテ異ナルモノナレハ此ニテ臆測シ難シ亦有煉之至盡而全無鋼皆繫地之所產也生鐵ノ化合及ヒ雜質ヲ含メル都合ニヨル始メヨリ銕中ニ鋼筋アルニハ非サルヘシ凡ソ東洋ニテ自然鋼ト云

ハ、往往如此キ類ヲ指スナラン、精鋼ヲ煉スル法ハ、東洋ニ未タ知ル人ナシ故ニ刀刃ニ堅鋭ヲ欠クヲ以テ、南蠻鐵ヲ貴重ス、南蠻鐵ハ即チ西洋鋼ナリ、

是ヨリ猛風爐ニテ生鐵ヲ熔成スルヲ觀ル、此仕掛ハ頗ル「アルムストロング」氏ノ場ニ設ケタル爐ノ式ト異ニ、且小ナリ、次ニ甲鐵板ヲ削、截、錐、鑿スル場ニ至ル、其仕掛マタ宏大ナリ、一錐ニ十二噸ノ力ヲ加ヘ斡旋セシメ、厚サ尺ニ及フ甲鐵ニ孔ヲ穿ツ、〇次ニ煅鐵ノ精粗ヲ試驗スル法ヲ示ス、是ハ兩柱ヲ竪テ柱ニ尺度ヲ畫シ、其柱間ニ重サ一噸ノ立方鋼塊ヲ鉤シ、轆轤ニテ引上ケ、試驗ノ鐵條ヲ其下ニオキ、數丈ノ上ヨリ落シカケル仕掛ナリ、此日鐵机一條ヲ兩闌ニ横架シ、鋼塊ヲ壓下セシニ、其力ニ因テ彎曲セリ、少シモ毀折セル跡ナシ此ハ用ニ合スルモノトス、凡ソ重キヲ壓下スルノ力ヲ算スルニハ、一噸ノ鋼ヲ引上ケ、三丈上ヨリ墜下スレハ、四十噸ノ重トナルト云、

按スルニ、重力高キヨリ落ルトキ、倍加スルノ定則ハ、倒方比例ノ算ヲ以テス、一噸ノ重量ヲ三丈ノ上ヨリ墜下スレハ、四十倍ヲナストハ、倒方比例ヲ以テ算シ、一、四、九、十六、二十五、三十六、四十九、ノ例ニヨリ、假ニ一噸ヲ引上ルコ

六尺即チ二「ヤールト」ナリ ニ付テ、自乘數ヲ倍加スルトナシ、三丈ニテ恰モ三十六倍ヲナス、四十倍ノ數ハ蓋シ約言セル歟、是ハ場內ノ幹事語リシマヽヲ記ス、理學家宜ク其精數ヲ證スヘシ、

是ヨリ會議堂ニ於テ「カメロ」氏席長トナリテ、晝食ノ供アリ、堂ノ中央ニ兩國ノ國旗ヲ交叉シ、社中ヨリ會食ノモノ五十八人許、案上ノ飾リ、食饌ノ精、ミナ其美ヲ盡セリ、○食後ニ鑪(ヤスリ)ヲ製スル場ヲ囘ル、大小ノ鑪ニ齒ヲ切ルハ、ミナ人力ヲ以テス、左手ニ鑿ヲ持チ、右手ニ鐵槌ヲ取テ、左斜右斜ニ、縱橫刻ミサルナリ、此ノ製場ハ、區域ヲ占メル廣大ニシテ、廨舍場屋ヲ縱橫ニ建並ヘ、區中ニ一ノ市街ヲナシ、鐵路地ニ交リ、廊道ハ空ヲ往ク、抑マタ盛ナリ、而シテ猶足ラス、又別ニ一區ヲ開キ、車輪車械ヲツクル、

○「カメロ」氏、別一場ノ製作場ハ、前場ヲ距ル、五六町ノ鄙ニアリ、此ニテ先ツ車輪ノ製造ヲ示セリ、其法ハ先ツ爐中ニ鋼鐵ノ大塊ヲ烙シ、車牀ヲ以テ引出シ持來リ、重サ七噸ノ「ハマー」下ナル鐵砧ニオキ、稜角ヲ鍛スルコト數囘ニテ、略圓形ヲナス、次ニ巨鑿(ノミ)ヲ以テ、其鋼材ノ上面ニオキ「ハマー」ニ槌スルヿ數囘スレ

ハ鋼ハ截斷シテ三百磅ノ一塊トナル之ニ再ヒ鍛槌ヲ加ヘ此ニ於テ輪形ヲ略成ス因テ其中心ニ圓鑿ヲオキテ重槌ス此技術ヲナス時輪材ヲ遞ニ反覆シ表裏兩面ヲ鍛スル數十回ニテ中央ニ圓孔ヲ開ク而テ後ニ其面ヲ略槌シ、輪形ヲ略成シテ止ム是ニ於テ其輪材ヲ秤シ白粉ヲ以テ番號ヲ誌シ側ニ放置シテ冷ス是ヲ第一次ノ工トス○第二次ノ工ヲナスニハ再ヒ其輪材ヲ爐内ニテ焼シ鍛槌ヲ加ヘ猛力ノ蒸氣ニテ輪回スル器械ニ上セ先ツ其孔ヲ擴大ニナシ次ニ傍ヨリ凵状ノ軸ヲ抽テ輪材ノ周圍ヲ漸ニ拉シテ凹凸ノ槽ヲナサシメ是ニテ車輪ノ形ヲ成ス○第三次ノ施工ニハ更ニ其輪ヲ焼シ是ヲ「ハヤミイル、マシイネ」ノ輪ニ上セ強ク輾回シ傍ヨリ二條ノ小噴水ヲ其軋礫ノ際ニ注射ス此器力ニ因テ中央ノ圓孔擴張シ頓ニ輪環ヲ成就シ其上ニ銘ヲ打込ミ其儘ニテ冷スナリ「ハヤミイル、マシイネ」ニ竪輪横輪ノ兩種アリ輪材ニ孔ヲ廓開シ一二分時間ニ小孔輪材ヲ擴張シ環輪トナス器械ナリ、

此場ニテ鍛成スル鋼輪ハ大中小アリ大ハ蒸氣軸車ニ用ヒ中ハ蒸氣乘車ニ用ヒ小ハ各種ノ荷車ニ用フ輪ノ寸法ハ定度アリ若シ度ニ合セサルハ別段

ノ類ヨニ因リテ製セルモノナリ、〇次ノ一場ニテハ「スプリンク」ヲ製ス「スプリンク」ハ彈（ハツ）キ金ヲ謂フ、此場ニテ製スルハ、専ラ車廂ヲ受ル彈（ハツ）キ金ナリ、此モ鋼鐵ニテ製ス、初メハ狹長ナル鋼片ヲ製シテ之ヲ適度ニキリ、或ハ長ク或ハ短シ、參差トシテ一ナラス、毎片ニ三孔ヲ穿チ、其孔ニ螺旋釘ヲ貫キ、長短挨次ニタヽミ重ヌ、其釘装スル以前、毎片ヲ鑪中ニ烙シ、是ヲ彎形ニナシ、淬法ヲ以テ、其質ヲ韌輭ナラシメ、而テ後ニ之ヲ釘装シ、彎形ノ兩端ヲ、鐵檝ニ當テ、中央ヨリ四瞓ノ蒸氣力ニテ、鐵軸ヲ彈キ出シテ、弧形ノ正中ヲ拉シ、平面トナルマテ強壓シ、折レサルヲ視テ、成就トナス、是「スプリンク」ノ製法ナリ、〇又此場ニテ「ポハー」ヲ製ス、是モ亦彈キ金ナリ、螺旋形ニ製ス、蒸氣列車、相接ノ軸中ニ用フルモノナリ、之ヲ製スルニハ、狹長ナル鐵片ヲ烙シ、輪軸ニ緊釘シ、其軸ノ轉スルニ任セテ、之ヲ軸ニ卷キ、而テ後ニ其中心ヲ鋏持シテ引出セハ、即「ポハー」ノ形ヲナス、是ヲ冷水ニ淬スレハ、即チ成就ス、是ヲ試驗スルニハ、半瞓ノ鐵棒ヲ引上ケ、上ヨリ墜墜シテ試驗ス、兩ノ淬法、其ニ冷水ヘ烙鐵ヲ投シ、直ニ引上ケルマテナリキ、此水ヲ試シニ、鐵ヨリ熱ヲ引テ、微シク温ヲ覺ヘタレヒ、要ス

ルニ通常ノ水ニシテ、三十度ノ冷水ヲ用フルニモ非ス、又六七十度ノ微温湯ヲ用フルニモ非サルニ似タリ、憶フニ之ヲ熔スルニ當リ、薬水ヲ洒ク歟、又鐵質ヲ堅靭ニスル法ヲ施ス歟、此伎倆ニハ秘術アルト覺ヘ、略シテ示サヽリキ、鋼鐵ノ弾力ヲ起シ、百般ノ用ニ供スルハ、工藝ノ諸伎倆中ニ於テ、殊ニ緊要ニテ、小ハ時辰儀(トケイ)、錠、鏁扇ノ弾キヨリ、大ハ車廂ノ塾(シタジキ)トナス、日本ノ冶工、此術ヲ講スレトモ未タ得ス、是一ハ鐵質ノ精煉未タ至ラサルニ由ルト雖トモ、煆煉ノ法、焠淬ノ法モ、亦學究セサルヘカラサルモノナリ、

スヘテ當場ノ製スル所、一周日ニ四百噸ノ鐵ヲ用フ、一ケ年ニ、原價百五十萬磅ノ鐵器ヲ製シ出ス、職人ヲイルヽ一日ニ四千人ナリ、舌非力府ハ鋼物ノ名所ナル中ニ、最大ノ場ナリ、

二十八日　陰

朝十時ヨリ馬車ニ駕シ、府ヲ離レ西走スルヿ七八英里、「ドン」河ノ上流ナル「ダベンシヤ」丟克(チユーク)己ニ「フラットホール」ノ條ニモ出ツ當郡ノ名族ナリ勞德(ロールド)リヤールド、カベンサン公ノ「チヤツサイース」ハウス」ニ至ル、沿途ノ地ハ、平岡起伏シ、道路縈回シ、野ニ鋤痕少ク、時ニ

茫茫タル荒草ノ原ヲ過ク、時正ニ東暦霜降ノ中候ナルニ、滿原ノ草ミナ枯レ蒼莽蒙蒙トシテ灰黑色ヲナシ、氣象慘淡タリ、此日陰風凄其トシテ、殊ニ凛冽ヲ覺ヘタリ、英國ノ北境、秋ヲ催ス早ク、荒原ニアヘハ、大抵如此キ景象ナリ、其陰寒ニテ地味ノ瘠惡ナルヲ知ラレタリ、荒原ハ以テ獸獵場トナス、稍潤膏ヲ帶タル地ニハ、耡犂即チ入ル、荒原ヲ盡シ、一小村三四戸アルニアフ、是ヨリ林樹處處ニ茂ヘ、黃葉ノ間ニ、綠松ヲ錯ヘ、風光頓ニ好ク、道モ亦淸潔ナリ、幾クナクシテ靑草滿地、樹木錯落タル中ニ、群鹿ノ遊フヲミル、壬克家ノ宅、已ニ近キニアルヲ知ルナリ、〇リヤールド、カベンサン公ハ、約克州ノ貴族中ニモ、有名ノ世家ニテ、最モ富有ノ大族タリ、約克州中ニテ、六ケ所ノ田宅ヲ占領シ、一歲ノ租入、スヘテ二十萬磅以上ニ及フ、此「チヤッヴィース、ハウス」ハ、左右ミナ岡巒ヲ負テ起ル「ドン河共谷ヲ分ッテ流ル、西南ハ濶然トシテ遠野ヲ帶ヒ、遙ニ岑巒ノ靑黛ヲミル、其地ノ景象、既ニ凡ナラス、館ハ三階ノ高宇ニテ、ミナ白石ヲ以テ築キ、皎然トシテ偉エ、龔琢精ニシテ雕刻少シ、〇馬車門ニ入リ、其玄關ニ至レハ、家從ノ人迎接シテ、一室ノ內ニ入ラシム、此室ハ四面ニ書籍ヲ棚堆シ

テ隙ヲトヽメ又廣サ二十五六疊ニ比スヘシ卽丟克（チユーク）ノ居室ナリ此ニ入レハヽ丟克（チユーク）起テ握手挨拶ヲナス甚タ眞率ナリ夫ヨリ親ラ起ツテ各室ヲ案內シ戸ヲ開ケハ一ノ廣廊ニ至ル此ニ一冊ノ帳アリ一行ノ名ヲ署記セシム室ノ滿面ミナ畵ヲ描ス羅馬（ローマ）ノ該撒（シーサル）議院ニ於テ殺サルヽ圖ナトアリテ筆跡ミナ精ニ彩色燦爛タリ〇是ヨリ諸珍器ノ房室ヲ囘ル西洋ノ俗ハ器物ヲ箱ニシ閉藏スルヿナシ盡ク房內ニ陳列シ客ニ示スヲ以テ榮トス各房室ノ內四周ノ壁上宇下床ミナ種種ニ精巧ヲ盡シ纖細ノ雕刻綺縟ノ畵繢アリ中ニハ金ヲスリテ光華爛然タリ壁ニハ文錦華絨佛國ノ「ゴフラン」巴黎ノ條ニ詳ナリ等ヲ張リ其一面ノ價モ數萬金ニ上ル周緣ハミナ金スリノ文繪ナリ珍寶ヲ其內ニ攤列ス歐羅巴ノ珍器古器ハ固リ無數ナリ又支那日本印度亞墨利加ノ古器及ヒ寶器ヲ蓄ヘタリ一石盤アリ密質ニテ紫紋アリ些ノ瑕疵ナシ其價一萬磅又英王若爾日（チヨールチ）第一ノ榻アリ是ニハ史傳アルヿナルヘシ〇又陶器ヲ陳セル數房アリ各國各種ノ陶ヲ羅列ス花瓶ハ臺ニ居エ小陶器ハ棚ニ並ヘ大皿ハ畵額トシ總テ壁ニ懸ル其內ニ日本ノ古伊萬里燒數種アリ古伊萬里燒ノ陶器

ハ、歐洲ニ久シク珍重セラレ、大家ノ珍藏ニハ、必ス其一二ヲ蓄フ、中ニハ碎ケタルヲ補完シ、陳列セルニ至ル、想フニ此品ノ上等ハ、總テ歐洲ニテ保存セラレ、日本ニハ反テ稀ナルヘシ、○書額ヲ集メタル室室ヲ囘レハ、以太利、佛朗西ノ名畫ハ、其數ヲシラス、又古キ墨畫アリ、一視味ナキカ如クナレトモ、皆名手ノ筆ニテ、其價尤モ不貲ナリ、或ハ之ヲ數萬金ニ購フトモ得ルヘカラサル物アリト、中ニ一畫アリ、其面部ノミ精彩ヲキハメ活ケルカ如シ、全身ハ只筆ヲ塗抹セルノミ、是ハ有名ノ畫家其名ヲ記臆セス此畫ヲ描キ、未タ成就セサル内ニ死シタル、未成ノ畫ナリト、客座寢室ノ部ニ於テハ、先代ノ畫像及ヒ各國帝王ノ畫像ヲ藏シ、下ニハ華氈ヲシク、花ノ如ク、榻子ハ錦繡ヲ以テ包ミ、彫刻ノ案ヲスヱ、往クトシテ目ヲ輝カサヽルハナシ、英王ノ宮殿モ此ニハ一等地ヲ讓ルト云、夫ヨリ彈玉ノ戯ヲナス廊アリ、次ニ講經堂アリ、是ミナ上層ノ室室ナリ、○下層ナル窖ニハ、酒樽ヲ蓄フ、此内ニ一百餘年ニ及フ名酒アリ、酒ハ年ヲ經ルニ從ヒテ、細微ニ泡釀ヲナシテ、益美味ヲ生スルニヨリ、西洋ノ俗ハ、殊ニ古酒ヲ貴重シ、一壜數十弗ニ至ルアリ、此ニテ一樽ノ栓ヲ弛メ、衆ニ一嘗セシム、

是ヨリ臺所ニ至ル「石炭ヲ燒ク竈「瓦斯火ヲ用ヒル竈「木炭ヲ用ヒル竈「薪ヲ用ヒル竈ト「四樑ヲ分チ「物ニヨリテ火ヲ異ニス「石炭ヲ用ヒテ炙炮スルハ「最モ雜用ニシテ「大抵牛羊ヲ炙ルニ供ス「是ニハ車輪ノ設ケアリ「肉ヲ鐵棍ニ縛シ「熾火ノ前ニ輪回セシメ「以テ炙トナス○食堂ニ於テ「晝食ノ供アリ「丟克ノ毋「夫人等「一家ミナ出テ款待シ「會食ヲナシ畢リテ「其浴室ニ至ル「石ヲ以テ床（ユカ）トシ「石面ニ無數ノ圓孔ヲ穿チ「夫ヨリ蒸氣ヲ颺ケ「石上ニ座シテ浴スル仕掛ヲナセリ「○夫ヨリ庭ニ出テ「花園ヲ回ル「道ニ一廊アリ「石像ヲ擺列ス「初代拿破（ナポレ）命（オン）ノ像アリ「名手ノ彫刻ニテ「容貌雄偉活ルカ如シ「是ヨリ玻瓈窖ノ小花園ヲ過キテ「馬廐ニ至ル「馬ミナ澤澤トシテ肥ヘ「中ニ乘馬數匹アリ「ミナ價萬金ニ上ル「廐ヨリ蹄ニ至ルマテ些垢ナク「蹄光ハ玉ヲ欺キ「毛色ハ脂ヲ含ム「何啻穆王ノ八駿ノミナランヤ「○屋中ヲ回リ畢リ「庭苑ニ出ツ「山上ヨリ林樹ヲ切開キテ「懸瀑ヲ作リ「水ハ上層ヨリ一幅ノ組練トナリテ下リ落チ「水底ハ石ヲシキ磴ヲ作ル「水ハ級級ニ下リ「中間ニテ乍チ跳リテ回散スルハ「貫珠ノ纖（カサ）ヲ舞スカ如シ「又集リ落チテ瀑トナリ「磴ヲ轉回シテ下ル「庭上ヨリ一望スレハ「一

條ノ玉簾乍チ波折ヲナシ淪紋ヲ皺メ玉ヲ噴キ珠ヲ跳ラスカ如シ西洋ノ俗ハ水ヲ愛玩ス水學ノ益開ケルニ從ヒ日常ニ用フルニ其利ヲ盡スノミナラス以テ都府庭園ノ觀美ニ供シ變態ヲ盡ス跳水（ホンテイン）池ノ設ケ至ル所ニアリ其他種種水ニ奇狀ヲナシタルヲ觀ル多シ未タ此苑ノ瀑布ニ超ルヲミナリキ此瀑ノ末流ハ地底ニ落テ喧囂ノ響頓ニ盡キ其跡ヲ滅ス乍チ百數十步ヲスキ邸前ノ池中ヨリ數十丈ノ跳水トナリ噴出ス此跳上ノ猛ナル水晶宮ノ跳水モ及ハサル所ナリ○是ヨリ苑中ヲ回ル苑廣ク樹茂シ左ニ山巒ヲ負ヒ右ハ長阜ニヨル石ヲ陳ネ樹ヲウエ徑ヨリ林中ニ入レハ乍チ一樹ヲミル枳樹ノ葉ナキカ如シ枝幹琅玕トシテ亭立ス步シテ其傍ヲ過レハ忽然トシテ抜杪ノ刺末ヨリ水ヲ噴出スル雨ノ如シ衆ミナ驚愕シテ却步シ神ヲ安シ諦視セントスレハ水ハ倏然トシテ止ム是ハ其樹ヲ銅鐵ニテ作リシモノニテ枝幹ヲ中空ニシ根ヨリ水ヲ導キ螺旋ノ張弛ニヨリテ噴飛セルナリ○夾ヨリ石ノ洞門ニ入ル洞凡ソ二十餘尺進ンテ出ントスレハ洞口ニ大石横ハル逡巡シ返ランヽトセシニ丟克親ラ隻手ニテ其巨石ヲ推スニ振回シテ門ニ中シ左

右ニ道ヲ開ク、相視テ一笑ス、蓋シ其底ノ地ニ著ケル所ニ、螺旋ノ機關ヲナシタルナリ、其他庭園ノ設ケ、年所ヲ經ル久シク、古蒼愛スヘシ、水晶宮ハ一旦ノ造營ニ出テ、金ヲ糜セルヿ多ケレモ、此苑ノ年月ヲ經過セルニ比スレハ、風致ニ乏シキヲ免レス、○苑ノ盡ル處ニ花園アリ、玻瓈ノ巨屋ヲ作リ、其中ニ熱帶地方ノ木ヲ植エ、芭蕉、棕櫚、椰子、竹、「イソギャラパ」ノ類、其數ヲ知ラス、亭亭トシテ一宇ノ天地ニ暢茂セリ、細草幽卉ハ、其周圍ニ集メ植エ、池ヲメクラシ水ヲ湛ヘテ、一ノ熱帶園ヲナス、小花窖モ數舍アリ、一一ニ見盡シ難ク、時促スルヲ以テ歸リ、邸ニ上リ丟克ニ別ヲ告ク、丟克送リテ玄關ニ至ル、是ヨリ車ニ上リテ辭シ去レリ、

○歸途、「カメロ」氏ノ宅ニ至ル、「カメロ」氏夫婦親ラ迎ヘ、茶果ヲ享ス、此屋宅ハ新造ニテ華麗ナリ、スヘテ三十六室アリト云、客座一帶ノ各房、ミナ華楊ヲ飾リ、名畵ヲ掛ケ、富ノ潤ヒヲ見ルニ足ル、只黃昏倉卒ニテ歸リ去リ、「ウィルソン」氏ニ於テ會食ヲナス、

○夜十二時ヨリ舞踏會ニ趣ク、子夜ヨリ雨フル、

二十九日陰

朝十時ヨリ駕シ「ロッチャースト社ノ刃物製造場ニ至ル、此場ニ於テ製スル刃物ハ、食刀、懷刀、鋏刀、剪刀、或ハ外科諸刀ヨリ、鈕卸掛（ボタンカケ）、爪磨キ等、凡食案ニ用ヒ、文房ニ用ヒ、冶粧ニ用ヒル、鋼ノ小器械ヲミナ製シ出ス、金燒付ニテ鋼筆ノ軸ヲモ製ス、是當府ニ於テ高名ナル刃物製造場ナリ、○當府ハ製鋼ノ名所ナル故ニ、鋼材ヲ資スルニ便ナリ、凡ソ諸刃ヲ製スルハ、鋼材ニ加フル火度ニ秘訣アリ、之ヲ截シ、之ヲ鑪シ、之ヲ鍛シ、刃トナスハ、大抵人力ヲ用ヒ、蒸氣ノ輪ハ、只其及ハサルヲ助クルニ過キス、故ニ場内ニハ、甚大ノ馬力ヲ具セル蒸氣機ナシ、重ニ砥輪ヲ轉シ、刃ノ磨礱スル等ニ、其力ヲ用ス、其製成スル所ノ鋼器、ミナ光澤銀ヲ欺クハ、砥礪ノ便ニシテ、磨礱ニ力ヲ省ク仕掛アレハナリ、○諸刀ニ用ヒル欛柄ハ、多ク象牙ヲ以テ製ス、其象牙ハ亞弗利加（アフリカ）洲ノ諸地ヨリ輸入ス、其價重サ一噸ニツキ、約千磅ナリ、以テ大片ヲ截成シ、其零片ニテ小片ヲ截成シ、其瑣屑ヲ以テ、細小ノ器ニ用フル、片片ヲ截成ス、一窖ノ中ニ、象牙ヲ蓄フ、薪ヲ堆セルカ如シ、世界中ニ象牙ヲ費用スル夥多キ、此社ヲ第一トスルト云、其鋸

截磨搽ミナ蒸氣ノ輪轉ニヨル零碎ノ片ト鋸屑ト地ニ敷キテ堆(ウヅタカ)シ象骨炭ヲ製スルハ蓋シ此等ノ場ヨリ資スルナルヘシ又吾非力ノ骨工場ニテ骨屑ヲ弃タル地ニ草ノ繁茂セルヲ見テ骨ノ培養ヲ發明シタルト云モ此場ノ事ナルカ工場大ナレハ物ニ靡餘ナキ事是等ニテ知ラレタリ

○「ウィツカールス」社ノ製鋼場ハ「カメロ」ノ會社ト相匹スヘキ大場ナリ一ノ大場ニハ大砲ヲ鑄ル新城府「アルムストロング」會社ニテ製造スル大砲ノ身モ此場ニテ鑄テ輸送スルト云又車軸「シリンドル」軸ヲ鑄ル其鑄造ニハ廣キ廨舍ヲ建テ地底ヲ堀リ竪ニ鑄型ヲオキ其上層ヲ以テ鑄牀トナス各火爐ノ口モ鑄牀ニ向ヒ開ク約徑尺餘方アリ地下ノ層ヨリ石炭瓦斯ヲ送リ爐ノ數スヘテ六百七十口アリ此日ニ一ノ大砲ヲ鑄ル「クルシブール」一箇ニ付六十磅ツヽノ鋼ヲ充テタルヲ凡ソ百二十箇ヲ引出シ來リテ直ニ鑄型ノ中ニ逐鑄シ孔徑九寸ノ砲ヲ鑄テ示セリ滿場炎炎トシテ傭夫全身ノ汗ハ雨ヲナシテ墜テ場内爲メニ熱ス○次ニ「クルシブール」ヲ製スル場ニ至ル「クルシブール」ハ鋼鐵ノ片ヲ截テ火爐ニイレ熔解スル壷ナリ己ニ「カメロ」社ノ場ニモ記ス此壷ヲ作ルノ寸

法ハ、徑七寸、長サハ約一尺ノ長壷ナリ、是ハ最猛ノ火中ニアリテ、爛壊セサルヲ要スルヲ以テ、泥土ヲ擇ミ、製作ヲ均クシ、且大小ノ度ヲ愼ム、倘シ甚大ナレハ、鋼ノ熔解ヲ妨クレハナリ、故ニ「クルシブール」壷ヲツクルニハ、墨鉛「コフロンヘーホル」ヲ細末トナシ、剛泥ニ和シ、搏揑シタルヲ用フ、墨鉛ノ質ハ、炭素極メテ多ク、烈火ニ烙セサルヿ、諸物ニ魁タリ、剛泥ニテ粘力ヲ和媒ス、剛泥ハ礬土ニテナリ、亦烈火ニ堪ヘルヲ以テナリ、此兩種ヲ和シテ壷トナスニ器械兩種アリ、其一ハ圓規ノ鐵盤ニ、三箇ノ型ヲ穿チタルヲ徐回シテ、職人三名ヲシテ、製作ヲナサシム、甲一人ハ煉土ヲ搏シ塊トナシ、甲ノ型ニ入レ、乙ノ前ニ回ス、乙ノ手ニテ上ヨリ器械ヲ下シ、型ノ中心ヲ突ケハ「クルシブール」ノ壷ヲ型中ニナシ、丙ノ前ニ推回ストキ、型底ノ臺木ヲ擡ケ出シ、其力ニテ型中ノ壷、自ラ抽テ出ルヲ、丙ノ手ニ取テ側ニ移ス、如此クニ循環シテ、須臾ノ間ニ數箇ノ壷ヲナシタリ、又其一ハ蒸氣ノ仕掛ニテ、横ヨリ練土ヲイルレハ、輪轉ノ器關ニテ、前ニ推出ストキハ、已ニ壷ヲナセリ、此機關ノ様子ヲ、器械師詳カニ語リタレ𪜈、外見ノ解スル所ニアラス、墨鉛ノ礦ハ、英地ニモアレトモ、其價不廉ナルヲ以テ

日耳曼ヨリ輸入スルヲ用フ、剛泥ニ和シ、爐中ニ用ヒル一回ニテ、壷猶完全ナレハ、再度三度モ用フルヲ厭ハス、毀破スルハ再ヒ用ヲナサス、碎テ道路ヲ修メル用トナス、場中ニ墨鉛ノ塊ヲ積ム、石炭ヲ積メルニ同シ、之ヲ滊輪ニテ碎末シ、篩(フルヒ)ニカケテ細粉トナス○場ヲ出レハ、別一宇ノ廨舎ニ、車輪ノ仕掛アリ鋏ヲ以テ鋼片ヲ截テ、二三寸許ノ小片トナシ、之ヲ別一場ニ送レハ、其場ニテ小片ヲ衡(ハカ)リ、重サ六十磅ツヽニ分ツテ、「クルシブール」壷ノ中ニ盛リ、一搦ノ木炭ヲ糝和シ、是ヲ爐ニ送リテ熔解セシム○夫ヨリ車輪ヲ鍛成スル所ニ至ル「カメロ」社ト、其仕掛大同ナル内ニ小異アリ、彼場ノ輪ハ、只「ハマー」ヲ以テ輪材ヲ鍛ヒ成ス、此場ハ輪轉ノ力ニテ鍛フ器械ヲ設ケ、輪材中心ノ孔ヲ車軸ニ貫キ、其面ヲ輪轉ニ磨軋シテ鍛フナリ、此器械ニテハ、輪ノ中孔、其徑小ニシテ、輪輻ノ厚キモノヲ造ル、又巨輪ヲ鍛ヒテ、其孔ヲ擴張スルハ「ローレン」「マシイネ」ヲ用フ、是ハ輪ノ孔徑小ニシテ、幅尚厚キヲ紅熔シテ、此「マシイネ」ニカケ、輪ヲ振回スレハ、孔徑乍チ擴張シ、徑三四尺ノ巨輪トナス、一分時ヲ移スニ過キス、又「ハヤミイル」「マシイネ」ヲ設ケタリ、此兩器械ヲ以テ、或ハ横鍛シ、或ハ竪鍛ス、

至ノ蒸氣力ヲ用ヒ頃刻ニテ冶成ス〇次ノ場ニハ「ハマー」ヲ設ケ大小數箇アリ小ナルハ十噸ナルモアリ十五噸ナルモアリ大ナルハ二十五噸ノ大槌ヲ上下ス此日ハ十五噸ノ槌ヲ運動シ鍛スル一兩回大地爲ニ震フ〇其次ノ場ニハ「ルエイス器械ヲ仕掛テ車軸車械或ハ巨輪ヲ削ル此場ノ仕掛種種アリテ名狀シ難シ製作ノ場ハ光明ヲ要スルヲ以テ屋宇ヲスヘテ玻瓈葺トス、鐵骨ニ玻瓈張リニシテ葺キタリ又鐵道ニ用ヒル鐵軌ヲ堆セルヲミル其内ニ軌線ノ輪囘セル處ニ用ヒル軌條多カリキ〇スヘテ此場ニ職人ヲイル、日ニ二千人石炭ヲ燒ク一周日ニ一千噸石炭ハ此府ノ近傍ナル鄙ヨリ出ルヲ採用スルト云、

〇是ヨリ「タウンホール」ニ至ル知事及ヒ府中ノ評議官又商會ノ人モミナ會議堂ニ集リ此ニテ「スピーチ」ヲ取替シテ去ル、

〇夫ヨリ銀銅細工場ニ至ル此ハ「リキソン氏會社ノ製作場ナリ古ヘ此地ハ矢（ヤノ）鏃（ネ）ヲ作ルニ有名ナル所ニテ英國ノ鏃ハ多ク此場ヨリ製シ出セリ然ルニ火技盛ンニ行ハルヽ時世トナリ工家其業ノ長ク利益ヲ保チ難キヲ察シ其器

械ヲ轉化シ、鍍銀ノ細工ニ改革セリ○此場ニ於テ製作スル白銅ハ「ブリタニヤ、メダール」ヲ用フ「ブリダニヤ、メダール」トハ、英國白銅ト謂フ意ナリ、錫ト「アンチモニー」トヲ和シテ製セル白銅ニテ、其質頗ル下品ナリ、錫ハ柔輭ナル白色金ナリ「アンチモニー」ハ堅硬ノ白色金ナリ、相和シテ硬質ヲナス、其製作ハ、以テ型ニ打込ミ、蠟附ヲナシテ、種種ノ器什ヲ造リ出ス、或ハ型中ニ鑄込ミテ、刻畫ノ細工ヲナスモアリ、大抵食案上ニ用ヒル器什多シ、食匕、茶匕、肉匕ノ類ヨリ、燭臺、肉盂、茶鑵、或ハ花ヲ盛ル鉢、鹽、油ヲモル臺等、必用品ノ一ニテ、消費甚タ廣シ、時促リ倉卒ニシテ歸ル、

○夜五時半ヨリ「コットラス會社中ノ享宴ニ趣ク、此筵ハ毎年ノ此月ニ於テ、例ニ設ケテ、府中ノ大會ヲナスコトナリ、此回幸ニ日本使節ノ至レルヲ以テ、請テ上客トナセリ、會食ノ人、スヘテ二百二十一人、接待掛リアリテ、座ノ禮儀ヲ掌リ、正面ナル高臺上ニ、日本使節ノ一行、當地ノ華族、及ヒ有名ノ士ヲ坐セシメ、此ヨリ少シ下層ニ、スヘテ七行ニ食案ヲ排列シ、豪商吏士ミナ列ス、後ナル樓上ニ、男女ノ樂師ヲ雇ヒ、食間ニ樂ヲナシ、左ナル同樓上ニハ、府中有姓ノ婦人

列坐シ、其儀ヲ觀ル、米國ヨリ以來、享宴ノ盛ナル、此ヨリ最ナ、ルハナシ、席長、及ヒ大使ヲ始メ「スピーチ」十數次アリ、或ハ之カ答ヘヲナス、此日ノ上席中ニハ、有名ノ英傑モ多カリシトナリ、夜十二時ニ至リ徹ス、

十月朔日　陰小雨ス

朝十時ニ、舌非力府「ウィルソン」氏ノ宅ヲ辭シ「リノルソス」驛ヨリ、蒸氣車ニ上ル、「ウィルソン」氏兄弟、驛マテ送リ別ヲ告ル、友于掬スヘシ、是ヨリ北走シ「デルベー」州ヲ横過ス、ミナ平野ナリ、四十四英里ニテ「ポールトン」邑ニ達ス、此ハ「スタッフォルト」州ノ一都邑ニテ、此ニ「ビール」ナリ「ビール」ハ穀酒ノ總名重ニ麥ニテ釀ス釀造ノ地ナルヲ以途次ニ其場ニ至ル、

○「オールソップ」氏會社ノ「ビール」釀造場ハ、殆ト此一邑ヲ專ラニスル大場ナリ「オールソップ」氏食饌ヲ造リテ待チ、迎ヘテ會堂ニ於テ、午食ヲ供ス、食畢リテ、製場ヲ回ル、○場內ハ地ヲ占ムル五十「エーカー」我二十町中ニ市街ヲナシ曲折ニ周回スレハ、十二英里ニ及フ、半日ノ回リ盡ス所ニアラス、因テ荷車ニ氈榻ヲ設ケ、蒸氣車ニテ、場內ノ鐵道ヲ馳走スル用意ヲナセリ、書記局ニ連リ、一ノ大酒倉アリ、長サ百間、幅ハ之ニ半ハス、三層ノ屋宇ニテ、地下ニ窖ヲ作ル、詳カニ後ニ

記スヘシ、此倉ヲ出テ、滊車ニ上リテ走ル、路ヲ挾ミテ廨舍ヲ建ル、市街ノ如シ、約一町餘ハ、ミナ古樽ノ修復ヲナス、木ヲ削リ、箍ヲ編ム、箍ハ西洋ニ竹ナキユヘ鐵片藤蔓ニテ造ル古樽ノ内面ハ、清淨ニ注意セサレハ、酒味ヲ壞ル、泡釀ノ桶ナトハ殊ニシカリ、或ハ硫黄ニテ薰スルヲ佳トス〇夫ヨリ麥倉ヲ建テ並ヘ、前ナル廣場ニ丘山ノ如ク樽ヲ露積シ、倉ノ傍ナル廣場ニハ、糟丘ヲ堆シタルヲ、車上ヨリ仰望シツヽ、車走レハ、一街ノ長屋ヲ連ネ、新樽ヲ製造スル所アリ、凡ソ西洋ノ樽ハ、上下ヲ殺小ニシ、中腹ヲ膨脹ス、大鼓ノ胴ニ似タリ、材ハ打裂キ易キ樹ヲ資用ス、凡年輪ノ著キ材ハ、打裂キ易ケレ𪜈、木質ノ鬆ナルハ、氣ノ漏洩ニ易キヲ以テ、堅材ヲ用ヒ、器械ニテ緊束ス、故ニ船底ニ積ミ、上ヨリ衝激ヲ受ケテモ、破損ニ難シ、樽ノ大中小等シカラス、最大ナルハ三十六「ガルロン」約我九斗ヲ盛ル、四人力ニテ纔ニ扛ルヘシ小ハ一「ガルロン」我二升五合ヲ盛ルニスキス〇是ヨリ通路ヲ橫絕シ、別一區ニ至ル、此門關ニハ、車至レハ、壓力ニテ門扇自ラ開ケ、車去レハ、又自ラ閉ル仕掛ヲナセリ、西洋田家ノ木戶ニハ、往往ニ此類ノ設ケアリ、其式種種ナリ、「スプリング」彈キ金ナリ前ニミユノ利用ニヨル、此一區ニモ、亦酒窖及ヒ釀酒場

屋アリ、樽ヲ積ミ糟ヲ堆シ、處處ニ狼藉ナリ、
場内ノ一斑ヲ歴觀シテ、後ニ製酒ノ一斑ヲ示ス、一ノ五層屋ニ至ル、最上層ニテ、麥ヲ纚シ、之ヲ煽シ、之ヲ篩フ、篩麥ノ器ヲ「ハーレフル」ト云、鐵線ヲ麁ク織リタル布ヲ緊張シ、之ヲ傾斜ニタテ、麥ヲ其面ニ走ラシムレハ、粒粒走リ下リ、瑣屑ハミナ布際ヨリ漏レ落テ、前ニ匀圓ナル粒ノミヲ堆積ス、略我萬石篩(マンゴクオロシ)ニ類セリ、其他此ニ類スル利用ノ器猶多シ、「ビール」醸造ニハ、穀類ミナ用フヘシ、麥ヲ最上トス、中ニモ大麥ハ酒精及ヒ泡醸ノ頁質分ヲ滴當ニ含ムトナリ、〇夫ヨリ麥芽ヲ造ル場ヲ示ス「「ビール」ハ穀ヲ糵芽(モヤシ)トナシ、其汁ニテ醸セルモノナリ、凡醸造ニハ、植物質ニ含メル、糖分、蛋白質ノ酸化ニ從ヒ、泡醸シテ、芳烈ナル液ヲナスニヨル、麥ヲ水ニ漬シ、萌芽ヲ動ストキ、糖分ヲ發成スルモノナリ、故ニ醸酒ニハ、必ス糵ヲ製シテ用フ（漢土ニテモ亦麥糵ニテ酒ヲ醸シタリ、糵ヲ一ニ麯トモ云、今穀ヲ蒸テ醮シ衣ヲ生セシメタルヲ麹ト云ハ別一法ナリ）日本ニテ飴ヲ製スルニテ察スヘシ、此室ニハ熱氣ヲ送リ、室内ノ滿面ニ、濕麥ヲ撒布シ、一兩夫ヲシテ之ヲ搔キマセシム、此麥ハ水ニ六七日漬シタルモノニテ、一再攪搔ノ後ニ、其マヽニテ醞スレハ、一夜ニテ芽ヲ動カ

スト云、室ノ四周ハ、窓ヲ小ニシ、空氣ヲ閉ル〇次ノ室ニハ、其麥蘖ヲ乾燥シ、水分ヲ去ル、麥粒ニ芽ヲ動シ、三分一ノ大ヲマシタルヲ度トシ、此室ニ送ル、此室モ亦窓小ナリ、室ノ下層ヨリ乾燥ノ火氣ヲ送ル、室內ノ熱、約百四五十度、猶人ノ出入スルニ堪ヘタリ、此室ハ必ス三階ノ上ニアリ、二階ヲ空クシテ、火氣ヲ蓄ヘ、適宜ノ溫ヲ此ニ到ラシム、下層ニ數行ノ火竈ヲ作リ、石炭「コーク」ヲ熾起ス、其熱氣ヲ二階ニ升ラシメ、ヤヽ熱ヲ失ヒ、且炭酸烟煤ヲ減シ、三階ノ乾燥室ニ至リ、餘熱ヲ麥芽ノ諸室ニ散セシム〇夫ヨリ麥蘖ヲ液トナス場ニ至ル、此場屋ノ三階ニ、磨輪ヲ仕掛ケテ、乾燥セル麥篩ヲ碎キ、其顆粒ヲ破リ、風簸ニテ扇ス、秕糠日ヲ昧シ衣ニ滿ツ、次ノ室內ニイレハ、太ナル木製ノ甑ヲ數箇安ンシ、甑ノ中腹以下ハ、下ノ二階ニ貫ケリ、其大サハ徑一丈五尺ニ及フ大桶ニテ、三階ノ處ニ抽ツル分モ、高サ四尺ニ及フ、其大ナルヿ是ニテ推スヘシ、此中ニ車仕掛ニテ、麥芽及ヒ液汁ヲ攪スル、器械ヲ施ス、是ニ麥蘖ノ粉顆粒ヲ碎キシモノヲイレ、熱湯ヲ注キ、混攪スルヿ半時ニテ、麥蘖ノ精分、熱湯ニ泌出シタル汁、下ノ二階ノ處ヨリ、底ノ栓ヲヌキ、其麥精湯ヲ收メトル、此二階ノ處ニハ、案內セサリ

シニヨリ、其詳ナルハ見知セサリキ、此ニ稍手數アルヿノヨシ、已ニ精分ヲ取タル麥蘖ヲ糟トス、以テ馬ニ秣スルト云〇此麥精湯ニ、葎穂花汁ヲ和シ、管ヲ傳ヘテ冷ス場アリ、此仕掛二アリ、其一ハ少ク傾斜セル牀ヲハル、長サ十餘間アリ、場ヲ竟ル、周邊ニ縁アリ、四面ノ窓ニハ戸ヲ設ケス、寒醸ニハ、此ニ傾瀉シテ冷ス、其一ハ銅管ヲ盤渦スル、總テ十五六匝、冷水ノ槽中ニ浸シ、其上端ハ、那ノ一場ヨリ、麥精湯ヲ注入シ、下端ハ、他ノ一場ニ繞リ出テ、麥精湯ヲ醸シ桶ニイル、夏醸ハ此管ニ流シテ冷ス、凡熱液ノ酸敗ハ、温百度内外ニ及フトキ生スルモノナリ、冷テ七十度ニ下レハ、酸化セストナス、現今ノ醸造ニモ、尚此槽ニテ冷シタリ、此側ニ分析場アリテ、酒ヲ査驗ス、西洋ニテ一製造場アレハ、必ス其分析ノ場ヲ設ク、術ノ益精ナルモ亦宜ナリ〇次ニ醸酒ヲ大樽ニ入レ藏スル場ニ至ル、其樽ノ徑八九尺ナリ、上ニ蓋ヲナサス、此無蓋ハ何ノ故ナルヤヲ詳カニセサリキ以テ沸醸ヲ促ス、是ヲ第二ノ泡醸トス、此ニ於テ酒氣ヲ醸シ、滿面ニ泡ヲ噴キ、其烈ナルヿ嗅ケハ顔ヲ刺シ、燭ヲ下セハ即滅ス〇是ヨリ泡醸室ニ至ル、是ハ初メ麥精湯ヲ冷シタルヲ、泡醸樽中ニ盛リ、其樽ハ周密ニ封固セルモノニテ、上頂

ニ小孔ヲ開キ之ニ管ヲ施シタリ酒ヨリ沸騰スル泡沫ヲ導キ孔ヨリ噴キ出テ管ヲ傳ヘ滴リ出シム是ヲ第一ノ泡釀トス發酵セシムルニハ酒母ヲ加フトナリ而テ其噴出シタル泡沫ハ樋ヲ傳ヘテ桶ニ收ム是ハ麪包ヲ練ルニ用フ此泡液ニハ「アンモニヤ瓦斯アリテ物質ヲ膨脹セシムル性アレハナリ我邦ニ醴酒ニテ饅頭ヲ煉ルモ亦同理此樽ヲ名ケ「フェルメンテイション」ト謂フ、泡釀樽ノ義ナリ、○夫ヨリ前ニ記セル酒倉ニ至ル是モ三層ノ大屋ニテ最上層ニ菲穗（ホップ）花ヲ蓄フ菲穗ハ英ノ南部「ケンド州邊ニ多ク耕種ヲナス蔓生艸ニテ其花ハ黄色ノ細蕋ヲ集メ中ニ芳香ヲ含ム菊花ニ似タリ其花ヲ乾カシ袋ニテ輸シ致ス袋ハ所謂ル「バック」ナルモノニテ其長サ四尺ニ幅二尺厚サハ尺ニ充ツ此一袋ノ菲穗其價ハ十五磅ニ至ルヿアリ年ノ豐凶ニヨリテ相場ニ不同アリ○此地下ニ酒窖アリ「トレント川ノ水ヲ導キ其水力ニテ器械ヲ運シ酒樽ヲ上下ス、此器械ハ甚タ簡易ナリ斜面ヲ作リ樽ヲ轉シテ其上ニオケハ自ラ上下ス樽ノ自然力ニテ上下スルモノヽ如シ水力ヲ導ケル鐵管ハ場ノ中腹ニ横ハレリ○窖中ノ酒樽スヘテ一萬ニ及フ來月中ニハ之ヲ各國ニ輸送シ日本ニモ

亦輸致スヘシト云、此ヨリ酒樽ヲ地上ニ舉ケ、撿査人、樽ノ側面ニ、徑五六分ノ孔ヲ鑿チ、毎樽ニ嘴狀ナル漏斗ヲ入レ、樽中ノ酒ヲ酌ミ、飲ミ試ミ、別瓶ヨリ同製ノ酒ヲ補ヒ、樽ニ充盈セシメ、孔ニ栓ヲ打込ミ、其面ヲ削リテ轉シ出ス、

飲料ハ、國民ノ開明富饒ナルニ從ヒ、益精美ヲ好ムモノナリ、故ニ飲料ノ消費高ニテ、國ノ開化ヲ證スルト謂フ說モアル如ク、現今ニテモ、歐州ニ飲料ノ消費ハ、其高實ニ莫大ナリ、飲料ニ種種アリ、茶、咖啡、酒、火酒、及ヒ烟草是ナリ、是ニ沙糖ヲ合セテ、貿易品ト名ケ、其ニ課稅ヲ重クス、穀肉ノ類ハ營業力ヲ生スルノ元品ニテ、飲料ハ快樂ヲ媒介スル物品タリ、營業ニ務ムルハ、快樂ヲ得ント欲スル所ナリ、國ノ開明富饒ナルニ從ヒ、飲料ノ消費ヲ增加スルハ、亦自然ノ理ナリ、酒ニ兩種アリ、釀酒、火酒是ナリ、釀酒トハ、穀汁ヲ釀セルヲ「ビール」ト謂フ、果漿ヲ釀セルヲ「ワイン」ト謂フ、皆日常食間ノ飲料ナリ、之ヲ蒸餾シ、揮發分ヲトリテ製調シタルヲ、火酒類トス、嗜酒ノ癖ヲナシタルモノヽ外ハ、之ヲ食前ニ少量ヲ飲ムニスキス、西洋人ノ飲酒ヲ戒ルハ、其過度ナルト、火酒ヲ常用スルトニアリ「ビール」「ワイン」ヲ幷セテ、全ク禁絶ス

ルニハアラス、日本ノ酒モ亦「ビール」ノ一種ナリ、其釀法ヲ異ニシ、淸烈ナルヲ以テ、西洋人誤リ認テ、火酒ノ類トナス、大ニ非ナリ、西洋ニテ穀ヲ釀シテ酒トナスニ、其釀法ハ種種アレモ、大意ハ穀蘖ヲ煎シ、葎（ホップ）穗液ト共ニ和調シテ、發酵セシメ、其「アルコール」分變化シテ、穀ノ澄液中ニアルヲ賞味スルナリ、初釀二釀（沸騰靜止ノ後ニ樽ニ蓄フヿ）ニテ飲ヲ急釀トイヒ、三釀（沈澱物ヲサリテノ後樽ニ詰カヘルヿ）ノ後ニ飲ヲ緩釀トイフ、三釀ハ久シキヲ厭ハス、故ニ富貴ノ人ハ、百年ノ古酒ヲ賞味ス、其價モ亦不貲ナリ、日本ノ酒ハ麹ヲ和シテ釀ス、釀法頗ル高尙ニ屬ス、只未タ歐洲人ニ嗜好ヲ生セサルノミ、飲料ハ開化ニ從ヒ進ミ、異味ヲ好ムハ人ノ通慾ナレハ、今ヨリ其釀法ヲ愼精ニシ、貿易ノ道ヲ得ハ、必ス一箇ノ輸出物品トナラン、漿油ハ鹽藏釀造品ニテ、食料調和ノ劑ナリ、蘭人之ヲ輸送シ、獨逸地方ニ賞味セラレ、英人モ亦之ヲ好ム、味淋ハ酒ノ一種ニテ、幷セテ食料調和ニ益アリ、釀造術ハ、日本ノ長技ニ屬ス、農產ヲ製作シ、釀造品トナシテ輸出スルハ、尤國產倍殖ノ眼目ヲ得タルモノト謂フヘシ、當時歐洲ニ「ビール」釀造ノ盛ナルハ、英國、獨逸、墺地利、及ヒ白耳義、ミナ之ヲ務ム、此

場ノ廣大ナルヲミテモ、其盛ナルヲ證スルニ足ラン、因テ飲、料消費ノ事由ヲ論述シテ、我國產輸出ニ注意ヲ與フルト云爾、

「スタッホルト州中ニ於テハ、陶品製造ノ名所ナリ、其回覽ヲ後ニ讓リテ、「ウォリッキ州ノ北明翰（バーミンハム）府ヘ赴キタレハ、之ヲ後日ノ條ニ記スルヲミルヘシ、後「チェスター州ノ記ニ於テ錄出ス

○五時半ヨリ蒸氣車ニ上リ、七時十分ニ北明翰（バーミンハム）府ノ驛ニ達ス、「メヨ驛ニ迎ヘ、遂ニ「クインス、ホテル」ニ宿ス、

「ホールトン」ヨリ此マテ二十英里、

二日　朝晴夕ニ雨フル

九時半ヨリ蒸氣車ニ上リ、十五英里ヲ走リ「コヴェントリー府ニ赴ク、此府ハ「ウォリッキ州ノ首府ニテ、人口ハ五萬九千四百七十八、古キヨリ名高キ都會ナリ、「メヨ驛ニ迎ヘ、馬車ニテ諸製造場ヲ案內ス、

○「カセス氏社ノ紡織場ニ至ル、此ハ棉絲ヲ以テ、專ラ線繡（レース）類ヲ織ル所ナリ、線繡ノ組織ハ、織機ニ奇巧ヲ設ケ、緯絲ヲ環繞セシメ、組紃ヲナシ、空隙多キ薄紗ノ

如キモノヲ織テ、其面ニ種種ノ花紋ヲ組出シ、裝飾ノ用ニ供ス、幅狹ク織タルハ、婦人ノ衣領、袖口、裳ノ摺襞等ニ、縫付テ飾リトナス、猶縫縁ノ如シ、幅廣ク織タル、精良ナル絹「レイス」ハ、婦人夏ノ肩掛布ニ用フ、一个ニテ千弗ノ價ニ及フモノアリ、棉製ノモノハ、帳幄窓幔ナトニ用フ、又麻ニテモ織ル、舶來「ショルツ」ニ胸ニ飾リタル組紋ハ其一ナリ、足ハ「ドレスコート」ヲ服スル時ニ用フルモノナリ、此麻絲ニテ組織シタル線繡モ頗ル價アルモノニテ、精密ノ品ハ、方寸ニテ價ヲ定ムルニ至ル、其他婦人ノ覆面巾、衣裳ノ篏縁ナトニ、種種ノ巧ヲ極ム、線繡類ノ組織ハ各國皆精ヲ競ヒ、歐米各國ミナ盛ンニ行ハル物ナリ、中ニ於テ佛國、及ヒ以太利ノ兩國、殊ニ其長技ナリ、又白耳義、獨逸モ高名ナリ、◯此場ハ一千八百六十二年ニ剏建シ、多ク棉絲ノ組織ヲナセリ、一二ノ織機ヲ運動スルヲ見シニ、經絲ヲ疎排シ、緯絲ヲ環繞セシム、一綜ニ一繞スル、蜘蛛ノ網ヲ結フカ如ク、其理ヲ辨知シ難シ、日本ニテハ猶不急ノ巧ニ屬ス、場中ニ職人ヲ用ヒル二百四十人、幼童多キニオル、蒸氣輪ハ三十馬力ト、二十馬力トノ二箇ヲ設ケタリ、

〇「スチーブン」氏社ノ織絹場ニ至ル、此場ハ文錦ヲ織ル所ナリ、婦人ノ冠纓、經籍ノ裝禮式ノ書簡、艶文ノ包紙、會社ノ表識ナトニ用フルモノニテ、幅狹キ絹、或ハ織テ小片トナシ用フル織文ヲ織ルナリ、又書冊ヲ編シ、貨物ヲ細スル、細條ノ絹ヲモ織リ出ス、〇錦地ニ、花紋、人物、文字ヲ織リ出スニ、巧心ヲ極メタリ、機軸ニ綜トル織絲ヲ理スルニ、種種ノ器械アリ、別一場ニ於テ其工ヲナス、「ジャーカル」ニ詳カナリ波士敦府ノ記短册ニ、孔ヲ穿ツ器械アリ、織文ノ繪樣ヲミテ、經絲ヲ按排スルニハ、最初周密ニ縦横ノ罫畫ヲナシタル紙アリ、之ヲトリテ織絹ノ經緯絲ニアテヽ、見本ノ繪ヲ案シ、各格ニ彩色ヲ塗抹ス、格格ニ番號ヲ定メタルヿ、猶棊家ノ棊局ニ番號ヲ定メルカ如シ、織工ハ之ヲ暗知シ、罫畫ノ紙ヲ塗抹セルヲミテ、其毎行ノ番號ヲ按シ「ジャーカル」短册ヲ器械ニ上セテ孔ヲ穿チ、番號ヲ記シテ送致ス、〇「スチーブン氏、懇々ト使節ニ告ケテイフ、日本ノ絹絲ハ、其質ノ美ナルヿ類ヲ抜ク、然レヒ製絲ノ麁ナルヲ以テ、上製ノ織錦ニ用ヒ難キハ、我輩ノ甚タ歎然トシテ悵恨スル所ナリ、願クハ今ヨリ、其製絲ヲ精緻ニスルヿヲ務メハ、獨リ我社ノ其利益ヲウルノミナラス、日本ニ於テモ、其利益

多カルヘシト、
英國ニ絹織物ノ輸入甚タ夥多シ、佛國ノ絹織物ハ、大半ハ英ニ輸出ス、近年英國內ニモ、織絹ノ業ヲ盛ンニシ、已ニ千八百七十年ニ比スレハ、七十一年ニハ、一千餘萬弗ノ輸入ヲ減シタリ、之ニ比シテ、絹絲ノ輸入ハ增進セリト、
又絹絲ノ製ニ就テハ、「プラットホール」府ニテモ見聞アリ、倫敦、巴黎、里昂(ヨン)ニテモ屢見聞アリ、皆之ヲ要スルニ、當時西洋ニ於テ、絹絲ヲ用フル、極メテ纎細ヲ尊フ、一絲四繭ヲ幷セタルヲ主用シ其毎絲ニ些ノ渣屑ヲ存スルハ、即チ器械ヲ以テ之ヲ摘去ルニ、工力ヲ費ヤス、絲條不均ナレハ、分ツテ大中小ノ數種トナシ、之カ爲メニ絲屑ヲ生スルニ至ル、溫度ノ不平均ニ因テ、絲質ニ良惡ヲ差ス、日本ノ產ハ此等ノ精ヲ缺クヲ以テ、本年倫敦(ロンドン)ノ相場ニテ、各國絹絲一磅ノ價ハ、伊太利ノ上絲ハ、二磅三「シルリング」佛國ノ絲ハ、二磅一「シルリング」、支那絲ハ、二磅ナルニ、日本ハ一磅十「シルリング」ニ及フモノハ稀ナリト云、蠶絲ノ質ヲ論スレハ、未曾テ高等ナラスンハアラス、是全ク製絲ノ麁笨ナルニヨレリ、又壹丁堡(エヂンボルク)ニテ、日本ノ絹絲ノ內ヨリ、一塊ノ鉛ヲ擇キ

出シ、英國ノ商人痴闇ニテ、此ノ如キ局騙（ダマシ）ヲ受クルトテ示セシヿアリ、我生絲ハ西洋ニテ甚タ尊ヒラルレヒ、邦產ノ利ヲ失フハ、毎ニ商法ノ不規則ナルト、製造ノ不注意ナルニ出ルナリ、

○コロヅレム社ノ袂時計（ホッツチェ）製造場ハ、歐洲此工ヲナ場スニ於テ第一ノ大場ナリト云、場內ニ職人ヲイルヽ二百人、場外ニ三百人、英國ノ人ハ、概シテ袂時計ニ奢ヲ致スヿ、海內ニ無數ナリ、佛國巴黎ノ奢侈ナルモ一步ヲ讓ル、故ニ精良ナル袂時計ハ、之ヲ倫敦ノ市肆ニ求ム、倫敦時計ノ精良ナルモノハ、即チ此場ノ出ス所ナリ○袂時計ノ製造ハ、其器械用工、共ニ甚タ精細ナレハ、窓ヲ開ク尤モ恢明ヲ要ス、故ニ操工ノ室室ハ、窓面ヲ總玻瓈戶ニス、場內ニアル職人ハ、場外ヨリ製造シ、其輪送セル諸器械ヲトリテ、查驗ヲナシ、磨琢ヲ加ヘテ裝置シ、其工ヲ成就スル所ナリ○凡袂時計ノ殼內ニ、粧置シタル齒輪、螺旋、及ヒ此ニ附屬スル器械ハ、盡ク精密ヲ極メ、些小ノ不精アレハ、即チ全局ノ瑕疵トナル、故ニ此器ニ付テ、分科甚タ密ニ、齒輪ヲ造ルモノ、彈キ金ヲ造ルモノ、螺旋振釘ヲ造ル等、各一科アルハ無論ナリ、其齒輪ヲ磨キ、螺旋ヲサラヘルモ、亦一科ニテ、

凡一室ニ五十八許アリテ、各科ヲ受持チ常ニ其業ヲトル、眼ニ凸鏡ヲ嵌シ、且照シ、且磨ス精モ亦甚タシ、〇殼面ヘ花紋ヲ切リ起スニ器械アリ、尋常ノ蓋ハ、此器械ニテ切起セルモノナリ、其精ナルハ此器ヲ脱シテ後ニ、重テ人工ニテ精刻ス、又文字板ヘ、文字ヲ書スルモ、書シ乾カシテ後ニ、其文字ノ周邊ヲ削リサリテ、其筆畫ヲ精ニス、文字板ニ塗ル白堊ハ「エマイル」ト名ケ、錫鉛ノ和劑ヨリ成タル、陶磁ノ一種ナリ、瑞士蘭（スイツルラン）ニテ製造シ、此場ニ輸入スル、時計ノ器械モ、ミナ此場ニテ一回ノ磨瑳ヲ加フト云、

〇是ヨリ府廳（タウンホール）ノ前ナル「セントマックリス寺ニ至ル、此寺ハ五百年前ニ建タル古寺ニテ、塔ノ高サ三百三十「フィート」有名ノ靈場ナリ、

〇府廳ニ於テ饗食ヲ供ス、府中ノ饗應ナリ、會食ノモノ四十餘人アリ、食畢リ「スピーチ」例ノ如シ、此府ハ古キ名所ニテ、此廳堂モ六百年前ノ造營ニカヽル、廳中ニ英王顯理（ヘンリー）第六世ノ榻アリ、知事ハ此日從者ヲシテ、左右ニ儀仗ヲ擎ケシメ、威儀ヲソナヘ來リ迎フ、深ク敬ヲ盡ス所ナリ、始メテ漢官ノ威儀ヲミル、儀仗トハ、如意ノ形ニ作レル、大ナル、鍍金（メッキ）ノ筒、滿面ニ彫刻ヲナセルモノ二箇ヲ、

「ウォリッキ古城

「ケーニルウォーチュ古城

從者擎ケテ後ニ從フ、從者ノ衣ハ下幅長ク垂レテ褊襠タリ、其製奇古ナリ、我押看板ノ如キモノナルヘシ、壹丁堡ノ裁判所ニテ見タル、裁判官ノ儀飾、及ヒ髢ト、此ニテ見タル、市尹ノ儀仗ナト、ミナ古キヨリ傳ハル、禮儀ノモノト見ヘタリ、禮文ノ際ニハ、種種儀章ノ具アルヿ、東西洋ミナ同シ、西人ハ日新ヲ勉ムレトモ、亦古ヲ稽ヘ舊ヲ愛シ、存シテ弃テサルヿ、毎ニ如此ナルハ、文明ノ俗ト謂フヘシ、

○是ヨリ蒸氣車ニ上リテ、「ウオリッキ府ニ至ル、此府モ亦「ウオリッキ州ノ都府ニテ、人口一萬餘、亦名高キ都邑ニテ、元「ウオリッキ亞爾ノ所領ナリシヲ以テ、其居城今ニ儼然トシテ存ス、市中ニモ古キ家多シ、其矮小ナルハ、低檐茅宇ニテ、木柱ヲ以テ架成シ、半ハ傾壞シタルヲ、磚瓦ニテ支柱セルヲ、往往ニミル、亦高名ナル古寺モアリ、

○「ウオリッキ亞爾ノ古城ハ市中ニアリ、周圍ハ甚タ大ナラス、內城外廓ヲ備フ、內城ノ積ハ、四「エカー」、四周ハ石壁ヲ以テ匝圍シ、高櫓アリ、中央ニ城閣ヲ起ス、其背ニハ河水ヲ帶ヒ、以テ園庭トナス、城閣ノ內景ハ、ミナ完全セルノミナラス、

今ニ主アリテ居住セルモノヽ如シ、古器古書ヲ陳設ス、二千年前以太利ノ古陶、希臘ノ古像ナトアリ、又我古伊万里燒ノ磁盂二箇アリ、高案ノ上ニオキテ珍寶ノ一トセリ、古時日本ノ產物ハ、只蘭國ノ商船年年ニ一隻來レルノミニシテ、最モ真品ヲ擇ミ買フテ、歐洲ニ送リ利ヲ專ラニセリ、故ニ此頃ニ輸送セル、陶器漆器ノ類ハ、歐洲ニテ萬金ノ價ヲ有シ、大家ノ寶藏ニ保存セラレテ、今ニ愛護セル事、己ニ「ダベンシヤ」丟克（ヂューク）ノ館ニテモ見タリ、又此ニテモ見タルカ如シ○回廊ニハ古武器ヲ飾ル、劍、戟、甲、冑、弓、弩、砮、鏃ヨリ、現今ニ用フル火器ニ至ル・マテ、ミナ備ル、只其數ノ多カラサルノミ、此等ヲ保存スル入費ハ、ミナ州中ヨリノ醵金ニテ辨スルトナリ、西洋ノ人、古ヲ存シ本ヲ忘レサルノ風習每ニ此ノ如シ○高櫓ハ石ヲ以テ疊ミ起ス、高サ百五十尺、頂上ノ圓臺、其徑八間ニ及フ、此ヨリ四方ヲ眺臨スヘシ、此邊ハ四面ミナ平原ニテ、山巒ノ阻ナク、岡坡ノ起伏ヲナセルノミ、英倫ノ南方ハ、大抵如此キノ地勢ナリ○元ハ外部ニ壕ヲ匝シタルヲ、今ハ埋メテ平地トナシ、以テ庭苑ヲ造ル區域廣ク、掃除潔ク、艸色綠ヲシケリ、中ニ花窖アリテ、百花ヲ蓄フ、窖中ニ古水鉢アリ、紀元ノ時代、

ニ、是ヲ羅馬帝ノ苑ニオキタルモノニテ、今完全ニ存セルハ、歐洲ニテ貴重ノ珍ナリト云、此水鉢ノ高サ丈餘モアルヘシ、白石ヲ以テ作リ、周圍ニハ蒲萄、裸體婦人、及ヒ小童ヲ彫刻セリ、○此城ハ、紀元九百五十七年ノ建築ニテ、其後次第ニ增修改築シ、六百年前ニ至ル、其後ニ廢城トナレリト云、

○知事ノ宅ニ於テ、夕餐ヲ供シ、一家ト共ニ會食ヲナセリ、此人ハ、醫業ノ「ドクトル」ニテ富有ナリ、家ノ最上層ニ、動物、礦石、古器ヲ集メテ室ニ滿テリ、食後此家ノ子女、頻リニ博物館ヲ一見セソヿヲ勸ム、其好意ニヨリ、上リテ一見ヲナセリ、西洋學術家、物ニ就テ實學ヲナスヤ、貲力學識並ニ富メルモノハ、各諸物古器ヲ集メ、愛護講明スルヿ、毎ニ如此シ、家家ニテ客室ニ蓄ヘルハ、各地ノ産物、或ハ各國ノ貨幣、諸券等、之ヲ客ニ示シテ、其博覽ヲ觀娯ノ際ニ誘ス、此風ノ被ル所、兒童モ亦之ヲ翫玩ニカヘルニ至ルハ、文明ノ化ト謂ヘシ、

此夕雨甚シ、夜ニ入テ知事ノ家ヲ辭シ、滊車ニ上リテ、北朋翰（バーミンハム）府ノ旅館ニ歸レリ、

三日陰

日曜日ニテ休ス、

北明翰(バーミンハム)府モ「ウォリッキ」州ニ属ス、英倫ノ中央ノ地ニアリ、北緯五十二度二十九分、西經一度五十四分ニ位シ、一千八百年ニハ、七萬口ノ都ナリシニ、今ハ人口三十四萬三千六百九十六人ニ及ヒ、英國ニテ第五ノ都會トナレリ、製作場ノ盛ナルコト、英國ニテ高名ナル地ニテ、鐵冶、金、銀、銅、器、玻璃ノ工、其他百般ノ工場多ケレハ、己ニ各場ヲスキテ、熟覧ヲ經タルヲ以テ、多ク省略シテミサル處多シ、市街殷富ナリ、百般ノ製造品ヲ攤賣ス、實ニ英倫中央ノ大都會ニテ、美麗ナル市街ナリ、此ヨリ倫敦マテ、距離百五十英里、一千八百三十年ニ、里味破(リヴァプール)ヨリ漫識特(ムエンチエスト)マテノ間ニ、鐵道落成ノ後ニ、引續キ架成セルハ、此線路ニテ、其往來モ常ニ繁シ、

四日陰夕ニ雨

朝十時ニ、旅館ノ側ナル「エキステンギ」ニテ、知事及ヒ「コンメルス」列席シ、上壇ノ間ニ於テ「スピーチ」ヲ取替ス、商人ハ下壇ニ羅列シ、帽ヲ執リ祝聲ヲ發ス、頗ル儀アリテ混雜ナラス、

○「チャンセ」氏ノ製造場ニ至ル、此場ニハ燈明臺ノ玻瓈、所謂ル「タイ、オフ、ポテッソエッパラトス」壹丁堡ノ記ニ出ツヲ製スル所ナリ、弁テ燈臺ヲ造リ、又板玻瓈ヲ造リ、硫酸ト曹達トヲ造ル、場內廣大ニテ、總テ五十「エーカー」我二十町歩ノ地ヲ占メ、日ニ職工二千五百人ヲ役ス、場內ニ學校ヲ設ケ、男女子千餘人ヲイレ、小學普通ノ學ヲ授ク、幼ナルハ五六歳ノ嬰孩ニ及フ、男女室ヲ異ニス、此日マツ校ニ入リテ、察房ヲ歷囘スルニ、童男女皆祝聲ヲナシテ送ル、○燈臺ノ玻瓈ヲ編立（クミタツ）ル場ニ於テ「チャンセ」氏、親ラ其施工ノ理ヲ說話シタレヒ、其說光學ノ奧ニカヽリテ、譯者モ辨解ニ苦メリ、蓋シ燈臺ノ玻瓈ハ、三稜ノ玻瓈ヲ集メテ成ル、圓アリ、方アリ、其狀一ナラス、中央ニ油燈ヲ點スレハ、其光ハ玻瓈ノ稜稜ヨリ、全燈ノ面ニ擴充シ、其折角ヨリ放ツ所ノ光ハ、遠キ距離ニ及ヒテ、尖樞ヲ結フヲ以テ、其中ニ只一點ノ燈火ヲ點シ、之ヲ一百二十英里ノ外ヨリ望ムヘシ、只地面ノサ

、ハリニテ、僅ニ五十英里ノ外マテミレヒ、實ハ其光力ノ盡タルニアラス、光點ヲ增損スルハ、螺旋ノ仕掛アリテ、此玻瓈ヲ縮張セシムヘシ、○臺ハ鐵材ヲ以テ打建ル、因テ一場ヲ設ケテ、製鐵ノ工ヲナセリ、材料ハ各地ニテ冶造セル鐵材ヲ仕入テ、此ニテハ組立ルノミナリ、

板玻瓈ノ製造ハ、「セントヘーレンソ」（漫識特ノ記ニ見ユ）ノ製法ニ異ナリ、其材料ノ調和ハ、百分ニツキ、五十分ハ淨沙、四分ハ砒「アルセニー」其他ハ炭末ト曹達トヲイルト、調和ノ委曲ハ、語ルヲ欲セサリシヲ以テ畧ス、是ヲ土壺ニテ熔解シ、長鐵管ノ吹桿サホニ熔解ノ玻瓈ヲ點シ、長サ五六尺、徑尺餘ノ長筒ヲ吹成ス、此吹桿ニ點スル玻瓈ノ熔料ハ、多量ナラサルヘカラス、故ニ爐中ノ壺ニ桿サホヲ差入レ、玻瓈料ヲ點スレハ、須臾ノ間ニ、鐵桿サホハ紅熔スルヲ以テ、又引出シ、冷水ニテ桿ヲ冷シ、再ヒ爐中ニイレテ、玻瓈料ヲ添加シ、再ニ至リ、三ニ至リ、桿末ノ玻瓈料、拳大ヲナシタル後ニ、玻瓈工トッテ之ヲ吹ク、○玻瓈ヲ吹ク場ニハ、四周ノ窓戶ヲ密封ハセサルナリ、只大氣ヲサヽヘ暴露セサルノミ、爐口ノ前ニ於テ、地ヲ堀ルヿ四五尺、上ニ木材ヲ架シ、棧桁ヲ造リ、工人其上ニ立チ、桿ヲ執リ、空ニ向ケテ吹

キ、桿ヲ轉回セシメテ、其圓形ヲ保完シ、其マヽニ桿ヲ下シ、機架ノ下ニ提ケ、左右ニ振搖スルコ、搖擺(フリタマ)ノ如シ、且回(マハ)シ且振レハ、玻瓈其垂下ノ動力ニヨリテ、圓長形ヲナス、此伎倆甚タ精熟ヲ要ストナリ、吹クコ須臾ニシテ、玻瓈冷固ス、因テ爐中ニイレテ、又熱度ヲ補ヒ、再ヒ吹キ擴ケテ、又振搖ス、二三次ニテ、前ニ説シカ如キ、大圓筒ヲナス、因テ筒ノ尾ヲ截弃テ、又筒首ヲ截リテ、板架ノ上ニオケハ、首尾ヲ空洞ニセル大圓筒トナル、是ヲ架上ニテ冷固セシム、此技工ヲナスハ、多少ノ鍛煉ヲ要ス、故ニ工人ノ給料モ甚タ貴シ、〇長圓筒ノ冷固セル後ニ、燒小手ニテ、一面ヲ直線ニ烙抹スレハ、竪理ニ一線拆開ス、此拆セル面ヲ上ニ向ケテ、一ノ火爐中ニ入ルレハ、熱度ノ進ムニ從ヒテ、玻瓈乍チ展ヒテ、爐底ノ平鐵盤ニ、平面ノ板ヲナス、此爐ニ文武ノ火度ヲナシ、玻瓈已ニ展ヒ、平カナルヲ待チテ、背ナル文火ノ爐ニ推送ス、此ニテ火度ヲ減シ、自然ニ冷固セシム此板ハ、大抵其厚サ一分ニ上下スルモノニテ、白色、紫色、緑色ミナアリ、大ナルハ窓眼ヲ蓋ヒ、鑑ヲ製シ、小ナルハ箱上ニ嵌シ、寫眞ニ供ス、此法ニテ製シタルハ磨礱ヲ加ヘス、〇玻瓈ヲ製スルハ、ニ、曹達ヲ加ヘテ溶ス、其量甚タ多シ、曹達

ヲ製スルニハ、硫酸ヲ加ヘテ、食鹽ヨリ「コロール瓦斯ト、曹達トヲ分離ス、其用
甚タ多シ、硫酸ヲ製スルニハ、堅瓦ノ玻璃鍋ヲ要ス、故ニ此三ノ技工ハ、互ニ相
須テ相利用ヲナス、此社ニ於テハ、曹達ト硫酸トモ、幷セテ製造場ヲ設ケタリ、
時促スルヲ以テ、此兩製造場ニハ至ラス、

我邦ノ化學ハ元醫科ヨリ原ヲ開キタレハ、化學術トイヘハ、需用少キ精品ヲ製スル目的ノ如クニ、衆人ヨリ誤認セラレタルハ、一般ノ工業ヲ進歩スルニ、大ナル障礙トナリタリ、日本ノ人民モ、化學ノ一隅ヲ、經驗ニ得テ、自ラ其利用ヲ受レトモ、其原由ヲ知ラサルコト、比比ミナ然ラサルハナシ、化學ノ工業進歩ニ緊要ナルハ、渇者ノ飲ニ似タルアリ、殊ニ化學上ノ產物トテ、數種ノ元料アリ、他ノ諸製作ニ於テ、需用甚タ夥多シ其要品五アリ、第一ニ硫酸、第二ニ曹達第三ニ「コロール」劑、即漂白粉第四ニ醋酸、第五ニ硝酸ナリ、英國ニ於テ、此等ノ需用ヲ務メテ、廉價ニテ取用スルヲ得セシメント、製作ヲ盛ンニスルヲ以テ、當時倫敦ノ相場ニテ、百磅ニ付價、硫酸ハ八「シルリンク」、曹達ハ六「シルリンク」、漂白粉ハ十五「シルリンク」ナリ、硫酸ノ英國中ニ消費スル數

ハ二億万磅ニ下ラス、硫酸ノ主用ハ、甚タ夥シキ内ニ於テ、曹達ヲ製スルニ大用アリ、曹達ト「ポッタース」トハ、玻瓈ヲ製スルノ妙劑ニテ、曹達ハ之ヲ海草海石ヨリトリ、今ハ鹽ヨリトル、鹽ヨリ曹達ヲトレハ、鹽酸ヲ贋ス、之ニ過酸化滿俺ヲ加ヘ、無水素ノ「コロール」トナシテ、石炭曹達ニ合マシメ、漂白粉ヲ製ス、「ポッタース」ハ、樹木多キ地ニ於テ、其枝條ヲ灰ニシテ、「ポッタース」ヲ漉テ、熔燬シテ雪白色ノモノトナス、米利堅、露西亞ヨリ多ク輸入スルナリ、是ニテ化學ノ製作ニ必用ニシテ、必モ製藥ニ止マラサル、一斑ヲ察スヘシ、

○某會社ノ針製造場ニ至ル、此日ハ休業ニテ、製造ノ模様ヲミス、西洋各國ニテ、針ノ用ハ甚多シ、縫帶ハ只其一部分ノミ、男女子ノ衣服ヲ仕付ルニ用ヒ、婦人ノ髻ヲ理スルニ用ヒ、紙帖、布帛ノ片片ヲ編綴スルニ用ヒ、博物館、其他ニ於テ、飛潜翅蟲ヲ乾藏スルニモ、針ヲ以テ貫ク、鈎針アリ、縫針アリ、其他一二ヲ以テ其用ヲ擧ケ難シ、旅館ノ室室ニ於テ、繊毬ノ中ニ、五六箇ノ針ヲ挿テタルハ、往處ミナ然リ、以テ其用ノ雜ニシテ夥多シキ知ルヘシ、鐵針アリ、銅針アリ、金針アリ、銀針アリ、或ハ孔ヲ穿チ、或ハ帽ヲ施ス、其種類ハ百ニ滿ツ、

○「ヒンク」及ヒ「ウェルス」氏會社ノ鋼筆（ペン）製造場ニ至ル、舌非力府（セッフイールド）ヨリ、鋼ノ展板ヲ仕入レテ、此場ニテ冶成シ、筆片（ペン）トナス、微小ナルモノナレト、製作ニハ多少ノ技倆ヲ費スモノナリ、初メハ鋼板ヲ「ロール」ニテ輾軋シ、其鏽ヲサル、此時ハ火ニ烘セス、○次ニ「ロール」ノ鋏ニテ、截テ長片トナス、是ヲ器械ニテ、筆片ノ形ニ截ル、猶造幣寮ニテ銀圓ヲ截リ出スカ如シ、其器械二アリ、一ハ人手ニテ車ヲ轉ス、一ハ蒸力ニテ轉ス、其捷ナルモノハ、一分時間ニ、一百四十一箇ヲキリ出スニ至ル、其後ニ撰ミテ、其完全ナラサルモノヲ去リ、均好ナルモノハ、一一ニ器械ニテ孔ヲ穿ツ、次ニ器械ニテ其尖ヲ割リ、是ヲ壓力器械ニ上セ、型ニ壓入シテ彎形ヲナサシメ、次ニ文字ヲ打込ム等、毎工ニ一房アリ、婦人ニテ工ヲナサシム、○此等ノ工ヲ畢レハ、筆片ノ形ヲナス、集メテ銚子形ナル釜ニ盛リ、油ヲ注キテ罐中ニイレ、烈火ニテ烘スレハ、油ノ游離スルニ從ヒ、鋼質ハ堅脆トナル、再ヒ之ヲ圓形ノ罐ニ盛リ、溫火ノ竈上ニ置得シテ烘煉スレハ、其質又堅靭トナリ、彈性ヲ生ス、最後ニ箱ニ盛リ「ナッーパイ」ト名クル、漆狀ノモノヲ熔シテ、是ニ注キ、面ニ黄色ヲ粘著スルヲ終工トス、スベテ四十器ヲ傳ヘテ成ルト云、

此銚子形ノ罐ニテ烘煅スル𪜈注入スル油ハ何質ノ油ヲ用ヒルヤ審問スルヲ失セリ。憶フニ鋼質ニ弾性ヲ發スル術ハ此技工ニ於テ深訣ヲ存スルヿナルヘシ、凡各場ニ於テ目撃セル諸製作中ニ簡要ナル秘訣一二ケ條ハ隱シテ示サス、問ヘ𪜈語ラサルヿ多シ、然レ𪜈此場ニテ秘セルヲ彼場ノ製作ニテハ秘セサルヿアリ、彼是ヲ參看シテ相發明スルヿアルヘキヲ以テ聞見ノマヽニ記述スルノミ、○成就ノ後ニ紙箱（ケース）ヲ製スル場アリ、夫ヨリ箱ヲ送リテ一百四十四箇ツヽヲ盛リ之ヲ紙ニ包ム、數ヲ閲スルニハ先ツ一百四十四箇ヲ閲數シ、其筆ヲ天秤ノ左ニ盛リ、而テ堆積セル筆ヲ掬シ右ニ盛リ其水平ナルヲミテ直ニ紙箱ニ盛ル、此場ハ二十五馬力ノ蒸氣輪ヲ設ケ職人ヲイルヽ日ニ五百人、婦人多シ、其給料ハ一日ニ平均二「シルリング」半、一周日ニ製スル所ハ、平均六十万箇ナリ、場内ニ設ケタル烟竈ニ一千八百四十七年ノ銘アリ、此頃ヨリ起セル場ナルヘシ、

○「アストン」氏會社ノ紐釦（ボタン）製造場ニ至ル、此府ハ早クヨリ英國紐釦（ボタン）ノ製造ニ高名ナル所ナリ、社中ヨリ近ヘテ酒果ヲ供ス、款待畢リテ場中ヲ回覧ス、紐釦（ボタン）ハ

ミナ型ニテ截出ス、製作ノ狀ハ、鋼筆ヲ造ルト、異曲同工ナリ、作ル所ノ紐釦ハ、其種類甚タ多シ、銅製ニテ金銀ヲ鍍セルモノ、絹ヲ以テ包ミタルモノ、羅紗ニテ包ミタルモノ、白質ノ材ニテ造レルモノ等ナリ、白質ノ材ハ、南亞米利加ニ産スル「ツェチライポル、アイポリー樹ノ實ヲ取用ス、此實ハ栗實ノ如ク、外皮ヲ破レハ、中ニ堅硬ナル白仁アリ、之ヲ鋸破スレハ、堅實セル亅象牙ノ如シ、一種ノ奇材ナリ、以テ紐釦ヲ製シ、琢磨ヲ加フレハ粹白ナレ𪜈、光澤ハ少シ、其價モ最モ廉ナリ○此場ニテ製作スル所ハ、男女ノ衣服ヲ仕立ルニ用フル、各種紐釦ノ需用ヲ備フル所ニテ、仕立屋ヨリ之ヲ仕入レ、搢付ノ衣裳ナトニ用フ、故ニ其賣高甚タ廣シ、場屋ハ四層五層ノ數字アリ、職人ヲイルヽ日ニ八百人、大抵銀銅ノ細工ハ、男子ニテ工ヲ操ラシムレ𪜈、其他ノ操工ハ、細小ナル坐業ノミニテ、力ヲ用ヒル亅寡ケレハ、多クハ婦人ニ工ヲトラシム、絹、絨、繻子等ニテ包ムニハ、器械アリテ機軸ヲ一運スレハ即チ成ル、紡績ヨリモ易シ、眞ニ婦人ニ適當セル業ナリ、蒸氣器械ノ設ケアリ、截切、磨琢、鉋錐スル運動ヲ助ク、カヽル工作ノミハ、男子ニテナサシム、

○夜七時半ヨリ知事招宴ヲ開ク、「スピーチ」例ノ如シ、

五日陰

九時半ヨリ、馬車ニ駕シテ、「コンフォル」氏ノ釘製造場ニ至ル、製造ニ用フル鋼材ハ、又舌非力（セツフイールド）府ヨリ、鋼線（ハカチハリカネ）ヲ仕入レテ資用ス、先ツ「ロール」ヲ以テ其鏽（サビ）ヲサル、鋼筆ヲ製スルト同様ナリ、其鋼線ヲ器械ニ上セテ截リ出ス、此製釘器械ハ、簡易ニテ甚タ敏巧ナル仕掛ナリ、鋼線一縷（スジ）ヲ前面ニ挾ミオケハ、中央ノ仕掛ニテ、且截リ且壓シ、一闔一開ノ間ニ、釘トナリテ落ル、之ヲ拾フテ熟視スレハ、釘首ニハ帽ヲナシ、其末ハ三稜角ニ削リテ、尖鋭ニナラシメタリ、一分時間ニ百三十箇ノ釘ヲ作ルヘシ○場内ニ設ケタル蒸氣ノ輪ハ、百五十馬力、此力ニテ製釘ノ器械ヲ運用ス、工捷ナレトモ、元來截鐵ノ器械ナレハ、蒸氣ノ力ヲ恃ム、故ニ滊輪ハ巨大ナリ、一器ニ職人一人ヲ配リ、鋼線ヲ挾ミカヘ、成釘ヲ他ニ送ル、猶職人ヲイル、三百人ノ多キニ至ル、一周日ニ百噸ノ釘ヲ出ス、

○「オヽストラ氏ノ玻瓈製造場ハ、別ニ製造場ヲ設ケテ、其所ニテ吹立タルヲ、此場ニ輸送シテ、磨琢ヲ加ヘ、工事ヲ成就スル所ナリ、又黄銅ノ製造場アリ、玻瓈

器ニ用フル、種種ノ金具ヲ造ル○玻璃ヲ磨クニハ、蒸氣力ニテ大小ノ砥輪ヲ回シ、職人其輪ニ向ヒテ磨礱ス、磨粉ニ麁精ノ兩品アリ、麁ナルハ砂石ノ末ヲ用フ、精ナルハ「ボミス石ノ末ニ「オキサイト、レッテル」ヲ和スルト云、即亞酸化鉛ナリ、之ヲ砥粉ニ糝和シ、水ニ和調シ、革嚢ニ盛リ、砥輪ノ上ニ掛ク、革嚢ノ狀ハ、長キ漏斗ノ如シ、其口ヨリ徐徐ニ砥面ニ流レカヽル、因テ玻璃器ノ面ヲ砥ニアテヽ、磨クナリ○場中ニテ玻璃ヲ以テ、高サ丈餘、徑リ八九尺ノ水盤ヲ製セソト、各片ヲ縫合シ、金具ヲ施シ、用工力ニ七分ヲ終ヘタリ、墺地利國ノ博覽會ニ送ルト云、凡此場ニテハ、百種ノ玻璃器ヲ製シテ賣出ス、表ノ室ニハ、其製成ノ器ヲ三房ニ陳列シ、販賣シテ客ニ與フ、場內ニハ二十馬力ノ蒸氣輪ヲ設ケ、職人ヲイルヽ、百五十八ノ多キアリ、

「エルキントソ氏會社ノ金銀器製造場ニ至ル此場ニテ用フル白銅ハ、獨逸白銅ヲ以テ製作ヲナス、獨逸白銅トハ、即チ「トイツメダール」ナリ、白錫、亞鉛、銅、三質ノ和ニテ、煉成シタルモノニテ、白銅中ニ於テ上品ニ位ス、又銅「ガルハニ」ノ細工、鍍金、鍍銀ノ工ヲモナスナリ○凡ソ銅銀ノ細工ヲナスニハ、鋼板ニテ彫

刻ヲナシタル型(カタ)アリ、其型ヲ下ニ敷キ、重サ四噸ノ槌ニ凸紋ヲ彫セル鋼型ヲ嵌シ、蒸氣力ニテ壓下スル仕掛ナリ、此ニ鋼鐵ノ型ヲ蓄フ無數ナリ、以テ百般ノ器ヲ作ルニ備フ、故ニ鋼型ニテ諸器ヲ打出スニ、用工ハ只蒸氣ノ力ヲ費スノミナレドモ、製成ノ代價ニハ、鋼型ノ價ト利息トヲ算入スルヲ以テ、自然ニ高價トナリ、且鋼型ヲ作リタル費ハ、多年ヲ經ルノ後ニ非サレハ、拂ヒ了ルヘカラサルヲ以テ、耐久ノ會社ニテ、資本厚カラサレハ、此業ヲ企ルヲ得サルトナリ、○「ガルハニ法ニテ銅器ヲ製スルニハ、「ゴットポーチャー」(一ニ「ゴッタベカ」)ト名ツクル、膠ニ似タル樹膏ノ型ヲ用フ、是ヲ油ニ煎テ熔解セシメ、其摸造セントスル器面ニ澄注シ、十五分時ヲ經レハ堅凝ス、因テ剝キ取レハ、原器面ノ雕刻ハ、纖微ヲノコサス、樹膏ニ凹入シ、且彈力強ク、剝取トテモ原形ヲ失ハス、此ヲ型トナシテ、「ガルバニ水ニイル、ナリ、此「ゴットポーチャー」ハ、熱帶國ノ產ニテ、重ニ新嘉坡(シンカポール)ヨリ輸入スルトナリ、水ニ浸シ煎ルドモ熔解セス、○「ガルバニ法ニテ銅ヲ鑄ルニハ、瓦箱ニ青礬(タンバン)水ヲ盛リ、箱ノ緣ニ銅管ヲ數條横タヘ、管ノ首尾ニ銅線ヲツケ、箱ノ兩側ノ緣ニ槽ヲ刳リ、水銀ヲタヽヘタルニサシ入タリ、電氣

ヲ送ルニハ傍ニ蒸氣力ニテ巨輪ヲ輪シ其摩擦力ニテ乾電ヲ發セシメテ水中ニ導ク仕掛ヲナセリ「コットポーチャー」ノ型ヲ取テ其面ニ墨鉛末ヲ擦入シ銅線ニテ縛リ青礬水中ニ漬シ置クヿ數日ナレハ銅ノ分子電氣ニテ遊離シ型ノ面ニ集リ十五日ヲ經レハ厚サ一分ニ及フ是ニ於テ引上ケ銅ヲ型ヨリ離セハ器ヲナセリ因テ蠟附ノ法ヲ以テ器ヲ縫合シ之ヲ磨キ金銀ヲ鍍ス「コットポーチャー」ハ印度南洋群島ニ產ス新嘉玻（シンカホール）輸出品ノ一ナリ金銅ノ器ヲ製スルニ甚タ至寶ナルヿ陶磁ノ工ニ硫酸石炭ノ必需ナルカ如シ此物ハ樹ヨリ生スル膠液ニテ「インヂヤラハ」ノ膏（ゴム）ト略其質ヲ同クシテ異用ナリ其成ルヤ樹膚ヨリ滴リ結ヒシ黄色ノ凝膏ナリ之ヲ火ニ烘スレハ黒色ヲナス其性質熱ニアヘハ反テ凝結ス熱ヲ進ムル二百四十八度ニ至リテ後ニ溶解ス已ニ鎔解ヲ經タルヲ冷固シ型撲各種ノ器用トナシ硝酸硫酸ノ水中ニ漬スモ多日ヲ經ルノ後ニ少シク其質ヲ變スルニ過キス熱ニ耐ヘ強酸ニ耐ヘルヿ如此クナルヲ以テ尤諸製作ノ用ニ至良ナリ此樹膏ニ上下數品アリ第一等二等ハ其價貴重ニシテ雜用ニ供シ難シ其質粘力多

キモノト漿ノ如キモノハ、ミナ凝結シ難シ、是其質ヲ擇フノ心得ナリ、此物ヲ以テ製作ノ工ヲ施スニハ「アルコール」、石炭油、及ヒ松香油ノ純ナルモノニテ浸シ、熱ヲ加ヘ煮テ、之ヲ攪スレハ、即チ鎔解流動ス、若シ攪スル片ニ、力ヲ用ヒル強カラサレハ、流質トナリテ其靭性ヲ失フ、是「ゴットポーチャー」ヲ取用スルノ大略ナリ、

前法ノ型ハ、鎔金ヲ盪鑄スル用ニ適セス、鎔金ヲ鑄込ム型ハ、乾石膏ヲ二倍ノ水ニ解キ、器面ニ注盪スレハ、凝結シテ石トナル、因テ剝キ離シテ以テ型トナシ、熔金ヲ盪鑄ス、此法ハ器面ノ雕刻ニ空穴アリテ、曲折盤屈セルモノニモ用フヘシ、所謂ル「ギフス法ナリ、

銀銅ノ器ヲ合縫スルニハ「ゴム」ノ蛇管ヲ以テ、其末ニ鐵管ヲ施シ、是ヨリ瓦斯ヲ通シ、又一管ヨリ空氣ヲ送ル口アリ、瓦斯ニ火ヲ點シ、空氣ノ口ヲ開ケハ、空氣ヨリ酸素ヲ送リテ、火力ニ燄ヲ増ス、是ヲ執テ炭火上ニテ鑞附ヲナス、空氣ノ口ヲ閉レハ、火力乍チ微ニ、又開ケハ乍チ盛ナリ、鑞附ノ工ヲナスニハ、至要ノ器械ナリ、○器ヲ磨クニハ、勁毛ニテ作リタル刷輪（ハケ）ヲ轉ス、此磨キ粉ニハ、秘

法アルヿナルヘシ、上ヨリ酸敗シタル麥酒ヲ迸注スル仕掛ヲナセリ〇銀及ヒ金ヲ鍍スルニハ、皆「ガルバニ」法ヲ用フ、凡「ガルバニ」法ニテ、銅ヲ鍍スルハ、銀ヲ鍍スルヨリ、多ク時間ヲ費シ、銀ハ又金ヨリ遲延ス、鍍金ノ工ハ、半時ニ足ラスシテ成ル、又鍍銀ノ器ニ金ヲ鍍シ、金銀ヲ錯ヘテ器ヲ粧フ、最モ美觀ナリ、此工ヲナスニハ、印度產ノ「インジユゴ」、卽チ洋藍ヨリ取リタル顏料ヲ以テ、(藍泥ナランソ)鍍銀セル面ニ、元質ヲ存シオクヘキ畫樣ノミ塗隱シ、金ノ「ガルバニ」水ニ入レハ「インジユゴ」ヲ塗ラサル所ノミ金ヲ鍍セリ〇此場ニ日本ノ銅器、鑲嵌(ゾウガン)細工、七寶(シツポウ)塗等ヲ數多蓄ヘ、多方ニ苦心シ摸造ヲナセリ、銅細工ノ場ニ、本邦紫銅ノ火鉢ニ、紫式部石山日記ノ圖ヲ雕刻シタルモノアリ、「コットポーチャー」型法、及ヒ石膏(キフス)型法ニテ摸鑄セルアリ、其顏貌ハ眞物ニ異ナラス、凡ソ西洋ニテ摸造ヲナスモノハ、其原品ノ名譽アル證ナリ、社中ノ人ヨリ、日本ニテ鑲嵌(ゾウガン)ノ工ハ、イカナル秘術アリテ之ヲナスヤ、此場ニテ種種ニ術ヲカヘテ、摸造スレドモ似ストテ、頻リニ其術ヲ學ハンヿヲ望メリ、又七寶塗ヲ摸造セル場ニ於テ、贋造ト眞物トヲ並列シテ、鑒定センヿヲ要求セシニ因テ、之ヲ視ルニ鳳凰

桐葉ノ畫ナルヲ只ニ一ノ花紋ヲ摸スルカ如クニ摸描シ二目ニテ眞假ハ判然ナリシカハ皆其似サルヿヲ嘆息セリ又人丸ノ像ヲ持出シテ其何人ニテ、略傳如何ヲ問ヒケルニヨリ千二百年前高名ノ歌人ナルヿヲ述ヘタレハ喜ヒテ筆記シ之ニ附箋シタリ此場ニ役スル職人モ五百ニ上ルヘシ、

○午後再駕シテ府廳ニ到リ廳内ノ禮拜堂ヲ一見ス、

○貨幣製造會社（ミントコンペニー）ニ至ル是ハ政府ヨリ免許ヲ受ケ本國若クハ外國政府ト條約ヲ結ヒ該國注文ノ貨幣ヲ鑄造スル所ナリ英國ノ貨幣ハ重ニ屬地ニ通用スル貨幣ノミヲ此社ニテ製造ス印度ノ「マーク」香港ノ「ドル」等ハ此社ノ製造スル所ナリ本國ノ「シルリング」モ造レトモ重ニ銅鐵貨幣ヲ此社ニテ造ラシム、銅貨幣ハ政府ノ造幣寮ニテ製造スルヨリ會社ニテ製造スルヲ利益トスルトナシ此日香港通用ノ銀貨小錢及ヒ南亞墨利加ノ「エクエドル」國秘魯國ノ北ニアルナリ合衆國ノ銅貨幣ヲ注文ヲ受タリトテ製造中ナリ製造ノ模樣ハ倫ノ造幣寮同樣ニテ場屋ノ設ケ堅牢壯美ナリ、

○夫ヨリ小銃製造場ニ至ル此場ハ會社ニテ取建タルヲ政府ヨリ助勢セルモ

ノナルコヘニ、區域廣大ニテ、屋宇モ宏麗ナリ、時甚タ促シタレハ、略一瞥シテ過タルノミ、故ニ詳記スヘキヿ少ナシ○米國「スプリングヒルド」ノ製造場米國北部巡覽ノ記下ニミユニ比スレハ、更ニ盛大ナリ、此場ニテ當今主トシテ製造スル、三式ノ兵卒銃ヲ示セリ、其一ヲ「マルチーノ、ベルター銃ト云、是ハ蘇格蘭人ノ發明ナリ、其一ヲ「スナイドル銃トス、其一ヲ「クーパー銃トス、米利堅人ノ發明ナリ、三種共ニ後裝銃ナリ、當時露西亞政府ヨリ、一挺ノ價三「ポンド」ニシテ「ベルター銃三萬挺ノ注文ヲウケ、方ニ製造中ニテアリヌ、西洋ニテ小銃ノ製作ハ、種種ノ式樣甚タ多ケレヒ、政府、陸軍省ニテ、主用スル銃ヲ定メ、兵隊ノ位置ニ應シ、其用銃ヲ定ム、大抵兵卒銃ハ、一箇三磅内外ノ價ニスキス、銃中ノ尤モ雜ナルモノナリ、此製造場ハ、其兵卒銃ヲ製スル所ナリ、若シ夫レ人人ノ平常遊獵等ニ用フル銃ハ、其廉價ナルモ、一挺十磅以上ノ價アリ、其美ナルハ數百磅ノ價ニ至ル、如此キ銃ハ、都府ニ專匠アリテ製作ス、

○夜「ホテル」ニ於テ享宴ヲ開ク、會食ノモノ八十餘人アリ、其式例ノ如シ、

六日　陰

前八時ヨリ滊車ニテ、北方二十五英里ヲ走リ「ウスター」府ニ至ル、

○「ウスター」府ハ一スタ、ホルト州ノ一都會ニテ、人口四萬千四百八十六人アリ、滊車「フェロアヒール」驛ニ達スレハ「オールソップ」氏麥酒釀造社ノ長ナリ馬車ヲ以テ迎ヘ、四英里ヲ走リ「コスイレッチ、コールト」ニ至ル、此ハ著姓某氏ノ家ニテ、庭苑ノ設ケ美ナリ、此ニテ獵騎六十人、隊伍ヲ編シ、隊ニ長アリ、外ニ緋衣白袴ノ装ヒヲナセルモノ四人アリ、斥候ノ如シ、而シテ狐狩ヲナス、犬五十餘疋ヲ、狩場ニイレテ狐ヲ逐ハシメ、騎馬ニテ其跡ニ從ヒ、馳驅跳越ス、○此狩ハ、我犬追物（イヌオフモノ）ニ似タル主意ニテ、元騎馬ニ閑習シ、運動ヲナスノ目的トス、必ス狐ヲ得ルヲ要セス、河ヲ越ヘ溝ヲ跳リ、時ニハ數十英里ヲ驅走スルニ至ル、狐ヲ驅リ出スニハ、石ヲ以テ其穴ヲ閉チテ、後ニ犬ヲイレ、叢原ノ狐ヲ索シテ追出ス、其犬ニ踵シテ馳逐ス、此日ハ一尾ノ狐ニ逢フ、之ヲ追ヒ回リ、遂ニ逃レサレリ、時ニハ之ヲ殺スコモアリト云、其行装ト馳逐ノ狀ト甚タユヽシヽ、時ニハ婦人モ騎馬ニテ此獵ニ加入スルコアリ、此日ハ婦人ノ加入ハナカリキ、但シ「ソップ」氏ノ娘ヲハシメ、十餘ノ婦人、騎馬ニテ從ヒテ見物ヲナセルノミ、「ソップ」氏尤モ此獵ヲ好

ミ、一周日ニ四五日ヲ逐ネテ狩場ニ赴クコアリト、

○歸途ニ四英里ヲ走リ「ロエル、ポースレイン、ウオールク」ノ陶器製造場ニ至ル、陶竈ハ九十五年前ヨリ設ク、職人ヲ入ルヽ五百人、製スル所ノ陶器ハ、重ニ日用品ニテ、精良品ハ少シ、ミナ之ヲ爐ニイレ、燒クトキニハ、土套ヲ以テ、毎筒ヲ套内ニイレテ、火中ニ露出セシメス、本州ハ陶器ノ名所ナリ「ウスター」府ノ西ニ「ストクトン」邑アリ、此處ニ製造スル陶器最モ美ナリト云、後卷ニミユ

○是ヨリ歸館シ、行李ヲ理シ、午後五時ヨリ蒸氣車ニ上リ、西方ニ走リ「チェター」州ノ「ピーストン、カッソル」ニ赴ク、

北明翰ヨリ「ピーストン」マテ鐵路百十英里、

「ピーストンカッソル山」「トロマセ氏居館

同門 古城ヲ摸セルナリ

「ピーストン「カッソル」ハ「チェスター州ノ一小驛ナリ、此邊ハ、威爾斯(ウェールス)山ノ餘脈ニテ、岡巒起伏ヲナシ、羅馬ノ時代ニ築ケル城蹟アリ、特起ノ岡上ニ、殘礎、遺壁、累累トシテ今ニ現存ス、是ヲ「ピーストン、カッソル」ト名ク、此古壘ノ岡ニ對シ、重巒アリ、其一岡ヲ占メ、新ニ城壁ヲ築キ、當州ノ豪族「トルマセ氏居住ヲナス、此家ハ、英倫ニ於テ古キ名家ニテ、州中ニテ著名ノ豪族タリ、貴族トハ異ナリ　當「トルマセ氏ハ、州中ニテ名望高キ人物ニテ「パーレメント」議員ノ選ニ、六度マテ連續ト撰札ニテ推擧サレ、三十六年間出席ヲナシ、議院中ニテモ、高名ノ政論家ニテ、其聲名籍甚ナリ、英國ノ舊史ニ其例ヲミサルト云、當時年已ニ七十ニスキタレトモ、其壯健ナルヿ知命ノ齡トモイフヘキホドナリ、此人ヨリ兼テ懇切ノ招狀アリタレハ故(コトサラ)ニ路ヲ迂シ、城壁ノ壯屋ニ宿ヲナス、此日ハ路ニテ日暝シ、夜中ニ著シケレハ、全家迎ヘテ、衆ニ室房分配シ、朝夕ニハ衣ヲ振フテ食堂ニ就キ、一家ト會食ス、夫婦子女相款シ一見舊識ノ如シ、

十月七日　晴

朝七時ニ「トルマセ」氏ノ子女、導キテ山上ニ登リ、威爾斯(ウエールス)ノ山、及ヒ里味陂府(リヴアプール)ヲ眺覽ス、

○朝餐ヲ了リ、九時ヨリ「トルマセ」氏ノ家車ヲ用意シ、一ハ四馬車ニテ「トルマセ」氏轡ヲトレリ、四馬ヲ御スルハ、家ニ多ク馬ヲ蓄フモノニ非レハ、其術ニ習慣シ難キユヘ、士君子ノ殊ニ榮トスル馭術ナリ、此日ハ「トルマセ」氏ノ孺人、及ヒ女モ同行ニテ「ピーストン」、カッソレ驛ヨリ、蒸氣車ニ上リ、東走シ「クルウ」鑄軌製造場ノ名所ナリ、己ニ里味(リバル)陂府ノ記ニ詳ナリヲスキ、スヘテ五十六英里ヲ走リ、十一時半ニ「ストックトン」邑ニ達ス、此邑ノ近傍ニハ、種種ノ製造場アリ、殊ニ磚瓦製陶ノ業多キヲ覺フ、陶窯處處ニ突起シ、黑烟濛濛トシテ、烟突ノ野中ニ列ナルヲミル、

「ミントン」氏會社ノ製磁場ハ、英國ニテ尤モ高名ナル磁器ヲ出ス所ニテ、其聲名、今ハ佛國巴黎ト相比肩ス、製磁ノ白泥ハ「カオリン」泥ヲ用フ支那人高陵泥ト譯ス磁器ヲ製スル白泥ノ名ナリ、水輪ヲ仕掛ケ、其力ニテ白泥ヲ碎キ粉末トナシ、又之ヲ水調シテ擣泥トナス、其器械ハ、三輪互轉ノ「モーレン」ヲ用ヒ、之ヲ水盤中ニ仕掛ケ、蒸氣

力ニテ徐轉セシメ「白泥末ヲ水ニ混和スレハ「水泥ノ波動スルニ從ヒ「白泥末ノ纖細ナルハ「浮揚シテ水中ニタヽヨフヲ「樋ヲ以テ導キ「流レテ甃石ニ漆灰(シックイ)セル「池中ニ注入セシメ「其注下ノ所ニ「生絹ヲ張タル篩(フルヒ)ヲ鈎下シ「水輪ノ餘力ニテ「篩ハ常ニ振搖ス「泥水ハ其篩中ニ流レ入リ「絹ノ纖孔ヨリ漏レテ「下ナル池中ニ入リ「池底ニテ調勻シ「他ノ樋道ニ向ヒ流レ去ル「此後ニハ如何ナル仕掛アリヤ「地下ノ層ニアレハ「往キテ覗ルニ遑アラサリキ、

摶泥水調ノ仕掛ヲ「目撃シタルハ此ニ止マル「後ニ普國伯林(ベルリン)府ニテ「英國「ストックトン」ノ發明器ナリトテ「此水泥ヲ漉シテ「摶泥トナスニ「巧妙ナル器械ヲミタリ「是ハ彼國ノ條ニ於テ詳記スヘシ、

白泥ノ水調ヲ終リ「水ヲ搾取シタルヲ「摶シテ器械ニ上セ「其泥質ヲ和均ス「其器械ノ狀ハ「我長崎ニテ線香ヲ製スル器械ニ似タリ「泥ヲ其上口ニ投シ「上ヨリ壓下ノ力ヲ加フレハ「泥ハ其壓力ニヨリテ「下口ヨリ方形ノ土梁トナリテ、橫ヨリ輾リ出ルヲ「製磁ノ室ニ送ル◯磁器ヲ揑成スルニハ「輪臺ノ上ニ「摶泥ヲ上セテ「童子ヲシテ後ニアリテ「轆轤ヲ轉セシム「此轆轤ヨリ革條ヲ張リ「室

ノ窓下ニ横ヘタル長鐵軸ニ繋キ轆轤ノ力ヲ其軸ニ傳ヘ軸ヨリ又革條ヲ以テ各箇輪臺ノ軸ニ力ヲ移ス輪臺ニハ機ヲ施シ輪轉ノ軸ニ臺ヲ撥スレハ其力ヲ受ケテ轉シ之ヲ離セハ乍チ止マルヘキ仕掛ヲナセリ故ニ一童ノ轉スル轆轤力ニ賴リ二三ノ輪臺ヲ旋回スルニ自由ナリ陶師輪臺上ニ工ヲナシ、輪轉ヲ止メント思ヘハ機ヲ動カシ其緣ヲタツ又輪床ニ摶泥ヲオクハ婦人ヲ役ス天秤ノ前ニ於テ泥ノ重量ヲ衡シ之ヲ輪臺ニオク工人其泥ヲ捏成スルニハ海棉ヲ水ニ濡シ成器ノ面ヲ磨滌シ各種ノ形ヲ摸成ス其他ハ我日本ノ陶工ト異ナルヿナシ此輪臺ニテ摸造スルノ外凡陶形ノ一定シタル譬ヘハ食皿茶碗ノ如キモノハ大抵型カタニ打込ミ空氣ヲ壓入シ泥質ヲ堅密ニスルナリ其型ハ硫酸加耳其ニテ造レルモノ所謂ルキプス型是ナリ〇硫酸加耳其型ノヿハ己ニ北明翰府エルキレトン社ノ金銀銅細工ニ於テ略述セリ是ハ石灰ニ硫酸ヲ和シタルヲ三百度ノ熱ニテ乾燥セシメ之ニ二倍量ノ水ヲ和シ調勻シテ透注スレハ須臾ノ間ニ石トナルモノナリ此物ヲ支那ニテハ石膏ト云自然生ノモノアリ又化學術ヲ施ス𪜈石灰ノ他質分ニ錯和シタル

ヲ硫酸ヲ加ヘ石灰ニ親和沈澱セシメ他ノ物質ヲ分拆ス其技術ハ甚タ多キモノナリ此時ニヨリ生セル「ギプス」モ取用スルヘシ故ニ其價ハ甚タ賤シ因テ屋造ノ飾リ扁額ノ縁等種種彫刻ハ多ク此術ニテ造レルモノ多シ其雜ナルハ煉火屋ノ燒失セル殘灰ヲ取リテモ造ルヿアリ又火山ヨリ噴キ出ス灰ヲ調和シテ製スルモアリ石灰ヲ以テ石ヲ製スルノ法ハ萬般ノ工業ニ用ヒテ利用甚タ多シ

水盤花瓶ノ類ハ輪臺ノ揑造ニテ成ル其面ニ雕刻アルハ型ニ打込ミタルヲ粘合スルナリ精美ノ彫刻ハ最初型ニテ打込ミタルヲ彫工ノ手ニテ更ニ彫ヲ下ス如此キモノハ價千金以上ニ上ル貴品ナリ元來西洋ニテ磁器ハ諸器件ノ中ニ於テ精美ノ品トシテ貴重スル故ニ其工ヲ施スモ亦精密ニシテ往往數月半年ノ力ヲ用ヒテ成ルモアリ之ヲ玻瓈ニ比スレハ價モ格別ニ貴ク正ニ我日本ノ俗ト相反對セリ只其一般ノ洗漱食飲等ニ用フル器皿ハ多ク其雜品ニテ型ニ打込ミ摸造シ銅版畫或ハ簡易ノ模様ヲ施シ緩度ノ熱ニテ燒ク之ヲ「ファインセ」ト名ツク其價賤シ然レトモ形状均圓ニ施彩ノ模様モ綺麗

ナレハ「陶器ニ心得ナキノ人ハ「眩耀サレテ愛好スレ𪜈「少シク磁器ヲ知ルモノハ「是土上ニ粉飾セルノミニテ「未タ磁ヲナサストテ倚ヒサルナリ「日本支那ノ磁器「顔貌美ナラサレ𪜈「西洋ニテ倚ヒラルヽハ「質甚タ堅緻ニ「形貌畫様モ「古雅韻致アルヲ以ナリ「陶窯ハ圓塔直立ノ形ニ「火磚ヲ以テ築成ス「横ニ陶窯ヲ造ルハ支那法ナリ「支那法ニテハ火ニ濃淡アリ「且窯ヲ數箇連累シ「窯中ニ滿ル磁器多分ヲ要スルヲ以テ「火ヲイルヽノ後ニ損毀モ多クシテ不便ナリ〇陶窯ニ用フル火磚ハ「烈火ニタヘルモノヲ擇フ「窯内ニ磁器ヲイルヽニハ「堅泥ヲ以テ外套ヲ造ル「此堅泥ハ鑛ヲ合ムヲ厭ハサレ𪜈「堅剛ノ質ヲ擇ム「焙煅ノ後ニハ「其質頳色ヲナシタリ「其形ハ筒形ニテ「中ニ爪ヲツケテ陶ヲ支持ス「歐洲ノ皿ハ底ニ瑕ナシ「是外套ノ爪ニカケテ煆ク故ナリ「是ハ必ス裏面ノ周邊ニ「三ケ所ノ瑕ヲ存ス「上好ノ磁器ニアラサルハ「再ヒ磁油ニテ塗リ隱ス「堅良ノ磁ナレハ繪ニテ隱ストナリ〇普通ノ食器「洗嗽器等ノ磁面ニ「花紋ヲ印スルハ「銅板ニ顔料ヲ塗リ紙ニ印シタルヲ「一度磁油ヲ施シ燒上ケシ「器皿ノ面ニ糊シテ摺付ル「其器ヲ水ニテ濡シ「紙ヲ剝取レハ器面ニ顔料ノミノ

コルヲ燒付窯ニ入レ烘ス是ハ下劣ノ雜物ナリ此等ノ工ハ大抵婦人ニナサシム貴重ノ器ハ畫師ノ手ニテ畫キ五回六回モ燒付窯ニイルヽトナリ畫師ノ給料ハ場內諸職人中ニ最モ重シ多ク佛人ヲ雇入ル〇西洋ニ磁器ヲ用ヒルヿ染付繪ヨリハ燒付繪ヲ賞翫スルモノ多シ其華麗綺縟ナルヲ以テナリ、只深ク磁器ヲ識ルモノハ其質ノ堅緻ニシテ染付ノ玲瓏タルヲ磁器ノ本面目トシ陶工術ノ伎倆モ此ニアリトテ賞美スルナリ最上ノ火度ニテ堅緻ニ燬成セル染付繪ノ磁器及ヒ染付ニ錦手ヲ錯ヘシ磁器ハ其價貴キヲ以テ平常ニハ多ク製スルヿ希ナリ染付ニ用フル顏料ハ「コバルト」藍色ノミナリシニ此場ニテ近年光華ナル顏料ヲ發明シタリトイフ〇西洋ノ俗ハ金色ヲ尙ヒ器皿ニ金ヲ塗ルヲ美觀トナス磁器ニモ金色ノ顏料ヲ多ク用フ少ク價アル品ニハ必ス金ノ彩色アリ且其面ヲ磨擦シ光ヲ發スルニ術ヲ盡ス「アラット石或ハ「アカット石ニテ小輪ヲツクリ之ニ柄ヲ施シ以テ金面ニ磨擦ヲ加フ、是モ婦人ヲシテ其工ヲトラシム〇日本支那ノ磁器ハ西洋ニテ甚タ賞翫ス、此場ニモ其數種ヲ擇ミ集蓄シタリ殊ニ日本ノ畫樣ハ位置按排ノ巧ナルヿ、

西洋ノ畫工「絕テ夢想モ及ハサル落想ヲナストテ「力ヲ盡シ摸擬スレ𪜈「竟ニ肖ル能ハスト謂ヘリ「殊ニ花鳥龍獅ノ細工ヲ愛尙ス「人物畜獸ノ畫ニ至テハ「力ナシトテ取ラサルナリ「日本製ノ花瓶ニ「蟠龍ノ彫物ヲ環繞セシメタルモノ「松竹梅ニ遊鶴ヲ繪ケルモノ「此二種ヲ摸造シタルヲ「頗ル苦心ノ細工ナリトテ「示シテ品評ヲ乞ヘリ「日本ノ陶器「西洋ニ聲價ノ貴キ「是ニテモ證トナスヘシ〇日本ノ畫ハ「支那ノ畫ヨリ「西洋ノ評ハ上等ニオリ「其高尙ノ韻致ヲ賞セラル「此場ニハ日本ヨリ仕入シ「畫二幅アリ「之ヲ手本トナシテ「日本ノ畫樣ヲ學ヘリ「西洋人ノ畫法ハ「自然ニ油繪ノ氣習アリ「繁縟ニ失シ「且陰陽光線ノ注意ニ習癖ヲナセル故ニ「日本ノ畫法ヲ摸スルモ「其癖ヲ生セシ痕跡アリテ掩フヘカラス「猶日本人ノ西洋畫ヲ學フニ「陰陽遠近ヲ失フト一般ナリ「當場ニ職人ヲイルヽ「日ニ一千五百人「蒸氣輪ハ「土泥ヲ調スルニ用ヒルノミ「其他ハミナ人力ニテ工ヲナス「火ハ石炭ヲ燒ク「薪材ヲ用ヒス「職人ノ給料ハ「其上ナルハ月ニ二百弗ニ及フ〇場內ニ於テ畫食ヲ供シ「食後ニ磁窯ヲ一覽セリ「窯ハ場屋ノ內ニ築キ「外氣ニ露放セシメス「外氣ニ露放セル窯ハ「冷溫ノ

平均ヲ失ヒ、磁器ヲ麁悪ニスルユヘナラン、窯中ニ陶磁ヲ盛ルニハ、其精粗ヲ問ハス、ミナ堅泥ニテ製シタル外套中ニイレ、火中ニ暴露セシムルヿナシ、又二重ノ窯アリ、内層ニ磁ヲ盛リテ、外層ニ火ヲ熾ンニシテ、其乾熱ノ氣ヲ内層ニアツメテ、磁ヲ烘煆ス、此ハ多ク錦手ノ焼付ニ用フルトイフ、窯ノ建築法ニハ深訣アルヘシ、

三時ヨリ蒸氣車ニ上リ、五時ニ「ヒーストンカッソル」ノ驛ニ達ス、夕陽山ニ含マントシテ、秋林ニ掩映シ、野村ノ小徑ヲ歩シ、維馬ノ古城下ヲ行ハ、宛トシテ畫中ノ人ニ似タリ、徐行シテ「トルマセ氏」ニ歸リ、一家ト會食シ、食後ニハ彈球款話シ、十一時ニ及ンテ後ニ寢ニツケリ、

八日　薄陰

朝九時半ヨリ「トルマセ氏」家車ヲ装ヒ、親ラ轡ヲトリ、「ノースウヰキ村」ノ鹽礦ニ赴カントス、蒸氣車ノ驛ニ赴キシニ、車ハ已ニ過キサリタリ、即チ轡ヲ取直シテ南ニ驅ス、馬駿ニシテ逸奔ス、此ヨリ十六英里ノ野路ヲ、一時ナラスシテ達ス、沿途ノ田野ハ、ミナ平坡起伏シ、時ニ三四戸ノ村落アリ、時ニハ林苑ヲ占メ、門

ヲ搆ヘタル貴族ノ居モアリ路傍ニハ八歩十歩ニ樹ヲウヱテ野ヲ劃シ牧地ニハ游牛吼ヘ輭草芊芊タリ此邊ノ野ハ多ク卑濕ニテ耕作ニ宜シカラス往往ニ沮澤アリ故ニ牛牧ノ地トナスニヨロシ牛。酪。ノ。名。所。ナ。リ。○十一時四十分ニ「ウェスト、ノースウィーキ村ニ至ル村中ノ街路ニ家家ミナ旗ヲ擧ケ寺ニハ鐘ヲナラシテ祝ス此日ハ村長及ヒ會社ノ諸員我一行ノ來ル報ヲ得テ皆驛ニ集リテ待シニ蒸氣車ハ空シク走リスキケレハ茫然タルヿ數刻ナラスシテ馬車ニテ到著シタレハ衆ミナ馬ノ駿逸ナルニ驚ケリ鹽礦ノ社長導キテ、其礦ニ赴ク此村ノ人口四五千モアルヘシミナ鹽利ニヨリテ業ヲナス「ヒーストソ」ト「ノウスウヰッキ」ハ南北相距ル十六英里又東方「クルーウ」マテ二十餘英里共ニ「チュスター」州ニカヽル「クルーウ」ハ製鐵場ニテ五十七卷ニミユ
○鹽礦ノ會社長ヲ「マーストン」氏ト云今ヲサル百年前ニ此地ニ於テ石炭ヲ堀ントテ地ヲ相シ開坑セシニ偶。然。ト。シ。テ。鹽。岩。ノ。結。晶。セ。ル。ニ。ア。ヒ。遂ニ奇利ヲ得タリ礦ノ深キヿ三百六十「フィト」地平ヨリ百五十尺ノ下マテハ土壤ナリ、中ニ鹽水ヲ含ム其下層ニ盤石一層アリ此層ヲ穿チ入リテ此鹽岩ニ達ス鹽岩ノ層ニハ一點ノ水氣ナシ故ニ能ク結晶ヲ保チテ熔流セス○鹽岩ノ厚サ

二丈六尺「坑口巨大ナリ「鈎瓶ヲ仕掛ケ「人ヲ上下ス「新城府ノ炭礦ニ比スレハ一乾燥ニシテ且淨潔ナリ「坑口ヨリ鈎瓶ニ乗テ「下リ入ルコト約二分時半ニテ「礦底ニ達スレハ「中ニ曠廓タル爽地ヲ開キ「鹽岩ヲ以テ築成セル「一ノ大厦ニ到ルカ如シ「此日七萬本ノ蠟燭ヲ點シ「礦中ヲ照ス「都府ノ市街ヲ夜歩スルカ如シ「或ハ燈火ヲ以テ文字ヲ作リ「隧中ノ街路ニ横タフ「祭日ニ彷彿タリ「數線ノ隧道ニ列ネタル燈ハ「縹渺トシテ遙ナル奥ニ達シ「地中ニ一ノ華都ヲ幻出ス「開礦以來カヽル壯觀ヲナシタルハ「此回ヲ并セテ只二度アルノミト云〇礦内ハ乾燥シ「鹽ノ結晶「玲玲瓏瓏タリ「其空氣ハ常ニ五十六度ノ温ニ平均シ「夏ト冬「トヲシテス「鹽中ヲスキル空氣ナレハ「人身ノ健康ニモヨロシ「風ハ蒸氣輪ノ仕掛ニテ流通セシム「隧道ヲ歩スレハ「細細ノ風アリ「肌ヲ侵シテ快シ「地下ノ仙洞ト謂ヘシ「此日社中ノ男女モ「亦礦中ニ入リ來リテ「礦内殊ニ繁華ヲナセリ〇鹽岩ハ火藥ヲ以テ「轟裂シテ採ル「礦夫ヲ役スル數ハ「時ニヨリテ多少同シカラス「凡二十八ニテ「日日百噸ヲ出スヘシ「坑口ニテ鹽岩ヲ買ヘハ「一噸ニ付五「シルリンク」「約我百斤ニ付七百三十六文「多ク白耳義「荷蘭陀「露西亞ヨリ仕入ルト

ナリ〇鹽石ノ質ハ紅色ヲ帯フ「元質ハ鹽氣(コロールガス)ト曹達トノ結晶ニナリタレ𪜈「色ハ雑質ヲ含ムニヨリテナセルナリ「故ニ壙口ノ場舍ニ於テ「之ヲ煮テ純鹽ヲ結晶セシムレハ皜トシテ雪ノ如シ「以テ英地ニ布ス「其價ハ時ニヨリテ高下アリ「尤モ騰貴ノ時モ「一噸ノ價十五「シルリング」ニスキスト云「

此壙ノ鹽ハ「最上ノ品ニハ非ス「故ニ食鹽トハナシ難ケレ𪜈「魚ヲ醃シ「或ハ「コロール」ト曹達トヲ分拆シ「其他ノ雑用ニ供スルハ「價廉ナルヲ以テ便利ナリ「大抵一噸ニ付一磅(我五圓)ニテハ「日本ニ達スヘシト(運漕費敷)ノナリ「凡ソ鹽ヲ製スルハ「海ヲ煮ルヲ通法トスレ𪜈「海水ニ含メル鹽分ハ甚タ少シ「百分ノ二三ニスキス「元來海潮ニ鹹ヲ含ムハ「理學ノ説ニ「是地中ノ鹽分ヲ熔解シテ「注入シタル積ヨリ生スト云「故ニ鹽ノ根元ハ「海ニアラス陸ニアリ「山上曠野ノ地底「ミナ往往ニ鹽ヲ出ス「即チ米ノ鹽湖「土耳其ノ死海ノ如キ「其水ハ鹽ヲ含ムヿ「海水ニ十倍ス「山海經ニ「鹽販ノ澤ト云モノ「是ナリ「陸地ノ鹽ハ「如此クニ饒カナルヲ以テ「地中ヨリ鹽岩ヲ出スモ奇トスルニ足ラス「支那ニモ「古時ヨリ石鹽ヲ採用セルヿ「其例多シ「靑鹽池出レ鹽「其形正方如レ石「

甚甜美ト「涼州記ニミユ「涼州異物志ニモ「交河之間「平積中「掘深數尺「有末鹽「如紅如紫「色鮮味甘「叉剛鹵千里「蒺藜之形「其下有鹽「累棊而生ナト、云ヘル文ニヨレハ「彼土ノ西北「涼州沙積漠野ノ中ニ「石鹽ノ生スル多キヲ知ル「凡地中ニ水アレハ「鹽質熔解シテ流レ「鹽泉鹽井トナリ「乾燥スレハ「其鹽結品シテ石鹽ヲナス「故ニ鹽井ヲ汲ミ「石鹽ヲ堀リ「以テ鹽ヲ煮レハ「其利倍蓰シテ價廉ナレトモ「地中ヨリ出ル鹽ハ「雜質ヲ雜ヘルコトモ亦多ク「其味甘カラス「苦味ヲ含ム「故ニ食用品ニハナリ難シトスルモノアリ「是ハ製鹽ノ方ヲシラサルニヨル「宋史ニ引池爲鹽「暴以烈日「鼓以南風「須臾而成「若不俟風日「厚灌以水「積水而成「味苦不適口「是爲苦鹽「是支那ニテ鹽井ヲ煮ル說ナリ「抑鹽ニ苦味アルハ「苦土(マクチシヤ)ヲ雜ヘルニヨル「其他石灰「ポリユム」「ホッタース」鍰等ノ雜質アリ「故ニ煮テ其水面ノ泡沫ヲサリ「清澄シ「苦土石灰等ノ雜質ヲサリ「水ヲサリテ結品セシメ「洗滌數次ニテ純鹽ヲナスヘシ「必ス風日ヲ俟タサルナリ「支那ノ西北部ニ「鹽井ヲ汲ミ「石鹽ヲ採ルヲ知レトモ「製法ニ苦心セサルヲ以テ「食用品スラ不足ニテ「東海ノ產ヲ仰キ「鹽法ノ嚴ナル「罪死ニ抵ル「歐洲

ニモ「昔時ハ鹽ニ重税ヲ課シタレモ「今ハ列國ミナ除キタリ「鹽ノ民用ニ切要ナル「食用品ニ止ラス「其實用ノ功ハ「鑛石炭ニ亞スヘシ「牧畜ニ鹽乏シケレハ肥腯ナラス「耕稼ニ鹽ヲ肥養セサレハ茂實ナラス「皮革ヲ硝(ナメ)シ「鑛ヲ冶シ「烟草ヲ製スルニモ鹽ヲ要ス「殊ニ曹達ト「コロール」ト二品ハ「各製作ニ大益アリ「石鹼ヲ製シ「玻瓈ヲ煉リ「布帛ヲ晒シ「染房ヲ美ニスル等「枚擧シ難シ「以前ハ西洋ニ曹達ノ大用ヲシレモ「未タ「コロール」ノ大用ヲ發明セス「故ニ曹達ノ製造場ニテ「鹽ヲ煆焙シ「硫酸ヲ注キテ「コロール」ヲ分離セシムレハ「其「コロール」ハ硫酸ノ水ニ和シ「コロール」水素瓦斯トナリ「綠烟ヲ散シ「近傍ノ人畜草木ヲ傷害スルニヨリ「烟突ヲ築クコ四百尺ノ上ニ及フモ「其害ヲ除クニ至ラス「故ニ曹達ヲ製スルニハ「西班牙ノ海松ヲ資用シ「鹽ヲ資用スルコ少カリシニ「コロール」洒白ノ術ヲ發明セルヨリ「其綠烟ヲ收蓄シテ「鹽酸水ヲトリ「更ニ水素ヲ放チ「コロール」石灰「コロール」曹達ヲ製スルニヨリ「鹽ノ大用ハ歐洲ニ著レタリ「本礦ノ鹽岩ハ「厚サ二丈六尺「猶是小ナルモノナリ「匈加利ノ大鹽礦ハ「久ク世ニ音高シ「又普國ニテハ「百十尺ニ及フ鹽礦

ヲ發見シ墺國ニモ百二十尺ノ大壙ヲ發見セリ故ニ西洋ニテ鹽ノ廉價ナルヿ殆ト日本ノ十分一ニモ及ハヌ地モアリ鹽ノ世ニ幸福ヲアタヘ潤益ノ多キ如此クナルヲ以テ天然ニ之ヲ藏セル所モ亦廣大ナリ國利ノ進歩ヲハカルニハ鹽ヲ廉價ニテ資用スル方ヲ講スルハ實ニ緊要ノ一ナルヘシ、

此日鹽礦內ニ於テ晝食ヲ享ス燈光斑爛トシテ會食ノ男女百餘人食畢リテ「スピーチ」ヲ演シ三時ニ礦ヲ出ツ、

○夫ヨリ「マルカメット」氏會社ノ採取スル鹽井ニ至ル是ハ前礦ト相距ル八英里ノ東南ニアリ七十「ヤール」ノ底ヨリ喞筒ヲ以テ鹽水ヲ汲ミアケテ精製スルナリ○先ツ鹽水ヲ汲ミアケ其雜質ノ浮漂スルト沈澱スルトヲサリテ其水ヲ煮テ樋ヲ以テ大鐵鍋ノ內ニ注キ入ル鐵鍋ハ深カラスシテ廣大ナリ長サ七間幅三間ノ方形ヲナス下ニ竈アリ溫火ヲ燒ケハ鹽水ハ熱ヲウケテ其水分ハ湯氣トナリテ游離シ鹽一水二トナル比ヨリ漸漸ニ其面ニ結晶スカヽル鑛鍋ヲ七八箇モスヘタリ○結晶ノ後ニ又是ヲ一場ニ送リテ再ヒ乾燥

ス凡ソ鹽ノ結晶ハ甚タ緊シク些ノ水ヲ含マス水ハ其外面ニ傳著セルノミ故ニ結晶鹽ヲ煎熬スレハ其水分游離シ鹽ノ結晶ハ元ノ如ク此ニ於テ皜皜タル雪白ノ粒ヲナス因テ之ヲ方形ノ型ニイレ築固シ火氣ヲ蓄ヘ乾燥シタル窖中ニ蓄藏ス此鹽ハ以前ノ鹽巖ニテ製成セルヨリハ上品ニテ其價ヤヽ貴シ其最モ騰貴ノ時十八「シルリンク」ニテ一噸ニカユ即チ我百斤ニテ二十五セン程ナリ重ニ南墨利加ニ輸送スルト云〇場内ニ職人ヲイルヽ百八ヨリ七十八ニ至ル石炭ヲ燒クコト一日ニ平均七百三十噸固ヨリ上好ノ炭ヲ要セサルナリ一年ニ鹽六十萬噸ヲ製シ出スト云此會計甚タ齟齬スル所アリ聞シマヽニ之ヲ載ス又曰一噸ノ鹽ヲ製スルニハ半「トン」ノ石炭ヲ費スト一年ノ鹽製ハ一定ノ數ヲ聞カス場内ニ「ウイハノル」運河アリ小艇ニテ運河ヲ漕シ里味陂ニ漕出ス運河ノ艇ニ上リシニ麤惡ノ小舟ニテ運河ハ一ノ溝渠ニ同シ黄昏ニ製鹽場ヲ辭シ馬車ニテ歸ル中途ニテ一小村ニ至ル「ホテル」アリ主人ヨリ百年前ノ古酒ヲ供ス「トルマセ」氏ノ車此ニ來リ待ツ駕シカヘテ「トルマセ」氏ヱ歸リ一家ト會食ス、

九日 晴

朝餐ノ後ニトルマセ氏家室ノ内ヲ回覽ス其壯大ニシテ美ヲ盡セル事蘇部(スコット)
ノ勞爾德プランタイル氏ノ宅ニ同シトルマセ氏ハ別ニ一莊ヲ他ノ所有地
ニ有ス平日ハ其宅ニオリ此ニハ番人ヲオクノミナリト此家ハ城壘ヲ摸シ
テ石門ヲ開キ蔦蘿ヲ蔓セシメテ其古鬱ヲ學ヒ全屋盡ク堅石ニテ造リ渾沌
牢固シ高樓ヲ起シテ參差タリ内景ハ各室房ミナ高愜ナリ造營ノ費一百萬
弗ヲ費セリト或曰一百萬ポント夫ヨリ行李ヲ辨シトルマセ氏ノ家ヲ辭シ門内ノ馬
廄ニ入ル馬十二匹アリ其内ニテ最上乘ハ價一萬七千弗ニテ買入タルモノ
ナリト云トルマセ氏家車ニテ送リ來リテ其田園ヲ示ス○此邊ノ山野一帶
ハミナ其所有地ニテ山下ニ當家抱ヘ百姓ノ住宅アリ三層ノ屋造ニテ其内
ニ入レハ洋琴(ピヤノ)ヲ安シ地圖ヲカケ三階ノ上ニハ乾酪(チース)百五六十个モアリミナ
一箇ノ價二磅ツヽニテ己ニ人ニ賣リ渡ス約ヲナシタルモノナリト云是ヨ
リ花園ヲ回ル玻瓈ノ花窖アリ胡瓜葡萄正ニ豐熟セリ此邊ノ地ハミナトル
マセ氏ノ所有ニテ其總積ヲ算スレハ約我十五萬石ノ田地ニ比スヘシ此他
ニモ倘所有ノ地アリテ別莊ヲ起ス○岡上ナル城郭造リノ住宅ニ用水ヲ揚

ル器械ヲ岡下ノ坂上ニ設ケタリ此器械尤モ新奇ノ發明ニテ流注ノ水力ト空氣ノ壓力ト互ニ相抵抗シテ自ラ水ヲ管中ニクリアケ高地ニ上ケ噴出セシムル仕掛ナリ其器械ノ形ハ鐵ニテ空球ヲ製シ上頭ヲ帽シ球内ノ空氣漏出スル口ヲ密塞シ下ヨリ鐵筒ヲ以テ受ク筒ノ左右ヨリ管ヲ施シ一ハ高處ヨリ流レ來ル水ヲ導キ斜ニ管ヲ傳ヘ鐵筒ノ下ニ注下スレハ其壓力ニテ筒中ノ活塞ヲ推扛ケテ球中ノ空氣ヲ縮メ排入スレハ他ノ管ニ注入スル口アルニ因テ壓力漸ク減セソトスルニ乘シ空氣乍チ張リ其口ヲ塞ケハ流水又注入シ且縮メ且張リ活塞ノ一上一下ニテ管中ニ入リタル水ハ進ムヘクシテ退クヘカラス漸ニ管中ヲ經テ高處ニ至リ管ノ上端ヨリ噴出シ落ル此器械ヲ仕掛ルニハ水ヲ引テ十尺ノ高キヨリ斜ニ管ヲ傳ヘテ注入セシメ其注下ノ力ニテ水ヲ催シ高サ之ニ六七十倍スルノ高地ヘ水ヲ上クルヘシ此器械ハ元佛人ノ發明ナリシヲ英國ニテ工夫ヲソヘテ製シ出セリ此近郡ニ其製場アリ器械一箇ノ價鐵管ハ此外ナルヘシ百二十弗ニテ買ヘシト云

是ヨリ「ローストソ、カッソル驛ニ至レハ「トルマセ氏ノ孺人及ヒ子女此マテ送

リ來リ、懇ロ別ヲ告ク「トルマセ氏ハ同車ニテ發シ「チェスター府ニ至リ、車ヲ下リテ府中ヲ一覽ス、

○「チェスター府ハ「チェスター州ノ首府ニテ、人口ハ三萬五千七百〇一人、其市中ニハ一種ノ市街アリ、各店ミナ前ニ一條ノ高廊ヲ造リ、十字街ヨリ石階ヲ造リ其廊ヘ上ラシム、廊ヲ挾ミテ百貨ヲ陳列シ、肆店ヲ張ル、故ニ市街ハ、馬車ノ往來トシテ、行步ノ人ハ、ミナ廊上ニ上リ往來ス、此邊縱横ノ街頭ミナ然リ、只急用主用アリテ、步走スルモノヽミ、市上ノ土路ヲ步ス、是ハ古時ニ流行セル、市店ノ式ニテ、今ニ現存スルモノナリト云、

此府ニ裁判所アリ、近郡ニテ高名ナル建築ナルヲ以テ「トルマセ氏案内シテ示セリ、門ニ入レハ、高塔ニ鐘ヲ鳴シテ祝ヲナス、室房ヲ回リテ、遂ニ牢獄ニ至ル、牢獄ノ建築モ亦壯固ナリ、其式ハ漫識特府（メンチェストル）ノ牢獄ノ如ク、八條輻聚ノ形ニハアラサレヒ、牢内分房ノ模様ハ、略（ホヽ）彼ニ同シ、牢獄建築ノ法ハ、近時一學科ヲ開クトナリ、此モ裁判濟ミノ懲役人ヲイルヽ所ニシテ、牢室ノ中ニテ苦役ヲ課シ、衣食ヲ予ヘルコハ、漫識特（メンチェストル）ニ同シ、毎室ノ戸ニ、其罪狀ト徵役トノ年月ヲ

書シテ張リ示ス、入牢ノ罪八百二十八アリ、禁獄三ケ月ヨリ一年ニ至ルモノ多シ、一女アリ、二三日前ニ履一足、足袋ヲ幷セテ盜メリトテ、三ケ月ノ禁獄ニ科セラレタリ、

此府ニ古寺アリ、七百七十二年前ノ建築ニカヽル、此寺ニ入リテ、其造營ヲ回覽シ、帳簿ニ題名ヲナシテ去リ、蒸氣車驛ニテ、「トルマセ氏父子ニ別ヲナス、此車ハ驛遞局ノ早車ニテ、一時間ニ六十英里ヲ走ルモノナリ、二時ニ發車シ、薄暮ニハ倫敦ニ歸レリ、

此ヨリ倫敦マテ二百英里

此日ハ皇太子ノ誕辰、且知府事ノ交代期日ニテ、市中ミナ瓦斯ノ火ヲ裝點シ、倫敦中繁閙謂ソ方ナシ、數月郡村ヲ回リ、著名ノ都府モ歷覽シタレヒ、倫敦ニ入レハ、其繁華格別ナリ、殊ニ此盛辰ニ際シタレハ、不夜城ニ入ルカ如クナリシ、

十月十一日　陰
十二日　陰霧
十三日　陰霧
十四日　陰霧
十五日　陰雨
去月天長節會ハ旅行中ナルヲ以テ慶賀ヲ延引シ本日ノ夜「ホテル」ニ於テ祝延ヲ開ク「パークス氏「アレキサンドル氏及ヒ「オリエンタルバンク社ノ「スチウァルド氏ヲ招キ官員華族ミナ會ス食畢「スピーチ」アリ
十六日　陰霧
十七日　陰霧
十八日　雨
十九日　雨

二十日晴

夕六時ニ「當府ノ金細工會社ヨリ招宴（ヂンチル）アリ「十時半ニ歸館ス、

二十一日陰霧

午後「外務宰相「ロード「グランウェル氏ヲ訪フ、

二十二日陰霧

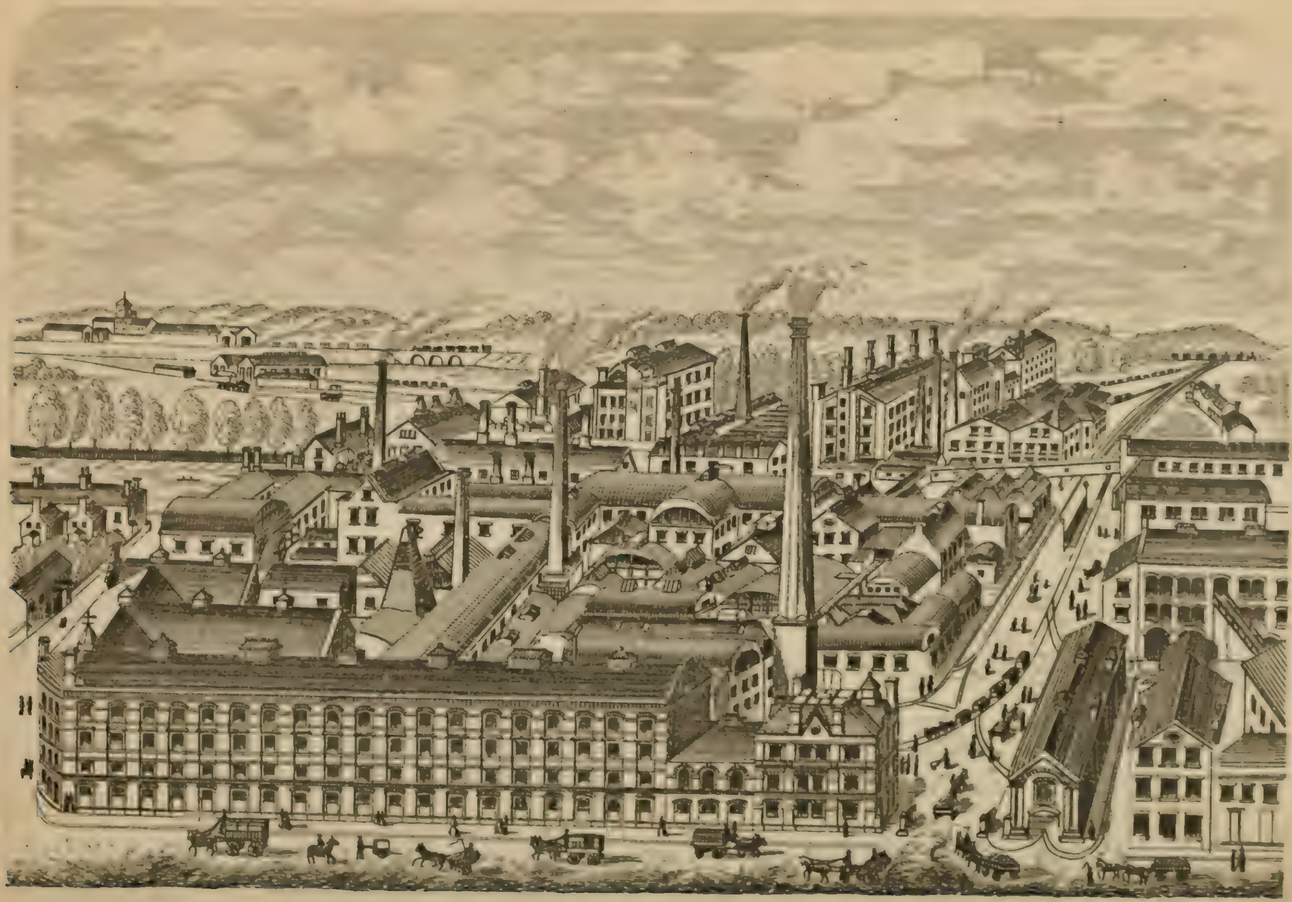
二十三日陰霧

二十四日陰霧

二十五日朝陰リ晝ヨリ雨フル

九時四十分ニ旅館ヲ出テ「北方「パッチンタトン」ノ滊車驛ヨリ「別段仕立ノ車ニノリ「十時ニ軔ヲ發シ「三十五英里ヲ走リ「十一時ニ「ウレッチング府ニ至ル「知事（メイヨル）盛服シ「從者ニ儀仗ヲ具シ（儀仗ノ一ハ第三十七卷ノ記ニ出ス）驛ニ出迎ヘ「此ニテ「スピーチ」ヲ取替ス「觀者堵牆ヲナス「當府ノ人口三萬二千三百十三人「ヨスコイト」及ヒ種會社ノ名所ナリ、

○「ヨスコイト」ハ「二度燒煎餅ノ義ニテ「乾餅ト譯ス「西洋ノ風俗ニテ「食後喫茶「及



「ウレッチン邑」ノ「ビスケット」製造場

ヒ咖啡ノ時ニ用フル「干菓子ノ代用ナリ「其消費スル高甚タ廣シ「各國ミナ之ヲ製スレモ「英製ノ美ナルニ及ハス「英國ニ於テ製造ノ場鋪多ケレモ「第一ヲ當場トス「次ハ倫敦「シチー」ノ「ロンドン橋邊ニ「大製場アリ「尤モ高名ナリト云

○當邑ノ製作場ハ「「ハントレェー」「及ヒ「パルマス」「父子ノ會社ナリ「「パントレェー」氏ハ「三十年前マテ「當邑ノ一寒民ニテ「家百金ノ資ニモ乏シク「此「ビスコイト」ヲヤキテ生計ヲ營ミ「僅ニ職人三四人ヲ傭フホドノ「貧シキ暮シナリシニ「此業ニヨリテ身代ヲ起シ「遂ニ製作ヲ盛大ニナシ「滿天下ニ輸送シ「今ハ世界ニ隱ナキ豪富ノ家トナリタリ「○場內現ニイル丶所ノ職人「二千二三百人「一周日ニ給スル所ノ傭直「一千七百磅「七千五百萬弗麥粉ヲ用ヒル「毎周日二百八十磅入ノ布袋「一千六百包「之ヲ煉テ乾餅トナシ「周年ニ收ムル利益金三十五萬弗「內二十萬弗ハ「「ハントレェス」氏收納シ「十五弗ヲ「「パルマス」氏ノ所有トナス「○場屋ハ一河ヲ挾ミ「三層四層ニ築キ起ス「鱗次ニ縱橫建並ヘ「隙地ヲトヽメス「處處「ヨリ烟突起リ「或ハ管ヲ以テ大突ニ按合ス「其廣大ナル丁「實ニ意想ノ外ニ出ツ場內ニイレハ「滊器ヲ以テ輪ヲ轉シ「「ロール」ヲ振シ「囂囂殷殷ナルハ「製鐵場ヲ

ミルニ彷彿タリ以テ麥粉ヲ練リ糖ヲ和シ攪(カキマ)ス凡乾餅ハ麥粉ニ糖汁ヲ和シ、三輪(モーレン)互轉ノ盤上ニテ混和シテ餅トナス猶我麪ヲ製スルモノヽ鹽水油液ヲ和シテ麥粉ヲ練ルニ同シ三輪(モーレン)互轉ノ盤トハ已ニ玻璨ノ製作ニ於テ記シタル如ク鐵盤ノ上ニ三箇ノ重輪ヲ竪テ交互ニ轉セシメルモノナリ西洋ニテ物ヲ粉挫和均スルニハ多ク此器械ヲ用ユルナリ此盤面ヘ袋ヨリ麥粉ヲ傾ケイレ又桶ヲ傾ケテ糖汁ヲイルヽ糖汁ハ即「モラシュス」ト云モノニテ南亞米利加州ヨリ桶入ニテ輸入ス精製結晶セシメザル糖汁ナリ最上品ノ餅ニハ一白糖ヲ和スルモアリ此伎倆ニヨリテ麥粉濕凝シテ甜ク已ニ食フヘシ〇再ヒ麥粉ヲ加ヘ安摩尼(アンモニヤ)ヲ少量加ヘテ又盤上ノ輪ニテ攪和ス安摩尼(アンモニヤ)トハ滷沙(ドウシャ)ナ類ヲ云熱ニアヘハ乍チ膨張シ游離スル質アルユヘ麥粉ノ質因テ放鬆トナル麵包ヲ製スルニ酵(モト)ヲ和スルモ同理ナリ扨之ヲ次ニ送リ「ロール」ヲ以テ輾軋シテ麩筋ヲ起サシム是ニテ麥粉ハ猶麪ノ如ク展テ薄片トナスヘシ因テ是ヲ板牀ニオキ「ロール」ニテ展ヘ一大薄葉トナシタルヲ器械ニテ型ニ打込ミ各種ノ形ヲ截出ス〇型ヲマハシテ截出ス器械ニハ種種ノ工アリ舊來。

リ用ヒルアリ「新發明セルモノモアリ「「ビスコイト」ノ形狀一ナラス「其器モ亦一ナラス「或ハ大仕掛ヲナシテ「蒸氣力ヲ以テ「一度ニ數十ヲキリ「或ハ人力ニテ箇箇ニ打出ス「木輪アリ「鐵輪アリ「押出スアリ「展ヘ切ルアリ「眞鍮ノ筒モアリ「或ハ一度ニテ成リ「或ハ二度三度ノ工ヲ經テ成リ「場場ニ於テ工ヲナス「回覽甚タ興アリ〇「ビスコイト」ハ「麥粉糖汁ヲ本資トスレド「之ニ糝和スルモノ種種ナリ「乳酪(ボートル)ヲ和シ「其質ヲ放鬆ニスルアリ「凡ソ我邦ノ「カステイラ」ノ如キハ「必ス乳酪ヲ多量ニ和ス「「カラスイラ」トハ「西班牙語ニテ「蓋シ彼國發明ノ菓子ナリ「英ニテ之ヲ「スパニー」「ケーキス」ト云「或ハ椰子(ヤシユー)實ヲ糝和シ「或ハ卵黃ヲヲイレ「又「レモンス「オレンヂ」ヲイレ「桂枝末ヲ撒シ「葡萄「櫻桃(チエルリー)ヲイル丶「又其一種ハ卵白ヲ加ヘテ「麥粉ヲ練リタルヲ「適宜ノ型ニ打出シテ「之ヲ沸湯中ニ煎テ引揚ケ「冷水ニヒヤシタルヲ以テ燒ケハ「其質ノ放鬆ナルコ麩ノ如シ「スヘテ場内ニテ「百二十種類ヲ製シ出ス〇焙爐ノ仕掛種種アリ「普通ノ型ニテ打出シタル品ニハ「巨爐ヲ設ク「長サ六間餘アリ「其中ニ鐵片ヲ冊狀ニアミ「環帶トナシ「輪齒ノ回轉ニ從ヒ「徐徐トシテ爐口ニ回リ入レハ「其一方ハ又徐徐ト

爐尾ヘ回リ出テ下ニ向ヒ回リサル約六秒時間ニ一寸半進ム一分時ニ丈五尺ヲ進ミ入ルナリ火度ハ「ファイルメートル」ヲカケ爐中ノ熱度ヲ三百度ノ温ニシテ前ニ記スル時間ヲ一經シ爐尾ヨリ出テ自ラ落ル時ニハ己ニ焙成セリ火度均一ニシテ少シモ過焙未焙ノ憂ナシ〇此火度ハ麥粉ノ練リ様ニテ各異セリ大抵糖多ク麥少キハ三百度ヨリ減ス糖少キハ五百度ニモ及フ「カステイラ」ヲ焙スル法ハ粗我邦ニ似タリ卵黄ヲ和シテ柔カニ練リ器中ニ紙ヲシキ麥汁ヲ注入シ其器ト共ニ火爐ニイル丶只西洋ニテハ乳酪乳汁ヲ加フルノ異アルノミ火爐ニハ石炭瓦斯ノ火ニテ爐内ノ空氣ヲ乾熱セシム是モ三百度ニテ焙シ二三分時間ニテ焙成ス〇乾餅己ニ成レハ編筐ヲ以テ上層ノ室ニ送ル丘山ノ如シ婦人ヲ役シ紙ヲ以テ包ミ箱ヲ以テ盛リ或ハ桶ニイレ或ハ荒箱ニテ荷ヲ造ル其高價ナルハ錫紙ニ包ミテ箱ニ盛ル〇鍍錫銕（ブリツキ）ノ箱ヲ造ル一寮アリ鐵角ヲ烙シ其柄ニ「ゴム」ノ管二アリミナ銅嘴ヲ施ス一ハ底ヨリ瓦斯ヲ送リ一ハ空氣ヲ送ル是ヲ以テ鐵ハ常ニ冷ヘス是ニテ鍍錫銕ノ蠟付ヲナス和スル藥水ハ「チィンマルラィー」ヲ用フト云

○種物會社ハ百般ノ農耕園藝ノ種子ヲ備ヘ各地方ニ賣與ヘ幷セテ其樹藝培養ノ法ヲ敎フ此場ヨリ買獲シテ播蒔シタル後ニ收獲ノ穀菜ハミナ其尤ヲ拔キテ此場ニ送リテ展覽ニ供ス○本日ハ其農業展覽場ヲ開キシ際ニテ場內ニ陳列セル各處ヨリ輸送ノ收實ハミナ豐美ヲ競ヒタル內ニ一「エーカー」ヨリ甜紅蕪菁沙糖ヲ製スルモノ重量四十六噸ヲ收メタルモノアリ「アルチショップ」三塊ニテ十八磅ナルアリ其他此ニ類スルモノ甚タ多シ「ウィンザガッソル」ニ於テ皇帝皇太子及ヒ皇太子ノ妃耕種シタル馬鈴薯モアリヌ陳列ノ內ニ於テ尤モ奇特ナルモノアレハ硫酸石灰ヲ以テ其形ヲ摸造シ場ノ樓上ニ蓄フ陳列場ニハ鍍金鍍銀及ヒ銅三種ノ器皿ヲ飾付タルハ陳列品ヲ撿査シタル後ニ差等ヲ以テ出品人ニ褒章ヲ與フモノナリ

農業展覽會ハ勸農會社ト相待テ此業ノ勸奬トナリ進歩ヲ促ス緊要ノ會ニテ歐洲各國ミナ擧行ス但シ其國ノ情形ニヨリテ其方法ヲ異ニス英國ハ田地ヲ貴族豪家ニ分領セラレ農家ハ其地ヲ賃借シ更ニ備作ニ課シ耕種セシムルニヨリ勸農ノ法モ亦貴族豪家ノ注意ニ出ツ故ニ英國ノ勸農

會社ハ甚タ盛大ニテ其發行ノ新聞モ最モ世ニ賞美セラル佛國ハ之ニ反シ地主略平均シタレハ勸農會社モ各地方ニ於テ簡易ニシテ設立シ各州ノ申合ヒニテ農業ノ展覽會ヲ年年ニ行フ又一州内ノ農產ヲ集ル會アリ英國ニテモ一州ノ會ハ設クルヿナルヘシ凡展覽會ニ於テ陳列品ノ美惡ヲ評シ褒章ヲ與ヘ不良及ヒ妨害アルヿハ新聞紙ニテ布告シ又耕丁牧人ノ勉强拔羣ナル者ヲ賞ス皆其國益ヲ起スヿ少カラスト云

○「タウンホール」ニ於テ邑中ヨリ享宴ヲ開ク會食ノ男女八十餘人食畢リテ「スピーチ」アリ數時ヲ移シテ蒸氣車ニ上リ倫敦ニ歸舘ス

二十六日　陰霧

二十七日　陰

午後外務省ニ於テ應接

二十八日　陰雨

「アレキサンドル」氏ノ誘引ニテ大裁判所幷ニ病院（ホスピタール）ヲ回覽ス

二十九日　陰雨

午後ニ「アレキサンドル氏ノ誘ヒニテ印度博物館ヲ一見ス、

三十日陰

十一時十分ヨリ駕シテ倫敦印刷所ヲ観ル記事欠

十一月朔日陰

二日晴

朝九時ヨリ「パークス氏「アレキサンドル氏ノ案內ニテ蒸氣車ヨリ達迷斯河ノ下流緑威ヨリ一英里許ノ鄙ナル「ウィクトン」ノ瓦斯會社ニ至ル倫敦ノ盛ナル、一日ニ瓦斯ヲ燒クヿ五千萬立方尺諸方ニ大小ノ會社四十餘ケ所アリ此會社ハ其內ニ於テ最モ大ナルモノタリ日日ニ製スル處ノ瓦斯一千六百萬立方尺ナリ達迷斯河ニ臨ミ蒸氣仕掛ニテ石炭ヲ引上ケ空中ニ鐵道ヲ架シ之ヲ輸送シ瓦斯ヲ燒ク場ハスヘテ四宇アリ爐側ニ數百ノ鐵管ヲ施シ是ヨリ瓦斯ヲ導キ別一場ニ送ル此ニテ瓦斯ヲ冷シ之ヲ漉シ之ヲ量リ清淨瓦斯ヲ管ニ蓄ヘ是ヨリ管ヲ傳ヘテ市中ニ派送ス石炭ヲ窖煆シテ其炭酸水素瓦斯ヲ導キトルニハ此ヨリ生スル種種ノ利益品アルモノナリ第一ニ窖煆セ

シ石炭ヲ「コークス」ト云猛烈ノ熱ヲ生シ鋼鐵等ヲ熔スニハ此「コークス」ヲ用フ同重ニ付テ價ハ一倍ニスキルモノナリ各製鐵所ニ於テモ此「コークス」ヲ作ルタメニ石炭ヲ窖煆シ且瓦斯ヲ引ク窖煆ヨリ蒸餾スル流液ニハ石炭「テール」ト石油トヲ合ム此内ニ又燐酸礦沙（トンシヤ）ヲ合ムノミナラス一種ノ「アニリレ酸ヲ合ムモノニテ之ヲ分拆シテ紅黄紫藍ノ顔料ヲ製ス所謂ル西洋染粉是ナリ又蠟分ヲ含ム之ヲ製法シタルハ上品ノ蠟トナル石炭ノ重寶ナル此ノ如シ又石炭ニテ瓦斯ヲ漉シタルハ、硫酸加耳其ヲナシ糞培ニ大功用アリ此他ニモ種種ノ利益アリ故ニ瓦斯分ニハ元來價ハナキモノナリ市街ニテ毎夜ヲ照ス燈光ハ只其管樋ニツキテ、價ヲ收メル所ナリト云、

○下水ノ閘ハ瓦斯製場ノ背ニアリ一字ノ番屋アルノミ其側ニ樋アリ此邊ノ地下ニ池ヲ掘ル廣サ四「エーカー」ナルモノ四アリ以テ下水ヲ蓄フ池トス退潮ニ從ヒテ閘口ヲ開キテ流シ込ミ滿潮ノ時ハ是ヲ閉ツ池上ハ平野ナリ故ニ臭氣洩レス上ニ量水度ヲ立ツ水滿テ浮ミ上ル其深サ十四尺ヲ極度トス、倫敦ニカヽル閘ヲ二ケ所ニ設ケタリ倫。敦。ノ。繁。花。ニ。比。ス。レ。ハ。下。水。ノ。蓄。池。甚。

緑威（グリンウイッチ）ノ海軍病院

同所ノ近在達迷斯（テームス）河下流ノ景

ダ狹小ニ、且之ヲ海湖ニ昇ルノ不經濟ナルヲ怪ミタリ、後佛國ニテ聞ク所ニヨレハ、英國近年下水ヲ收メテ田地ニ灌キ、大ニ利益ヲマシタリト、サレハ此ハ其殘水ヲ疏導スル所ナルヘシ、

○是ヨリ河蒸氣船ニテ、流レニ遡リテ、綠威（グリンウイッチ）ニ至ル、綠威ノ海軍病院（ホスピタール）ハ、元王宮ニテ、英王ノ猶豫ノ地タリ、維廉（ウリヤム）第三世、及ヒ馬利（メーリー）后ノ時代ニ、其宮ヲ以テ海軍ノ病院トナシタル、高名ナル所ナリ、全院ミナ白石ヲ以テ建築シ、宮宇宏大ナリ、院內ニ英ノ海軍戰捷圖、烈戰ノ圖ヲ、額トナシテ揭ク、支那廣東ノ戰ニテ奪ヒタル旗、其他處處ノ分捕物アリ、海軍總督「ネルソン」氏ガ「タラフルカル」ノ戰ニ、佛、西、兩國ノ海軍ヲ破リ、砲丸ニ打貫カレ、討死セシハ、英國海軍ノ美談ニテ、其時ニ著セル戎服ト胸衣トアリ、玻瓈ノ箱ニ蓄フ血痕淋漓トシテ猶存ス、

○軍艦器械製造場ヲ回覽ス、場宇頗ル廣大ナリ、時薄暮ニ際シ、忽忽ニ瞥過シテ歸ル、夫ヨリ蒸氣車ニ上リ、倫敦「チャーリンコロース」ノ驛ニ達シ、歸館ス、

三日　陰

四日陰

午後第一時「ウィンザカッソル」ニ於テ「ヴィクトーリヤ皇帝ニ謁見ス、事ハ謁見式ニ詳ナリ

五日晴

六日陰

七日陰

八日陰風強シ

夕ニ、當國諸長官、各國「ミニストル」、倫敦諸會社長等ヲ「ホテル」ニ招宴ス、

九日陰雨

朝七時ヨリ、蒸氣車ニテ「サントリンガム」ニ赴キ、皇太子「プリンススウェールス」殿下ヨリ饗供ヲ賜フ、

十日陰

十一日晴

朝九時ヨリ「シチー」内ナル「アグリクリヂュハ、ホール」ニ至ル、即農業寮ナリ、此社ノ内ニ、百般ノ農具ヲ網羅集蓄シタリ、鉏、耜、鍬、把、草ヲ刈リ、穂ヲ收メ、埃ヲ煽シ

藁ヲ束スル等、利用ノ器械、大小枚擧ニ遑アラズ、
勸農寮、ニ就テハ、米國華盛頓府ニ於テ、既ニ見聞ヲ陳シタリ、彼地ノ設ケハ、廣濶ナル試驗場ヲ包ミ、壯大ノ建築ヲ設ケ、大運用ノ品械（喩ヘハ數町ノ地ヲ一日ニ耕耡シ、一人ニテ開墢スルカ如キ發明）ヲ陳設シ、該地ニ自然發見シタル、改良ノ種子、（喩ヘハ玉蜀黍、馬鈴薯、烟草、木棉、楓糖ノ類、世ノ耕植物ヲ一變セルモノ、）皆看客ニ感觸ヲ與フレ𪜈、元來地價賤ク、傭貨貴ク、其農耕ノ目的ハ、廣キ地面ヲ貪リ耕シテ、蒔種收穫ノ期會ヲ誤ラサルニ止ルユヘ、未タ農業ノ進歩、精到ヲ慮ルニ遑アラス、故ニ我日本ノ如ク、有限ノ地ヲ耕シテ、植物ヲ改良シ、土質ヲ化進シ、培育ヲ懇悉シ、以テ收穫ノ量ヲ益ス目的ニ於テ、自ラ反對セリ、英國ハ、貿易製作ヲ以テ、國利ノ目的トスル國ニテ、農業國ヲ以テ、世ニ著レサレ𪜈、近代ニ至リ、其農業ノ進歩モ、亦歐洲列國ヨリ推サレ、最上ノ等位ニオル、元來此國ハ、土地ノ質磽瘠ニテ、耕稼ニ適セス、民心殊ニ都府ニ麕集シ、且生口ニ比スレハ、土地狹少ナリシニ、近年厚ク勸農ニ注意シ、地味ヲ進メ、耕稼ヲ捗（ハカ）取ラセ、多量ノ收穫ヲナシ、既ニ千八百六十六

年ヨリ埋樋ノ法ニテ卑濕ノ地ヲ乾カシ或ハ山壑ノ荒地ヲ開キ六七年間ニ百萬町ニモ及フ墾田ヲ益セリト謂フ其農業ニモ功者ナルヿ此類ナリ、英國ノ幅員人口ハ我日本ニ比スレハ稍寡少ナリ然ルニ我邦ニテハ人民大半ハ農ニ従事スレ𪜈其田畑ノ概數ハ僅ニ四百萬町ニモ滿タス全英國ノ農民ハ三百四十萬一千八百六十一年ノ統計ニヨルニスキサレ𪜈墾田ノ數ハ假令山嶺少キモ只穀田ノミノ數ニテ五百萬町前全年ノ統計ニ開拓地百萬町ヲ加フル數ニ超ユ又一町歩ノ收量ハ小麥二石モ收ムルト云歐洲諸國ノ及ハサル所ナリ之ヲ聞ク英國農業ノ進歩ハ全ク貴族ノ勸奬ニヨルト英國ノ土地ハ數萬ノ豪家ニ占領セラレ地主年ヲ逐テ減シ民ハ次第ニ借地人及ヒ耕丁ニ落ルハ人皆其弊ヲ論スレ𪜈農業ノ進ミハ反テ是ヨリ生シタリ昔時ハ佛國ニテ貴族ヲ農業ノ主人ト稱セシトナリ貴族ノ農民ニ親和力アルヿハ特ニ東洋ノミニハアラサルヲ知ル現今英國ノ如キ貴族ハ土地ヲ占領シ工商社ハ利途ヲ占領シ晩起ノ民ハ才力ヲ用フル所ナク相率ヒテ米國ニ移リ又貴族ノ蓄金モ用フル所ナシ鐵路モ具備シ會社モ具備スレハ只所有地ニ農事

ヲ進ムルノ一項アルノミ、是ヲ以テ貴族ハ農隙ニ倫敦ニアリ、十二月ヨリ三月マテ議院モ此時ニ開院ス、農時ニハ歸田シ農業ヲ督スルト云、寔ニ天地ノ間ハ活機ニテ、一利一弊互ニアリ、糾纆ニ同シキヿ、是ニテモ知ラレタリ、抑農業ハ歐洲ニテモ往古ヨリ一ノ賤業ト看作シ、其術理ヲ深ク問フ者モナク、百年前マテハ依然トシテ他ノ進歩ニ後レタリ、然レトモ其業ノ理蘊ヲ探レハ數科ノ學術ニ關渉シ、至廣至難ノ術ニテ、近代諸學士ニ、甚タ注意ヲ生シタレトモ、歷年猶淺ク農學家ミナ謂フ、其開明ハ未タ充分ナラサルヿ疑ヒヲイレスト、東洋諸國ハ之ニ反シ、農ヲ重ンシ商ヲ抑フル主旨ノ政治ニテ、數千年ヲ閲シタレハ農事ハ現地ノ經驗ヲ積ミ、一般ノ習慣トナリタルヿ、反テ歐洲博士モ、耳目ヲ驚カスヿ甚タ多シ、喩ヘハ人糞ヲ培養シ、土地ヲ輪換スル等、皆歐洲ニテ無上ノ發明トシ、感稱スルカ如シ、之ヲ要スルニ、東洋人ハ實驗ニ巧者ナリ、西洋人ハ術理ニ達者ナリ、東洋ノ巧ミナルハ手術ニアリ、西洋ノ巧ミナルハ器械ニアリ、故ニ日本ノ農業ヲ理上ノ論ニテ說ケハ兒童ニモ及ハス、其器械ヲ示セハ器械ノ形ヲモナサスト笑ハル、亦一利一弊ヲ免レス、之

ヲ要スルニ地理ヲ興シ農事ヲ精ニスルハ狹地ニ多人ノ智力ヲ用ヒ周詳縝密ニ手ヲ盡シ技術ト器用ト並完フシテ後ニ精農ノ地位ニ開進スルコト亦疑ヲ容レス英國ノ農事ハ猶財力ト器械トニ奔競スルヲ免レサレトモ其目的ハ狹小ノ地ニ於テ收穫ノ量ヲ多クスルニアレハ勸農寮ニ於テモ亦我ニ感覺ヲ與フル所小少ナラス固リ其外觀ノ大小ニテ米英ノ農事ヲ論スルハ眞ニ皮膚ノ見ナリ

十二日　晴

午後一時半ヨリ木戸大久保兩副使「ポリスコート」ヲ回覽ス記事欠

十三日　雨

十四日　雨

十五日　雨

明旦ヨリ佛國へ起程スルヲ以テ「パークス」氏「アレキサンドル」氏及ヒ「アストン」氏ヲ招宴シテ別ヲ告ク

英國ハ商業國ナリ國民ノ精神ハ擧テ之ヲ世界ノ貿易ニ鍾ム故ニ船舶ヲ

五大洋ニ航通シ各地ノ天產物ヲ買入レテ自國ニ輸送シ鐵炭力ヲ借リ之ヲ工產物トナシテ再ヒ各國ニ輸出シ賣與フ是其三千萬ノ精靈カ生活ヲナスノ道ナリ歐米列國ノ工產ニ志スモノハ其製作ノ元品ヲ英國ノ市場ニ就テ求メサルヲ得ス又其農作ヲ務ムルモノモ亦其收穫ノ產物ヲ英國ノ市場ニ向ヒテ售ラサルヲ得ス是ニ於テ倫敦ノ一都ニ世界ノ大市場ヲ開キ世ノ製作貿易益盛ナルニ從ヒ此都ノ繁昌モ益旺シ今ハ殆ト三百五十萬口ノ大都會ヲナスニ至レリ行旅ノ往來船舶ノ出入ニテ四方ノ寄寓スルモノヲ幷セ擧レハ四百萬口ニスキタル精靈カ僅僅ナル此小域ニ住スルナリ其營思生理ハ意態萬狀ニテ傑閣ハ雲ニ聳ヘ烟突ハ天ヲ薰シ車馬ノ喧闐ナル往來ノ混雜ナル到ル處ミナ燥熱場ヲナシタレ𪜈其主トシテ奔注スル所ハ達迷斯(テームス)河港ヨリ「ロンドン、シチー」ニアリ此府ノ繁華ニツキテ其最モ注目スヘキ所モ亦此ニアリ「ロンドンドック」「コストンハウス」運上所「バンク」「エキステンヂ」相場會所「メンションハウス」市廳「マーケット」市場及ヒ電信驛遞局ノ類ミナ此府ノ大貿易人ノ耳目ニ發顯スルモノタリ然レ𪜈商法ハ活

機ナリ、詭道ナリ、之ヲ太平ノ戰爭ニ譬フルモノナリ、其耳目ニ觀ル所ハ、固リ皮相ナルノミナラス、其筆舌ニ述フヘキモ、亦皮相ニアラサレハ、過去ノ死物ニスキス、其神機妙算ハ、皆無形ニテ摸捉スヘカラス、其章程規則ハ、人面ノ異ナルカ如シ、固リ其精神ヲ識リ難シ、倫敦ニ觀ルモノ其宮殿、樓閣、旅館、觀場寺塔、學校、病院、牢獄ノ宏大壯麗ナルヿヲ目擊詳說スルトキハ、僕ヲ更ヘ篇ヲ累スルモ、能盡ス所ニアラス、此ハ則各種ノ書備ハレリ、今此編ニ於テモ、略其回覽ノ一斑ヲ記シタレ𪜈、固リ千中ニ一二ヲ擧ケタルニスキス、其他滯留數月ノ間ニ、目睹閲歷セル所アルハ、總說一卷ニテ包括スルニ足レハ又贅說セス、只此編ノ主トスル所ハ、其回覽ニ就キ、英國ノ富強ヲ致スニ於テ、四民生理ノ景況ヲ實歷シ、我日本人ニ感觸ヲ與フルニアリ、各地ノ巡回ニテ、士農工ノ三ツモノ、其景況ノ耳目ニ上レルハ、盡ク之ヲ詳記シ、幷セテ山水風景ニモ及ヒタレハ、以テ其一斑ヲ擧タリト謂フモ可ナリ、只倫敦ニ於テ、其貿易ノ景況ヲ說カント欲スレハ、到底耳目ノ聞見ニテ、能ク述ル所ニアラサレハ、筆ヲ此ニ閣セサルヲ得ス、因テ此ニ一千八百七十年、英

國金貨ノ流通ニツキテノ報告ヲ得タレハ之ヲ左ニ記ス

倫敦「バンク」ニ於テ一千八百六十九年ノ一歳中出銀セル總數ハ七億二千五百餘萬弗ニテ一日ノ平均二百三拾三萬弗ツヽナリ

一千八百七十年ニ於テ英倫中ノ大小「バンク」千五百五十四社アリ其貯藏ノ紙幣二千二百七拾七萬三千三百〇六磅爲替手形ノ流通セル數ハ一

「バンクオフエンゲラント」ニ二千三百〇四萬〇七百七十〇磅諸會社「バンク」ニ二百五十八萬九千七百八十五磅備急「バンク」ニ二百二十六萬七千〇五十九磅ナリ

蘇格蘭ニ「バンク」六百七十三社アリ其貯藏ノ紙幣ハ三百三十九萬六千五百四十九磅手形ノ流通二百二十七萬九千五百八十五磅ナリ

愛倫ニ「バンク」二百六十七社アリ其貯藏ノ紙幣二百九十五萬三千四百六十一磅手形ノ流通七百四十三萬四千百五十九磅ナリ

倫敦及ヒ全英地ニ金貨融通ノ情況ハ此ニテ推考スヘシ又英國ニ於テ輸入ノ重ナル物品ハ六アリ棉花穀物沙糖羊毛絹及ヒ茶ナリ此價七億八千

萬弗全輸入總價ノ半高ニ及フ此内三分ノ二ハ棉花穀物ノ價ナリ輸出ノ重ナル品モ亦六アリ棉布及ヒ棉絲毛布鐵材麻布石炭及ヒ器械類ナリ此價七億千萬弗全輸出總價ノ三分二ニ及フ此内半ハ棉布及ヒ棉絲ノ價ニテ三分ノ一ハ毛布鐵材ノ價ナリ是英國ノ利益ハ只木棉炭鐵ニアルト謂フ所以ナリ〇全國一歲ニ海關ヨリ輸入税ヲ納ムルヿ一億弗此内倫敦港ノ運上所ニ於テ抽税スルモノ其半高ニスク倫敦ノ繁昌シ貿易ノ隆盛ナルヿヲ知ルヘシ其他里味阪ニテ一千五百萬弗ヲ抽テ蘇格蘭ニテ千二百五十萬弗ヲ抽テ愛蘭ニテ一千萬弗ヲ抽ツ是里味阪哥羅斯哥及ヒ都伯林（トッブリン）ノ繁昌遞ニ差アル證ニテ此ヲ除ク外ハ英倫ノ各港中「ブリッストル」一港ニ、五百萬弗ヲ抽ツ其他ノ諸港ハ合セテ八百萬弗ヲ抽ツルノミ是ニテ全英國海口ノ景況ヲ察スヘシ夫レ製作貿易ハ全英國ノ富ヲ謀ル要領ニテ即チ國民ノ注意重ニ此ニアルナリ故ニ人民ハ各地ノ都邑ニ集リテ村落ニ住スルモノ自ラ減少シ農作食用元品ノ産益欠乏スルヲ免レス是ハ共製作貿易ノ餘利ヲ以テ外國ヨリ買入ル之ヲ目シテ營業力ヲ買フト謂フ營

業力ノ益盛ナルニ従ヒ、元品ノ需用益多ク、従テ人民一般日需ノ度モ、自ニ超上シ、年年ノ消費高ヲマス、故ニ英國ノ傭工ハ、大抵肉ト麪包トヲ食料トス、佛國ノ傭工、三分ノ二ハ馬鈴薯ト玉蜀黍トニ生活ス、兩國ノ傭給従テ懸殊ス、世界ニ傭給ノ貴キハ、米英ノ兩國ニスキルモノハアラス、此等ノ事情、盡ク我日本ト反對ス、此國ノ幅員、人口、位地ノ、我日本ニ似タリトテ、其營生圖利ノ目的ヲ學ハント欲スルモ、未タ得ヘカラス、故ニ英國ニ觀察シテ、感觸ヲ我ニ與フル所、亦甚ク親切ナラス、只倫敦ハ世界天産物ノ大市場ナルヲ以テ、農利天産ニ富ム國ニ於テハ、其貿易ノ景況ニ深ク注意スヘキハ、方今緊要ノ一ナルヘシ、内部ノ政治、國民ノ景況ニ於テハ、未タ我ニ緊要ナル所ヲミス、佛國ハ、農利ヲ務メテ製作ニ及ホシ、幷セテ貿易ニ巧ミニ、海外ニ及フ、最モ周備セル文明國ナリト稱ス、此ヨリハ其觀察ニカヽラントス、

太政官少書記官久米邦武編修

明治十一年十月刊行

御用刊行所

東京銀座四丁目

博聞社

54

PURCHASED FOR THE
UNIVERSITY OF TORONTO LIBRARY
FROM THE
CANADA COUNCIL SPECIAL GRANT
FOR
FAR EASTERN STUDIES

EAST-ASIAN LIB. UNIVERSITY OF TORONTO
3 1761 03023 8851